

名古屋市版施工単価内訳表

令和6年8月1日

名古屋市緑政土木局

「名古屋市版施工単価内訳表【公表図書】」について

- 本資料は、名古屋市緑政土木局が所管する土木工事等の積算に用いる「名古屋市版施工単価」の内容を示したもので、令和6年8月1日以降に起案する案件に適用します。
- 本文は、目次の順番にかかわらず、コード番号順に掲載します。
- 「名古屋市版施工単価（標準単価）」は、積算基準に基づいて設定した単価です。
- 「名古屋市版施工単価（特別単価）」は、独自に設定した単価です。
- 本資料はあくまで参考資料であり、契約約款にいう「設計図書」ではありません。したがって、本資料の内容は、請負契約上、発注者及び受注者を拘束するものではありません。

緑政土木局技術指導課

名古屋市版施工単価内訳表
標準単価目次（令和6年8月1日）

コード	工種名
処理費	
D00001	残土処理費（確認処分）
D00002	コンクリート廃材処理費
D00003	アスファルト廃材処理費
D00004	浚渫土砂処理費
D00008	塵芥処理費
D00010	刈草処理費
D00011	撤去樹木処理費（公園・街路樹等修繕用）
D00012	木材処理費（公園・街路樹等修繕用）
D00014	剪定枝処理費
D00015	草類処理費
D00016	撤去樹木処理費（公園委託用）
D00020	残土処理費（指定処分）
D00021	残土処理費（改良土プラント持込）
D00022	残土処理費（路盤材改良プラント持込）
土工	
D00119	埋戻（機械）
D00120	埋戻（人力）
D00121	埋戻
D00139	すきとり
D00144	公園整地
D00146	公園残土処理
D00149	積込（人力）As・Co塊・スラグ 砕等
D00161	2 t ダンプ運搬
D00162	4 t ダンプ運搬
D00164	10 t ダンプ運搬
D00168	仮置土運搬 2 t 搬出搬入
D00169	仮置土運搬 4 t 搬出搬入
D00170	仮置土運搬 10 t 搬出搬入
D00172	ストックヤード代
D00201	機械掘削工（管路）
D00202	立坑掘削工（管路）
D00203	小型バックホウ投入搬出（管路立坑掘削）
D00211	人力投入埋戻工（管路）
D00212	機械投入埋戻工（管路）

コード	工種名
D00221	ダンプトラック運搬(10t積)(管路土工)
D00222	ダンプトラック運搬(4t積)(管路土工)
D00223	ダンプトラック運搬(2t積)(管路土工)
砕石工	
D00704	単粒度砕石(30～20mm)
D00705	コンクリート基礎(空練り170kg/m ³)
一般仕上工	
D00802	プレキャストコンクリート製品布設(80kg以下)
D00804	プレキャストコンクリート製品布設(80超え2200kg以下)
排水構造物工	
D00805	集水枡据付
D00806	L形側溝据付
D00901	街渠
D00905	街渠エプロン
D00906	L形街渠
D00907	L形街渠（R部）
D00908	街渠枡(450用)
D00909	街渠枡(500用)
D00911	特殊枡
D00912	街渠枡（D）
D00913	特殊街渠枡（A）
D00914	特殊街渠枡（B）
D00915	排水管布設
D00916	排水管取付(街渠用)
D00920	L形側溝
D00921	U形側溝 B、C
D00922	U形側溝 A
D00923	U形側溝(180)
D00925	横断暗渠（A）
D00927	横断グレーチング
D00928	電柱除けU形側溝工（蓋含む）
D00930	L形側溝枡
D00932	L形側溝枡上部
D00935	側溝枡C移設
D00938	雨水枡（C）

コード	工種名
D00939	雨水枡（D）
D00942	自由勾配側溝
D00954	横断暗渠（B）
D00956	横断 ^グ レーチング（E）
D00960	導水パイプ設置
D00970	V形側溝
D00971	L形側溝（現場打A）
D00973	V形側溝枡
D00976	V形側溝枡上部
縁石工	
D00903	ブロック据付
D01510	路幅境界
D01533	根囲ブロック据付
D01540	ベース付縁石植ます工
仮設工	
D01301	木矢板(建込工法)
D01302	横矢板(土留め・仮締切)
D01342	開削水替ポンプ据付撤去
D01343	開削水替ポンプ運転
D01362	段差摺付
D01750	木製腹起材設置撤去
D01751	軽量金属腹起材設置撤去
D01752	軽量金属切梁材設置撤去
D01753	軽量鋼矢板建込（両側分）
D01754	軽量鋼矢板引抜（両側分）
D01755	アルミ矢板建込工（両側分）
D01756	アルミ矢板引抜工（両側分）
雑工	
D01504	板柵（河川）
D01505	板柵（道路）
D01506	コンクリート柵
D01515	舗装止
D01520	境界杭探さく
D01525	境界調査
D02772	自転車マーク設置
仮設材損料等	
D01732	仮設材損料（木材）
D01771	軽量支保材基本料（10m分1セット）

コード	工種名
D01772	軽量支保材賃料（10m分1セット）
D01773	アルミ矢板基本料（10m分1セット）
D01774	アルミ矢板賃料（10m分1セット）
舗装工	
D00807	特殊ブロック設置
D01803	上層路盤（路盤材無し）；現道打換ブル3 t
D01821	アスファルト舗装；（人力）
D02101	不陸整正；現道打換ブル3 t
D02102	不陸整正（狭幅員）
D02103	路盤整正；現道打換ブル3 t
D02106	路盤整正（狭幅員）
D02113	下層路盤；現道打換ブル3 t
D02127	上層路盤；グレーダ・マダム・タイヤ
D02128	上層路盤；ブル・マダム・タイヤ
D02145	取合せ舗装路盤
D02260	溶融スラグ入アスファルト舗装；（機械）
D02270	溶融スラグ入アスファルト舗装；（人力）
D02503	セメコン舗設（歩道）
D02504	セメコン舗設（路肩）
D02505	セメコン舗設（歩道補強）
D02510	コンクリート平板舗設
D02515	コンクリート平板据直
D02770	視覚障害者誘導用平板舗装（一般部）
D02771	視覚障害者誘導用平板舗装（誘導部）
防護柵工	
D01536	車止めポスト設置手間
D02701	中央帯先端壁
D02703	中央帯先端壁塗装
D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工
D02710	ガードフェンス設置（中央帯用新設・更新）
D02711	ガードパイプ設置(21～22型)
D02712	ガードパイプ設置(24型歩道新設・更新)
D02714	ガードパイプ設置(転落防止柵)
D02718	車両乗り上げ防止柵
D02721	ガードフェンス移設・撤去
D02722	ガードパイプ移設・撤去
標識工	
D02735	道路反射鏡設置

コード	工種名
D02752	道路標識移設（各種）
D02760	安全施設基礎
D02761	安全施設基礎（2）
道路付属施設工	
D02754	道路照明設置
D02756	道路照明設置（LED20W以下）（カーポール）
D02757	道路照明（灯具取替）（LED20W以下）
D02758	道路照明移設・撤去
D02791	照明灯設置
D02792	道路照明基礎
D02794	道路照明設置（LED）（コンクリート柱共架）
D02796	道路照明器具取付・撤去・移設
橋梁工	
D02914	接着剤塗布
管渠工	
D04302	まくら土台基礎
D04303	はしご胴木基礎
D04305	砂基礎
D04310	コンクリート巻立基礎（90° 巻）
D04311	コンクリート巻立基礎（120° 巻）
D04312	コンクリート巻立基礎（180° 巻）
D04321	鉄筋コンクリート管布設
D04327	取付管布設および支管取付工
人孔工	
D04501	人孔鉄蓋据付
D04505	現場打高調整（角人孔用）
D04510	頂版据付
D04511	角人孔躯体
D04515	丸人孔底部
D04523	組立マンホール設置工(0号)
D04524	組立マンホール設置工(1号)
D04525	組立マンホール設置工(2号)
D04526	組立マンホール設置工(3号)
管更生工	
D04601	反転・引込工
D04602	硬化・形成工
D04603	本管口切断工
D04604	本管口仕上工

コード	工種名
D04605	取付管口せん孔仕上工
D04606	仮設備設置・撤去工
D04607	換気設備工
D04608	反転・形成用水替
透水性舗装工	
D05510	透水性インターロッキングブロック設置
D05551	フィルター層 仕上り厚5cm
D05561	透水性アスファルト舗装（歩道）
排水設備工〔公園緑地〕	
D06101	公園U形側溝
D06102	公園L形側溝
D06110	公園グレーチング設置
D06120	公園管渠
D06130	集水桝（並目）
D06132	汚水桝
D06133	集水桝（細目）
D06134	防臭桝
D06135	集水桝（浸透・並目）
D06136	集水桝（浸透・細目）
園路広場整備工〔公園緑地〕	
D01806	園路路盤（路盤材無し）
D06139	視覚障害者誘導用平板舗装（公園用）
D06140	公園平板舗装
D06143	アスファルト舗装（公園）
D06146	コンクリート舗装
D06148	園路路盤；路盤材含む
D06149	園路路盤；狭幅員
D06150	敷砂
D06151	ダスト表層（厚4cm）
D06152	砂表層
D06153	路床整正（広場）
D06154	転圧（広場）
D06160	ブロック縁石
D06161	レンガ縁石
D06162	玉石縁石
D06163	雑割石縁石
D06164	ブロック縁石D
D06170	階段

コード	工種名
D06171	擬木階段
植栽工 [公園緑地]	
D06301	高木植栽
D06304	公園客土
D06305	施肥(緩効性化成肥料)
D06312	公園地被客土
D06320	張芝
D06341	高木支柱
D06345	支柱プレート
D06351	マルチング(公園用)
D06371	植樹客土(8:2)
建築施設組立設置工 [公園緑地]	
D06380	パーゴラ
D06381	パーゴラ屋根
D06382	パーゴラ柱
サービス施設整備工 [公園緑地]	
D06501	ベンチ
D06502	テーブル
D07125	太陽電池式時計塔
D07150	案内板(耐衝撃性プラスチック板)
遊戯施設整備工 [公園緑地]	
D06701	砂場
D06702	砂場壁
D06703	砂場砂
D06704	砂場排水層
D06705	砂場排水管(φ100)
D06708	ステップ
D06712	グローブジャングル
D06713	円形ジャングルジム
D06714	ブランコ
D06715	ブランコ境界柵
D06716	すべり台
D06718	シーソー
D06719	低鉄棒
D06721	円木
D06901	高鉄棒
擁壁工 [公園緑地]	
D07101	公園石積

コード	工種名
D07102	公園ブロック積
修景施設整備工 [公園緑地]	
D07104	景石据付(捨石工)
D07105	石組
管理施設整備工 [公園緑地]	
D07110	パイプさく
D07111	フェンス
D07112	車止
D07113	バリケード(鉄線柵)
D07114	格子さく
D07115	フェンス(丸支柱)
D07131	門柱 D
電気設備工 [公園緑地]	
D07120	公園灯
D07121	架空配線(φ2.6mm)
D07123	ハンドホール
D07124	分電盤(標準)
D07126	電線管布設
D07127	ケーブル入線
給水設備工 [公園緑地]	
D07160	散水栓
D07302	給水管
D07303	量水器取付部
D07304	止水栓
道路植栽工(街路樹)	
D07502	客土
D07503	生垣支柱 B
D07514	張芝 C
D07517	草花客土
D07528	添竹
D07531	支柱結束直し
D07532	名板設置
D07533	マルチング(街路用)
D07534	打起し
D07540	緑地帯パイプ
公園・街路樹維持管理	
D07702	抜取除草
D07703	公園除草

コード	工種名
D07704	公園清掃 A
D07707	公園芝刈
D07709	公園樹施肥
D07711	公園樹施肥C
D07713	公園樹木剪定
D07715	中木刈込
D07717	低木刈込（公園樹）
D07719	生垣刈込（公園樹）
D07760	刈草等運搬
施設仕上げ工	
D07901	モルタル塗
D07902	タイル下地モルタル塗
D07903	色モルタル塗
D07905	人造石研出し
D07907	那智黒洗出し
D07909	公園塗装
D07912	面取り（雑割石）
運転費	
D08269	草刈機運転費
D08270	チェーンソー運転費
D08292	特殊強力吸引車運転費
D08293	排水管清掃車運転
D08294	側溝清掃車運転
D08296	散水車運転
D08405	排水管清掃車運転
D08407	散水車運転
D08501	小型バックホ運転（管路掘削・埋戻）
D08502	小型バックホ運転（管路掘削・埋戻）
D08503	バックホ運転（管路立坑掘削）
D08504	クラムシェル運転（管路立坑掘削）
D08505	小型バックホ運転（管路立坑掘削）
D08506	タンバ運転（管路埋戻）
D08507	ダンプトラック(10t積)運転（管路土工）
D08508	ダンプトラック(4t積)運転（管路土工）
D08509	ダンプトラック(2t積)運転（管路土工）
D08510	バックホ運転（はしご胴木基礎工）
D08701	発動発電機運転
D08702	トラック クレーン装置付き 4 t 積み 2. 9 t 付

コード	工種名
D08703	トラック クレーン装置付き 4 t 積み 2. 0 t 付
D08704	トラック 2 t 積み
D08705	空気圧縮機
D08706	反転・引込車
D08707	硬化・形成車
D08708	本管用TVカメラ車
D08709	高圧洗浄車
D08711	せん孔機車
D08712	潜水ポンプ運転工
単価契約用	
D00009	油類等処理費(単契用)
D00013	撤去樹木処理費（排水路維持単契用）
D09630	目地補修
D09670	アスファルト舗装；（人力）（単契用）
D09811	照明器具LED20W以下（単契用）
D09812	街路灯設置(LED20W以下)(カーボール)単契用
D09801	高所作業車運転（単価契約用）
D09802	トラック（クレーン装置付き4 t 2.9t吊運転）（単価契約用）
D09803	土木一般世話役（単契用）
産廃税	
D10001	産廃税相当額（最終処分場）
D10002	産廃税相当額（自ら設置する最終処分場）
測量業務	
D09101	1 級基準点測量
D09102	2 級基準点測量
D09103	3 級基準点測量
D09104	4 級基準点測量（永久標識設置なし）
D09111	1 級水準測量観測（レベル等による）
D09112	2 級水準測量観測（レベル等による）
D09113	3 級水準測量観測（レベル等による）
D09114	4 級水準測量観測（レベル等による）
D09117	基準点設置（地下埋設）
D09118	水準点設置（永久標識）
D09122	現地踏査
D09126	I P 設置
D09127	中心線測量
D09128	仮 B M 設置測量
D09129	縦断測量(路線測量)

名古屋市版施工単価内訳表
特別単価目次（令和6年8月1日）

コード	工種名
技術指導課	
D35001	ダンプトラック 2 t 積運転
D35002	ダンプトラック 4 t 積運転
D35003	ダンプトラック 10 t 積運転
D35004	ブルドーザ運転
D35005	モータグレーダ運転
D35006	タンバ運転
D35007	バックホウ運転
D35008	バックホウ運転
D35009	バックホウ運転
D36001	モータグレーダ運転
D36002	ロードローラ運転
D36003	タイヤローラ運転
D36004	振動ローラ運転
D36005	アスファルトフィニッシャ運転
D36006	アスファルトフィニッシャ運転
D36007	アスファルトフィニッシャ運転
D36008	アスファルトフィニッシャ運転
D36009	ロードローラ運転
D36010	タイヤローラ運転
D36011	振動ローラ運転
D36012	ダンプトラック 2 t 積運転
D36013	アスファルトフィニッシャ運転
D36014	振動ローラ運転
D36015	振動ローラ運転
D36016	振動コンパクタ運転
D36017	振動ローラ運転
D36018	振動コンパクタ運転
D36019	小型バックホウ運転
D36020	トラック 2 t 積運転
D36021	トラック運転 2 t 積
D40017	無機性汚泥処理費
D42323	濁水運搬
D42324	濁水処理費
道路利活用課	

コード	工種名
D53101	道路台帳平面図補正
D53102	道路台帳平面図修正
D53201	公園見取図作成
D53202	公園台帳平面図作成
D53203	道路台帳平面図補正(公園台帳)
D53301	河川座標・多角網図作成
D53302	河川現況台帳平面図作成
D53303	河川施設平面図作成
D53304	河川管理施設構造図
D53305	起終点杭設置工
D54001	引照作業（１）
D54002	引照作業（２）
D54003	引照作業（３）
D54004	引照作業（４）
D54005	復元作業（１）
D54006	復元作業（２）
D54007	残存確認作業（１）
D54008	残存確認作業（２）
D54009	残存確認作業（３）
D54010	残存確認作業（４）
D54011	引照・復元作業（１）
D54012	引照・復元作業（２）
D54013	引照・残存確認作業（１）
D54014	引照・残存確認作業（２）
D54015	引照・残存確認作業（３）
D54016	引照・残存確認作業（４）
D54019	打合せ協議（効用の確認）
D54020	打合せ協議（復旧測量）
D59246	区域標保全（道路台帳）
D59253	補点測量
D59257	道路台帳座標測量図
D59261	道路台帳現況調査
D59276	成果図作成（道路台帳）
D59278	座標展開図
D59281	座標調整計算

コード	工種名
D59283	求積図作成
D59286	公図拡大
D59351	公園水準測量
D59371	公園内施設調査
D59800	境界調整図作成
D59801	区域線測量
D59802	準拠点測量
D59803	区域線設定図面作成
D59805	現況調査
D59806	境界調査 A・B
D59807	境界調査 C
D59808	境界調査 D
D59809	共通作業
D59810	成果図作成
道路建設課	
D51101	多角点設置（真鍮鋳）
D59179	用地実測図作成
D59181	現況・用地平面図作成
D59242	多角点設置(Co杭＋真鍮鋳)
D59244	コンクリート杭設置
道路維持課	
D70962	導水管街渠柵取付
D71001	コンクリート（現場打側溝用）
D72101	不陸整正；人力
D72102	路床転圧；(ﾀﾝﾊﾟ)
D72103	路盤整正；人力
D72104	路盤；(人力施工、ﾀﾝﾊﾟ 転圧)
D72736	自発光式交差点中心鋳設置
D75551	フィルター層；(1.4m未満ﾀﾝﾊﾟ)
D75601	フィルター層（車道）
D79641	道路通行規制措置費
D79642	誘導（通行規制措置）
D79650	基礎砕石（単契用）
D79657	防護柵（支柱等）修繕
D79660	小工事（単価契約）
D79671	路面捨て
D79672	路面修繕
D79673	砕石敷

コード	工種名
D79681	灯具取替
D79682	管球取替
D79683	灯具付属品取替
D79684	安定器取替
D79685	自動点滅器取替
河川工務課	
D80101	；人力^掘さく；（浚渫）
D80165	運搬（揚泥車）
D80181	浚せつ（排水路・池）
D80182	浚せつ（管渠） 1
D80183	浚せつ（管渠） 2
D84324	支管取付
D84326	取付管布設工
D89501	本管 T V 調査
D89502	報告書作成（T V 調査）
D89631	塵芥除去
D89650	基礎砕石（単契用）
D89657	防護柵（支柱等）修繕
D89660	小工事（単価契約）
D89665	油類等積込（単契用）
緑地事業課単価	
D91002	安定処理舗装
D91003	舗装止
D91004	木曽石縁石
D91005	擬木階段
D91006	伸縮目地
D91007	土系舗装
D91101	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ 遊具
D91121	シングルブランコ
D91131	シングルブランコ境界柵
D91301	縁台
D91302	ベンチ肘かけ取付
D91402	ロープ柵
D91403	手すり
D91404	流砂止柵
D91405	器具庫（横型・縦型）
D91406	電波時計取付
D91501	パーゴラ

名古屋市版施工単価内訳表

D00001	残土処理費(確認処分)	1m3当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		残土処理費		m3	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00002	コンクリート廃材処理費	1m3当り	構造図	R元. 10改定

1. 適用条件

- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

A 構造物区分	A1	有筋
	A2	無筋
	A3	二次製品(有筋)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート廃材処理費	有筋	m3	1	処分費等の対象
②		コンクリート廃材処理費	無筋	m3	1	処分費等の対象
③		コンクリート廃材処理費	二次製品(有筋)	m3	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00003	アスファルト廃材処理費	1m3当り	構造図	H21.4改定

1. 適用条件

・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		アスファルト廃材処理費		m3	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00004	浚渫土砂処理費	1m3当り	構造図	R05. 04改定

1. 適用条件

・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		浚渫土砂処理費	; (揚泥車運搬)	m3	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00008	塵芥処理費	1m3当り	構造図	H21.4改定

1. 適用条件

- ・ 一般廃棄物として処理する塵芥処理に適用する。
- ・ 比重が0.5程度のものに適用する。
- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		塵芥処理費	比重0.5程度	m3	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00009	油類等処理費(単契用)	1kg当り	構造図	H21.4改定

1. 適用条件

・ 単価契約用に使用する。 ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		油類等処理費(排水路維持単契用)	;油・油吸着マット・オイルフェンス等	kg	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00010	刈草処理費	1m3当り	構造図	H21.4改定

1. 適用条件

- ・ 刈草をリサイクル又は最終処分する場合に適用する。
- ・ 比重が0.4程度のものに適用する。
- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		刈草処理費	比重0.4程度	m3	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00011	撤去樹木処理費 (公園・街路樹等修繕用)	1t当り	構造図	H21.4改定

1. 適用条件

- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		撤去樹木処理費(公園・街路樹等修繕用)	産業廃棄物	t	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00012	木材処理費 (公園・街路樹等修繕用)	1t当り	構造図	H21.4改定

1. 適用条件

- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		木材処理費 (公園・街路樹等修繕用)	産業廃棄物	t	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00013	撤去樹木処理費 (排水路維持単契用)	1t当り	構造図	H21.4改定

1. 適用条件

- ・ 排水路維持単契用に使用する。
- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		撤去樹木処理費 (排水路維持単契用)		t	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00014	剪定枝処理費	1m3当り	構造図	H30.1改定

1. 適用条件

- ・ 剪定枝を一般廃棄物として資源化処理施設(市内)で処理する場合に適用する。
- ・ 比重0.12程度のものに適用する。
- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		剪定枝処理費	比重0.12程度	m3	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00015	草類処理費	1m3当り	構造図	H30.1改定

1. 適用条件

- ・ 草類(刈草等)を一般廃棄物としてリサイクル又は最終処分する場合に適用する。
- ・ 比重が0.18程度のものに適用する。
- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		草類処理費	比重0.18程度	m3	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00016	撤去樹木処理費 (公園委託用)	1t当り	構造図	H29.10改定

1. 適用条件

- ・ 公園委託用に使用する。
- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		撤去樹木処理費 (公園委託用)	一般廃棄物 根含まず	t	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00020	残土処理費(指定処分)	1m3当り	構造図	R06. 04改定

1. 適用条件

- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)
- ・ 処分地を指定する場合に使用

2. 条件表

A 処分先	A1	1-1-1東邦がステクノ名南改良土センター
	A2	1-2-1名古屋西部ソイルリサイクル
	A3	2-1-1新栄重機
	A4	2-2-1大有建設・東邦がステクノ名古屋北部土質改良C
	A5	3-1-1珪砂鉱業協同組合(上陣屋町)
	A6	3-1-2珪砂鉱業協同組合(東印所町)
	A7	3-2-1大矢開発
	A8	3-3-1奥信
	A9	3-4-1川島建材豊田事業所
	A10	3-4-2川島建材瀬戸事業所
	A11	3-5-1大伸興産
	A12	3-6-1太平産業
	A13	3-7-1東海窯業原料
B 種別	B1	第1種発生土
	B2	第2種発生土
	B3	第3種発生土
	B4	第4種発生土
	B5	浚渫土

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①				m3	1	表3-1

3-1. 子単価条件

	条件	コード	名称	規格
①	A1	B1	名南改良土センター	第1種発生土
		B2	名南改良土センター	第2種発生土
		B3	名南改良土センター	第3種発生土
	A2	B1	名古屋西部ソイルリサイクル	第1種発生土
		B2	名古屋西部ソイルリサイクル	第2種発生土
		B3	名古屋西部ソイルリサイクル	第3種発生土

	A3	B1	新栄重機	第1種発生土
		B2	新栄重機	第2種発生土
		B3	新栄重機	第3種発生土
		B4	新栄重機	第4種発生土
	A4	B1	名古屋北部土質改良センター	第1種発生土
		B2	名古屋北部土質改良センター	第2種発生土
		B3	名古屋北部土質改良センター	第3種発生土
	A5	B1	珪砂鉱業協同組合(上陣屋町)	第1種発生土
		B2	珪砂鉱業協同組合(上陣屋町)	第2種発生土
		B3	珪砂鉱業協同組合(上陣屋町)	第3種発生土
		B4	珪砂鉱業協同組合(上陣屋町)	第4種発生土
		B5	珪砂鉱業協同組合(上陣屋町)	浚渫土
	A6	B1	珪砂鉱業協同組合(東印所町)	第1種発生土
		B2	珪砂鉱業協同組合(東印所町)	第2種発生土
		B3	珪砂鉱業協同組合(東印所町)	第3種発生土
		B4	珪砂鉱業協同組合(東印所町)	第4種発生土
		B5	珪砂鉱業協同組合(東印所町)	浚渫土
	A7	B1	大矢開発	第1種発生土
	A8	B1	奥信	第1種発生土
		B2	奥信	第2種発生土
		B3	奥信	第3種発生土
		B4	奥信	第4種発生土
		B5	奥信	浚渫土
	A9	B1	川島建材豊田事業所	第1種発生土
		B2	川島建材豊田事業所	第2種発生土
		B3	川島建材豊田事業所	第3種発生土
	A10	B1	川島建材瀬戸事業所	第1種発生土
		B2	川島建材瀬戸事業所	第2種発生土
		B3	川島建材瀬戸事業所	第3種発生土
	A11	B1	大伸興産	第1種発生土
		B2	大伸興産	第2種発生土
		B3	大伸興産	第3種発生土
		B4	大伸興産	第4種発生土
	A12	B1	太平産業	第1種発生土
		B2	太平産業	第2種発生土
		B3	太平産業	第3種発生土
	A13	B1	東海窯業原料	第1種発生土
		B2	東海窯業原料	第2種発生土
		B5	東海窯業原料	浚渫土

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00021	残土処理費(改良土プラント持込)	1m3当り	構造図	H30.10改定

1. 適用条件

- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)
- ・ 改良土を利用する場合に使用

2. 条件表

A 該当区	A1	;千種区
	A2	;東区
	A3	;北区
	A4	;西区
	A5	;中村区
	A6	;中区
	A7	;昭和区
	A8	;瑞穂区
	A9	;熱田区
	A10	;中川区
	A11	;港区
	A12	;南区
	A13	;守山区
	A14	;緑区
	A15	;名東区
	A16	;天白区

3. 単価表

条件	コード	名称	規格
A1		残土処理費	改良土プラント持込時；A
A2		残土処理費	改良土プラント持込時；A
A3		残土処理費	改良土プラント持込時；C
A4		残土処理費	改良土プラント持込時；C
A5		残土処理費	改良土プラント持込時；A
A6		残土処理費	改良土プラント持込時；A
A7		残土処理費	改良土プラント持込時；A
A8		残土処理費	改良土プラント持込時；A
A9		残土処理費	改良土プラント持込時；A
A10		残土処理費	改良土プラント持込時；A
A11		残土処理費	改良土プラント持込時；A
A12		残土処理費	改良土プラント持込時；D
A13		残土処理費	改良土プラント持込時；B

A14		残土処理費	改良土プラント持込時；D
A15		残土処理費	改良土プラント持込時；B
A16		残土処理費	改良土プラント持込時；D

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00022	残土処理費(路盤材改良プラント持込)	1m3当り	構造図	R02.4.1改定

1. 適用条件

- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)
- ・ 改良碎石を利用するため既設路盤材をプラント搬入する場合に適用。

2. 条件表

A 該当区	A1	;千種区
	A2	;東区
	A3	;北区
	A4	;西区
	A5	;中村区
	A6	;中区
	A7	;昭和区
	A8	;瑞穂区
	A9	;熱田区
	A10	;中川区
	A11	;港区
	A12	;南区
	A13	;守山区
	A14	;緑区
	A15	;名東区
	A16	;天白区

3. 単価表

条件	コード	名称	規格	単位	数量	備考
A1		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A	m3	1	処分費等の対象
A2		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A			
A3		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；B			
A4		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A			
A5		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A			
A6		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A			
A7		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A			
A8		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A			
A9		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A			
A10		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A			
A11		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；A			
A12		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；B			
A13		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；C			

A14		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；C			
A15		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；B			
A16		残土処理費	路盤材改良プラント持込時；C			

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00119	埋戻(機械)	100m3当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 小規模土工除く。

2. 条件表

A 埋戻材料 (改良土は運搬費を別途計上)	A1	発生土
	A2	購入土(砂)
	A3	購入土(山土)
	A4	改良土(石灰系)25-0
	A5	改良土(石灰系)50-0
B 施工方法	B1	最小埋戻幅4m以上
	B2	最大埋戻幅4m以上
	B3	最大埋戻幅1m以上4m未満
	B4	最大埋戻幅1m未満
C 該当区(A=4の場合)	C1	; 千種区
	C2	; 東区
	C3	; 北区
	C4	; 西区
	C5	; 中村区
	C6	; 中区
	C7	; 昭和区
	C8	; 瑞穂区
	C9	; 熱田区
	C10	; 中川区
	C11	; 港区
	C12	; 南区
	C13	; 守山区
	C14	; 緑区
	C15	; 名東区
	C16	; 天白区
D 該当区(A=5の場合)	D1	; 千種区
	D2	; 東区
	D3	; 北区
	D4	; 西区
	D5	; 中村区
	D6	; 中区
	D7	; 昭和区
	D8	; 瑞穂区
	D9	; 熱田区

	D10	; 中川区
	D11	; 港区
	D12	; 南区
	D13	; 守山区
	D14	; 緑区
	D15	; 名東区
	D16	; 天白区

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		埋戻材料	(各種)	m3	133	表3-2
②		埋戻し	(各種)	m3	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	B1		埋戻し	1								
	B2			2								
	B3			3								
	B4			4								

3-2. 埋戻材料の種類

	条件	コード	名称	規格
①	A1	—	土砂	発生土
	A2		砂	クッション用
	A3		山土	
	A4	C1	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C2	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C3	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		C4	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		C5	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C6	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C7	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C8	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C9	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C10	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C11	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C12	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		C13	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		C14	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		C15	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		C16	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
	A5	D1	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D2	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D3	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し
		D4	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し

	D5		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D6		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D7		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D8		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D9		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D10		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D11		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D12		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
	D13		改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
	D14		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
	D15		改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
	D16		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅱ-1-③

名古屋市版施工単価内訳表

D00120	埋戻(人力)	10m3当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 機械施工ができない箇所の人力土工作業に適用する。
- ・ 人力により掘り起こした土砂を距離3m程度までの範囲で投棄し、仮置又は積込を含む一連の作業をいう。
 - 注) 1 切崩し、掘削(床掘)に適用する。
 - 2 対象土量は締固め後土量とする。
- ・ 水替費用は含まれていないので、必要な場合は別途計上する。

2. 条件表

			(子単価条件)
A 埋戻材料 (改良土は運搬費を別途計上)	A1	発生土	
	A2	購入土(砂)	
	A3	購入土(山土)	
	A4	改良土(石灰系)25-0	
	A5	改良土(石灰系)50-0	
B 締固め	B1	締固めあり	V1=1
	B2	締固めなし	V1=2
C 該当区(A=4の場合)	C1	;千種区	
	C2	;東区	
	C3	;北区	
	C4	;西区	
	C5	;中村区	
	C6	;中区	
	C7	;昭和区	
	C8	;瑞穂区	
	C9	;熱田区	
	C10	;中川区	
	C11	;港区	
	C12	;南区	
	C13	;守山区	
	C14	;緑区	
	C15	;名東区	
	C16	;天白区	
D 該当区(A=5の場合)	D1	;千種区	
	D2	;東区	
	D3	;北区	
	D4	;西区	
	D5	;中村区	
	D6	;中区	
	D7	;昭和区	

	D8	;瑞穂区	
	D9	;熱田区	
	D10	;中川区	
	D11	;港区	
	D12	;南区	
	D13	;守山区	
	D14	;緑区	
	D15	;名東区	
	D16	;天白区	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		埋戻材料		m3	13.3	表3-2
②		埋戻し		m3	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		埋戻し	6	1	V1						

3-2. 埋戻材料の種類

	条件	コード	名称	規格
①	A1	—	土砂	発生土
	A2		砂	クッション用
	A3		山土	
	A4	C1	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C2	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C3	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		C4	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		C5	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C6	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C7	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C8	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C9	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C10	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C11	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C12	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		C13	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		C14	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		C15	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		C16	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
	A5	D1	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D2	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D3	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し
		D4	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し
		D5	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し

	D6		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D7		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D8		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D9		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D10		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D11		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D12		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
	D13		改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
	D14		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
	D15		改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
	D16		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅱ-1-⑥-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00121	埋戻	10m3当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 小規模土工に適用。

2. 条件表

A 埋戻材料 (改良土は運搬費を別途計上)	A1	発生土
	A2	購入土(砂)
	A3	購入土(山土)
	A4	改良土(石灰系)25-0
	A5	改良土(石灰系)50-0
B 埋戻区分	B1	バック0.28m3(平0.2),タンバ転圧
C 該当区(A=4の場合)	C1	;千種区
	C2	;東区
	C3	;北区
	C4	;西区
	C5	;中村区
	C6	;中区
	C7	;昭和区
	C8	;瑞穂区
	C9	;熱田区
	C10	;中川区
	C11	;港区
	C12	;南区
	C13	;守山区
	C14	;緑区
	C15	;名東区
	C16	;天白区
D 該当区(A=5の場合)	D1	;千種区
	D2	;東区
	D3	;北区
	D4	;西区
	D5	;中村区
	D6	;中区
	D7	;昭和区
	D8	;瑞穂区
	D9	;熱田区
	D10	;中川区
	D11	;港区
	D12	;南区

	D13	;守山区
	D14	;緑区
	D15	;名東区
	D16	;天白区

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		埋戻材料		m3	13.3	表3-2
②		埋戻し		m3	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		埋戻し	5	1							

3-2. 埋戻材料の種類

	条件	コード	名称	規格
①	A1	—	土砂	発生土
	A2		砂	クッション用
	A3		山土	
	A4	C1	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C2	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C3	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		C4	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		C5	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C6	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C7	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C8	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C9	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C10	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C11	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C12	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		C13	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		C14	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		C15	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		C16	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
	A5	D1	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D2	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D3	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し
		D4	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し
		D5	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D6	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D7	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D8	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し

		D9		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D10		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D11		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		D12		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
		D13		改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
		D14		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
		D15		改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
		D16		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅱ-1-⑤

名古屋市版施工単価内訳表

D00139	すきとり	100m3当り	構造図	H22.4改定

1. 適用条件

- ・ 公園内の敷地造成工に適用する。
- ・ ブルドーザで地山をすきとるものである。

2. 条件表

A 施工区分	A1	ブルドーザ3t
	A2	ブルドーザ15t

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	(3t級 or 15t級)	日	V1	表3-1

3-1. ブルドーザの種類および子単価条件

	条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	A1		3t級	20	1	2	0	1	0	1	1	0
	A2		15t級	20	1	1	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	V1	1.7	0.29

5. 根拠

V-1-①-2

名古屋市版施工単価内訳表

D00144	公園整地	100m2当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

- 公園内において、施工規模10000m3未満の現地盤(地山)を切り返し、敷均しするものである。
 人力整地: 小面積、狭幅員、端部等機械施工が不可能な箇所。
 機械施工: 機械施工が可能な箇所。

2. 条件表

A 施工区分	A1	人力
	A2	ブルドーザ 3t

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		掘削	現場制約有	m3	V1	表3-1
②		埋戻し	現場制約有、締固め無	m3	V2	表3-1
③		整地		m3	V3	表3-1
④	D00139	すきとり		m3	V4	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		掘削	1	4							
②		埋戻し	6	1	2						
③		整地	2	1	2						
④	D00139	すきとり	1								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	掘削	V1	2.5	—
②	埋戻し	V2	2.5	—
③	整地	V3	—	2.5
④	すきとり	V4	—	2.5

5. 根拠

Ⅱ-1-②、Ⅱ-1-③、Ⅴ-1-①-3

名古屋市版施工単価内訳表

D00146	公園残土処理	10m3当り	構造図	R3.10.01改定

1. 適用条件

- ・ 公園残土処理に適用する。
- ・ 小車運搬(20m以下)、人力敷均しを含む。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		人力運搬		m3	1.0	表3-1
②		埋戻し	現場制約有、締固め無	m3	1.0	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		人力運搬	1								
②		埋戻し	6	1	2						

4. 歩掛表

5. 根拠

V-1-①-4

名古屋市版施工単価内訳表

D00149	積込(人力)As・Co塊・スラグ砕等	100m3当り	構造図	H18.10改定

1. 適用条件

・ 機械施工ができない箇所に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	19.0	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅱ－１－⑥－１

名古屋市版施工単価内訳表

D00161	2tダンプ運搬	10m3当り	構造図	H28.1.1改定

1. 適用条件

- ・ 2tダンプの運搬(別途積込み)でDID区間有りに適用する。
- ・ 土砂とは、普通土・砂・砂質土・レキ質土・粘性土をいう。
- ・ DID区間無しは土木工事標準積算基準書による。

2. 条件表

A 土質区分	A1	土砂,改良碎石等
	A2	アスファルト塊
	A3	Co・スラグ塊,破碎岩
	A4	鉄筋Co塊
	A5	土砂(往)+KC等(復)
	A6	スラグ塊(往)+KC等(復)
B 運搬距離(km)		実数入力
C 積込作業区分	C1	別途人力積込
	C2	別途バックホウ山0.13m3積込

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D35001	ダンプトラック2t運転		日	V1	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1										
		B条件 (km以下)	0.01	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.5	4.5	6.0	8.0
		C条件	C1										
①	ダンプトラック 2t運転	V1	0	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5

	名称	A条件	A1					
		B条件 (km以下)	10.5	14.5	19.0	23.0	41.5	60.0
		C条件	C1					
①	ダンプトラック 2t運転	V1	1.8	2.3	2.6	3.0	3.7	4.5

	名称	A条件	A1										
		B条件 (km以下)	0.01	0.3	1.0	1.5	2.5	3.0	3.5	4.5	5.0	6.5	8.0
		C条件	C2										
①	ダンプトラック 2t運転	V1	0	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5

	名称	A条件	A1					
		B条件 (km以下)	11.0	15.0	19.5	24.0	42.0	60.0
		C条件	C2					
①	ダンプトラック 2t運転	V1	1.8	2.3	2.6	3.0	3.7	4.5

V1 : A条件がA2, A3の場合、上表の歩掛に1. 3を乗ずる。

A条件がA4の場合、上表の歩掛に1. 37を乗ずる。

A条件がA5の場合、上表の歩掛に1. 22を乗ずる。(KCの割増分及び待機増考慮)

A条件がA6の場合、上表の歩掛に1. 45を乗ずる。(KCの割増分及び待機増考慮)

5. 根拠

Ⅱ－1－⑤

Ⅱ－1－⑥－1

名古屋市版施工単価内訳表

D00162	4tダンプ運搬	10m3当り	構造図	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 4tダンプの運搬(別途バックホウ山積0.28積込み)でDID区間有りに適用する。
- ・ 土砂とは、普通土・砂・砂質土・レキ質土・粘性土をいう。
- ・ DID区間無しは土木工事標準積算基準書による。

2. 条件表

A 土質区分	A1	土砂,KC等
	A2	アスファルト塊
	A3	Co・スラグ塊,破碎岩
	A4	鉄筋Co塊
	A5	土砂(往)+KC等(復)
	A6	スラグ塊(往)+KC等(復)
B 運搬距離(km)		実数入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D35002	ダンプトラック4t運転		日	V1	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1											
		B条件 (km以下)	0.01	0.2	1.0	1.5	2.0	3.0	3.5	4.5	5.5	7.0	8.0	9.0
①	ダンプトラック 4t運転	V1	0	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8

	名称	A条件	A1					
		B条件 (km以下)	12.0	17.0	22.0	27.0	43.5	60.0
①	ダンプトラック 4t運転	V1	0.9	1.1	1.3	1.5	1.9	2.3

- V1 : A条件がA2, A3の場合、上表の歩掛に1. 3を乗ずる。
A条件がA4の場合、上表の歩掛に1. 37を乗ずる。
A条件がA5の場合、上表の歩掛に1. 22を乗ずる。(KCの割増分及び待機増考慮)
A条件がA6の場合、上表の歩掛に1. 45を乗ずる。(KCの割増分及び待機増考慮)

5. 根拠

Ⅱ-1-⑤

名古屋市版施工単価内訳表

D00164	10tダンプ運搬	100m3当り	構造図	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 10tダンプの運搬(別途積込み)でDID区間有りに適用する。
- ・ 土砂とは、普通土・砂・砂質土・レキ質土・粘性土をいう。
- ・ DID区間無しは土木工事標準積算基準書による。

2. 条件表

A 土質区分	A1	土砂,KC等
	A2	As塊
	A3	Co・スラグ塊,破碎岩
	A4	鉄筋Co塊
	A5	土砂(往)+KC等(復)
	A6	スラグ塊(往)+KC等(復)
B 運搬距離(km)		実数入力
C 積込作業区分	C1	別途バック山0.8m3積込
	C2	別途バック山0.45m3積込
	C3	別途バック山1.4m3積込
	C4	別途クラム平0.8m3積込(油圧ローブ・クローラ)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D35003	ダンプトラック10t運転		日	V1	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1											
		B条件 (km以下)	0.01	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	3.5	5.0	6.0	7.0	8.5
		C条件	C1											
①	ダンプトラック 10t運転	V1	0	0.65	0.75	0.85	0.95	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7

	名称	A条件	A1						
		B条件 (km以下)	11.0	14.0	19.5	25.5	31.5	45.5	60.0
		C条件	C1						
①	ダンプトラック 10t運転	V1	3.1	3.8	4.7	5.5	6.3	7.8	9.4

	名称	A条件	A1											
		B条件 (km以下)	0.01	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0	5.5	7.0	9.0	12.0	17.5
		C条件	C2											
①	ダンプトラック 10t運転	V1	0	1.1	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7

	名称	A条件	A1			
		B条件 (km以下)	23.0	28.5	44.0	60.0
		C条件	C2			
①	ダンプトラック 10t運転	V1	5.5	6.3	7.8	9.4

	名称	A条件		A1											
		B条件 (km以下)	0.01	0.5	2.0	2.5	3.5	5.0	7.0	10.0	14.5	19.5	24.5	42.0	60.0
		C条件		C4											
①	ダンプトラック 10t運転	V1	0	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	5.5	6.3	7.8	9.4

	名称	A条件	A1											
		B条件 (km以下)	0.01	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.5	5.5	6.5
		C条件	C3											
①	ダンプトラック 10t運転	V1	0	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1

	名称	A条件	A1								
		B条件 (km以下)	8.0	9.5	11.5	15.0	20.5	26.5	33.0	46.5	60.0
		C条件	C3								
①	ダンプトラック 10t運転	V1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	5.5	6.3	7.8	9.4

V1 : A条件がA2, A3の場合、上表の歩掛に1.3を乗ずる。

A条件がA4の場合、上表の歩掛に1.37を乗ずる。

A条件がA5の場合、上表の歩掛に1.25を乗ずる。

A条件がA6の場合、上表の歩掛に1.44を乗ずる。

A条件で②を選択した場合は、C条件では①、③、④が選択できない。

A条件で④を選択した場合は、C条件では②～④が選択できない。

5. 根拠

Ⅱ－1－②－1

Ⅳ－3－②－1

名古屋市版施工単価内訳表

D00168	仮置土運搬2t搬出搬入	10m3当り	構造図	H27.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

			(子単価条件)
A 地山掘削機種	A1	バックホウ0.13m3	V2=2
	A2	人力	V2=1
B 工事場所	B1	中区	V1=10
	B2	昭和区	V1=10
	B3	瑞穂区	V1=10
	B4	熱田区	V1=10
	B5	港区(庄内川以東)	V1=7.5
	B6	港区(庄内川以西)	V1=5
	B7	南区	V1=7.5
	B8	千種区	V1=7.5
	B9	東区	V1=7.5
	B10	西区	V1=5
	B11	北区	V1=5
	B12	守山区	V1=5
	B13	名東区	V1=5
	B14	天白区	V1=5
	B15	緑区	V1=5
	B16	中川区	V1=5
	B17	中村区	V1=5

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00161	2tダンプ運搬		m3	10	表3-1
②	D00161	2tダンプ運搬		m3	10	表3-1
③		積込(ルーズ)		m3	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D00161	2tダンプ運搬	1	V1	V2						
②	D00161	2tダンプ運搬	1	V1	2						
③		積込(ルーズ)	1	4							

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00169	仮置土運搬4t搬出搬入	10m3当り	構造図	H27.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

			(子単価条件)
A 工事場所	A1	中区	V1=10
	A2	昭和区	V1=10
	A3	瑞穂区	V1=10
	A4	熱田区	V1=10
	A5	港区(庄内川以東)	V1=7.5
	A6	港区(庄内川以西)	V1=5
	A7	南区	V1=7.5
	A8	千種区	V1=7.5
	A9	東区	V1=7.5
	A10	西区	V1=5
	A11	北区	V1=5
	A12	守山区	V1=5
	A13	名東区	V1=5
	A14	天白区	V1=5
	A15	緑区	V1=5
	A16	中川区	V1=5
	A17	中村区	V1=5

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00162	4tダンプ運搬		m3	10	表3-1
②	D00162	4tダンプ運搬		m3	10	表3-1
③		積込(ルーズ)		m3	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D00162	4tダンプ運搬	1	V1							
②	D00162	4tダンプ運搬	1	V1							
③		積込(ルーズ)	1	4							

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00170	仮置土運搬10t搬出搬入	100m3当り	構造図	H27.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

			(子単価条件)
A 工事場所	A1	中区	V1=10
	A2	昭和区	V1=10
	A3	瑞穂区	V1=10
	A4	熱田区	V1=10
	A5	港区(庄内川以東)	V1=7.5
	A6	港区(庄内川以西)	V1=5
	A7	南区	V1=7.5
	A8	千種区	V1=7.5
	A9	東区	V1=7.5
	A10	西区	V1=5
	A11	北区	V1=5
	A12	守山区	V1=5
	A13	名東区	V1=5
	A14	天白区	V1=5
	A15	緑区	V1=5
	A16	中川区	V1=5
	A17	中村区	V1=5

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00164	10tダンプ運搬		m3	100	表3-1
②	D00164	10tダンプ運搬		m3	100	表3-1
③		積込(ルーズ)		m3	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D00164	10tダンプ運搬	1	V1	2						
②	D00164	10tダンプ運搬	1	V1	2						
③		積込(ルーズ)	1	3							

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00172	ストックヤード代	1式当り	構造図	H25.5改定

1. 適用条件

・ 共通仮設費の役務費で計上

2. 条件表

A 貯留量	A1	20m3以下
	A2	20m3超
B 敷地面積(m2)		実数入力(A2の場合)
C 借地月数(月)		実数入力
D 工事現場	D1	港区以外
	D2	港区

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ストックヤード借地料	(各種)	m2・月	V1	表3-1

3-1. スtockヤード借地料の種類

	D条件	コード	名称	規格
①	D1		ストックヤード借地料	港区を除く
	D2		ストックヤード借地料	港区

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	ストックヤード借地料	V1	60×C	B×C

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00201	機械掘削工(管路)	100m3当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事の管路開削工事における機械掘削工に適用する。

2. 条件表

A 使用機種	A1	小型バックホウ0.08m3(排ガス1次)
	A2	小型バックホウ0.13m3(排ガス1次)
	A3	バックホウ0.28m3(排ガス1次)
	A4	バックホウ(クレーン機能付)0.45m3(排ガス1次)
	A5	バックホウ(クレーン機能付)0.8m3(排ガス2次)
	A6	バックホウ0.45m3(排ガス1次)
	A7	バックホウ0.8m3(排ガス2次)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		普通作業員		人	V2	
③		小型バックホウ運転		日	V3	表3-1
④		バックホウ運転		時間	V4	表3-1

3-1. バックホウの種類と子単価条件

	A条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	A1	D08501	0.08m3(排ガス1次)									
	A2	D08502	0.13m3(排ガス1次)									
④	A3		0.28m3(排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	A4		0.45m3(クレーン機能付,排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	A5		0.8m3(クレーン機能付,排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	A6		0.45m3(排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	A7		0.8m3(排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
①	土木一般世話役	V1	2.4	2.2	1.8	1.4	0.9	1.4	0.9
②	普通作業員	V2	6.4	6.0	5.0	4.0	3.0	4.0	3.0
③	小型バックホウ運転	V3	2.3	2.1	—	—	—	—	—
④	バックホウ運転	V4	—	—	9.7	6.6	3.0	6.6	3.0

5. 根拠

IX-1-B-1(管路土工) C-1(管路掘削)

名古屋市版施工単価内訳表

D00202	立坑掘削工(管路)	100m3当り	構造図	H29.3改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における立坑掘削工に適用する。

2. 条件表

A 使用機種	A1	バックホウ0.8m3(排ガス2次)
	A2	クラムシェル(テレスコピック式・クローラ型)0.4m3
B 立坑掘削面積	B1	20m2以下
	B2	20m2超50m2以下
	B3	50m2超100m2以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		普通作業員		人	V2	
③		バックホウ[クローラ型・排ガス型2次]	山積0.8m3(平積0.6m3)	時間	V3	表3-1
④	D08504	クラムシェル運転(管路立坑掘削)	テレスコピック式・クローラ型 平積0.4m3	時間	V4	
⑤	D08505	小型バックホウ運転(管路立坑掘削)	クローラ型・排ガス型2次 山積0.08m3	日	V5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		バックホウ[クローラ型・排ガス型2次]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			A2		
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	土木一般世話役	V1	3.33	2.22	1.25	5	2.5	1.33
②	普通作業員	V2	10	6.67	3.75	15	7.5	4
③	バックホウ運転	V3	15.67	10.44	5.88	—	—	—
④	クラムシェル運転	V4	—	—	—	21.5	10.75	5.73
⑤	小型バックホウ運転	V5	—	2.22	1.25	—	2.5	1.33

5. 根拠

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-1(管路掘削)

名古屋市版施工単価内訳表

D00203	小型バックホウ投入搬出 (管路立坑掘削)	1回当り	構造図	H24.5.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事の立坑掘削工における小型バックホウ投入搬出に適用する。
- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 賃料補正	A1	;標準(長期割引適用)
	A2	;標準以外
B 供用日		入力(A2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型]16t吊	日	0.2	

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-1-B-1(管路土工) C-1(管路掘削)

名古屋市版施工単価内訳表

D00211	人力投入埋戻工(管路)	100m3当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 下水道工事の管路開削工事の管路埋戻に適用する。

2. 条件表

A 埋戻材料 (改良土は運搬費を別途計上)	A1	発生土
	A2	購入土(砂)
	A3	購入土(山土)
	A4	改良土(石灰系)25-0
	A5	改良土(石灰系)50-0
B 該当区(A=4の場合)	B1	;千種区
	B2	;東区
	B3	;北区
	B4	;西区
	B5	;中村区
	B6	;中区
	B7	;昭和区
	B8	;瑞穂区
	B9	;熱田区
	B10	;中川区
	B11	;港区
	B12	;南区
	B13	;守山区
	B14	;緑区
	B15	;名東区
	B16	;天白区
C 該当区(A=5の場合)	C1	;千種区
	C2	;東区
	C3	;北区
	C4	;西区
	C5	;中村区
	C6	;中区
	C7	;昭和区
	C8	;瑞穂区
	C9	;熱田区
	C10	;中川区
	C11	;港区
	C12	;南区

	C13	;守山区
	C14	;緑区
	C15	;名東区
	C16	;天白区

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	26.0	
②		埋戻土		m3	133	表3-1
③	D08506	タンバ ^ハ 運転(管路埋戻)		日	3.0	

3-1. 埋戻土の種類

	条件	コード	名称	規格
②	A1		土砂	発生土
	A2		砂	クッション用
	A3		山土	
	A4	B1	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		B2	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		B3	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		B4	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		B5	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		B6	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		B7	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		B8	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		B9	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		B10	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		B11	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		B12	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		B13	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		B14	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		B15	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		B16	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
	A5	C1	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		C2	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		C3	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し
		C4	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し
		C5	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		C6	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		C7	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		C8	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		C9	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
		C10	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し

	C11		改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	C12		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
	C13		改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
	C14		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
	C15		改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
	C16		改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-2(管路埋戻)

名古屋市版施工単価内訳表

D00212	機械投入埋戻工(管路)	100m3当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 下水道工事の管路開削工事の管路埋戻に適用する。

2. 条件表

A 埋戻材料 (改良土は運搬費を別途計上)	A1	発生土
	A2	購入土(砂)
	A3	購入土(山土)
	A4	改良土(石灰系)25-0
	A5	改良土(石灰系)50-0
B 使用機種	B1	小型バックホウ0.08m3(排ガス1次)
	B2	小型バックホウ0.13m3(排ガス1次)
	B3	バックホウ0.28m3(排ガス1次)
	B4	バックホウ(クレーン機能付)0.45m3(排ガス1次)
	B5	バックホウ(クレーン機能付)0.8m3(排ガス2次)
	B6	バックホウ0.45m3(排ガス1次)
	B7	バックホウ0.8m3(排ガス2次)
C 該当区(A=4の場合)	C1	;千種区
	C2	;東区
	C3	;北区
	C4	;西区
	C5	;中村区
	C6	;中区
	C7	;昭和区
	C8	;瑞穂区
	C9	;熱田区
	C10	;中川区
	C11	;港区
	C12	;南区
	C13	;守山区
	C14	;緑区
	C15	;名東区
	C16	;天白区
D 該当区(A=5の場合)	D1	;千種区
	D2	;東区
	D3	;北区
	D4	;西区
	D5	;中村区

	D6	;中区
	D7	;昭和区
	D8	;瑞穂区
	D9	;熱田区
	D10	;中川区
	D11	;港区
	D12	;南区
	D13	;守山区
	D14	;緑区
	D15	;名東区
	D16	;天白区

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	2.1	
②		普通作業員		人	5.9	
③		埋戻土		m3	133	表3-1
④		小型バックホウ運転		日	V1	表3-2
⑤		バックホウ運転		時間	V2	表3-2
⑥	D08506	タンバ運転(管路埋戻)		日	3.0	

3-1. 埋戻土の種類

	条件	コード	名称	規格
③	A1		土砂	発生土
	A2		砂	クッション用
	A3		山土	
	A4	C1	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C2	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C3	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		C4	改良土(石灰系)	25-0 C工場渡し
		C5	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C6	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C7	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C8	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C9	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C10	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C11	改良土(石灰系)	25-0 A工場渡し
		C12	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		C13	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		C14	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
		C15	改良土(石灰系)	25-0 B工場渡し
		C16	改良土(石灰系)	25-0 D工場渡し
	A5	D1	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し

	D2	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D3	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し
	D4	改良土(石灰系)	50-0 C工場渡し
	D5	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D6	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D7	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D8	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D9	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D10	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D11	改良土(石灰系)	50-0 A工場渡し
	D12	改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
	D13	改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
	D14	改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し
	D15	改良土(石灰系)	50-0 B工場渡し
	D16	改良土(石灰系)	50-0 D工場渡し

3-2. バックホウの種類と子単価条件

	B条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
④	B1	D08501	0.08m3(排ガス1次)									
	B2	D08502	0.13m3(排ガス1次)									
⑤	B3		0.28m3(排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B4		0.45m3(クレーン機能付,排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B5		0.8m3(クレーン機能付,排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B6		0.45m3(排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B7		0.8m3(排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7
④	小型バックホウ運転	V1	1.2	1.1	—	—	—	—	—
⑤	バックホウ運転	V2	—	—	5.6	4.2	2.3	4.2	2.3

5. 根拠

IX-1-B-1(管路土工) C-2(管路埋戻)

名古屋市版施工単価内訳表

D00221	ダンプトラック運搬(10t積) (管路土工)	100m3当り	構造図	H24.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事の管路開削工事の土工より発生した土砂をバックホウにより直接掘削積込し、ダンプトラックで処分地まで運搬する場合に適用する。

2. 条件表

A 積込機種	A1	バックホウ 山積0.8m3(クレーン機能付)	
	A2	バックホウ 山積0.8m3	
	A3	バックホウ 山積0.45m3(クレーン機能付)	
	A4	バックホウ 山積0.45m3	
B 土質区分	B1	土砂	
C DID区間の有無	C1	有	
D 運搬距離 (BH山積0.8m3 DID有)	D1 ～D16	※ 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照	A1・A2の場合に適用
E 運搬距離 (BH山積0.45m3 DID有)	E1 ～E14	※ 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照	A3・A4の場合に適用
F タイヤ損耗費	F1	普通	
	F2	良好	
	F3	不良	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08507	ダンプトラック(10t積)運転(管路土工)		日	V1	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D08507	ダンプトラック(10t積)運転(管路土工)	F								

4. 歩掛表

V1 : 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照(運搬距離に応じて設定)

5. 根拠

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-3(発生土処理)

名古屋市版施工単価内訳表

D00222	ダンプトラック運搬(4t積) (管路土工)	10m3当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事の管路開削工事の土工より発生した土砂をバックホウにより直接掘削積込し、ダンプトラックで処分地まで運搬する場合に適用する。

2. 条件表

A 積込機種	A1	バックホウ 山積0.45m3(クレーン機能付)	
	A2	バックホウ 山積0.28m3	
	A3	バックホウ 山積0.45m3	
B 土質区分	B1	土砂	
C DID区間の有無	C1	有	
D 運搬距離 (BH山積0.45m3 DID有)	D1 ～D10	※ 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照	A1・A3の場合に適用
E 運搬距離 (BH山積0.28m3 DID有)	E1 ～E10	※ 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照	A2の場合に適用
F タイヤ損耗費	F1	普通	
	F2	良好	
	F3	不良	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08508	ダンプトラック(4t積)運転(管路土工)		日	V1	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D08508	ダンプトラック(4t積)運転(管路土工)	F								

4. 歩掛表

V1 : 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照(運搬距離に応じて設定)

5. 根拠

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-3(発生土処理)

名古屋市版施工単価内訳表

D00223	ダンプトラック運搬(2t積) (管路土工)	10m3当り	構造図	H22.10改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事の管路開削工事の土工より発生した土砂をバックホウにより直接掘削積込し、ダンプトラックで処分地まで運搬する場合に適用する。

2. 条件表

A 積込機種	A1	バックホウ 山積0.28m3	
	A2	小型バックホウ 山積0.13m3	
	A3	小型バックホウ 山積0.08m3	
B 土質区分	B1	土砂	
C DID区間の有無	C1	有	
D 運搬距離 (BH山積0.28m3 DID有)	D1 ～D13	※ 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照	A1の場合に適用
E 運搬距離 (小型BH山積0.13m3DID有)	E1 ～E13	※ 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照	A2の場合に適用
F 運搬距離 (小型BH山積0.08m3DID有)	F1 ～F13	※ 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照	A3の場合に適用
G タイヤ損耗費	G1	普通	
	G2	良好	
	G3	不良	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08509	ダンプトラック(2t積)運転(管路土工)		日	V1	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D08509	ダンプトラック(2t積)運転(管路土工)	G								

4. 歩掛表

V1 : 積算基準書(第Ⅸ編下水)参照(運搬距離に応じて設定)

5. 根拠

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-3(発生土処理)

名古屋市版施工単価内訳表

D00704	単粒度碎石(30～20mm)	100m2当り	構造図	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 浸透柵用に適用する。
- ・ 諸雑費はつき固め機械等の損料及び燃料の費用である。

2. 条件表

A 碎石の厚さ(m)		実数入力(0<A≤0.3)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		単粒度碎石	4号30－20mm	m3	V4	
⑤	D35009	バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)運転		日	V5	
⑥		諸雑費		%	0.7	

4. 歩掛表

	名称	A条件	$A \leq 0.2$	$0.2 < A \leq 0.3$
①	土木一般世話役	V1	$0.6 \times 100 / 155$	$0.6 \times 100 / (155 \times 0.7)$
②	特殊作業員	V2	$1.1 \times 100 / 155$	$1.1 \times 100 / (155 \times 0.7)$
③	普通作業員	V3	$2.9 \times 100 / 155$	$2.9 \times 100 / (155 \times 0.7)$
④	単粒度碎石	V4	$100 \times A \times 1.20$	$100 \times A \times 1.20$
⑤	バックホウ運転	V5	$1 \times 100 / 155$	$1 \times 100 / (155 \times 0.7)$

5. 根拠

Ⅱ－2－②

名古屋市版施工単価内訳表

D00705	コンクリート基礎(空練り170kg/m ³)	100m ² 当り	構造図	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 小型構造物のコンクリート基礎工に適用。
- ・ 諸雑費はつき固め機械等の損料及び燃料の費用である。

2. 条件表

A コンクリート基礎の厚さ(m)		実数入力(0<A≤0.2)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		空練りコンクリート	170kg/m ³	m ³	V4	
⑤	D35009	バックホウ山積0.8m ³ (平積0.6m ³)運転		日	V5	
⑥		諸雑費		%	0.7	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A≤0.2
①	土木一般世話役	V1	0.6×100/155
②	特殊作業員	V2	1.1×100/155
③	普通作業員	V3	2.9×100/155
④	空練りコンクリート	V4	100×A×1.06
⑤	バックホウ運転	V5	1×100/155

5. 根拠

Ⅱ-2-②

名古屋市版施工単価内訳表

D00802	プレキャストコンクリート製品布設 (80kg 以下)	10基当り	構造図	H18.5改定

1. 適用条件

- ・ 80kg／基以下のプレキャストコンクリート製品の設置手間に適用する。
- ・ プレキャストコンクリート製品の材料費は含まない。

2. 条件表

A 作業区分	A1	据付
	A2	撤去
	A3	据付・撤去

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役	(設置)	人	V1	
②		土木一般世話役	(撤去)	人	V2	
③		特殊作業員	(設置)	人	V3	
④		特殊作業員	(撤去)	人	V4	
⑤		普通作業員	(設置)	人	V5	
⑥		普通作業員	(撤去)	人	V6	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	土木一般世話役	V1	0.1	—	0.1
②	土木一般世話役	V2	—	0.05	0.05
③	特殊作業員	V3	0.1	—	0.1
④	特殊作業員	V4	—	0.05	0.05
⑤	普通作業員	V5	0.2	—	0.2
⑥	普通作業員	V6	—	0.1	0.1

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00804	プレキャストコンクリート製品布設 (80超え2200kg以下)	10基当り	構造図	H18.5改定

1. 適用条件

- ・ 80kgを超え2200kg以下／基のプレキャストコンクリート製品の設置手間に適用する。
- ・ プレキャストコンクリート製品の材料費は含まない。

2. 条件表

A 作業区分	A1	据付
	A2	撤去
	A3	据付・撤去
B 製品質量(kg/基)	B1	80超え400以下
	B2	400超え800以下
	B3	800超え1200以下
	B4	1200超え1600以下
	B5	1600超え2200以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役	(設置)	人	V1	
②		土木一般世話役	(撤去)	人	V2	
③		特殊作業員	(設置)	人	V3	
④		特殊作業員	(撤去)	人	V4	
⑤		普通作業員	(設置)	人	V5	
⑥		普通作業員	(撤去)	人	V6	
⑦		バックホウ[クローラ型・クレーン機能付]	排ガス型(1次)山積0.45m3 2.9t吊	時間	V7	表3-1
⑧		バックホウ[クローラ型・クレーン機能付]	排ガス型(1次)山積0.45m3 2.9t吊	時間	V8	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑦		バックホウ運転	0	1	1	0	1	0	1	1	0
⑧		バックホウ運転	0	1	1	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1					A2				
		B条件	B1	B2	B3	B4	B5	B1	B2	B3	B4	B5
①	土木一般世話役	V1	0.2	0.4	0.6	1.0	1.3	—	—	—	—	—
②	土木一般世話役	V2	—	—	—	—	—	0.1	0.2	0.3	0.5	0.65
③	特殊作業員	V3	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	—	—	—	—	—
④	特殊作業員	V4	—	—	—	—	—	0.05	0.05	0.1	0.15	0.2
⑤	普通作業員	V5	0.1	0.6	0.9	1.3	1.7	—	—	—	—	—
⑥	普通作業員	V6	—	—	—	—	—	0.05	0.3	0.45	0.65	0.85
⑦	バックホウ運転	V7	2.6	3.6	4.4	5.7	6.7	—	—	—	—	—
⑧	バックホウ運転	V8	—	—	—	—	—	1.3	1.8	2.2	2.85	3.35

	名称	A条件	A3				
		B条件	B1	B2	B3	B4	B5
①	土木一般世話役	V1	0.2	0.4	0.6	1.0	1.3
②	土木一般世話役	V2	0.1	0.2	0.3	0.5	0.65
③	特殊作業員	V3	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4
④	特殊作業員	V4	0.05	0.05	0.1	0.15	0.2
⑤	普通作業員	V5	0.1	0.6	0.9	1.3	1.7
⑥	普通作業員	V6	0.05	0.3	0.45	0.65	0.85
⑦	バックホウ運転	V7	2.6	3.6	4.4	5.7	6.7
⑧	バックホウ運転	V8	1.3	1.8	2.2	2.85	3.35

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00805	集水樹据付	10基当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 集水樹の据付作業に適用する。
- ・ 集水樹の材料は含まない(別途計上)。

2. 条件表

A 作業区分	A1	据付
	A2	撤去
	A3	据付・撤去
B 製品質量	B1	50 以上 80 以下
	B2	80 超え 400 以下
	B3	400 超え 800 以下
	B4	800 超え 1200 以下
	B5	1200 超え 1600 以下
	B6	1600 超え 2200 以下
C 基礎碎石	C1	有
	C2	無
D バックホウ供用日当り運転時間	D1	標準
	D2	標準以外
E バックホウ供用日当り運転時間		実数入力(D2の場合)
F バックホウ規格	F1	排出ガス対策型

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		バックホウ[クローラ型・クレーン機能付]	排ガス型(1次)山積0.45m3 2.9t吊	時間	V4	表3-1
⑤		基礎碎石費		%	V5	
⑥		諸雑費		%	2	

3-1. 子単価条件

	D条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
④	D1		バックホウ運転	0	1	1	0	1	0	1	1	0
	D2		バックホウ運転	0	1	1	E	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

4-1. 労務・バックホウ運転

	名称	A条件	A1					
		B条件	B1	B2	B3	B4	B5	B6
①	土木一般世話役	V1	0.1	0.2	0.4	0.6	1.0	1.3
②	特殊作業員	V2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4
③	普通作業員	V3	0.2	0.1	0.6	0.9	1.3	1.7
④	バックホウ運転	V4	—	2.6	3.6	4.4	5.7	6.7

	名称	A条件	A2					
		B条件	B1	B2	B3	B4	B5	B6
①	土木一般世話役	V1	0.05	0.1	0.2	0.3	0.5	0.65
②	特殊作業員	V2	0.05	0.05	0.05	0.1	0.15	0.2
③	普通作業員	V3	0.1	0.05	0.3	0.45	0.65	0.85
④	バックホウ運転	V4	—	1.3	1.8	2.2	2.85	3.35

	名称	A条件	A3					
		B条件	B1	B2	B3	B4	B5	B6
①	土木一般世話役	V1	0.15	0.3	0.6	0.9	1.5	1.95
②	特殊作業員	V2	0.15	0.15	0.15	0.3	0.45	0.6
③	普通作業員	V3	0.3	0.15	0.9	1.35	1.95	2.55
④	バックホウ運転	V4	—	3.9	5.4	6.6	8.55	10.05

4-2. 基礎碎石費率

	名称	B条件	B1		B2		B3		B4		B5		B6	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2
⑤	基礎碎石費	V5	73	—	18	—	18	—	18	—	18	—	18	—

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00806	L 形側溝据付	10m当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ L形側溝の据付作業に適用する。
- ・ L形側溝の材料は含まない(別途計上)。

2. 条件表

A 作業区分	A1	据付
	A2	撤去
	A3	据付・撤去
B 基礎砕石	B1	有
	B2	無
C バックホウ供用日当り運転時間	C1	標準
	C2	標準以外
D バックホウ供用日当り運転時間		実数入力(C2の場合)
E バックホウ規格	E1	排出ガス対策型

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		バックホウ[クローラ型・クレーン機能付]	排ガス型(1次)山積0.45m3 2.9t吊	時間	V4	表3-1
⑤		基礎砕石費		%	V5	
⑥		諸雑費		%	12	

3-1. 子単価条件

	C条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
④	C1		バックホウ運転	0	1	1	0	1	0	1	1	0
	C2		バックホウ運転	0	1	1	D	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2	A3	
		B条件	B1	B2	B2	B1	B2
①	土木一般世話役	V1	0.3	0.3	0.15	0.45	0.45
②	特殊作業員	V2	0.1	0.1	0.05	0.15	0.15
③	普通作業員	V3	0.9	0.9	0.45	1.35	1.35
④	バックホウ運転	V4	1.2	1.2	0.6	1.8	1.8
⑤	基礎砕石費	V5	22	—	—	22	—

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00807	特殊ブロック設置	100m2当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ ブロック規格が30cm×30cm及び40cm×40cmの平板ブロック(透水性ブロック含む)及び視覚障害者誘導用ブロック(点状ブロック、線状ブロック)設置手間に適用する。
- ・ 舗装版等のとりこわし、切断作業は含まない。
- ・ ブロック材料は含まない(別途計上)。

2. 条件表

A 作業区分	A1	設置
	A2	撤去
B ブロック規格	B1	30cm×30cm
	B2	40cm×40cm
C 透水シートの敷設	C1	無
	C2	有

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		ブロック工		人	V2	
③		特殊作業員		人	V3	
④		普通作業員		人	V4	
⑤		諸雑費		%	V5	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2
		C条件	C1	C2	C1
①	土木一般世話役	V1	1.3	1.3	0.65
②	ブロック工	V2	2.4	2.4	1.2
③	特殊作業員	V3	0.5	0.5	0.25
④	普通作業員	V4	3.1	3.5	1.55
⑤	諸雑費	V5	30	41	30

5. 根拠

IV-2-⑥

名古屋市版施工単価内訳表

D00901	街渠	100m当り	構造図 101・102・103 ・104・105	R05.10改定

1. 適用条件

・ 街渠工に適用する。(600mm以下、100kg未満)

2. 条件表

A 規格・寸法	A1	A		V5=4 V8=2
	A2	A-1		V5=4 V8=2
	A3	A'-1		V5=4 V8=2
	A4	B		V5=5 V8=2
	A5	B-1		V5=5 V8=2
	A6	B-2		V5=5 V8=2
	A7	B-3		V5=5 V8=2
	A8	B-4		V5=5 V8=2
	A9	B-3(路盤上)		V5=5 V8=4
	A10	B-4(路盤上)		V5=5 V8=4
	A11	B'-2		V5=5 V8=2
	A12	B'-5		V5=5 V8=2
	A13	C-2		V5=5 V8=2
	A14	D		V5=4 V8=2
	A15	E-1		V5=4 V8=2
	A16	E-2		V5=4 V8=2
	A17	E-3		V5=4 V8=2
	A18	E-4		V5=4 V8=2
	A19	A-2		V5=4 V8=2
	A20	A'-2		V5=4 V8=2
	A21	標準以外		V8=2
B 歩車道境界の種類	B1	A	A21選択時に 適用	V5=4 V6=0.22
	B2	B		V5=5 V6=0.255
	B3	B'		V5=5 V6=0.37
	B4	C		V5=5 V6=0.26
	B5	D		V5=4 V6=0.24
	B6	E		V5=4 V6=0.24
	B7	A'		V5=4 V6=0.33
C エプロン幅(m)		入力		
D エプロン厚(車道側)(m)		入力		
E エプロン厚(歩道側)(m)		入力		
F 基礎コンクリート厚(m)		入力		
G 基礎砕石幅(m)		入力		
H 基礎砕石厚(m)	H1	2.5cm以上7.5cm以下		V7=1
	H2	7.5cm超12.5cm以下		V7=2
	H3	12.5cm超17.5cm以下		V7=3

H 基礎碎石厚(m)	H4	17.5cm超20.0cm以下	A21選択時に 適用	V7=4
	H5	20.0cm超22.5cm以下		V7=5
	H6	22.5cm超27.5cm以下		V7=6
	H7	27.5cm超30.0cm以下		V7=7

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	RC-40	m ²	V1	
②		コンクリート	18・8・25BB	m ³	V2	
③		目地板		m ²	V3	
④		歩車道境界ブロック	(各種)	個	165	表3-2
⑤		型枠	小型構造物	m ²	V4	
⑥		歩車道境界ブロック	据付	m	100	

3-1. 子単価条件

	A条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①	A21以外		基礎碎石	2	8								
	A21			V7	8								
②	—		コンクリート	2	4	41		2		2			
③	—		目地板	1	1								
⑤	—		型枠	1	2								
⑥	—		歩車道境界ブロック	2	V5		V8	6					

3-2. 歩車道境界ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1・A2・A19		歩車道境界ブロック	片面 150/170×200×600(A)
	A3・A20		歩車道境界ブロック	両面 150/190×200×600(A)
	A4～A10		歩車道境界ブロック	片面 180/205×250×600(B)
	A11・A12		歩車道境界ブロック	両面 180/230×250×600(B)
	A13		歩車道境界ブロック	片面 180/210×300×600(C)
	A14		歩車道境界ブロック	180/190×130×600(D)
	A15～A18		歩車道境界ブロック	180/190×150×600(E)

	A条件	B条件	コード	名称	規格
④	A21	B1		歩車道境界ブロック	片面 150/170×200×600(A)
		B2		歩車道境界ブロック	片面 180/205×250×600(B)
		B3		歩車道境界ブロック	両面 180/230×250×600(B)
		B4		歩車道境界ブロック	片面 180/210×300×600(C)
		B5		歩車道境界ブロック	180/190×130×600(D)
		B6		歩車道境界ブロック	180/190×150×600(E)
		B7		歩車道境界ブロック	両面 150/190×200×600(A)

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
①	基礎碎石	V1	0.450×100	0.450×100	0.450×100	0.450×100	0.450×100
②	コンクリート	V2	11.96	10.80	12.98	11.82	7.70
③	目地板	V3	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
⑤	型枠	V4	34	31.3	37.3	32	21.3

	名称	A条件	A6	A7	A8	A9	A10
①	基礎碎石	V1	0.450×100	0.500×100	0.500×100	—	—
②	コンクリート	V2	11.20	8.23	11.98	8.23	11.98
③	目地板	V3	0.45	0.5	0.5	0.5	0.5
⑤	型枠	V4	31.3	21	31	21	31

	名称	A条件	A11	A12	A13	A14	A15
①	基礎碎石	V1	0.450×100	0.500×100	0.500×100	0.375×100	0.450×100
②	コンクリート	V2	13.43	14.18	12.03	8.67	7.93
③	目地板	V3	0.45	0.5	0.5	0.375	0.45
⑤	型枠	V4	37.3	37	31	27	21.1

	名称	A条件	A16	A17	A18	A19	A20
①	基礎碎石	V1	0.450×100	0.500×100	0.500×100	0.500×100	0.500×100
②	コンクリート	V2	10.13	8.61	11.06	11.59	13.74
③	目地板	V3	0.45	0.5	0.5	0.5	0.5
⑤	型枠	V4	26.1	21	26	31	37

	名称	A条件	A21	
		B条件	B3・B7以外	B3またはB7
①	基礎碎石	V1	$C \times 100$	$C \times 100$
②	コンクリート	V2	$((E+D) \times C / 2 + V6 \times F) \times 100$	$((E+D) \times C / 2 + V6 \times F + 0.06 \times 0.15) \times 100$
③	目地板	V3	$C \times 0.1 \times 10$	$C \times 0.1 \times 10$
⑤	型枠	V4	$(D+F) \times 100$	$(D+F+0.06) \times 100$

5. 根拠

Ⅱ-2-②-1／Ⅱ-2-21-1／Ⅱ-4-①-1／Ⅱ-4-②-1／Ⅳ-2-③-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00903	ブロック据付	100m当り	構造図 114・115・116	R01. 10改定

1. 適用条件

- 歩車道境界ブロック及び中央分離帯ブロックに適用する(600mm以下に適用)。

2. 条件表

A 規格・寸法	A1	(1-A)		V14=2,V12=3
	A2	(1-A')		V14=2,V12=3
	A3	(1-B)		V15=2,V13=3
	A4	(1-B')		V15=2,V13=3
	A5	(1-C)		V15=2,V13=3
	A6	(2-A)		V14=2,V12=3
	A7	(2-B)		V15=2,V13=3
	A8	(3)		V15=4,V13=6
	A9	(4)		V14=4,V12=6

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		歩車道境界ブロック	(各種)	個	V4	表3-2
②		歩車道境界ブロック(アンカー付)	片面150/170×200×600(A)	個	V5	
③		コンクリート削孔(ハンマドリル)		孔	V6	
④		歩車道境界ブロック	据付50kg未満	m	V7	表3-1
⑤		歩車道境界ブロック	据付50kg未満	m	V7	表3-1
⑥		歩車道境界ブロック	据付50kg以上100kg未満	m	V8	表3-1
⑦		歩車道境界ブロック	据付50kg以上100kg未満	m	V8	表3-1
⑧		コンクリート	18-8-25BB	m3	V9	表3-1
⑨		型枠	均しコンクリート	m2	V10	表3-1

3-1. 子単価条件

	A条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	M
③	9		コンクリート削孔(ハンマドリル)	1									
④	1,2,6,		歩車道境界ブロック	2	4		2	3	2				
⑤	9		歩車道境界ブロック	2	4		4	6					
⑥	3,4,5,7		歩車道境界ブロック	2	5		2	3	2				
⑦	8		歩車道境界ブロック	2	5		4	6					
⑧	8,9		コンクリート	2	4	41		2		2			1
⑨	9		型枠	1	5								

3-2. 歩車道境界ブロックの種類

	A条件	B条件	コード	名称	規格
①	A1・A6・A9	—		歩車道境界ブロック	片面 150/170×200×600(A)
	A2	—		歩車道境界ブロック	両面 150/190×200×600(A)
	A3・A7	—		歩車道境界ブロック	片面 180/205×250×600(B)
	A4・A8	—		歩車道境界ブロック	両面 180/230×250×600(B)
	A5	—		歩車道境界ブロック	片面 180/210×300×600(C)

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9
①	歩車道境界ブロック	V4	165	165	165	165	165	165	165	165	141.4
②	歩車道境界ブロック(アンカー付)	V5	—	—	—	—	—	—	—	—	23.6
③	コンクリート削孔	V6	—	—	—	—	—	—	—	—	23.6
④	歩車道境界ブロック(据付)	V7	100	100	—	—	—	100	—	—	100
⑤	歩車道境界ブロック(据付)	V7	100	100	—	—	—	100	—	—	100
⑥	歩車道境界ブロック(据付)	V8	—	—	100	100	100	—	100	100	—
⑦	歩車道境界ブロック(据付)	V8	—	—	100	100	100	—	100	100	—
⑧	コンクリート	V9	—	—	—	—	—	—	—	5.2	1.1
⑨	型枠	V10	—	—	—	—	—	—	—	—	3

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00905	街渠エプロン	100m当り	構造図 106	R05.10改定

1. 適用条件

- 歩道補強か所の増厚については別途積算すること。

2. 条件表

A 規格・寸法	A1	A		B=0.45 C=0.20 D=0.23 E=0.10 F=1
	A2	B		B=0.45 C=0.12 D=0.15 E=0.10 F=1
	A3	C		B=0.45 C=0.17 D=0.20 E=0.10 F=1
	A4	D		B=0.50 C=0.12 D=0.15 E=0.10 F=1
	A5	D(路盤上)		B=0.50 C=0.12 D=0.15 E=0 F=2
	A6	E		B=0.50 C=0.17 D=0.20 E=0.10 F=1
	A7	E(路盤上)		B=0.50 C=0.17 D=0.20 E=0 F=2
	A8	標準以外		(上記はA1～A7選択時のB～Fの値)
B エプロン幅(m)		入力	A 8 選 択 時 に 適 用	
C 歩道側エプロン厚(m)		入力		
D 車道側エプロン厚(m)		入力		
E 基礎碎石厚(m)	E1	2.5cm以上7.5cm以下		V5=1
	E2	7.5cm超12.5cm以下		V5=2
	E3	12.5cm超17.5cm以下		V5=3
	E4	17.5cm超20.0cm以下		V5=4
	E5	20.0cm超22.5cm以下		V5=5
	E6	22.5cm超27.5cm以下		V5=6
	E7	27.5cm超30.0cm以下		V5=7
F 基礎碎石の有無	F1	基礎碎石有		
	F2	基礎碎石無		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		型枠	小型構造物	m2	V3	
④		目地板		m2	V4	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
			V5	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		型枠	1	2							
④		目地板	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A6	A8	A5	A7	A8
		F条件	－	－	－	－	－	F1	－	－	F2
①	基礎碎石	V1	B×100						－		
②	コンクリート	V2	(C+D)×B／2×100								
③	型枠	V3	(C+D)×100								
④	目地板	V4	B×0.1×10								

5. 根拠

Ⅱ-2-②-1／Ⅱ-2-21-1／Ⅱ-4-①-1／Ⅱ-4-②-1／Ⅳ-2-③-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00906	L形街渠	100m当り	構造図 108・109・110 111・112	H27.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 規格・寸法	A1	A標準+Co基礎		V4=2 V5=0.1
	A2	A乗入+Co基礎		V4=2 V5=0.1
	A3	A横歩+Co基礎		V4=2 V5=0.1
	A4	A切下+Co基礎		V4=1 V5=0.1
	A5	B標準+Co基礎		V4=2 V5=0.1
	A6	C標準+Co基礎		V4=2 V5=0.1
	A7	A標準+砕石基礎		V4=2 V5=0.1
	A8	A乗入+砕石基礎		V4=2 V5=0.1
	A9	A横歩+砕石基礎		V4=2 V5=0.1
	A10	A切下+砕石基礎		V4=1 V5=0.1
	A11	標準以外		
B L形街渠ブロックの種類	B1	A標準タイプ	A11選択時に適用	V4=2 V5=F
	B2	A乗入れタイプ		V4=2 V5=F
	B3	A横断歩道タイプ		V4=2 V5=F
	B4	A切下げタイプ		V4=1 V5=F
	B5	B標準タイプ		V4=2 V5=F
	B6	C標準タイプ		V4=2 V5=F
C 基礎の分類	C1	コンクリート		
	C2	砕石		
D 基礎幅		入力		
E		E 入力		C1選択時適用
F 基礎厚	F1	7.5cm以下		V6=1
	F2	7.5cm超12.5cm以下		V6=2
	F3	12.5cm超17.5cm以下		V6=3
	F4	17.5cm超20.0cm以下		V6=4
	F5	20.0cm超22.5cm以下		V6=5
	F6	22.5cm超27.5cm以下		V6=6
	F7	27.5cm超30.0cm以下		V6=7

(V4,V5:子単価条件)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00705	コンクリート基礎(空練り170kg/m3)		m2	V1	表3-1
②		基礎砕石	RC-40	m2	V2	表3-1
③		L形街渠ブロック	(各種)	個	V3	表3-2
④	D00804	プレキャストコンクリート製品布設(80超え2200kg以下)	据付	基	V3	表3-1
⑤		諸雑費		%	3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D00705	コンクリート基礎(空練り)	V5								
②		基礎砕石	2	8							
			V6	8							
④	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	V4							

3-2. L形街渠ブロックの種類

	A条件	B条件	コード	名称	規格
③	A1・A7	—		L形街渠ブロックA(標準タイプ)	15/67.5×27/15×200
	A2・A8	—		L形街渠ブロックA(乗り入れタイプ)	16.5/67.5×16/15×200
	A3・A9	—		L形街渠ブロックA(横断歩道タイプ)	18/69×17/15×200
	A4・A10	—		L形街渠ブロックA(切り下げタイプ)	15/67.5×27/15×100
	A5	—		L形街渠ブロックB(標準タイプ)	18/71×32/15×200
	A6	—		L形街渠ブロックC(標準タイプ)	18/71.5×37/15×200
	A11	B1		L形街渠ブロックA(標準タイプ)	15/67.5×27/15×200
		B2		L形街渠ブロックA(乗り入れタイプ)	16.5/67.5×16/15×200
		B3		L形街渠ブロックA(横断歩道タイプ)	18/69×17/15×200
		B4		L形街渠ブロックA(切り下げタイプ)	15/67.5×27/15×100
		B5		L形街渠ブロックB(標準タイプ)	18/71×32/15×200
		B6		L形街渠ブロックC(標準タイプ)	18/71.5×37/15×200

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
①	コンクリート基礎(空練り)	V1	0.775×100	0.775×100	0.790×100	0.775×100	0.810×100
②	基礎砕石	V2	—	—	—	—	—
③	L形街渠ブロック	V3	50	50	50	100	50
④	プレキャストコンクリート製品布設	V3	50	50	50	100	50

	名称	A条件	A6	A7	A8	A9	A10
①	コンクリート基礎(空練り)	V1	0.815×100	—	—	—	—
②	基礎砕石	V2	—	0.775×100	0.775×100	0.790×100	0.775×100
③	L形街渠ブロック	V3	50	50	50	50	100
④	プレキャストコンクリート製品布設	V3	50	50	50	50	100

	名称	A条件	A11					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	コンクリート基礎(空練り)	V1	D×100	—	D×100	—	D×100	—
②	基礎砕石	V2	—	D×100	—	D×100	—	D×100
③	L形街渠ブロック	V3	50	50	50	50	50	50
④	プレキャストコンクリート製品布設	V3	50	50	50	50	50	50

	名称	A条件	A11					
		B条件	B4		B5		B6	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	コンクリート基礎(空練り)	V1	D×100	—	D×100	—	D×100	—
②	基礎砕石	V2	—	D×100	—	D×100	—	D×100
③	L形街渠ブロック	V3	100	100	50	50	50	50
④	プレキャストコンクリート製品布設	V3	100	100	50	50	50	50

5. 根拠
 II－2－②

名古屋市版施工単価内訳表

D00907	L形街渠(R部)	100m当り	構造図 113	H27.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A L形街渠ブロックの種類		A1	歩道切下タイプ 2R		
		A2	歩道切下タイプ 3R		
		A3	歩道切下タイプ 4R		
		A4	歩道切下タイプ 5R		
B 基礎の分類		B1	コンクリート		
		B2	砕石		
C	基礎厚(m)	C	入力	B1選択時に使用	
D		D1	7.5cm以下	B2選択時に使用	V4=1
		D2	7.5cm超12.5cm以下		V4=2
		D3	12.5cm超17.5cm以下		V4=3
		D4	17.5cm超20.0cm以下		V4=4
		D5	20.0cm超22.5cm以下		V4=5
		D6	22.5cm超27.5cm以下		V4=6
		D7	27.5cm超30.0cm以下		V4=7

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00705	コンクリート基礎(空練り170kg/m3)		m2	V1	表3-1
②		基礎砕石	RC-40	m2	V2	表3-1
③		L形街渠ブロック	(各種)	個	V3	表3-2
④	D00804	プレキャストコンクリート製品布設 (80超え2200kg以下)	据付	基	V3	表3-1
⑤		諸雑費		%	3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D00705	コンクリート基礎(空練り)	C								
②		基礎砕石	V4	8							
④	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	1							

3-2. L形街渠ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1		L形街渠ブロック(歩道切下げタイプ)	2R、18/69×17/15×104. 7
	A2		L形街渠ブロック(歩道切下げタイプ)	3R、18/69×17/15×94. 2
	A3		L形街渠ブロック(歩道切下げタイプ)	4R、18/69×17/15×104. 7
	A4		L形街渠ブロック(歩道切下げタイプ)	5R、18/69×17/15×98

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2		A3		A4	
		B条件	B1	B2	B1	B2	B1	B2	B1	B2
①	コンクリート基礎(空練り)	V1	85.5	—	83.3	—	82.3	—	81.6	—
②	基礎砕石	V2	—	85.5	—	83.3	—	82.3	—	81.6
③	L形街渠ブロック	V3	95.5	95.5	106.2	106.2	95.5	95.5	101.9	101.9
④	プレキャストコンクリート製品布設	V3	95.5	95.5	106.2	106.2	95.5	95.5	101.9	101.9

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00908	街渠柵(450用)	10か所当り	構造図 128・129・130 ・131・132・133	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ NP+4m以上の地盤高区域は浸透用を標準とするが下記の場合は禁止する。
 - (1)急傾斜地崩壊危険区域、地滑り防止区域、河川保全区域
 - (2)ため池堤防付近等地下へ雨水を浸透させることにより法面の安全性が損なわれるおそれのある地域

2. 条件表

A 街渠工の種類	A1	街渠A用	
	A2	街渠A-1用	
	A3	街渠B用	
	A4	街渠B-1用	
	A5	街渠B-2用	
	A6	街渠A'-1用	
	A7	街渠B'-2用	
B 嵩上高	B1	嵩上無し	
	B2	嵩上100mm	
	B3	嵩上200mm	
	B4	嵩上300mm	
	B5	嵩上400mm	
	B6	嵩上500mm	
	B7	嵩上600mm	
C 使用区分	C1	一般用	
	C2	浸透用	
D 蓋の種類	D1	グレーチング	
	D2	落葉対策蓋	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		歩車道境界ブロック	(各種)	個	10	表3-2
④		柵用ブロック	(各種)	個	10	表3-3
⑤		柵用ブロック	F(各種)	個	V3	表3-3
⑥		柵用ブロック	D(各種)	個	V4	表3-3
⑦		柵用ブロック	E(各種)	個	V5	表3-3
⑧		透水性底ふた	Φ190 t=50mm	枚	V6	
⑨		ラベル	スコッチプリント 70×100mm	枚	V7	
⑩		蓋	(各種)	枚	10	票3-4
⑪		受枠	360×420 L-44×60×6	組	10	
⑫		型枠	小型構造物	m2	V8	
⑬		歩車道境界ブロック	据付	m	6	表3-1
⑭	D00805	集水柵据付	据付、80-400kg、碎石有	基	10	表3-1
⑮	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg以下) 据付	基	V9	表3-1
⑯	D00704	単粒度碎石(30～20mm)	厚0.1m	m2	V10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
⑫		型枠	1	2								
⑬		歩車道境界ブロック	2	V11		2	6					
⑭		集水樹据付	1	2	1	1		1				
⑮		プレキャストコンクリート製品布設	1									
⑯		単粒度碎石(30～20mm)	0.1									

3-2. 歩車道境界ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格	(子単価条件)
③	A1・A2		歩車道境界ブロック	片面 150/170×200×600(A)	V11=4
	A3・A4・A5		歩車道境界ブロック	片面 180/205×250×600(B)	V11=5
	A6		歩車道境界ブロック	両面 150/190×200×600(A)	V11=4
	A7		歩車道境界ブロック	両面 180/230×250×600(B)	V11=5

3-3. 柵用ブロックの種類

	C条件	コード	名称	規格
④	C1		柵用ブロック	A 4. 5×30×60
	C2		柵用ブロック(穴あき)	(2)30×30×50
⑤	C1		柵用ブロック	F 4. 5×30×10
	C2		柵用ブロック(浸透用)	F 6. 5×30×10
⑥	C1		柵用ブロック	D 4. 5×30×20
	C2		柵用ブロック(浸透用)	D 6. 5×30×20
⑦	C1		柵用ブロック	E 4. 5×30×30
	C2		柵用ブロック(浸透用)	E 6. 5×30×30

3-4. 蓋の種類

	D条件	コード	名称	規格
⑩	D1		グレーチング街渠樹 450 用(チェーン付)	T-14 並目 335×400×38
	D2		落葉対策蓋 街渠樹 450 用(チェーン付)	345×405×37/61

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2		A3		A4	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	基礎碎石	V1	1.4	1.2	1.4	1.2	1.4	1.2	1.4	1.2

	名称	A条件	A5		A6		A7	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	基礎碎石	V1	1.4	1.2	1.4	1.2	1.4	1.2

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
②	コンクリート	V2	0.5	0.46	0.5	0.32	0.48	0.6	0.63
⑫	型枠	V8	4.2	3.8	4.0	2.5	3.8	4.2	4.2

	名称	B条件	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7
⑤	樹用ブロック (F)	V3	—	10	—	—	10	—	—
⑥	樹用ブロック (D)	V4	—	—	10	—	—	10	—
⑦	樹用ブロック (E)	V5	—	—	—	10	10	10	20
⑮	プレキャストコンクリート製品布設	V9	—	10	10	10	20	20	20

	名称	C条件	C1	C2
⑧	透水性底ふた	V6	—	10
⑨	ラベル	V7	—	10
⑯	単粒度砕石(30～20mm)	V10	—	2.8

5. 根拠

Ⅱ-2-② / Ⅱ-2-⑬-1 / Ⅱ-4-① / Ⅱ-4-②-1 / Ⅳ-2-⑤-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00909	街渠柵(500用)	10か所当り	構造図 134・135	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ NP+4m以上の地盤高区域は浸透用を標準とするが下記の場合は禁止する。
 - (1)急傾斜地崩壊危険区域、地滑り防止区域、河川保全区域
 - (2)ため池堤防付近等地下へ雨水を浸透させることにより法面の安全性が損なわれるおそれのある地域

2. 条件表

A 街渠工の種類	A1	街渠工(500B 用)
	A2	街渠工(500B 用 落葉対策蓋)
	A3	街渠工(500C 用)
	A4	街渠工(500C 用 落葉対策蓋)
	A5	街渠工(500A 用 粗目)
	A6	街渠工(500A 用 細目)
B 柵の形態	B1	柵用ブロック
	B2	現場打ち
C 使用区分	C1	一般用
	C2	浸透用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		単粒度碎石(30～20mm)	厚 0.2m	m ²	V1	表3-1
②		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m ²	V2	表3-1
③		コンクリート	18-8-25BB	m ³	V3	表3-1
④		コンクリート	21-8-25BB	m ³	V4	表3-1
⑤		歩車道境界ブロック	(各種)	個	20	表3-2
⑥		街渠特殊柵ブロック	(各種)	個	V5	表3-3
⑦		透水性底ふた	Φ130 t=80mm	枚	V6	
⑧		ラベル	スコッチプリント 70×100mm	枚	V7	
⑨		グレーチング柵用(チェーン付)	T-20並目 995×400×50	枚	V8	
⑩		受枠	1015×420 L-56×60×6	組	V9	
⑪		型枠	小型構造物	m ²	V10	
⑫		型枠	均しコンクリート	m ²	1.2	
⑬		歩車道境界ブロック	据付	m	12	表3-1
⑭	D00805	集水柵据付		基	V11	表3-1
⑮		落葉対策蓋 街渠柵 500B,C 用(チェーンボルト類付)	993×402×47(親蓋2枚割、子蓋2枚付)	組	V12	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		単粒度碎石(30~20mm)	0.2								
②		基礎碎石	2	8							
③		コンクリート	2	4	41		2		2		
④		コンクリート	2	4	20		2		2		
⑪		型枠	1	2							
⑫		型枠	1	5							
⑬		歩車道境界ブロック	2	V21		2	6				
⑭		集水樹据付	1	4	V22	1		1			

3-2. 歩車道境界ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格	(子単価条件)
⑤	A1・A2		歩車道境界ブロック	片面 180/205×250×600(B)	V21=5
	A3・A4		歩車道境界ブロック	片面 180/210×300×600(C)	V21=5
	A5・A6		歩車道境界ブロック	片面 150/170×200×600(A)	V21=4

3-3. 街渠特殊樹ブロックの種類

	A条件	C条件	コード	名称	規格	(子単価条件)
⑥	A1・A3	C1		街渠特殊樹ブロック	300×970×1020(T-20 並目グレーチング付)	V22=1
		C2		街渠特殊樹ブロック(浸透用)	300×970×1020(T-20 並目グレーチング付)	V22=2
	A2・A4	C1		街渠特殊樹ブロック	300×970×1020(落葉対策蓋付)	V22=1
		C2		街渠特殊樹ブロック(浸透用)	300×970×1020(落葉対策蓋付)	V22=2
	A5	C1		街渠特殊樹ブロック	300×970×1020(T-14 細目グレーチング付)	V22=1
		C2		街渠特殊樹ブロック(浸透用)	300×970×1020(T-14 細目グレーチング付)	V22=2
	A6	C1		街渠特殊樹ブロック	300×970×1020(T-14 細目グレーチング付)	V22=1
		C2		街渠特殊樹ブロック(浸透用)	300×970×1020(T-14 細目グレーチング付)	V22=2

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1				A2	
		B条件	B1		B2		B1	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石	V1	—	8.4	—	9.6	—	8.4
②	基礎碎石	V2	—	—	9.6	—	—	—
③	コンクリート	V3	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
④	コンクリート	V4	—	—	5.18	5.13	—	—
⑥	街渠特殊樹ブロック	V5	10	10	—	—	10	10
⑦	透水性底ふた	V6	—	20	—	20	—	20
⑧	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑨	グレーチング 樹用	V8	—	—	10	10	—	—
⑩	受枠	V9	—	—	10	10	—	—
⑪	型枠	V10	—	—	58.2	58.2	—	—

⑭	集水樹据付	V11	10	10	—	—	10	10
⑮	落葉対策蓋	V12	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A2		A3			
		B条件	B2		B1		B2	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石	V1	—	9.6	—	8.4	—	9.6
②	基礎碎石	V2	9.6	—	—	—	9.6	—
③	コンクリート	V3	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
④	コンクリート	V4	5.18	5.13	—	—	5.13	5.13
⑥	街渠特殊樹ブロック	V5	—	—	10	10	—	—
⑦	透水性底ふた	V6	—	20	—	20	—	20
⑧	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑨	グレーチング 樹用	V8	—	—	—	—	10	10
⑩	受枠	V9	10	10	—	—	10	10
⑪	型枠	V10	58.2	58.2	—	—	58.2	58.2
⑭	集水樹据付	V11	—	—	10	10	—	—
⑮	落葉対策蓋	V12	10	10	—	—	—	—

	名称	A条件	A4		A5			
		B条件	B1		B2		B1	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石	V1	—	8.4	—	9.6	—	8.4
②	基礎碎石	V2	—	—	9.6	—	—	—
③	コンクリート	V3	0.25	0.25	0.25	0.25	0.21	0.21
④	コンクリート	V4	—	—	5.18	5.13	—	—
⑥	街渠特殊樹ブロック	V5	10	10	—	—	10	10
⑦	透水性底ふた	V6	—	20	—	20	—	20
⑧	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑨	グレーチング 樹用	V8	—	—	—	—	—	—
⑩	受枠	V9	—	—	10	10	—	—
⑪	型枠	V10	—	—	58.2	58.2	—	—
⑭	集水樹据付	V11	10	10	—	—	10	10
⑮	落葉対策蓋	V12	—	—	10	10	—	—

	名称	A条件	A6	
		B条件	B1	
		C条件	C1	C2
①	単粒度碎石	V1	—	8.4
②	基礎碎石	V2	—	—
③	コンクリート	V3	0.21	0.21
④	コンクリート	V4	—	—

⑥	街渠特殊柵ブロック	V5	10	10
⑦	透水性底ふた	V6	—	20
⑧	ラベル	V7	—	10
⑨	グレーチング 柵用	V8	—	—
⑩	受枠	V9	—	—
⑪	型枠	V10	—	—
⑭	集水柵据付	V11	10	10
⑮	落葉対策蓋	V12	—	—

5. 根拠

Ⅱ－2－②

Ⅱ－2－⑬－1

Ⅱ－4－①

Ⅱ－4－②－1

Ⅳ－2－⑤－1

名古屋市版施工単価内訳表

D00911	特殊柵	10か所当り	構造図 137・138・139 ・140・140-2	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ NP+4m以上の地盤高区域は浸透用を標準とするが下記の場合は禁止する。
 - (1)急傾斜地崩壊危険区域、地滑り防止区域、河川保全区域
 - (2)ため池堤防付近等地下へ雨水を浸透させることにより法面の安全性が損なわれるおそれのある地域

2. 条件表

A 街渠工の種類	A1	A-1
	A2	A-2
	A3	B-1
	A4	B-2
	A5	L形C用
B 柵の位置	B1	歩道側
	B2	側溝
C 柵の形態	C1	現場打ち
	C2	柵用ブロック
D 使用区分	D1	一般用
	D2	浸透用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
1	D00704	単粒度砕石(30～20mm)	厚0.2m	m2	V1	表3-1
2		基礎砕石	砕石厚0.1m、RC-40	m2	V2	表3-1
3		コンクリート	18-8-25BB	m3	V3	表3-1
4		コンクリート	18-8-25BB	m3	V4	表3-1
5		コンクリート	21-8-25BB	m3	V5	表3-1
6		樹用ブロック	A 4.5×30×60	個	V6	
7		樹用ブロック(まどあり)	B 4.5×30×22.5/20	個	V7	
8		街渠樹用境界ブロック(穴あき)	B 18/20.5×25×60	個	V8	
9		街渠樹用境界ブロック(穴あき)	C 18/21×30×60	個	V9	
10		街渠樹用ブロック	A 50.5×12×12	個	V10	
11		街渠樹用ブロック	B 38×12×12	個	V11	
12		街渠樹蓋	C 38×38×8	枚	V12	
13		特殊樹ブロック(粗目グレーチング)	L形側溝用 30×90×107.1	組	V13	
14		特殊樹ブロック(穴あき)	L形側溝用 300×900×107.1 並目グレーチング	個	V14	
15		透水性底ふた	Φ130 t=80mm	枚	V15	
16		ラベル	スコッチプリント 70×100mm	枚	V16	
17		グレーチング 樹用(チェーン付)	T-20並目 995×400×50	枚	V17	
18		受枠	1015×420 L-56×60×6	組	V17	
19		型枠	小型構造物	m2	V18	
20		型枠	小型構造物	m2	V19	
21		型枠	均しコンクリート	m2	1.9	
22	D00805	集水樹据付	据付、80-400kg、砕石有	基	V6	表3-1
23	D00805	集水樹据付	据付、50-80kg、砕石有	基	V7	表3-1
24		歩車道境界ブロック	据付	m	V20	表3-1
25		地先境界ブロック	据付	m	V21	表3-1
26	D00805	集水樹据付	据付、800-1200kg、砕石有	基	V22	表3-1
27	D00805	集水樹据付	据付、800-1200kg、砕石無	基	V23	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	D00704	単粒度砕石(30～20mm)	0.2								
2		基礎砕石	2	8							
3		コンクリート	2	4	41		2		2		
4		コンクリート	2	4	41		2		2		
5		コンクリート	1	4	20		2		2		
		型枠	1	2							
		型枠	1	2							
		型枠	1	5							
22	D00805	集水樹据付	1	2	1	1		1			
23	D00805	集水樹据付	1	1	2						
24		歩車道境界ブロック	2	5		2	6				
25		地先境界ブロック	2	4		2	6				
26	D00805	集水樹据付	1	4	1	1		1			

27	D00805	集水樹据付	1	4	2	1		1			

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5			
		B条件	B1	B1	B1	B1	B2			
		C条件	C2	C2	C2	C2	C1		C2	
		D条件	D1	D1	D1	D1	D1	D2	D1	D2
1	単粒度碎石(30~20mm)	V1	—	—	—	—	—	7.95	—	6.47
2	基礎碎石	V2	2.7	3.0	3.0	3.0	10.3	1.2	1.2	1.2
3	コンクリート	V3	0.17	0.17	0.26	0.26	—	—	—	—
4	コンクリート	V4	0.68	0.78	0.73	0.61	0.24	0.24	0.24	0.24
5	コンクリート	V5	—	—	—	—	5.15	5.15	—	—
6	樹用ブロック	V6	10	10	10	10	—	—	—	—
7	樹用ブロック(まどあり)	V7	10	10	10	10	—	—	—	—
8	街渠樹用境界ブロック(穴あき)	V8	10	10	—	—	—	—	—	—
9	街渠樹用境界ブロック(穴あき)	V9	—	—	10	10	—	—	—	—
10	街渠樹用ブロック	V10	20	20	20	20	—	—	—	—
11	街渠樹用ブロック	V11	10	10	10	10	—	—	—	—
12	街渠樹蓋	V12	10	10	10	10	—	—	—	—
13	特殊樹ブロック	V13	—	—	—	—	—	—	10	—
14	特殊樹ブロック(穴あき)	V14	—	—	—	—	—	—	—	10
15	透水性底ふた	V15	—	—	—	—	—	20	—	20
16	ラベル	V16	—	—	—	—	—	10	—	10
17	グレーチング樹用(チェーン付)	V17	—	—	—	—	10	10	—	—
18	受枠	V17	—	—	—	—	10	10	—	—
19	型枠	V18	1.4	1.5	1.8	1.6	—	—	—	—
20	型枠	V19	—	—	—	—	59.0	59.0	—	—
22	集水樹据付	V6	10	10	10	10	—	—	—	—
23	集水樹据付	V7	10	10	10	10	—	—	—	—
24	歩車道境界ブロック	V20	6	6	6	6	—	—	—	—
25	地先境界ブロック	V21	13.8	13.8	13.8	13.8	—	—	—	—
26	集水樹据付	V22	—	—	—	—	—	—	10	—
27	集水樹据付	V23	—	—	—	—	—	—	—	10

5. 根拠

II-2-②
 II-2-⑬-1
 II-4-①
 II-4-②-1
 IV-2-⑤-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00912	街渠柵(D)	10か所当り	構造図 136	H30. 10改定

1. 適用条件

・ コミュニティ道路の街渠柵に適用する。

2. 条件表

A 柵の深さ	A1	400mm
	A2	940mm
B 鉄溝蓋	B1	細目
	B2	並目

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		歩車道境界ブロック	D 18/19×13×60	個	10	
④		柵用ブロック	(1)30×30×50.5 受枠付	個	10	
⑤		柵用ブロック(穴あき)	(2)30×30×50	個	V3	
⑥		グレーチング 街渠柵D用(チェーン付)	(各種)	枚	10	表3-2
⑦		透水性底ふた	φ190 t=50mm	枚	10	
⑧		ラベル	スコッチプリント 70×100mm	枚	10	
⑨		型枠	均しコンクリート	m2	V4	
⑩	D00805	集水柵据付	基礎碎石無	基	10	表3-1
⑪	D00805	集水柵据付	基礎碎石無	基	V5	表3-1
⑫		歩車道境界ブロック		m	6	表3-1
⑬	D00704	単粒度碎石(30～20mm)	厚0.1m	m2	2.8	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
⑨		型枠	1	5							
⑩	D00805	集水柵据付	1	2	2	1		1			
⑪	D00805	集水柵据付	1	2	2	1		1			
⑫		歩車道境界ブロック	2	4		2	6				
⑬	D00704	単粒度碎石(30～20mm)	0.1								

3-2. グレーチングの種類

	B条件	コード	名称	規格
⑥	B1		グレーチング 街渠柵D用（チェーン付）	T-14細目 292×410×33
	B2		グレーチング 街渠柵D用（チェーン付）	T-14並目 292×410×38

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	基礎碎石	V1	0.6	0.9
②	コンクリート	V2	0.25	0.20
⑤	柵用ブロック(穴あき)	V3	—	10
⑨	型枠	V4	1.14	0.76
⑪	集水柵据付	V5	—	10

5. 根拠

II-2-②
 II-2-⑬-1
 II-4-①
 II-4-②-1
 IV-2-⑤-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00913	特殊街渠柵(A)	10か所当り	構造図 141	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 柵の深さ	A1	600mm(B交通)
	A2	600mm(C交通)
	A3	900mm(B交通)
	A4	900mm(C交通)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	7.5	表3-1
②		コンクリート	21・8・25BB	m3	V1	表3-1
③		歩車道境界ブロック	片面180/205×250×600(B)	個	14.9	
④		グレーチング特殊街渠柵A用(フェン付)	T-20並目 395×700×65	枚	10	
⑤		受枠	415×720 L-71×60×6	組	10	
⑥		型枠	小型構造物	m2	V2	表3-1
⑦		歩車道境界ブロック	据付	m	9.00	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
②		コンクリート	2	4	20		2		2		
⑥		型枠	1	2							
⑦		歩車道境界ブロック	2	5		2	6				

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
②	コンクリート	V1	2.97	3.02	4.10	4.14
⑥	型枠	V2	33.6	34.0	48.6	49.0

5. 根拠

Ⅱ-2-② / Ⅱ-2-⑬-1 / Ⅱ-4-① / Ⅱ-4-②-1 / Ⅳ-2-⑤-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00914	特殊街渠柵(B)	10か所当り	構造図 142-2	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ B、C交通用柵ブロック(H=600mm)。
- ・ 一般舗装及び排水性舗装のどちらにも適用できる。

2. 条件表

A 使用区分	A1	一般用
	A2	浸透用
B 歩車境界ブロック	B1	Bブロック
	B2	Cブロック
C 基礎コンクリート厚	C1	60mm(B交通)
	C2	110mm(C交通)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊街渠柵ブロック	650×900×750(グレーチング付)	個	V1	
②		ラベル	スコッチプリント 70×100mm	枚	V2	
③		透水性底ふた	φ190 t=50mm	枚	V3	
④		歩車道境界ブロック	片面 180/205×250×600(B)	個	V4	
⑤		歩車道境界ブロック	片面 180/210×300×600(C)	個	V5	
⑥		コンクリート	18-8-25BB	m3	V6	表3-1
⑦		円形空洞型枠	D200 T=5. 0	m	V7	
⑧		コンクリート	18-8-25BB	m3	V8	表3-1
⑨		型枠	均しコンクリート	m2	V10	表3-1
⑩	D00805	集水柵据付	据付,400-800kg以下,砕石有	基	V11	表3-1
⑪		歩車道境界ブロック	据付	m	V12	表3-1
⑫	D00805	集水柵据付	据付,400-800kg以下,砕石無	基	V13	表3-1
⑬	D00704	単粒度砕石(30～20mm)	厚0.2m	m2	V14	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑥		コンクリート	2	4	41		2		2		
⑧		コンクリート	2	4	41		2		2		
⑨		型枠	1	5							
⑩	D00805	集水樹据付	1	3	1	1		1			
⑪		歩車道境界ブロック	2	5		2	6				
⑫	D00805	集水樹据付	1	3	2	1		1			
⑬	D00704	単粒度砕石(30～20mm)	0.2								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1				A2			
		B条件	B1		B2		B1		B2	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	特殊街渠樹ブロック	V1	10	10	10	10	10	10	10	10
②	ラベル	V2	—	—	—	—	10	10	10	10
③	透水性底ふた	V3	—	—	—	—	10	10	10	10
④	歩車道境界ブロック	V4	14.9	14.9	—	—	14.9	14.9	—	—
⑤	歩車道境界ブロック	V5	—	—	14.9	14.9	—	—	14.9	14.9
⑥	小型構造物人力打設	V6	0.29	0.29	0.29	0.29	0.24	0.24	0.24	0.24
⑦	円形空洞型枠	V7	—	—	—	—	1.5	1.5	1.5	1.5
⑧	小型構造物人力打設	V8	0.05	0.10	0.06	0.11	0.05	0.10	0.06	0.11
⑨	型枠工	V10	0.54	0.99	0.54	0.99	0.54	0.99	0.54	0.99
⑩	集水樹据付	V11	10	10	10	10	—	—	—	—
⑪	歩車道境界ブロック	V12	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
⑫	集水樹据付	V13	—	—	—	—	10	10	10	10
⑬	単粒度砕石	V14	—	—	—	—	7.5	7.5	7.5	7.5

5. 根拠

Ⅱ-2-②

Ⅱ-2-⑬-1

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

Ⅳ-2-⑤-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00915	排水管布設	10m当り	構造図	H17.10改定

1. 適用条件

- ・ 人力による暗渠排水管敷設に適用する。
- ・ 排水管は硬質塩化ビニル管(VU管、TS片受直管)とし、切断ロスを含む。
- ・ 土工別途。
- ・ 下水道本管工事には適用しない。

2. 条件表

A 排水管径	A1	内径200mm
	A2	内径150mm
B 材質	B2	塩化ビニル管(VU)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		排水管	(各種)	人	10.1	表3-1
②		土木一般世話役		人	V1	
③		普通作業員		人	V2	

3-1. 排水管の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		硬質塩化ビニル管	VU-200 TS片受直管
	A2		硬質塩化ビニル管	VU-150 TS片受直管

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
②	土木一般世話役	V1	0.06	0.03
③	普通作業員	V2	0.18	0.09

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00916	排水管取付(街渠用)	10か所当り	構造図 107	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート		m3	0.14	表3-1
②		型枠		m2	1.9	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		コンクリート	2	4	41		2		2		
②		型枠	1	2							

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00920	L形側溝	100m当り	構造図 118	H30. 10改定

1. 適用条件

・ L形側溝に適用する。

2. 条件表

A 側溝の形態 L形側溝工	A1	B(250)
	A2	C-1(180)
	A3	C-2(180足付)
	A4	C-4(頭無し 180)
	A5	C-3(歩道用)
	A6	C-5(頭無し 歩道用)
B 基礎碎石の有無	B1	基礎碎石無
	B2	基礎碎石有

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	18-8-25BB	m3	V1	表3-1
②		コンクリートL形	(各種)	個・本	165	表3-2
③		型枠	均しコンクリート	m2	V2	表3-1
④	D00806	L形側溝据付	基礎碎石有	m	V3	表3-1
⑤	D00806	L形側溝据付	基礎碎石無	m	V4	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		型枠	1	5							
④	D00806	L形側溝据付	1	1	1		1				
⑤	D00806	L形側溝据付	1	2	1		1				

3-2. コンクリートL形の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		コンクリートL形	250B 450×175×600
	A2		コンクリートL形	180 330×140×600
	A3		コンクリートL形(鉄筋脚付)	180 330×140×600
	A4		コンクリートL形(頭なし)	180 255×114×600
	A5		コンクリートL形(歩道用)	255 330×150×600
	A6		コンクリートL形(頭なし、歩道用)	255 255×100×600

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	コンクリート	V1	$0.45 \times 0.1 \times 100$	$0.33 \times 0.1 \times 100$	—
③	型枠	V2	0.2×100	0.2×100	—

	名称	A条件	A4	A5	A6
①	コンクリート	V1	$0.255 \times 0.1 \times 100$	$0.33 \times 0.1 \times 100$	$0.255 \times 0.1 \times 100$
③	型枠	V2	0.2×100	0.2×100	0.2×100

	名称	B条件	B1	B2
④	L形側溝据付(基礎碎石有)	V3	—	100
⑤	L形側溝据付(基礎碎石無)	V4	100	—

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬-1

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00921	U形側溝B・U形側溝C	100m当り	構造図 120・121	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 道路用鉄筋コンクリート側溝の1種・3種に適用する。 ・ 砕石基礎工有の場合は砕石厚10cmとしそれ以外の厚さとする場合は別途考慮すること。

2. 条件表

A 側溝の区分	A1	道路用250
	A2	道路用300A
	A3	道路用300B
	A4	道路用300C
	A5	道路用400A
	A6	道路用400B
	A7	道路用500A
	A8	道路用500B
B 1種3種の区分	B1	1種
	B2	3種
C 基礎砕石工の有無	C1	有
	C2	無

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		U型側溝[標準単価]		m	100	表3-1
②		再生クラッシャーラン	RC-40	m3	V1	
③		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-2
④		型枠	均しコンクリート	m2	20	表3-2

3-1. 「U型側溝[標準単価]」の子単価条件

A条件	B条件	C条件	A	B	C	D	E	H	I	J	K	L
A1	B1	C1	1	1	1	2	9	1	1	1	5	0
A1	B1	C2	1	1	1	2	9	1	1	2		
A1	B2	C1	1	1	1	3	17	1	1	1	5	0
A1	B2	C2	1	1	1	3	17	1	1	2		
A2	B1	C1	1	1	1	2	10	1	1	1	5	0
A2	B1	C2	1	1	1	2	10	1	1	2		
A2	B2	C1	1	1	1	3	18	1	1	1	5	0
A2	B2	C2	1	1	1	3	18	1	1	2		

A3	B1	C1	1	1	1	2	11	1	1	1	5	0
A3	B1	C2	1	1	1	2	11	1	1	2		
A3	B2	C1	1	1	1	3	19	1	1	1	5	0
A3	B2	C2	1	1	1	3	19	1	1	2		
A4	B1	C1	1	1	1	2	12	1	1	1	5	0
A4	B1	C2	1	1	1	2	12	1	1	2		
A4	B2	C1	1	1	1	3	20	1	1	1	5	0
A4	B2	C2	1	1	1	3	20	1	1	2		
A5	B1	C1	1	1	1	2	13	1	1	1	5	0
A5	B1	C2	1	1	1	2	13	1	1	2		
A5	B2	C1	1	1	1	3	21	1	1	1	5	0
A5	B2	C2	1	1	1	3	21	1	1	2		
A6	B1	C1	1	1	1	2	14	1	1	1	5	0
A6	B1	C2	1	1	1	2	14	1	1	2		
A6	B2	C1	1	1	1	3	22	1	1	1	5	0
A6	B2	C2	1	1	1	3	22	1	1	2		
A7	B1	C1	1	1	1	2	15	1	1	1	5	0
A7	B1	C2	1	1	1	2	15	1	1	2		
A7	B2	C1	1	1	1	3	23	1	1	1	5	0
A7	B2	C2	1	1	1	3	23	1	1	2		
A8	B1	C1	1	1	1	2	16	1	1	1	5	0
A8	B1	C2	1	1	1	2	16	1	1	2		
A8	B2	C1	1	1	1	3	24	1	1	1	5	0
A8	B2	C2	1	1	1	3	24	1	1	2		

3-2. 「コンクリート」の子単価条件

	コード	名称	A	B	C	E	G	M
③		コンクリート	2	4	41	2	2	1

3-3. 「型枠」の子単価条件

	コード	名称	A	B
④		型枠	1	5

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A1	A2	A2	A3	A3	A4	A4
		B条件	B1	B2	B1	B2	B1	B2	B1	B2
②	再生クラッシャーラン	V1	5.4	5.52	6	6.24	6	6.24	6	6.24
③	コンクリート	V2	4.5	4.6	5	5.2	5	5.2	5	5.2

	名称	A条件	A5	A5	A6	A6	A7	A7	A8	A8
		B条件	B1	B2	B1	B2	B1	B2	B1	B2
②	再生クラッシャーラン	V1	7.2	7.56	7.2	7.56	8.64	9	8.64	9

③	コンクリート	V2	6	6.3	6	6.3	7.2	7.5	7.2	7.5

5. 根拠

Ⅵ-2-⑪ / Ⅱ-4-① / Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00922	U形側溝A	100m当り	構造図 119	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 砕石基礎工有の場合は砕石厚10cmとし、それ以外の厚さとする場合は別途考慮すること。

2. 条件表

			(子単価条件)
A 側溝の区分	A1	240	V3=1
	A2	300B	V3=3
	A3	300C	V3=4
	A4	360B	V3=6
	A5	450	V3=7
	A6	600	V3=8
B 基礎砕石工の有無	B1	有	
	B2	無	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		U型側溝[標準単価]		m	100	表3-1
②		再生クラッシャーラン	RC-40	m3	V1	
③		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
④		型枠	均しコンクリート	m2	20	表3-1

3-1. 子単価条件

	条件	コード	名称	A	B	C	D	E	G	H	I	J	K	L	M
①	B1		U型側溝[標準単価]	1	1	1	1	V3		1	1	1	5	0	
	B2		U型側溝[標準単価]	1	1	1	1	V3		1	1	2			
③	—		コンクリート	2	4	41		2	2						1
④	—		型枠	1	5										

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
②	再生クラッシャーラン	V1	4.56	5.4	5.4	6.12	7.32	9.48
③	コンクリート	V2	3.3	4	4	4.6	5.6	7.4

5. 根拠

VI-2-⑪

名古屋市版施工単価内訳表

D00923	U形側溝(180)	100m当り	構造図 119	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 砕石基礎工有の場合は砕石厚10cmとし、それ以外の厚さとする場合は別途考慮すること。

2. 条件表

A 基礎砕石工の有無	A1	有
	A2	無

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		鉄筋コンクリートU形	180 18×18×60	個	165	
②		再生クラッシャーラン	RC-40	m3	V1	
③		コンクリート	18-8-25BB	m3	2.5	表3-1
④		型枠	均しコンクリート	m2	20	表3-1
⑤		排水構造物工 U型側溝	L600 60kg 以下	m	100	標準単価※

※ A2選択時 : 標準単価×0.87

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	E	G	M
③		コンクリート	2	4	41	2	2	1
④		型枠	1	5				

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
②	再生クラッシャーラン	V1	3.6	—

5. 根拠

VI-2-⑰

名古屋市版施工単価内訳表

D00925	横断暗渠(A)	10m当り	構造図 126	R05.10改定

1. 適用条件

- ・横断暗渠ブロックの寸法については内寸は統一されているが、外寸はメーカーごとに不統一である。ここは構造図の参考値をもとに積算してある。
- ・標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 暗渠ブロックの種類	A1	T-25 240
	A2	T-25 300
	A3	T-25 360
	A4	T-25 450
B 賃料補正	B1	;標準(長期割引適用)
	B2	;標準以外
C 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.15m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		モルタル練		m3	V3	表3-1
④		暗渠ブロック	(各種)	本	10	表3-2
⑤		型枠	均しコンクリート	m2	2	表3-1
⑥		土木一般世話役		人	0.3	
⑦		特殊作業員		人	0.3	
⑧		普通作業員		人	1.1	
⑨		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	0.6	
⑩		諸雑費		%	7	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	3	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		モルタル練	1	1							
⑤		型枠	1	5							

3-2. 暗渠ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		暗渠ブロック	240×240×1000mm T=25
	A2		暗渠ブロック	300×300×1000mm T=25
	A3		暗渠ブロック	360×360×1000mm T=25
	A4		暗渠ブロック	450×450×1000mm T=25

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	基礎砕石	V1	4.6	5.4	6	7.1
②	コンクリート	V2	0.36	0.44	0.50	0.61
③	モルタル練	V3	0.07	0.09	0.10	0.12

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬-2

Ⅱ-2-②

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00927	横断グレーチング	10m当り	構造図 127	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 種類	A1	Aタイプ（幅25cm）
	A2	Bタイプ（幅30cm,深さ30cm用）
	A3	B-1タイプ（幅30cm,深さ36cm用）
	A4	Cタイプ（幅35cm）
	A5	Dタイプ（幅45cm）

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.1m, RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		グレーチング(ボルト固定式)横断側溝用	(各種)	枚	10	表3-2
④		受枠	(各種)	組	10	表3-3
⑤		型枠	小型構造物	m2	V3	表3-1
⑥		排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	40を超え170kg以下	枚	10	標準単価

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	E	G	M
①		基礎碎石	2	8	1			
②		コンクリート	2	4	41	2	2	1
⑤		型枠	1	2				

3-2. グレーチングの種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1		グレーチング(ボルト固定式)横断側溝250用	T-20並目 995×350×50
	A2・A3		グレーチング(ボルト固定式)横断側溝300用	T-20並目 995×400×55
	A4		グレーチング(ボルト固定式)横断側溝350用	T-20並目 995×450×60
	A5		グレーチング(ボルト固定式)横断側溝450用	T-20並目 995×550×75

3-3. 受枠の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		受枠	長1000mm L-66×60×6
	A2・A3		受枠	長1000mm L-71×60×6
	A4		受枠	長1000mm L-76×60×6
	A5		受枠	長1000mm L-91×60×6

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
①	基礎砕石	V1	7.5	8	8	8.5	9.5
②	コンクリート	V2	2.2	2.51	2.75	2.82	3.37
⑤	型枠	V3	14.8	17.1	19.5	19.4	23.3

5. 根拠

Ⅱ-2-②

Ⅱ-4-①

Ⅵ-2-⑪

名古屋市版施工単価内訳表

D00928	電柱除けU形側溝工 (蓋含む)	1箇所当り	構造図 121-2	R01.5.1新規

1. 適用条件

- ・ 電柱除けU形側溝に適用する。
- ・ 砕石基礎工有の場合は砕石厚10cmとしそれ以外の厚さとする場合は別途考慮すること。
- ・ 蓋の設置を含むものとする。

2. 条件表

A 側溝と蓋の区分	A1	電柱除けU形側溝 250 電柱除けU形側溝用蓋 250用
	A2	電柱除けU形側溝 300A 電柱除けU形側溝用蓋 300用
	A3	電柱除けU形側溝 300B 電柱除けU形側溝用蓋 300用
	A4	電柱除けU形側溝 300C 電柱除けU形側溝用蓋 300用
B 基礎砕石の有無	B1	有
	B2	無

3. 单侧表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00804	プレキャストコンクリート製品布設 (80kg 超え 2200kg 以下)		基	4	表3-1
②		蓋版コンクリート・鋼製	40kg 以下	枚	8	
③		電柱除けU形側溝		個	4	表3-2
④		電柱除けU形側溝用蓋		枚	8	表3-2
⑤		基礎砕石	RC-40	m2	V1	
⑥		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
⑦		型枠		m2	0.56	表3-1

3-1. 子单価条件

[illegible]

3-2. 側溝と蓋の種類

	A条件	名称	名称	規格
②	A1		電柱除けU形側溝 250	250×250×702
			電柱除けU形側溝用蓋 250用	36.2×9×35.1
	A2		電柱除けU形側溝 300A	300×300×702
			電柱除けU形側溝用蓋 300用	41.2×9×35.1
	A3		電柱除けU形側溝 300B	300×400×702
			電柱除けU形側溝用蓋 300用	41.2×9×35.1
	A4		電柱除けU形側溝 300C	300×500×702
			電柱除けU形側溝用蓋 300用	41.2×9×35.1

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2		A3		A4	
		B条件	B1	B2	B1	B2	B1	B2	B1	B2
⑤	基礎碎石	V1	1.300	—	1.500	—	1.500	—	1.500	—
⑥	コンクリート	V2	0.130	0.130	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00930	L形側溝柵	10か所当り	構造図 145・145-2・ ・145-3・146 ・146-2	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ L形側溝柵工に適用する。
- ・ L形柵上部ブロック(鉄枠共)を使用する柵である。
- ・ NP+4m以上の地盤高区域は浸透用を標準とするが、下記の場合は禁止する。
 - 1.急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、河川保全区域
 - 2.ため池堤防付近など、地下へ雨水を浸透させることにより法面の安全性が損なわれる恐れのある区域

2. 条件表

A 側溝形状	A1	C-3(T-14 並目)
	A2	C-2(T-14 細目)
	A3	C-5 歩道用(T-2 細目)
	A4	C-6 歩道用(T-14 細目)
B 嵩上げ高	B1	嵩上 20cm
	B2	嵩上 10cm
	B3	嵩上無
C 使用区分	C1	一般用
	C2	浸透用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00704	単粒度碎石(30～20mm)	厚 0.1m	m2	V1	
②		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	V2	表3-1
③		コンクリート	18-8-25BB	m3	V3	表3-1
④		モルタル練		m3	V4	表3-1
⑤		柵用ブロック	(各種)	個	10	表3-2
⑥		柵用ブロック	(各種)	個	V5	表3-3
⑦		L形柵上部ブロック	(各種)	個	10	表3-4
⑧		鉄溝蓋	(各種)	枚	10	表3-5
⑨		透水性底ふた	φ190 t=50mm	枚	V6	
⑩		ラベル	スコッチプリント 70×100mm	枚	V7	
⑪		型枠	均しコンクリート	m2	V8	表3-1
⑫	D00805	集水柵据付	基礎碎石有	基	V9	表3-1
⑬	D00805	集水柵据付	基礎碎石無	基	V10	表3-1
⑭	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	か所	V11	表3-1
⑮	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	か所	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D00704	単粒度碎石(30～20mm)	0.1								
②		基礎碎石	2	8							
③		コンクリート	2	4	41		2		2		
④		モルタル練	1	1							
⑪		型枠	1	5							
⑫	D00805	集水桝据付	1	2	1	1		1			
⑬	D00805	集水桝据付	1	2	2	1		1			
⑭	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								
⑮	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. 桝用ブロックの種類

	C条件	コード	名称	規格
⑤	C1		桝用ブロック	A 4. 5×30×60
	C2		桝用ブロック(穴あき)	(2)30×30×50

3-3. 桝用ブロックの種類

	B条件	C条件	コード	名称	規格
⑥	B1	C1		桝用ブロック	D 4. 5×30×20
	B1	C2		桝用ブロック(浸透用)	D 6. 5×30×20
	B2	C1		桝用ブロック	F 4. 5×30×10
	B2	C2		桝用ブロック(浸透用)	F 6. 5×30×10

3-4. L形桝上部ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
⑦	A1・A2		L形桝上部ブロック	450×600×185/159(受枠含、グレーチング別)
	A3・A4		L形桝上部ブロック	425×600×150/104(受枠含、グレーチング別)

3-5. 鉄溝蓋の種類

	A条件	コード	名称	規格
⑧	A1		グレーチング L 形側溝桝用 (チェーン付)	T-14 並目 320×340×38
	A2		グレーチング L 形側溝桝用 (チェーン付)	T-14 細目 320×340×38
	A3		グレーチング L 形側溝桝用 (チェーン付)	T-2 細目 292×390×25 ノンスリップ°
	A4		グレーチング L 形側溝桝用 (チェーン付)	T-14 細目 290×390×25 ノンスリップ°

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石(30～20mm)	V1	—	2.5	—	2.5	—	2.5
②	基礎碎石	V2	1.3	—	1.3	—	1.3	—
③	コンクリート	V3	0.13	—	0.13	—	0.13	—
④	モルタル練	V4	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
⑥	樹用ブロック	V5	10	10	10	10	—	—
⑨	透水性底ふた	V6	—	10	—	10	—	10
⑩	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑪	型枠	V8	1.8	—	1.8	—	1.8	—
⑫	集水樹据付	V9	10	—	10	—	10	—
⑬	集水樹据付	V10	—	10	—	10	—	10
⑭	プレキャストコンクリート製品布設	V11	10	10	10	10	—	—

	名称	A条件	A2					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石(30～20mm)	V1	—	2.5	—	2.5	—	2.5
②	基礎碎石	V2	1.3	—	1.3	—	1.3	—
③	コンクリート	V3	0.13	—	0.13	—	0.13	—
④	モルタル練工	V4	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
⑥	樹用ブロック	V5	10	10	10	10	—	—
⑨	透水性底ふた	V6	—	10	—	10	—	10
⑩	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑪	型枠	V8	1.8	—	1.8	—	1.8	—
⑫	集水樹据付	V9	10	—	10	—	10	—
⑬	集水樹据付	V10	—	10	—	10	—	10
⑭	プレキャストコンクリート製品布設	V11	10	10	10	10	—	—

	名称	A条件	A3					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石(30～20mm)	V1	—	2.5	—	2.5	—	2.5
②	基礎碎石	V2	—	—	—	—	—	—
③	コンクリート	V3	—	—	—	—	—	—
④	モルタル練	V4	0.04	0.02	0.04	0.02	0.04	0.02
⑥	樹用ブロック	V5	10	10	10	10	—	—
⑨	透水性底ふた	V6	—	10	—	10	—	10
⑩	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑪	型枠	V8	—	—	—	—	—	—
⑫	集水樹据付	V9	10	—	10	—	10	—
⑬	集水樹据付	V10	—	10	—	10	—	10
⑭	プレキャストコンクリート製品布設	V11	10	10	10	10	—	—

	名称	A条件	A4					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石(30～20mm)	V1	—	2.5	—	2.5	—	2.5
②	基礎碎石	V2	—	—	—	—	—	—
③	コンクリート	V3	—	—	—	—	—	—
④	モルタル練	V4	0.04	0.02	0.04	0.02	0.04	0.02
⑥	樹用ブロック	V5	10	10	10	10	—	—
⑨	透水性底ふた	V6	—	10	—	10	—	10
⑩	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑪	型枠	V8	—	—	—	—	—	—
⑫	集水樹据付	V9	10	—	10	—	10	—
⑬	集水樹据付	V10	—	10	—	10	—	10
⑭	プレキャストコンクリート製品布設	V11	10	10	10	10	—	—

5. 根拠

Ⅱ－2－⑬－1

Ⅱ－2－②

Ⅱ－4－①

Ⅱ－4－②－1

名古屋市版施工単価内訳表

D00932	L形側溝柵上部	10か所当り	構造図 147	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ L形側溝柵の嵩上げに適用する。
- ・ 既設柵の撤去処理は別途計上する。

2. 条件表

A 側溝形状	A1	L柵上部ブロック(鉄蓋並目)
	A2	L柵上部ブロック(鉄蓋細目)
B 嵩上高さ	B1	無(基礎Co無)
	B2	無(基礎Co有)
	B3	5cm
	B4	10cm
	B5	20cm
	B6	30cm
	B7	40cm
	B8	50cm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎砕石		m2	V1	表3-1
②		コンクリート	小型構造物	m3	V2	表3-1
③		モルタル練		m3	0.04	表3-1
④		L形柵上部ブロック	450×600×185/159 (受枠含、グレーチング別)	個	10	
⑤		柵用ブロック	D 4. 5×30×20	個	V3	
⑥		柵用ブロック	E 4. 5×30×30	個	V4	
⑦		柵用ブロック	F 4. 5×30×10	個	V5	
⑧		グレーチング L形側溝柵用	(各種)	枚	10	表3-2
⑨		型枠	均しコンクリート	m2	V6	表3-1
⑩	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg以下)	か所	10	表3-1
⑪	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg以下)	か所	V7	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎砕石	2	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		モルタル練	1	1							
⑨		型枠	1	5							
⑩	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								
⑪	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. グレーチングの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		グレーチング L形側溝柵用 (チェーン付)	T-14並目 320×340×38
	A2		グレーチング L形側溝柵用 (チェーン付)	T-14細目 320×340×38

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8
①	基礎砕石工	V1	—	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
②	コンクリート	V2	—	0.15	0.18	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
⑤	柵用ブロック(D)	V3	—	—	—	—	10	—	20	10
⑥	柵用ブロック(E)	V4	—	—	—	—	—	10	—	10
⑦	柵用ブロック(F)	V5	—	—	—	10	—	—	—	—
⑨	型枠	V6	—	1.2	1.8	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
⑪	プレキャストコンクリート製品布設	V7	—	—	—	10	10	10	20	20

5. 根拠

Ⅱ-2-②

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00935	側溝柵C移設	10か所当り	構造図 145	R05.10改定

1. 適用条件

・ L形側溝柵C-3(一般用)移設に適用する。

2. 条件表

A グレーチング・柵蓋	A1	新材(並目)
	A2	発生品

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	10cm RC-40	m2	1.4	表3-1
②		コンクリート	18-8-25(高炉)	m3	0.14	表3-1
③		モルタル練		m3	0.04	表3-1
④		柵用ブロック(発生品)	A 4. 5×30×60	個	10	
⑤		柵用ブロック	D 4. 5×30×20	個	10	
⑥		L形柵上部ブロック	450×600×185/159 (受枠含、グレーチング別)	個	10	
⑦		グレーチング・柵蓋		枚	10	表3-2
⑧		型枠	均しコンクリート	m2	1.8	表3-1
⑨	D00805	集水柵据付	据付・撤去、基礎碎石有	基	10	表3-1
⑩	D00802	プレキャストコンクリート製品布設(80kg以下)		か所	10	表3-1
⑪	D00802	プレキャストコンクリート製品布設(80kg以下)		か所	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		モルタル練	1	1							
⑧		型枠	1	5							
⑨	D00805	集水柵据付	3	2	1	1		1			
⑩	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								
⑪	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. グレーチング・柵蓋の種類

	A条件	コード	名称	規格
⑦	A1		グレーチングL形側溝柵用(チェーン付)	T-14並目 320×340×38
	A2		側溝柵蓋(発生品)	34×32×5

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬-1 / Ⅱ-2-② / Ⅱ-4-① / Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00938	雨水樹(C)	10か所当り	構造図 151・152・153	R04.10改定

1. 適用条件

- ・ U形側溝(A)用の雨水樹(C)に適用する。
- ・ グレーチングを含む。

2. 条件表

A 用途(側溝形状)	A1	U-240用
	A2	U-300用
B グレーチング蓋	B1	車道用(T-14並目)
	B2	歩道用(T-2細目)
	B3	歩車道乗入部(T-14細目)
	B4	車道用(T-20並目)
C 使用区分	C1	一般用
	C2	浸透用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		雨水樹ブロック		個	10	表3-2
②		グレーチング		枚	V1	表3-3
③	D00704	単粒度砕石(30~20mm)	厚0.2m	m2	V2	表3-1
④		透水性底ふた	φ130 t=80mm	枚	V3	
⑤		浸透樹ラベル	40×100mm	枚	V4	
⑥	D00805	集水樹据付		基	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A条件	C条件	A	B	C	D	E	F
③	D00704	単粒度砕石(30~20mm)	—	—	0.2					
⑥	D00805	集水樹据付	A1	C1	1	3	1	1		1
				C2	1	3	2	1		1
			A2	C1	1	4	1	1		1
				C2	1	4	2	1		1

3-2. 雨水樹ブロックの種類

	A条件	C条件	コード	名称	規格
①	A1	C1		雨水樹ブロックC	240用
		C2		雨水樹ブロックC(浸透用)	240用
	A2	C1		雨水樹ブロックC	300用
		C2		雨水樹ブロックC(浸透用)	300用

3-3. グレーチングの種類

A条件	B条件	②グレーチング	
		コード	規格
A1	B1		T-14 並目 995×450×50
	B2		T-2 細目 997×450×25/50
	B3		T-14 細目 494×450×38/50
	B4		T-20 並目 995×450×50
A2	B1		T-14 並目 995×500×50
	B2		T-2 細目 997×500×25/50
	B3		T-14 細目 494×500×38/50
	B4		T-20 並目 995×500×50

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1							
		B条件	B1		B2		B3		B4	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2
②	グレーチング	V1	10	10	10	10	20	20	10	10
③	単粒度碎石(30～20mm)	V2	—	7.72	—	7.72	—	7.72	—	7.72
④	透水性底ふた	V3	—	20	—	20	—	20	—	20
⑤	浸透柵ラベル	V4	—	10	—	10	—	10	—	10

	名称	A条件	A2							
		B条件	B1		B2		B3		B4	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2
②	グレーチング	V1	10	10	10	10	20	20	10	10
③	単粒度碎石(30～20mm)	V2	—	8.33	—	8.33	—	8.33	—	8.33
④	透水性底ふた	V3	—	20	—	20	—	20	—	20
⑤	浸透柵ラベル	V4	—	10	—	10	—	10	—	10

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬-1

Ⅱ-2-②

名古屋市版施工単価内訳表

D00939	雨水樹(D)	10か所当り	構造図 154・155・156	H22.10改定

1. 適用条件

- ・ U形側溝(B)(C)用の雨水樹(D)に適用する。
- ・ グレーチングを含む。

2. 条件表

A 用途(側溝形状)	A1	U-250用
	A2	U-300用
	A3	U-400用
	A4	U-500用
B グレーチング蓋	B1	車道用(T-20並目)
	B2	歩道用(T-2細目)
	B3	歩車道乗入部(T-14細目)
	B4	車道用(T-14並目)
C 使用区分	C1	一般用
	C2	浸透用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		雨水樹ブロックD		個	10	表3-2
②		グレーチング		枚	V1	表3-3
③		グレーチング		枚	V2	表3-3
④	D00704	単粒度砕石(30~20mm)	厚0.2m	m2	V3	表3-1
⑤		透水性底ふた	φ130 t=80mm	枚	V4	
⑥		浸透樹ラベル	40×100mm	枚	V5	
⑦	D00805	集水樹据付		基	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A条件	C条件	A	B	C	D	E	F
④	D00704	単粒度砕石(30~20mm)	—	—	0.2					
⑦	D00805	集水樹据付	A1	C1	1	2	1	1		1
				C2	1	2	2	1		1
			A2	C1	1	3	1	1		1
				C2	1	3	2	1		1
			A3	C1	1	3	1	1		1
				C2	1	3	2	1		1
			A4	C1	1	3	1	1		1
				C2	1	3	2	1		1

3-2. 雨水樹ブロックの種類

	A条件	C条件	コード	名称	規格
①	A1	C1		雨水樹ブロックD	250用
		C2		雨水樹ブロックD(浸透用)	250用
	A2	C1		雨水樹ブロックD	300用
		C2		雨水樹ブロックD(浸透用)	300用
	A3	C1		雨水樹ブロックD	400用
		C2		雨水樹ブロックD(浸透用)	400用
	A4	C1		雨水樹ブロックD	500用
		C2		雨水樹ブロックD(浸透用)	500用

3-3. グレーチングの種類

A条件	B条件	②グレーチング		③グレーチング	
		コード	規格	コード	規格
A1	B1		T-20並目965×350×44/50		—
	B2		T-2細目972×350×45/50		—
	B3		T-14細目972×350×44/50		—
	B4		T-14並目965×350×44/50		—
A2	B1		T-20並目960×400×50/56		—
	B2		T-2細目972×400×50/56		—
	B3		T-14細目972×400×48/56		—
	B4		T-14並目960×400×50/56		—
A3	B1		T-20並目960×500×55/61		—
	B2		T-2細目972×500×55/61		—
	B3		T-14細目485×500×54/61		—
	B4		T-14並目960×500×55/61		—
A4	B1		T-20並目466×600×75/81		T-20並目501×600×75/81
	B2		T-2細目972×600×75/81		—
	B3		T-14細目485×600×75/81		—
	B4		T-14並目466×600×75/81		T-14並目501×600×75/81

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1							
		B条件	B1		B2		B3		B4	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2
②	グレーチング	V1	10	10	10	10	10	10	10	10
③	グレーチング	V2	—	—	—	—	—	—	—	—
④	単粒度碎石(30～20mm)	V3	—	5.5	—	5.5	—	5.5	—	5.5
⑤	透水性底ふた	V4	—	20	—	20	—	20	—	20
⑥	浸透樹ラベル	V5	—	10	—	10	—	10	—	10

	名称	A条件	A2							
		B条件	B1		B2		B3		B4	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2
②	グレーチング	V1	10	10	10	10	10	10	10	10
③	グレーチング	V2	—	—	—	—	—	—	—	—
④	単粒度碎石(30～20mm)	V3	—	6.055	—	6.055	—	6.055	—	6.055
⑤	透水性底ふた	V4	—	20	—	20	—	20	—	20
⑥	浸透樹ラベル	V5	—	10	—	10	—	10	—	10

	名称	A条件	A3							
		B条件	B1		B2		B3		B4	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2
②	グレーチング	V1	10	10	10	10	20	20	10	10
③	グレーチング	V2	—	—	—	—	—	—	—	—
④	単粒度碎石(30～20mm)	V3	—	7.15	—	7.15	—	7.15	—	7.15
⑤	透水性底ふた	V4	—	20	—	20	—	20	—	20
⑥	浸透柵ラベル	V5	—	10	—	10	—	10	—	10

	名称	A条件	A4							
		B条件	B1		B2		B3		B4	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2	C1	C2
②	グレーチング	V1	10	10	10	10	20	20	10	10
③	グレーチング	V2	10	10	—	—	—	—	10	10
④	単粒度碎石(30～20mm)	V3	—	8.25	—	8.25	—	8.25	—	8.25
⑤	透水性底ふた	V4	—	20	—	20	—	20	—	20
⑥	浸透柵ラベル	V5	—	10	—	10	—	10	—	10

5. 根拠

Ⅱ－2－⑬－1

Ⅱ－2－②

名古屋市版施工単価内訳表

D00942	自由勾配側溝	100m当り	構造図 170	H30.6改定

1. 適用条件

- ・ 自由勾配側溝に適用する。
- ・ 標準単価方式を適用する。
- ・ 基礎砕石有の場合は厚10cmとし、それ以外は別途考慮すること。

2. 条件表

A 側溝の区分	A1	300×300(300×300×2000)	(加算率・補正係数)
	A2	300×400(300×400×2000)	
	A3	300×500(300×500×2000)	
	A4	300×600(300×600×2000)	
	A5	300×700(300×700×2000)	
	A6	300×800(300×800×2000)	
	A7	400×400(400×400×2000)	
	A8	400×500(400×500×2000)	
	A9	400×600(400×600×2000)	
	A10	400×700(400×700×2000)	
	A11	400×800(400×800×2000)	
	A12	500×500(500×500×2000)	
	A13	500×600(500×600×2000)	
	A14	500×700(500×700×2000)	
	A15	500×800(500×800×2000)	
B 基礎砕石の有無	B1	基礎砕石有	K4=0.87
	B2	基礎砕石無	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		生コンクリート	18-8-25(20) 高炉	m3	V1	
②		再生クラッシャラン	RC-40	m3	V2	B1選択時のみ計上
③		排水構造物工 自由勾配側溝	L2000 1000kg以下	m	100	標準単価※
④		自由勾配側溝	(各種)	本	50	表3-1

※ 設計単価＝標準単価×K4

3-1. 自由勾配側溝の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		自由勾配側溝 300×300	300×300×2000
	A2		自由勾配側溝 300×400	300×400×2000
	A3		自由勾配側溝 300×500	300×500×2000

	A4		自由勾配側溝 300×600	300×600×2000
	A5		自由勾配側溝 300×700	300×700×2000
	A6		自由勾配側溝 300×800	300×800×2000
	A7		自由勾配側溝 400×400	400×400×2000
	A8		自由勾配側溝 400×500	400×500×2000
	A9		自由勾配側溝 400×600	400×600×2000
	A10		自由勾配側溝 400×700	400×700×2000
	A11		自由勾配側溝 400×800	400×800×2000
	A12		自由勾配側溝 500×500	500×500×2000
	A13		自由勾配側溝 500×600	500×600×2000
	A14		自由勾配側溝 500×700	500×700×2000
	A15		自由勾配側溝 500×800	500×800×2000

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1～A6	A7～A11	A12～A15
①	生コンクリート	V1	$0.5 \times 0.1 \times 100 \times 1.06$	$0.61 \times 0.1 \times 100 \times 1.06$	$0.72 \times 0.1 \times 100 \times 1.06$
②	再生クラッシュラン	V2	$0.5 \times 0.1 \times 100 \times 1.2 \times \sqrt{3}$	$0.61 \times 0.1 \times 100 \times 1.2 \times \sqrt{3}$	$0.72 \times 0.1 \times 100 \times 1.2 \times \sqrt{3}$

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D00954	横断暗渠(B)	10m当り	構造図 126-2	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 横断暗渠の据付作業に適用する。
- ・ 横断暗渠ブロックの寸法については、内寸は統一されているが外寸はメーカー毎に不統一である。よって、ここでは共通構造図の参考値をもとに積算してある。
- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 暗渠ブロックの種類	A1	250
	A2	300A
	A3	300B
	A4	300C
	A5	400A
	A6	400B
	A7	500A
	A8	500B
B 賃料補正	B1	;標準(長期割引適用)
	B2	;標準以外
C 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.15m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		モルタル練		m3	V3	表3-1
④		横断暗渠	(各種)	本	10	表3-2
⑤		型枠	均しコンクリート	m2	2	表3-1
⑥		土木一般世話役		人	0.3	
⑦		特殊作業員		人	0.3	
⑧		普通作業員		人	1.1	
⑨		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日	0.6	
⑩		諸雑費		%	7	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎砕石	3	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		モルタル練	1	1							
⑤		型枠	1	5							

3-2. 横断暗渠の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		横断暗渠250 T-25	250×240×1000
	A2		横断暗渠300A T-25	300×290×1000
	A3		横断暗渠300B T-25	300×390×1000
	A4		横断暗渠300C T-25	300×490×1000
	A5		横断暗渠400A T-25	400×390×1000
	A6		横断暗渠400B T-25	400×490×1000
	A7		横断暗渠500A T-25	500×490×1000
	A8		横断暗渠500B T-25	500×590×1000

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8
①	基礎砕石	V1	5	5.5	5.5	5.5	6.7	6.7	8	8
②	コンクリート	V2	0.40	0.45	0.45	0.45	0.57	0.57	0.67	0.67
③	モルタル練	V3	0.09	0.10	0.10	0.10	0.13	0.13	0.15	0.15

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬-2

Ⅱ-2-②

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00956	横断グレーチング(E)	10m当り	構造図 127-2・127-3	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 標準単価を用いた横断グレーチング工Eの積算に適用する。
- ・ 標準単価の加算・補正が必要な場合(時間的制約あり、夜間作業あり、などの場合)は別途考慮すること。

2. 条件表

A 側溝の区分	A1	道路用250
	A2	道路用300A
	A3	道路用300B
	A4	道路用300C
	A5	道路用400A
	A6	道路用400B
B 並目・細目の区分	B1	並目
	B2	細目

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		排水構造物工 U型側溝	(各種、標準単価)	m	10	表3-2
②		横断側溝	(各種)	本	5	表3-3
③		再生クラッシャーラン	RC-40	m3	V1	
④		コンクリート	18-8-25 高炉	m3	V2	表3-1
⑤		型枠	均しコンクリート	m2	2.0	表3-1
⑥		排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	(各種、標準単価)	枚	10	表3-4
⑦		グレーチング 横断側溝E用	(各種)	枚	10	表3-5

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	E	G	M
④		コンクリート	2	4	41	2	2	1
⑤		型枠	1	5				

3-2. 標準単価(側溝設置)の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1 ~A5		排水構造物工 U型側溝	L2000 1000kg以下
	A6		排水構造物工 U型側溝	L2000 1000を超え2000kg以下

3-3. 横断側溝の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		横断側溝250 T-25	250×283×2000
	A2		横断側溝300A T-25	300×334×2000
	A3		横断側溝300B T-25	300×434×2000
	A4		横断側溝300C T-25	300×534×2000
	A5		横断側溝400A T-25	400×439×2000
	A6		横断側溝400B T-25	400×539×2000

3-4. 標準単価(蓋設置)の種類

	A条件	B条件	コード	名称	規格
⑥	A1	B1		排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	40kg以下
		B2		排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	40を超え170kg以下
	A2 ～A4	B1		排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	40kg以下
		B2		排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	40を超え170kg以下
	A5 ・A6	B1		排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	40を超え170kg以下
		B2		排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	40を超え170kg以下

3-5. グレーチングの種類

	A条件	B条件	コード	名称	規格
⑦	A1	B1		グレーチング(ボルト固定式) 横断側溝E250用	T-25並目 995×350×50/60 ノンスリップ ⁷
		B2		グレーチング(ボルト固定式) 横断側溝E250用	T-25細目 995×350×38/60 ノンスリップ ⁷
	A2 ～A4	B1		グレーチング(ボルト固定式) 横断側溝E300用	T-25並目 995×400×55/65 ノンスリップ ⁷
		B2		グレーチング(ボルト固定式) 横断側溝E300用	T-25細目 995×400×44/65 ノンスリップ ⁷
	A5 ・A6	B1		グレーチング(ボルト固定式) 横断側溝E400用	T-25並目 995×500×65/75 ノンスリップ ⁷
		B2		グレーチング(ボルト固定式) 横断側溝E400用	T-25細目 995×500×50/75 ノンスリップ ⁷

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
③	再生クラッシャーラン	V1	1.01	1.12	1.12	1.12	1.31	1.31
④	コンクリート	V2	0.46	0.52	0.52	0.52	0.63	0.63

5. 根拠

VI-2-⑪

II-4-①

II-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00960	導水パイプ設置	100m当り	構造図	H22.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 材料	A1	合成樹脂網状管 φ20mm
	A2	合成樹脂網状管 φ30mm
	A3	SUS有孔管 φ20mm
	A4	SUS有孔管 φ25mm
	A5	再生樹脂管 φ20mm
	A6	再生樹脂管 φ30mm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		導水管材料		m	100	表3-1
②		土木一般世話役		人	0.5	
③		普通作業員		人	1.0	

3-1. 導水管材料

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		合成樹脂網状管	ポリエステル合成繊維 φ20
	A2		合成樹脂網状管	ポリエステル合成繊維 φ30
	A3		SUS有孔管	SUS304 φ20mm
	A4		SUS有孔管	SUS304 φ25mm
	A5		再生樹脂管	φ20mm
	A6		再生樹脂管	φ30mm

4. 歩掛表

5. 根拠

IV-1-③-2

名古屋市版施工単価内訳表

D00970	V 形側溝	100m当り	構造図 118-3	H30. 10改定

1. 適用条件

・ V形側溝に適用する。

2. 条件表

A 側溝の形態 V 形側溝工	A1	A-1
	A2	A-2(乗入用)
	A3	A-3(頭無し)
B 基礎碎石の有無	B1	基礎碎石無
	B2	基礎碎石有

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	18-8-25BB	m3	V1	表3-1
②		コンクリート V 形	(各種)	個・本	165	表3-2
②		型枠		m2	V2	
④		L形側溝据付	基礎碎石有	m	V3	表3-1
⑤		L形側溝据付	基礎碎石無	m	V4	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		型枠	1	5							
④		L形側溝据付	1	1	1		1				
⑤		L形側溝据付	1	2	1		1				

3-2. コンクリートL形の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		コンクリート V 形	225 330×120×600
	A2		コンクリート V 形(乗入用)	225 380×120×600
	A3		コンクリート V 形(頭なし)	225 255×100×600

4. 步掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	小型構造物人力打設	V1	$0.33 \times 0.1 \times 100$	$0.38 \times 0.1 \times 100$	$0.255 \times 0.1 \times 100$
③	型枠	V2	0.2×100	0.2×100	0.2×100

	名称	B条件	B1	B2
④	L形側溝据付(基礎碎石有)	V3	—	100
⑤	L形側溝据付(基礎碎石無)	V4	100	—

5. 根拠

- Ⅱ－2－⑬－1
- Ⅱ－4－①
- Ⅱ－4－②－1

名古屋市版施工単価内訳表

D00971	L形側溝(現場打 A)	10m当り	構造図 118-2	R05.10改定

1. 適用条件

・ L形側溝(現場打A)に適用する。

2. 条件表

A 基礎碎石の有無	A1	基礎碎石無
	A2	基礎碎石有

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D71001	コンクリート	現場打ち側溝用	m3	V1	
②		目地版		m2	V2	表3-1
③		型枠	一般型枠	m2	V3	表3-1
④		鉄筋工〔市場単価〕		t	V4	表3-1
⑤		基礎碎石		m2	V5	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		目地版	1	1							
③		型枠	1	2							
④		鉄筋工〔市場単価〕	2	1	2	2	2	2	2	1	1
⑤		基礎碎石	2	8							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	コンクリート	V1	0.917	0.917
②	目地版	V2	0.183	0.183
③	型枠	V3	4.7	4.7
④	鉄筋工〔市場単価〕	V4	0.054	0.054
⑤	L形側溝据付(基礎碎石有)	V5	—	4.3

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬

Ⅱ-2-⑱

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

Ⅵ-2-①

名古屋市版施工単価内訳表

D00973	V形側溝柵	10か所当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ V形側溝柵工に適用する。
- ・ V形柵上部ブロック(鉄柵共)を使用する柵である。
- ・ NP+4m以上の地盤高区域は浸透用を標準とするが、下記の場合は禁止する。
 - 1.急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、河川保全区域
 - 2.ため池堤防付近など、地下へ雨水を浸透させることにより法面の安全性が損なわれる恐れのある区域

2. 条件表

A 側溝形状	A1	A-1(T-14 並目)
	A2	A-1(T-14 細目)
	A3	A-2(T-2 細目)
B 嵩上げ高	B1	嵩上 20cm
	B2	嵩上 10cm
	B3	嵩上無
C 使用区分	C1	一般用
	C2	浸透用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00704	単粒度碎石(30～20mm)	厚 0.1m	m2	V1	
②		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	V2	
③		コンクリート	18-8-25BB	m3	V3	
④		モルタル練		m3	V4	
⑤		柵用ブロック	(各種)	個	10	表3-2
⑥		柵用ブロック	(各種)	個	V5	表3-3
⑦		V形柵上部ブロック	450×600×120/100 (受枠含、グレーチング別)	個	10	
⑧		鉄溝蓋	(各種)	枚	10	表3-4
⑨		透水性底ふた	φ190 t=50mm	枚	V6	
⑩		ラベル	スコッチプリント 70×100mm	枚	V7	
⑪		型枠		m2	V8	
⑫	D00805	集水柵据付	基礎碎石有	基	V9	
⑬	D00805	集水柵据付	基礎碎石無	基	V10	
⑭	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	か所	V11	
⑮	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	か所	10	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D00704	単粒度碎石(30～20mm)	0.1								
②		基礎碎石	2	8							
③		コンクリート	2	4	41		2		2		
④		モルタル練	1	1							
⑪		型枠	1	5							
⑫	D00805	集水桧据付	1	2	1	1		1			
⑬	D00805	集水桧据付	1	2	2	1		1			
⑭	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								
⑮	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. 桧用ブロックの種類

	C条件	コード	名称	規格
⑤	C1		桧用ブロック	A 4. 5×30×60
	C2		桧用ブロック(穴あき)	(2)30×30×50

3-3. 桧用ブロックの種類

	B条件	C条件	コード	名称	規格
⑥	B1	C1		桧用ブロック	D 4. 5×30×20
	B1	C2		桧用ブロック(浸透用)	D 6. 5×30×20
	B2	C1		桧用ブロック	F 4. 5×30×10
	B2	C2		桧用ブロック(浸透用)	F 6. 5×30×10

3-4. 鉄溝蓋の種類

	A条件	コード	名称	規格
⑧	A1		グレーチング V形側溝桧用 (チェーン付)	T-14 並目 296×400×50
	A2		グレーチング V形側溝桧用 (チェーン付)	T-14 細目 296×400×50 ノンスリップ°
	A3		グレーチング V形側溝桧用 (チェーン付)	T-2 細目 296×400×50 ノンスリップ°

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石(30～20mm)	V1	—	2.5	—	2.5	—	2.5
②	基礎碎石	V2	1.3	—	1.3	—	1.3	—
③	コンクリート	V3	0.13	—	0.13	—	0.13	—
④	モルタル練	V4	—	0.04	—	0.04	—	0.04
⑥	樹用ブロック	V5	10	10	10	10	—	—
⑨	透水性底ふた	V6	—	10	—	10	—	10
⑩	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑪	型枠	V8	1.8	—	1.8	—	1.8	—
⑫	集水樹据付	V9	10	—	10	—	10	—
⑬	集水樹据付	V10	—	10	—	10	—	10
⑭	プレキャストコンクリート製品布設	V11	10	10	10	10	—	—

	名称	A条件	A2					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石(30～20mm)	V1	—	2.5	—	2.5	—	2.5
②	基礎碎石	V2	1.3	—	1.3	—	1.3	—
③	コンクリート	V3	0.13	—	0.13	—	0.13	—
④	モルタル練	V4	—	0.04	—	0.04	—	0.04
⑥	樹用ブロック	V5	10	10	10	10	—	—
⑨	透水性底ふた	V6	—	10	—	10	—	10
⑩	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑪	型枠	V8	1.8	—	1.8	—	1.8	—
⑫	集水樹据付	V9	10	—	10	—	10	—
⑬	集水樹据付	V10	—	10	—	10	—	10
⑭	プレキャストコンクリート製品布設	V11	10	10	10	10	—	—

	名称	A条件	A3					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	単粒度碎石(30～20mm)	V1	—	2.5	—	2.5	—	2.5
②	基礎碎石	V2	1.3	—	1.3	—	1.3	—
③	コンクリート	V3	0.13	—	0.13	—	0.13	—
④	モルタル練	V4	—	0.04	—	0.04	—	0.04
⑥	樹用ブロック	V5	10	10	10	10	—	—
⑨	透水性底ふた	V6	—	10	—	10	—	10
⑩	ラベル	V7	—	10	—	10	—	10
⑪	型枠	V8	1.8	—	1.8	—	1.8	—
⑫	集水樹据付	V9	10	—	10	—	10	—
⑬	集水樹据付	V10	—	10	—	10	—	10
⑭	プレキャストコンクリート製品布設	V11	10	10	10	10	—	—

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬-1

Ⅱ-2-②

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D00976	V形側溝柵上部	10か所当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ V形側溝柵の嵩上げに適用する。
- ・ 既設柵の撤去処理は別途計上する。

2. 条件表

A 側溝形状	A1	V 柵上部ブロック(鉄蓋並目)
	A2	V 柵上部ブロック(鉄蓋細目)
B 嵩上高さ	B1	無(基礎Co無)
	B2	無(基礎Co有)
	B3	5cm
	B4	10cm
	B5	20cm
	B6	30cm
	B7	40cm
	B8	50cm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎砕石		m2	V1	表3-1
②		コンクリート		m3	V2	表3-1
③		モルタル練		m3	0.04	表3-1
④		V形柵上部ブロック	450×600×120/100 (受枠含、グレーチング別)	個	10	
⑤		柵用ブロック	D 4.5×30×20	個	V3	
⑤		柵用ブロック	E 4.5×30×30	個	V4	
⑥		柵用ブロック	F 4.5×30×10	個	V5	
⑦		グレーチングV形側溝柵用	(各種)	枚	10	表3-2
⑧		型枠		m2	V6	
⑨	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	か所	10	表3-1
⑩	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	か所	V7	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		モルタル練	1	1							
⑧		型枠	1	5							
⑨	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								
⑩	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. グレーチングの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		グレーチング V形側溝柵用(チェーン付)	T-14 並目 296×400×50
	A2		グレーチング V形側溝柵用(チェーン付)	T-14 細目 296×400×50 ノンスリップ

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8
①	基礎碎石	V1	-	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
②	コンクリート	V2	-	0.15	0.18	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
⑤	柵用ブロック(D)	V3	-	-	-	-	10	-	20	10
⑥	柵用ブロック(E)	V4	-	-	-	-	-	10	-	10
⑦	柵用ブロック(F)	V5	-	-	-	10	-	-	-	-
⑨	型枠	V6	-	1.2	1.8	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
⑪	プレキャストコンクリート製品布設	V7	-	-	-	10	10	10	20	20

5. 根拠

Ⅱ-2-②

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D01301	木矢板(建込工法)	100両側m当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 矢板長	A1	長1.5m,厚3cm
	A2	長1.8m,厚3cm
	A3	長2.1m,厚4.5cm
	A4	長2.4m,厚4.5cm
	A5	長2.7m,厚4.5cm
B 施工形態	B1	設置撤去
	B2	設置埋殺
	B3	撤去のみ
C 設置期間	C1	1月未満
	C2	3月未満
	C3	6月未満
	C4	12月未満
	C5	24月未満
	C6	36月未満

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D01732	仮設材損料(木材)		m3	V1	
②		土木一般世話役		人	V2	
③		型枠工		人	V3	
④		普通作業員		人	V4	
⑤		雑矢板	2.0m×3～4.5cm×12cm	m3	V5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D01732	仮設材損料(木材)	1	C	3						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			A2		
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	仮設材損料(木材)	V1	9.0	—	—	10.8	—	—
②	土木一般世話役	V2	1	0.6	0.4	1	0.6	0.4
③	型枠工	V3	2.08	1.25	0.83	2.08	1.25	0.83
④	普通作業員	V4	34.36	19.8	14.56	34.36	19.8	14.56
⑤	雑矢板	V5	—	9.0	—	—	10.8	—

	名称	A条件	A3			A4		
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	仮設材損料(木材)	V1	18.9	—	—	21.6	—	—
②	土木一般世話役	V2	1	0.6	0.4	1	0.6	0.4
③	型枠工	V3	2.08	1.25	0.83	2.08	1.25	0.83
④	普通作業員	V4	43.2	25.0	18.20	43.2	25.0	18.20
⑤	雑矢板	V5	—	18.9	—	—	21.6	—

	名称	A条件	A5		
		B条件	B1	B2	B3
①	仮設材損料(木材)	V1	24.3	—	—
②	土木一般世話役	V2	1	0.6	0.4
③	型枠工	V3	2.08	1.25	0.83
④	普通作業員	V4	52.04	30.20	21.84
⑤	雑矢板	V5	—	24.3	—

5. 根拠

Ⅸ－参考資料(木矢板工)

名古屋市版施工単価内訳表

D01302	横矢板(土留め・仮締切)	10m2当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 矢板厚	A1	矢板厚 3.0cm
	A2	矢板厚 4.5cm
	A3	矢板厚 6.0cm
B 工種区分	B1	設置撤去
	B2	設置埋殺
	B3	撤去
C 設置期間	C1	1月未満
	C2	3月未満
	C3	6月未満
	C4	12月未満
	C5	24月未満
	C6	36月未満

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D01732	仮設材損料(木材)		m3	V1	
②		雑矢板	2.0m×3～4.5cm×12cm	m3	V2	
③		土木一般世話役		人	V3	
④		普通作業員		人	V4	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D01732	仮設材損料(木材)	1	C	2						

4. 步掛表

	名称	A条件	A1			A2		
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	仮設材損料(木材)	V1	0.3	—	—	0.45	—	—
②	雑矢板	V2	—	0.3	—	—	0.45	—
③	土木一般世話役	V3	0.6	0.4	0.2	0.6	0.4	0.2
④	普通作業員	V4	1.8	1.2	0.6	1.8	1.2	0.6

	名称	A条件	A3		
		B条件	B1	B2	B3
①	仮設材損料(木材)	V1	0.6	—	—
②	雑矢板	V2	—	0.6	—
③	土木一般世話役	V3	0.6	0.4	0.2
④	普通作業員	V4	1.8	1.2	0.6

5. 根拠

Ⅱ－5－⑧

名古屋市版施工単価内訳表

D01342	開削水替ポンプ据付撤去	1か所当り	構造図	R04.10改定

1. 適用条件

- ・ 1締切現場当り、ポンプ据付・撤去台数1～2台に適用。
- ・ 配管布設・撤去労務を含む。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	0.08	

4. 歩掛表

5. 根拠

A-1-66(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) D-16(開削水替)

名古屋市版施工単価内訳表

D01343	開削水替ポンプ運転	1日当り	構造図	R04.10改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事等の開削工法の締切り排水工事に適用する。
- ・ 大規模工事には適用しない。
- ・ 諸雑費は、電力料・発動発電機燃料及び吐出配管・水槽損料等の費用である。

2. 条件表

A ポンプ台数	A1	1台
	A2	2台
B 排水作業	B1	作業時排水
	B2	常時排水
C 電力設備	C1	商用電力
	C2	発動発電機

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		工事用水中モータポンプ(潜水ポンプ)	口径50mm全揚程5m	日	V1	
②		発動発電機[ディーゼルエンジン駆動]	2.7/3kVA	日	V2	
③		特殊作業員		人	V3	
④		普通作業員		人	V4	
⑤		諸雑費		%	V5	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			A2		
		B条件	B1		B2	B1		B2
		C条件	C1	C2	C1	C1	C2	C1
①	工事用水中モータポンプ	V1	1	1	1	2	2	2
②	発動発電機	V2	—	1	—	—	1	—
③	特殊作業員	V3	0.07	0.11	0.07	0.07	0.11	0.07
④	普通作業員	V4	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
⑤	諸雑費	V5	2	18	4	2	18	4

5. 根拠

A-1-65(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) D-16(開削水替)

名古屋市版施工単価内訳表

D01362	段差摺付	100m当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 施工	A1	摺付
	A2	摺付撤去

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④	D35006	タンバ運転		日	V4	
⑤		ホイールロータ(トラクタショベル) [普通]	排出カス対策型(1次) 0.34~0.35m3	時間	V5	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤		ホイールロータ(トラクタショベル) [普通]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	土木一般世話役	V1	0.04	0.05
②	特殊作業員	V2	0.12	—
③	普通作業員	V3	0.21	0.15
④	タンバ運転	V4	0.29	—
⑤	ホイールロータ(トラクタショベル) [普通]	V5	—	0.52

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D01504	板柵(河川)	10m当り	構造図 1411	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 土砂の小規模な崩落を防止する程度の箇所にのみ適用する。

2. 条件表

A 柵高	A1	柵高0.6m(φ9cm,L1.0m)
	A2	柵高0.8m(φ9cm,L1.5m)
	A3	柵高1.0m(φ12cm,L2.0m)
	A4	柵高1.2m(φ12cm,L2.0m)
	A5	柵高1.5m(φ12cm,L3.0m)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		松丸太杭		m3	V1	
②		松丸太杭		m3	V2	
③		檜小丸太(二ツ割)	1. 5m×9cm	本	V3	
④		雑背板	長2m 巾10cm 厚7.5mm	m2	V4	
⑤		亜鉛引鉄線	#8 径4 JISG3547	kg	V5	
⑥		鉄丸くぎ	N75 #10×75	kg	V6	
⑦		型枠工		人	V7	
⑧		普通作業員		人	V8	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
①	松丸太杭	V1	0.12	0.18	0.44	0.48	0.69
②	松丸太杭	V2	—	—	—	0.04	0.04
③	檜小丸太(二ツ割)	V3	—	—	—	10	10
④	雑背板	V4	6.0	8.0	10	12	15
⑤	亜鉛引鉄線	V5	—	—	—	3.46	3.46
⑥	鉄丸くぎ	V6	0.65	0.87	1.09	1.31	1.64
⑦	型枠工	V7	0.04	0.06	0.07	0.16	0.19
⑧	普通作業員	V8	1.12	1.48	2.97	3.49	6.21

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D01505	板柵(道路)	10m当り	構造図 1411-2	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 道路工事に適用。
- ・ 土砂の小規模な崩落を防止する程度の箇所にのみ適用する。

2. 条件表

A 柵高	A1	柵高60cm
	A2	柵高80cm
	A3	柵高100cm
	A4	柵高40cm
	A5	柵高120cm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		檜小丸太	1. 5m×6cm	本	V1	
②		檜小丸太	2. 0m×7. 5cm	本	V2	
③		雑背板	長2m 巾10cm 厚7.5mm	m2	V3	
④		鉄丸くぎ	N75 #10×75	kg	V4	
⑤		檜小丸太	1. 0×6cm	本	V5	
⑥		檜小丸太	1. 0×6cm	本	V6	
⑦		檜小丸太(二ツ割)	4. 0m×6cm	本	V7	
⑧		鉄丸くぎ	N75 #10×75	kg	V8	
⑨		亜鉛引鉄線	#8 径4 JISG3547	kg	V9	
⑩		型枠工		人	V10	
⑪		普通作業員		人	V11	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
①	檜小丸太	V1	15.0	—	—	—	—
②	檜小丸太	V2	—	15.0	15.0	—	15.0
③	雑背板	V3	6.0	8.0	10.0	4.0	12.0
④	鉄丸くぎ	V4	$(2 \times V3 \times 20) \times 0.274 / 100$				
⑤	檜小丸太	V5	—	—	5.0	—	5.0
⑥	檜小丸太	V6	—	—	—	15.0	—
⑦	檜小丸太(二ツ割)	V7	—	—	2.80	—	2.80
⑧	鉄丸くぎ	V8	—	—	0.30	—	0.30
⑨	亜鉛引鉄線	V9	—	—	3.46	—	3.46
⑩	型枠工	V10	0.04	0.06	0.1	0.03	0.11
⑪	普通作業員	V11	1.0	1.97	2.33	0.86	3.66

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D01506	コンクリート柵	10m当り	構造図 1410	R05.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 柵高	A1	柵高90cm
	A2	柵高120cm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		RC杭	□150 L=2.5m	本	V1	
②		RC杭	□150 L=2.7m	本	V2	
③		RC柵板(コンクリート柵用)	長1995×300×50mm	枚	V3	
④		RC柵板(コンクリート柵用)	長1495×300×50mm	枚	V4	
⑤		檜小丸太	1.0×6cm	本	V5	
⑥		亜鉛引鉄線	#8 径4 JISG3547	kg	V6	
⑦		土木一般世話役		人	V7	
⑧		特殊作業員		人	V8	
⑨		普通作業員		人	V9	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	RC杭	V1	10	—
②	RC杭	V2	—	13.33
③	RC柵板(コンクリート柵用)	V3	15.0	—
④	RC柵板(コンクリート柵用)	V4	—	26.67
⑤	檜小丸太	V5	5.0	6.67
⑥	亜鉛引鉄線	V6	5.0×0.654	6.67×0.654
⑦	土木一般世話役	V7	0.08	0.13
⑧	特殊作業員	V8	0.08	0.13
⑨	普通作業員	V9	5.18	8.00

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D01510	路幅境界	10m当り	構造図 1401・1402	R01. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A ブロックの種類	A1	地先境界ブロックA(12*12*60)	
	A2	擬石ブロック(一面)(12*12*60)	
	A3	擬石ブロック(二面)(12*12*60)	
	A4	地先境界ブロックC(15*15*60)	
	A5	ベース付地先境界A(12/17*12/17*100)	
B 基礎碎石の有無	B1	碎石有	V1=2
	B2	碎石無	V1=4

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ブロック	(各種)	個	V4	表3-2
②		地先境界ブロック		m	V5	
③		地先境界ブロック		m	V6	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		地先境界ブロック	2	4		V1	3	2			
③		地先境界ブロック	2	6		V1	6				

3-2. ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		地先境界ブロック	120×120×600(A)
	A2		擬石ブロック	120×120×600(一面仕上)
	A3		擬石ブロック	120×120×600(二面仕上)
	A4		地先境界ブロック	150×150×600(C)
	A5		ベース付地先境界ブロック	120/170×120/170×1000(A)

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
①	ブロック	V4	16.5	16.5	16.5	16.5	10
②	地先境界ブロック	V5	10	10	10	10	—
③	地先境界ブロック	V6	—	—	—	—	10

5. 根拠

Ⅳ－2－⑤－1

Ⅱ－2－②

Ⅱ－4－①

名古屋市版施工単価内訳表

D01515	舗装止	10m当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 施工箇所	A1	歩道
	A2	車道
B 天端幅	B1	天端幅100mm
	B2	天端幅150mm
C 施工厚(cm)		入力($20 \leq C \leq 120$)
D 蓋掛り高(cm)		入力($3 \leq D \leq 15$)
E 嵩上げ高(cm)		入力($0 \leq E \leq 70$)
F U字溝壁厚(cm)		入力($0 \leq F \leq 7$)
G 下端幅(cm)		入力($10 \leq G \leq 60$)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	小型構造物	m3	V1	表3-1
②		型枠		m2	V2	表3-1
③		目地板		m2	V3	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		コンクリート	2	4	41		2		2		
②		型枠	1	2							
③		目地板	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
		B条件	B1	B2
①	コンクリート	V1	$((10+G) \times C/2 + E \times F) \times 10/10000$	$((15+G) \times C/2 + E \times F) \times 10/10000$
②	型枠	V2	$(C+D+E) \times 10/100$	$(C+D+E) \times 10/100$
③	目地板	V3	$((10+G) \times C/2 + E \times F)/10000$	$((15+G) \times C/2 + E \times F)/10000$

5. 根拠

- II-4-①
 II-4-②
 II-2-⑩

名古屋市版施工単価内訳表

D01520	境界杭探さく	75m当り	構造図	H14. 4改定

1. 適用条件

・ 構造物を道路境界線(水路含む)に沿って施工する場合における境界杭の事前調査(現地調査及び土地登記調査等)に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	0.37	
②		測量助手		人	0.42	
③		普通作業員		人	0.28	
④		閲覧手数料		件	4	
⑤	D09293	ライトバン運転費		日	0.37	表3-1
⑥		雑機材損料		%	0.5	
⑦		雑品費		%	0.5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤	D09293	ライトバン運転費	1								

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D01525	境界調査	75m当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・ 構造物を道路境界線(水路含む)に沿って施工する場合に、必要な境界線の確認、復元作業に適用する。

2. 条件表

A 適用	A1	境界測量
	A2	境界杭の保全
B 道路線形	B1	直線
	B2	曲線

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		普通作業員		人	V4	
⑤		閲覧手数料	法務局	件	V5	
⑥		トータルステーション損料	2級	日	V6	
⑦	D09293	ライトバン運転費		日	V7	表3-1
⑧		雑機材損料		%	0.5	
⑨		雑品費		%	0.5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑦	D09293	ライトバン運転費	1								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A1	A2
		B条件	B1	B2	B1
①	測量技師	V1	0.20	0.20×1.3	—
②	測量技師補	V2	0.22	0.22×1.3	0.37
③	測量助手	V3	0.15	0.15×1.3	0.42
④	普通作業員	V4	0.15	0.15×1.3	—
⑤	閲覧手数料	V5	—	—	4
⑥	トータルステーション損料	V6	0.08	0.08×1.3	0.18
⑦	ライトバン運転費	V7	0.18	0.18×1.3	0.37

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D01533	根囲ブロック据付	10組当り	構造図 1405・1405-2	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 根囲ブロックの形状	A1	A 長さ1862mm 幅1035mm	
	A2	B 長さ2172mm 幅786mm	
	A3	C 長さ1962mm 幅985mm	
	A4	D 長さ2272mm 幅746mm	
B 基礎碎石の有無	B1	基礎碎石無	V1=1
	B2	基礎碎石有	V1=2

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート根囲ブロック		組	10	表3-2
②		地先境界ブロック	据付	m	V3	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
②		地先境界ブロック	2	4		V1	2	2				

3-2. コンクリート根囲ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		コンクリート根囲ブロック	A
	A2		コンクリート根囲ブロック	B
	A3		コンクリート根囲ブロック	C
	A4		コンクリート根囲ブロック	D

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2		A3		A4	
		B条件	B1	B2	B1	B2	B1	B2	B1	B2
②	地先境界ブロック	V3	33.9	33.9	32.0	32.0	33.9	33.9	32.2	32.2

5. 根拠

Ⅳ-2-⑤-1

Ⅱ-2-②

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D01536	車止めポスト設置手間	10か所当り	構造図	H18.10改定

1. 適用条件

・ 車止めポストの設置でφ114.3mm、L＝1.4m程度のものに適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	2.0	

4. 歩掛表

5. 根拠

IV-2-①-4

名古屋市版施工単価内訳表

D01540	ベース付縁石植ます工	10か所当り	構造図 1405-3	R01. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 基礎碎石の有無	A1	碎石有	V1=2
	A2	碎石無	V1=4

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		地先境界ブロック		m	V2	
②		ベース付地先境界ブロック	120/170×120/170×1000(A)	個	V3	
③		ベース付地先境界ブロック	120/170×120/170×1000, 切欠(右型・左型)	個	V4	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		地先境界ブロック	1	6	1	V1	6				

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	地先境界ブロック	V2	40	40
②	ベース付地先境界ブロック	V3	20	20
③	ベース付地先境界ブロック	V4	20	20

5. 根拠

IV-2-③-1

名古屋市版施工単価内訳表

D01732	仮設材損料(木材)	1m3当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

・ 土留、仮締切、築島、仮橋等及び足場材、支保材、防護の仮設材として使用する板材の損料に適用する。

2. 条件表

A 仮設材	A1	板材(木材)
B 期間	B1	1月未満
	B2	3月未満
	B3	6月未満
	B4	12月未満
	B5	24月未満
	B6	36月未満
C 用途	C1	足場材,支保材等
	C2	土留,仮締切り等
	C3	木矢板

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		雑矢板	2. 0m×3～4. 5cm×12cm	m3	V1	

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1			B2			B3		
		C条件	C1	C2	C3	C1	C2	C3	C1	C2	C3
①	雑矢板	V1	0.15	0.60	0.20	0.25	0.60	0.20	0.40	0.70	0.20

	名称	B条件	B4			B5			B6		
		C条件	C1	C2	C3	C1	C2	C3	C1	C2	C3
①	雑矢板	V1	0.50	0.90	0.20	0.75	1.00	0.20	1.00	1.00	0.20

5. 根拠

Ⅱ－5－①

Ⅸ－参考資料

名古屋市版施工単価内訳表

D01750	木製腹起材設置撤去	100延長m当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

・ 腹起材損料は、別途計上のこと。

2. 条件表

A 工種	A1	設置
	A2	撤去
	A3	設置撤去
B 段数	B1	1段 深さ2.0m以下
	B2	2段 深さ2.0m超え3.5m以下
	B3	3段 深さ3.5m超え4.0m未満

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			A2		
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	土木一般世話役	V1	0.6	1.3	1.9	0.3	0.7	1.0
②	特殊作業員	V2	0.6	1.3	1.9	0.3	0.7	1.0
③	普通作業員	V3	1.3	2.5	3.8	0.7	1.4	2.1

	名称	A条件	A3		
		B条件	B1	B2	B3
①	土木一般世話役	V1	0.9	2.0	2.9
②	特殊作業員	V2	0.9	2.0	2.9
③	普通作業員	V3	2.0	3.9	5.9

5. 根拠

Ⅸ－参考資料(土留支保工)

名古屋市版施工単価内訳表

D01751	軽量金属腹起材設置撤去	100m当り	構造図	R04.10改定

1. 適用条件

- ・ 土留支保工(軽量金属支保工)の腹起材設置撤去の手間(労務費)のみ。
- ・ 腹起材損料は、別途計上のこと。

2. 条件表

A 作業区分	A1	設置
	A2	撤去
	A3	設置撤去
B 設置段数	B1	1段 掘削深2.0m以下
	B2	2段 掘削深3.5m以下
	B3	3段 掘削深3.8m以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			A2			A3		
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	土木一般世話役	V1	0.4	0.8	1.3	0.3	0.6	0.9	0.7	1.4	2.2
②	特殊作業員	V2	0.4	0.8	1.3	0.3	0.6	0.9	0.7	1.4	2.2
③	普通作業員	V3	1.2	2.4	3.9	0.9	1.8	2.7	2.1	4.2	6.6

5. 根拠

A-1-38(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) C-12(軽量鋼矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01752	軽量金属切梁材設置撤去	100m当り	構造図	R04.10改定

1. 適用条件

- ・ 土留支保工(軽量金属支保工)の切梁材設置撤去の手間(労務費)のみ。
- ・ 切梁材損料は、別途計上のこと。

2. 条件表

A 種類	A1	水圧式ハイクサポート
	A2	ねじ式ハイクサポート
B 作業区分	B1	設置
	B2	撤去
	B3	設置撤去
C 設置段数	C1	1段 掘削深2.0m以下
	C2	2段 掘削深3.5m以下
	C3	3段 掘削深3.8m以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1								
		B条件	B1			B2			B3		
		C条件	C1	C2	C3	C1	C2	C3	C1	C2	C3
①	土木一般世話役	V1	0.2	0.4	0.7	0.2	0.4	0.6	0.4	0.8	1.3
②	特殊作業員	V2	0.2	0.4	0.7	0.2	0.4	0.6	0.4	0.8	1.3
③	普通作業員	V3	0.6	1.2	2.1	0.6	1.2	1.8	1.2	2.4	3.9

	名称	A条件	A2								
		B条件	B1			B2			B3		
		C条件	C1	C2	C3	C1	C2	C3	C1	C2	C3
①	土木一般世話役	V1	0.3	0.4	0.7	0.3	0.4	0.7	0.6	0.8	1.4
②	特殊作業員	V2	0.3	0.4	0.7	0.3	0.4	0.7	0.6	0.8	1.4
③	普通作業員	V3	0.9	1.2	2.1	0.9	1.2	2.1	1.8	2.4	4.2

5. 根拠

A-1-38(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) C-12(軽量鋼矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01753	軽量鋼矢板建込(両側分)	100m当り	構造図	R04.10改定

1. 適用条件

- ・ 管路土留工の軽量鋼矢板土留のうち軽量鋼矢板建込工に適用する。
- ・ 軽量鋼矢板を上部掘削と同時に建込み、根入れを常に確保しながら繰り返し掘り下げて床付ける建込工法に適用する。

2. 条件表

A 掘削深	A1	1. 5m以下	引 抜 機 種 (参 考)
	A2	2. 0m以下	
	A3	2. 5m以下	
	A4	3. 0m以下	
	A5	3. 5m以下	
	A6	3. 8m以下	
B 使用機種	B1	小型バックホウ0.08m3(排ガス1次)	トラッククレーン4.9t吊
	B2	小型バックホウ0.13m3(排ガス2次)	トラッククレーン4.9t吊
	B3	バックホウ0.28m3(排ガス2次)	トラッククレーン4.9t吊
	B4	バックホウ(クレーン機能付)0.45m3(排ガス1次)	バックホウ(クレーン機能付)0.45m3(排ガス1次)
	B5	バックホウ(クレーン機能付)0.8m3(排ガス2次)	バックホウ(クレーン機能付)0.8m3(排ガス2次)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		小型バックホウ運転費		日	V4	表3-1
⑤		バックホウ運転費		時間	V5	表3-1

3-1. 運転単価の種類及び子単価条件

	B条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
④	B1	D08501	0.08m3(排ガス1次)									
	B2	D08502	0.13m3(排ガス2次)									
⑤	B3		0.28m3(排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B4		0.45m3(クレーン機能付,排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B5		0.8m3(クレーン機能付,排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1・B2						B3・B4・B5					
		A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	土木一般世話役	V1	1.7	2.0	2.4	2.8	3.1	3.4	1.7	2.0	2.4	2.8	3.1	3.4
②	特殊作業員	V2	1.7	2.0	2.4	2.8	3.1	3.4	1.7	2.0	2.4	2.8	3.1	3.4
③	普通作業員	V3	5.1	6.0	7.2	8.4	9.3	10.2	5.1	6.0	7.2	8.4	9.3	10.2
④	小型バックホウ運転費	V4	1.7	1.8	1.9	2.1	2.2	2.3	—	—	—	—	—	—
⑤	バックホウ運転費	V5	—	—	—	—	—	—	11.0	11.6	12.5	13.4	14.6	15.0

5. 根拠

A-1-28(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) C-12(軽量鋼矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01754	軽量鋼矢板引抜(両側分)	100m当り	構造図	R04.10改定

1. 適用条件

・ 管路土留工の軽量鋼矢板土留のうち軽量鋼矢板引抜工に適用する。 ・ B 使用機種はD01753参照 ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価 ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35% ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 掘削深	A1	1. 5m以下
	A2	2. 0m以下
	A3	2. 5m以下
	A4	3. 0m以下
	A5	3. 5m以下
	A6	3. 8m以下
B 使用機種	B1	トラッククレーン4.9t吊
	B2	バックホウ(クレーン機能付)0.45m3 (排ガス1次)
	B3	バックホウ(クレーン機能付)0.8m3 (排ガス2次)
C 賃料補正(B1の場合)	C1	;標準(長期割引適用)
	C2	;標準以外
D 供用日		入力(C2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型]4.9t吊	日	V4	
⑤		バックホウ運転費		時間	V5	表3-1

3-1. 運転単価の種類及び子単価条件

	B条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤	B2		0.45m3(クレーン機能付,排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B3		0.8m3(クレーン機能付,排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1						B2・B3					
		A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	土木一般世話役	V1	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1
②	特殊作業員	V2	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1
③	普通作業員	V3	2.7	2.7	2.7	3.0	3.0	3.3	2.7	2.7	2.7	3.0	3.0	3.3
④	トラックレン賃料	V4	0.9	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	—	—	—	—	—	—
⑤	バックホリ運転費	V5	—	—	—	—	—	—	5.7	6.2	6.5	6.9	7.6	7.9

5. 根拠

A-1-28(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) C-12(軽量鋼矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01755	アルミ矢板建込工(両側分)	100m当り	構造図	R04.10改定

1. 適用条件

- ・ 管路土留工のアルミ矢板土留のうちアルミ矢板建込工に適用する。
- ・ アルミ矢板(標準有効幅333mm)を上部掘削と同時に建込み、根入れを常に確保しながら繰り返し掘り下げて床付ける建込工法に適用する。

2. 条件表

A 掘削深	A1	1. 5m以下	引 抜 機 種 (参 考)
	A2	2. 0m以下	
	A3	2. 5m以下	
	A4	3. 0m以下	
	A5	3. 5m以下	
	A6	3. 8m以下	
B 使用機種	B1	小型バックホウ0.08m3 (排ガス1次)	トラッククレーン4.9t吊
	B2	小型バックホウ0.13m3 (排ガス2次)	トラッククレーン4.9t吊
	B3	バックホウ0.28m3 (排ガス2次)	トラッククレーン4.9t吊
	B4	バックホウ(クレーン機能付)0.45m3 (排ガス1次)	バックホウ(クレーン機能付)0.45m3 (排ガス1次)
	B5	バックホウ(クレーン機能付)0.8m3 (排ガス2次)	バックホウ(クレーン機能付)0.8m3 (排ガス2次)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		小型バックホウ運転費		日	V4	表3-1
⑤		バックホウ運転費		時間	V5	表3-1

3-1. 運転単価の種類及び子単価条件

	B条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
④	B1	D08501	0.08m3(排ガス1次)									
	B2	D08502	0.13m3(排ガス2次)									
⑤	B3		0.28m3(排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B4		0.45m3(クレーン機能付,排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B5		0.8m3(クレーン機能付,排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1・B2					
		A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	土木一般世話役	V1	1.6	1.7	1.9	2.0	2.2	2.3
②	特殊作業員	V2	1.6	1.7	1.9	2.0	2.2	2.3
③	普通作業員	V3	4.8	5.1	5.7	6.0	6.6	6.9
④	小型バックホウ運転費	V4	1.3	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2
⑤	バックホウ運転費	V5	—	—	—	—	—	—

	名称	B条件	B3・B4・B5					
		A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	土木一般世話役	V1	1.6	1.7	1.9	2.0	2.2	2.3
②	特殊作業員	V2	1.6	1.7	1.9	2.0	2.2	2.3
③	普通作業員	V3	4.8	5.1	5.7	6.0	6.6	6.9
④	小型バックホウ運転費	V4	—	—	—	—	—	—
⑤	バックホウ運転費	V5	8.4	9.4	10.5	12.0	13.2	14.2

5. 根拠

A-1-31(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) C-13(アルミ矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01756	アルミ矢板引抜き工(両側分)	100m当り	構造図	R04.10改定

1. 適用条件

- ・ 管路土留工のアルミ矢板土留のうちアルミ矢板引抜き工に適用する。
- ・ B 使用機種はD01755参照。
- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 掘削深	A1	1. 5m以下
	A2	2. 0m以下
	A3	2. 5m以下
	A4	3. 0m以下
	A5	3. 5m以下
	A6	3. 8m以下
B 使用機種	B1	トラッククレーン4.9t吊
	B2	バックホウ(クレーン機能付)0.45m3 (排ガス1次)
	B3	バックホウ(クレーン機能付)0.8m3 (排ガス2次)
C 賃料補正(B1の場合)	C1	;標準(長期割引適用)
	C2	;標準以外
D 供用日		入力(C2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型]4.9t吊	日	V4	
⑤		バックホウ運転費		時間	V5	表3-1

3-1. 運転単価の種類及び子単価条件

	B条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤	B2		0.45m3(クレーン機能付,排ガス1次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	B3		0.8m3(クレーン機能付,排ガス2次)	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1					
		A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	土木一般世話役	V1	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8
②	特殊作業員	V2	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8
③	普通作業員	V3	2.1	2.1	2.1	2.4	2.4	2.4
④	トラッククレーン賃料	V4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0

⑤	バックホウ運転費	V5	—	—	—	—	—	—

	名称	B条件	B2・B3					
		A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	土木一般世話役	V1	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8
②	特殊作業員	V2	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8
③	普通作業員	V3	2.1	2.1	2.1	2.4	2.4	2.4
④	トラックレーン賃料	V4	—	—	—	—	—	—
⑤	バックホウ運転費	V5	3.5	4.1	4.8	5.4	6.1	6.6

5. 根拠

A-1-31(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) C-13(アルミ矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01771	軽量支保材基本料 (10m分1セット)	1現場当り	構造図	H23.10改定

1. 適用条件

- ・ 管路土留工の軽量支保材賃料(基本料)に適用する。供用日数に応じた賃料は別途計上する。
- ・ 軽量支保材賃料は、アルミ製の腹起し材、水圧式のジャッキ式切梁及びポンプで構成されるものとする。
- ・ 本単価は10m分1セットの1現場当たりの基本料である。1現場当たりの持ち込み数量が10m分1セットの場合に適用し、これによりがたい場合は別途考慮する。
- ・ 土留め総延長が10mを超える場合は10m分1セットを転用するものとする。

2. 条件表

A 設置段数	A1	1段
	A2	2段
	A3	3段
B 標準掘削幅	B1	600mm超800mm以下
	B2	800mm超1050mm以下
	B3	1050mm超1450mm以下
	B4	1450mm超1950mm以下
	B5	1950mm超2350mm以下
	B6	2350mm超2850mm以下
	B7	2850mm超3350mm以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		アルミ腹起こし賃料(基本料)	70～80×115～130×4000mm程度	本	V1	
②		水圧サポート賃料(基本料)	(各種)	本	V2	表3-1
③		手動水圧ポンプ賃料(基本料)	タンク水量15～19L	台	1	

3-1. 水圧サポートの種類

	B条件	コード	名称	規格
②	B1		水圧サポート賃料(基本料)	調整長450～650mm程度
	B2		水圧サポート賃料(基本料)	調整長590～900mm程度
	B3		水圧サポート賃料(基本料)	調整長770～1300mm程度
	B4		水圧サポート賃料(基本料)	調整長1100～1800mm程度
	B5		水圧サポート賃料(基本料)	調整長1500～2200mm程度
	B6		水圧サポート賃料(基本料)	調整長2000～2700mm程度
	B7		水圧サポート賃料(基本料)	調整長2600～3100mm程度

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	アルミ腹起こし賃料(基本料)	V1	5	10	15
②	水圧サポート賃料(基本料)	V2	5	10	15

5. 根拠

Ⅸ-I-B-5(管路土留工) C-33(軽量鋼矢板土留)
Ⅸ-I-B-5(管路土留工) C-330(アルミ矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01772	軽量支保材賃料 (10m分1セット)	1日当り	構造図	H23.10改定

1. 適用条件

- ・ 管路土留工の軽量支保材賃料に適用する。基本料は別途計上する。
- ・ 軽量支保材賃料は、アルミ製の腹起し材、水圧式のジャッキ式切梁及びポンプで構成されるものとする。
- ・ 本単価は10m分1セットの1日当たりの賃料である。1現場当たりの持ち込み数量が10m分1セットの場合に適用し、これによりがたい場合は別途考慮する。
- ・ 土留め総延長が10mを超える場合は10m分1セットを転用するものとする。
- ・ 供用日数(賃借使用期間)が30日未満の場合は、最低料金が計上されるよう単価が補正されるため、設計書に計上する日数とC条件に入力する供用日数の整合を図ること。

2. 条件表

A 設置段数	A1	1段
	A2	2段
	A3	3段
B 標準掘削幅	B1	600mm超800mm以下
	B2	800mm超1050mm以下
	B3	1050mm超1450mm以下
	B4	1450mm超1950mm以下
	B5	1950mm超2350mm以下
	B6	2350mm超2850mm以下
	B7	2850mm超3350mm以下
C 10m分1セットの供用日数(日)		実数入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		アルミ腹起こし賃料	70～80×115～130×4000mm程度	本・日	V1	
②		水圧サポート賃料	(各種)	本・日	V2	表3-1
③		手動水圧ポンプ賃料	タンク水量15～19L	台・日	1	

※ 供用日数が30日未満(C<30)の場合は、総額が最低料金である30日分になるように単価が補正される。

3-1. 水圧サポートの種類

	B条件	コード	名称	規格
②	B1		水圧サポート賃料	調整長450～650mm程度
	B2		水圧サポート賃料	調整長590～900mm程度
	B3		水圧サポート賃料	調整長770～1300mm程度
	B4		水圧サポート賃料	調整長1100～1800mm程度
	B5		水圧サポート賃料	調整長1500～2200mm程度
	B6		水圧サポート賃料	調整長2000～2700mm程度
	B7		水圧サポート賃料	調整長2600～3100mm程度

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	アルミ腹起こし賃料	V1	5	10	15
②	水圧サポート賃料	V2	5	10	15

5. 根拠

Ⅸ-I-B-5(管路土留工) C-33(軽量鋼矢板土留)
Ⅸ-I-B-5(管路土留工) C-330(アルミ矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01773	アルミ矢板基本料 (10m分1セット)	1現場当り	構造図	H23.10改定

1. 適用条件

- ・ 管路土留工のアルミ矢板賃料(基本料)に適用する。供用日数に応じた賃料は別途計上する。
- ・ 本単価は10m分1セット(両側分)の1現場当たりの基本料である。1現場当たりの持ち込み数量が10m分1セットの場合に適用し、これによりがたい場合は別途考慮する。
- ・ 土留め総延長が10mを超える場合は10m分1セットを転用するものとする。

2. 条件表

A アルミ矢板の規格	A1	有効幅333mm 長さ1500mm
	A2	有効幅333mm 長さ2000mm
	A3	有効幅333mm 長さ2500mm
	A4	有効幅333mm 長さ3000mm
	A5	有効幅333mm 長さ3500mm
	A6	有効幅333mm 長さ4000mm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		アルミ矢板賃料(基本料)	(各種)	枚	60	表3-1

3-1. アルミ矢板賃料(基本料)の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		アルミ矢板賃料(基本料)	有効幅333mm 長さ1500mm
	A2		アルミ矢板賃料(基本料)	有効幅333mm 長さ2000mm
	A3		アルミ矢板賃料(基本料)	有効幅333mm 長さ2500mm
	A4		アルミ矢板賃料(基本料)	有効幅333mm 長さ3000mm
	A5		アルミ矢板賃料(基本料)	有効幅333mm 長さ3500mm
	A6		アルミ矢板賃料(基本料)	有効幅333mm 長さ4000mm

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-I-B-5(管路土留工) C-330(アルミ矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01774	アルミ矢板賃料 (10m分1セット)	1日当り	構造図	H23.10改定

1. 適用条件

- ・ 管路土留工のアルミ矢板賃料に適用する。基本料は別途計上する。
- ・ 本単価は10m分1セット(両側分)の1日当たりの賃料である。1現場当たりの持ち込み数量が10m分1セットの場合に適用し、これによりがたい場合は別途考慮する。
- ・ 土留め総延長が10mを超える場合は10m分1セットを転用するものとする。
- ・ 供用日数(賃借使用期間)が30日未満の場合は、最低料金が計上されるよう単価が補正されるため、設計書に計上する日数とB条件に入力する供用日数の整合を図ること。

2. 条件表

A アルミ矢板の規格	A1	有効幅333mm 長さ1500mm
	A2	有効幅333mm 長さ2000mm
	A3	有効幅333mm 長さ2500mm
	A4	有効幅333mm 長さ3000mm
	A5	有効幅333mm 長さ3500mm
	A6	有効幅333mm 長さ4000mm
B 10m分1セットの供用日数(日)		実数入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		アルミ矢板賃料	(各種)	枚・日	60	表3-1

※ 供用日数が30日未満(B<30)の場合は、総額が最低料金である30日分になるように単価が補正される。

3-1. アルミ矢板賃料の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		アルミ矢板賃料	有効幅333mm 長さ1500mm
	A2		アルミ矢板賃料	有効幅333mm 長さ2000mm
	A3		アルミ矢板賃料	有効幅333mm 長さ2500mm
	A4		アルミ矢板賃料	有効幅333mm 長さ3000mm
	A5		アルミ矢板賃料	有効幅333mm 長さ3500mm
	A6		アルミ矢板賃料	有効幅333mm 長さ4000mm

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-Ⅰ-B-5(管路土留工) C-330(アルミ矢板土留)

名古屋市版施工単価内訳表

D01803	上層路盤(路盤材無し) ;現道打換ブル3t	100m2当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

- ・ 上層路盤工の機械敷均し及び締固め作業で、ブルドーザ・ロータリー・タイヤローを使用する場合に適用する。
- ・ 1層仕上げ厚は、15cmまでとする。
- ・ 路盤材料は含まない(別途計上)。
- ・ 諸雑費は、散水に要する費用である。

2. 条件表

A 0≦路盤厚(cm)≦30		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	3t級	時間	V1	表3-1
②		ロータリー[マカダム・排ガス型(1次)]	質量10~12t	時間	V2	表3-1
③		タイヤロー[普通型・排出ガス型(1次)]	質量8~20t	時間	V3	表3-1
④		普通作業員		人	V4	
⑤		諸雑費		%	9	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
②		ロータリー[マカダム・排ガス型(1次)]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
③		タイヤロー[普通型・排出ガス型(1次)]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	0<A≦15	15<A≦30
①	ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	V1	0.5	1.0
②	ロータリー[マカダム・排ガス型(1次)]	V2	0.5	1.0
③	タイヤロー[普通型・排出ガス型(1次)]	V3	0.5	1.0
④	普通作業員	V4	0.24	0.48

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D01806	園路路盤(路盤材無し)	100m2当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

- 園路路盤で、敷均しにブルドーザ、締固めに振動ローラを使用する場合に適用する。 - 路盤材料は含まない。別途計上。

2. 条件表

A 路盤厚	A1	10cm
	A2	15cm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	0.24	
②		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	3t級	時間	0.5	表3-1
③		振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド型]	排ガス型(第1次)質量3～4t	時間	1.60	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
③		振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド型]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D01821	アスファルト舗装:(人力)	100m2当り	構造図	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 施工幅1.4m以上で、人力敷均し+振動ローラ(搭乗式コンパクト型)転圧の場合に適用する。
- ・ 手間のみ。アスファルト混合物は別途計上する。
- ・ 一層仕上り厚は7cm(瀝青安定処理材は10cm)以下とする。

2. 条件表

A 歩車道の区分	A1	車道・路肩
	A2	歩道
B 瀝青安定処理路盤材使用の有無	B1	無
	B2	有
C 1層当り仕上り厚(t)	C1	$t \leq 50\text{mm}$
	C2	$50 < t \leq 70\text{mm}$
	C3	$50 < t \leq 100\text{mm}$
D 瀝青材料散布の有無	D1	有
	D2	無
E 瀝青材料の種類	E1	タックコート PK-4
	E2	プライムコート PK-3
F 砂散布の有無	F1	無
	F2	有

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		瀝青材料	(各種)	L	V4	表3-1
⑤	D36011	振動ローラ運転		日	V5	
⑥		砂散布費		%	V6	
⑦		諸雑費		%	V7	

3-1. 瀝青材料の種類

	E条件	コード	名称	規格
④	E1		アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用
	E2		アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		
		C条件	C1	C2	C3
①	土木一般世話役	V1	100/250	100/230	100/230
②	特殊作業員	V2	100/250×2	100/230×3	100/230×3
③	普通作業員	V3	100/250×4	100/230×4	100/230×4
⑤	振動ローラ運転	V5	100/250	100/230	100/230

	名称	A条件	A2		
		C条件	C1	C2	C3
①	土木一般世話役	V1	100/250	100/230	100/230
②	特殊作業員	V2	100/250×2	100/230×3	100/230×3
③	普通作業員	V3	100/250×4	100/230×4	100/230×4
⑤	振動ローラ運転	V5	100/250	100/230	100/230

	名称	D条件	D1		D2
		E条件	E1	E2	
④	瀝青材	V4	43	126	—

	名称	F条件	F1	F2
⑥	砂散布費率	V6	—	3

	名称	A条件	A1					
		C条件	C1		C2		C3	
		D条件	D1	D2	D1	D2	D1	D2
⑦	諸雑費率	V7	17	6	15	6	15	6

	名称	A条件	A2					
		C条件	C1		C2		C3	
		D条件	D1	D2	D1	D2	D1	D2
⑦	諸雑費率	V7	19	7	16	6	16	6

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02101	不陸整正;現道打換ブル3t	100m2当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

- ・ 路床の不陸整正でブルドーザにて敷均しを施工する場合に適用する。

2. 条件表

A 締固め機械	A1	マカダム・タイヤローラ
	A2	振動ローラ

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	0.14	
②		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	3t級	時間	0.35	表3-1
③		ロードローラ[マカダム・排ガス型(1次)]	質量10～12t	時間	V1	表3-1
④		タイヤローラ[普通型・排出ガス型(1次)]	質量8～20t	時間	V2	表3-1
⑤		振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパインド型]	排ガス型(第1次)質量3～4t	時間	V3	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
③		ロードローラ[マカダム・排ガス型(1次)]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		タイヤローラ[普通型・排出ガス型(1次)]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
⑤		振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパインド型]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
③	ロードローラ[マカダム・排ガス型(1次)]	V1	0.35	—
④	タイヤローラ[普通型・排出ガス型(1次)]	V2	0.35	—
⑤	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパインド型]	V3	—	1.13

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02102	不陸整正(狭幅員)	100m2当り	構造図	H27.10.19改定

1. 適用条件

・ 幅員3.0m以下の不陸整正に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊作業員		人	0.17	
②		普通作業員		人	0.42	
③	D36004	振動ローラ運転		日	0.16	
④	D36019	小型バックホウ運転		日	0.16	
⑤		諸雑費		%	3	

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02103	路盤整正;現道打換ブル3t	100m2当り	構造図	R03.04.01改定

1. 適用条件

- ・ 敷均しにブルドーザを使用する不陸整正で、補充材を使用する場合に適用する。
- ・ 補充材を使用した整正厚は10,20,30,40,50mmとする。

2. 条件表

A 補充材料	A1	粒調碎石(M-30)
	A2	粒調碎石(M-40)
	A3	クラッシャラン(C-30)
	A4	クラッシャラン(C-40)
	A5	補充材無
B 整正厚	B1	10mm
	B2	20mm
	B3	30mm
	B4	40mm
	B5	50mm
B 締固め方法	B1	マカダム・タイヤローラ
	B2	振動ローラ

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		補充材料	(各種)	m3	(各種)	表3-2
②	D02101	不陸整正		m2	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	B条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	B1	D02101	不陸整正	1								
	B2	D02101	不陸整正	2								

3-2. 補充材料の種類

	A条件	コード	名称	規格	B条件				
					B1	B2	B3	B4	B5
①	A1		粒度調整碎石	M-30	1. 27	2. 54	3. 81	5. 08	6. 35
	A2		粒度調整碎石	M-40	1. 27	2. 54	3. 81	5. 08	6. 35
	A3		クラッシャーラン	C-30	1. 27	2. 54	3. 81	5. 08	6. 35
	A4		クラッシャーラン	C-40	1. 27	2. 54	3. 81	5. 08	6. 35
	A5		—	—	—	—	—	—	—

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02106	路盤整正(狭幅員)	100m2当り	構造図	R03.04.01改定

1. 適用条件

- ・ 不陸整正(狭幅員)＋補充材
- ・ 補充材を使用した整正厚は10,20,30,40,50mmとする。

2. 条件表

A 補充材料	A1	粒調碎石(M-30)
	A2	粒調碎石(M-40)
	A3	クラッシャーラン(C-30)
	A4	クラッシャーラン(C-40)
	A5	補充材無
B 整正厚	B1	10mm
	B2	20mm
	B3	30mm
	B4	40mm
	B5	50mm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		補充材料	(各種)	m3	(各種)	表3-1
②	D02102	不陸整正(狭幅員)		m2	100	

3-1. 補充材料の種類

	A条件	コード	名称	規格	B条件				
					B1	B2	B3	B4	B5
①	A1		粒度調整碎石	M-30	1.27	2.54	3.81	5.08	6.35
	A2		粒度調整碎石	M-40	1.27	2.54	3.81	5.08	6.35
	A3		クラッシャーラン	C-30	1.27	2.54	3.81	5.08	6.35
	A4		クラッシャーラン	C-40	1.27	2.54	3.81	5.08	6.35
	A5		—	—	—	—	—	—	—

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02113	下層路盤;現道打換ブル3t	100m2当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

- ・ 下層路盤工のブルドーザ3t敷均し、ロードローラ・タイヤローラ締固め作業に適用する。
- ・ 一層当り仕上り厚さは20cmまでとする。
- ・ 諸雑費は散水に要する費用である。

2. 条件表

A 路盤厚	A1	10cm
	A2	15cm
	A3	20cm
	A4	25cm
	A5	30cm
	A6	35cm
	A7	40cm
B 路盤材	B2	RC-40

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		再生クラッシャーラン	RC-40	m3	V1	
②		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	3t級	時間	V2	表3-1
③		タイヤローラ[普通型・排出ガス型(1次)]	質量10~12t	時間	V3	表3-1
④		振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド型]	質量8~20t	時間	V4	表3-1
⑤		普通作業員		人	V5	
⑥		諸雑費		%	9	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
③		タイヤローラ[普通型・排出ガス型(1次)]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド型]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
①	再生クラッシャーラン	V1	12.7	19.05	25.4	31.75	38.1	44.45	50.8
②	ブルドーザ	V2	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0
③	ロードローラ	V3	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0
④	タイヤローラ	V4	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0
⑤	普通作業員	V5	0.24	0.24	0.24	0.48	0.48	0.48	0.48

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02127	上層路盤;グレーダ・マカダム・タイヤ	100m2当り	構造図	R02.04改定

1. 適用条件

- ・ 敷均しにモータグレーダを使用する場合で、路盤材料に改良碎石(KC-40)を使用する場合に適用する。
- ・ 改良碎石の運搬費は別途計上する。

2. 条件表

A 路盤厚	A1	5cm
	A2	10cm
	A3	15cm
	A4	20cm
	A5	25cm
	A6	30cm
B 材料種別	B1	KC-40 (千種区)
	B2	KC-40 (東 区)
	B3	KC-40 (北 区)
	B4	KC-40 (西 区)
	B5	KC-40 (中村区)
	B6	KC-40 (中 区)
	B7	KC-40 (昭和区)
	B8	KC-40 (瑞穂区)
	B9	KC-40 (熱田区)
	B10	KC-40 (中川区)
	B11	KC-40 (港 区)
	B12	KC-40 (南 区)
	B13	KC-40 (守山区)
	B14	KC-40 (緑 区)
	B15	KC-40 (名東区)
	B16	KC-40 (天白区)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	V1	
②		改良碎石	KC-40 修正CBR80%以上 工場渡し	m3	V2	千種区
						東 区
						北 区
						西 区
						中村区
						中 区
						昭和区
						瑞穂区

						熱田区
						中川区
						港 区
						南 区
						守山区
						緑 区
						名東区
						天白区
③	D36001	モータグレーダ運転		日	V3	
④	D36002	ロードローラ運転		日	V4	
⑤	D36003	タイヤローラ運転		日	V5	
⑥		諸雑費		%	9	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	普通作業員	V1	0.24			0.24×2		
②	路盤材料	V2	5×1.27	10×1.27	15×1.27	20×1.27	25×1.27	30×1.27
③	モータグレーダ運転	V3	100/1110			100/1110×2		
④	ロードローラ運転	V4	100/1110			100/1110×2		
⑤	タイヤローラ運転	V5	100/1110			100/1110×2		

5. 根拠

Ⅳ－１－①

名古屋市版施工単価内訳表

D02128	上層路盤;ブル・マカダム・タイヤ	100m2当り	構造図	R02.04改定

1. 適用条件

- ・ 敷均しにブルドーザを使用する場合で、路盤材料に改良砕石(KC-40)を使用する場合に適用する。
- ・ 改良砕石の運搬費は別途計上する。

2. 条件表

A 路盤厚	A1	5cm
	A2	10cm
	A3	15cm
	A4	20cm
	A5	25cm
	A6	30cm
B 材料種別	B1	KC-40 (千種区)
	B2	KC-40 (東 区)
	B3	KC-40 (北 区)
	B4	KC-40 (西 区)
	B5	KC-40 (中村区)
	B6	KC-40 (中 区)
	B7	KC-40 (昭和区)
	B8	KC-40 (瑞穂区)
	B9	KC-40 (熱田区)
	B10	KC-40 (中川区)
	B11	KC-40 (港 区)
	B12	KC-40 (南 区)
	B13	KC-40 (守山区)
	B14	KC-40 (緑 区)
	B15	KC-40 (名東区)
	B16	KC-40 (天白区)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		改良砕石	KC-40 修正CBR80%以上 工場渡し	m3	V2	千種区
						東 区
						北 区
						西 区
						中村区
						中 区
						昭和区
						瑞穂区

						熱田区
						中川区
						港 区
						南 区
						守山区
						緑 区
						名東区
						天白区
②	D01803	上層路盤(路盤材無し)		m2	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	A1	D01803	上層路盤(路盤材無し)	5								
	A2	D01803	上層路盤(路盤材無し)	10								
	A3	D01803	上層路盤(路盤材無し)	15								
	A4	D01803	上層路盤(路盤材無し)	20								
	A5	D01803	上層路盤(路盤材無し)	25								
	A6	D01803	上層路盤(路盤材無し)	30								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	改良碎石	V1	6.35	12.7	19.05	25.4	31.75	38.1

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02145	取合せ舗装路盤	100m2当り	構造図 214	H30. 10改定

1. 適用条件

- 取合せ舗装路盤工に適用する。 - 基礎碎石の厚さは10cmとする。

2. 条件表

A コンクリートの厚さ(cm)		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石		m2	100	表3-1
②		コンクリート	小型構造物	m3	100×(A/100)	表3-1
③		基面整正		m2	100	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	8	2							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		

4. 歩掛表

5. 根拠

II-2-②
 II-4-①
 II-1-③

名古屋市版施工単価内訳表

D02260	溶融スラグ入アスファルト 舗装;(機械)	100m2当り	構造図	H29.10改定

1. 適用条件

・ 施工幅1.4m以上の車道に適用する。

2. 条件表

A アスファルト混合物の種類	A1	溶融スラグ入再生密粒度AS混合物(13)
	A2	溶融スラグ入再生密粒度AS混合物(20)
	A3	溶融スラグ入再生粗粒度AS混合物(20)
	A4	溶融スラグ入再生AS安定処理(20)
B 舗装厚		実数入力
C 施工幅区分	C1	$1.4 \leq b \leq 3.0m$
	C2	$3.0m < b$
D 瀝青材料散布の有無	D1	有
	D2	無
E 瀝青材料の種類	E1	タックコート PK-4
	E2	プライムコート PK-3
F 砂散布の有無	F1	無
	F2	有

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		アスファルト混合物	(各種)	t	$100 \times B / 1000 \times 2.35 \times 1.07$	表3-1
⑤		瀝青材料	(各種)	L	V4	表3-1
⑥	D36005	アスファルトフィニッシュ運転	ホイール型1.4~3.0m	日	V5	
⑦	D36006	アスファルトフィニッシュ運転	ホイール型2.4~6.0m	日	V6	
⑧	D36009	ロードローラ運転		日	V7	
⑨	D36010	タイヤローラ運転		日	V8	
⑩	D36011	振動ローラ運転		日	V9	
⑪		砂散布費		%	V10	
⑫		諸雑費		%	V11	

3-1. アスファルト混合物・瀝青材料の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		再生アスファルト混合物	溶融スラグ入再生密粒度AS混合物(13)
	A2		再生アスファルト混合物	溶融スラグ入再生密粒度AS混合物(20)
	A3		再生アスファルト混合物	溶融スラグ入再生粗粒度AS混合物(20)
	A4		再生アスファルト混合物(安定処理材)	溶融スラグ入再生AS安定処理(20)

	E条件	コード	名称	規格
⑤	E1		アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用
	E2		アスファルト乳剤	PK-3 フライムコート用

4. 歩掛表

	名称	C条件	C1	C2
①	土木一般世話役	V1	100/1300	100/2300
②	特殊作業員	V2	100/1300×3	100/2300×3
③	普通作業員	V3	100/1300×5	100/2300×6
⑥	アスファルトフィニッシャ運転	V5	100/1300	—
⑦	アスファルトフィニッシャ運転	V6	—	100/2300
⑧	ロードローラ運転	V7	—	100/2300
⑨	タイヤローラ運転	V8	—	100/2300
⑩	振動ローラ運転	V9	100/1300	—

	名称	D条件	D1		D2
		E条件	E1	E2	
⑤	瀝青材	V4	43	126	—

	名称	F条件	F1	F2	
		E条件		E1	E2
⑪	砂散布費率	V10	—	9	10

	名称	C条件	C1		C2	
		D条件	D1	D2	D1	D2
⑫	諸雑費率	V11	18	13	19	12

5. 根拠

IV-1-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D02270	溶融スラグ入アスファルト 舗装;(人力)	100m2当り	構造図	H29.10改定

1. 適用条件

- ・ 施工幅1.4m未満及び機械施工困難な車道に適用する。

2. 条件表

A アスファルト混合物の種類	A1	溶融スラグ入再生密粒度AS混合物(13)
	A2	溶融スラグ入再生密粒度AS混合物(20)
	A3	溶融スラグ入再生粗粒度AS混合物(20)
	A4	溶融スラグ入再生AS安定処理(20)
B 舗装厚		実数入力
C 瀝青安定処理路盤材使用の有無	C1	無
	C2	有
D 1層当り仕上り厚(t)	D1	$t \leq 50\text{mm}$
	D2	$50 < t \leq 70\text{mm}$
	D3	$50 < t \leq 100\text{mm}$
E 瀝青材料散布の有無	E1	有
	E2	無
F 瀝青材料の種類	F1	タックコート PK-4
	F2	プライムコート PK-3
G 砂散布の有無	G1	無
	G2	有

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		アスファルト混合物	(各種)	t	$100 \times B / 1000 \times 2.35 \times 1.07$	表3-1
⑤		瀝青材料	(各種)	ℓ	V4	表3-1
⑥	D36017	振動ローラ運転		日	V5	
⑦	D36018	振動コンパクタ運転		日	V6	
⑧		砂散布費		%	V7	
⑨		諸雑費		%	V8	

3-1. アスファルト混合物・瀝青材料の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		再生アスファルト混合物	溶融スラグ入再生密粒度AS混合物(13)
	A2		再生アスファルト混合物	溶融スラグ入再生密粒度AS混合物(20)
	A3		再生アスファルト混合物	溶融スラグ入再生粗粒度AS混合物(20)
	A4		再生アスファルト混合物(安定処理材)	溶融スラグ入再生AS安定処理(20)

	F条件	コード	名称	規格
⑤	F1		アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用
	F2		アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用

4. 歩掛表

	名称	D条件	D1	D2	D3
①	土木一般世話役	V1	100/250	100/230	100/230
②	特殊作業員	V2	100/250×2	100/230×3	100/230×3
③	普通作業員	V3	100/250×4	100/230×4	100/230×4
⑥	振動ローラ運転	V5	100/250	100/230	100/230
⑦	振動コンパクタ運転	V6	100/250×2	100/230×2	100/230×2

	名称	E条件	E1		E2
		F条件	F1	F2	
⑤	瀝青材	V4	43	126	—

	名称	G条件	G1	G2
⑧	砂散布費率	V7	—	3

	名称	D条件	D1		D2		D3	
		E条件	E1	E2	E1	E2	E1	E2
⑨	諸雑費率	V8	17	6	15	6	15	6

5. 根拠

IV-1-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D02503	セメコン舗設(歩道)	100m2当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A コンクリート版厚(cm)		入力($5 \leq A \leq 20\text{cm}$)
B コンクリート版幅(cm)		入力($50 \leq B \leq 300\text{cm}$)
C コンクリート強度	C1	18・8・25

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D02102	不陸整正(狭幅員)		m2	100	
②		コンクリート	小型構造物	m3	$100 \times (A/100)$	表3-1
③		普通作業員		人	2	
④		目地板		m2	$100/(B/100)/10 \times (A/100) \times (B/100)$	表3-1
⑤		型枠		m2	A	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
④		目地板	1	1							
⑤		型枠	1	2							

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅱ-4-①
Ⅱ-2-⑱
Ⅱ-4-②

名古屋市版施工単価内訳表

D02504	セメコン舗設(路肩)	100m2 当り	構造図 211	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 小型構造物(コンクリート断面積1m2以下の連続している構造物)を適用する。

2. 条件表

A 構造物のタイプ	A1	標準
	A2	特殊
B 施工幅(cm)		入力($40 \leq B \leq 100$ cm)
C 車道側施工厚(cm)		入力($14 \leq C \leq 27$ cm)
D 側溝側施工厚(cm)		入力($10 \leq D \leq 23$ cm)
E 側溝側仕上がり高(cm)		入力($0 \leq E \leq 35$ cm)
F 蓋掛上げ幅(cm)		入力($3.5 \leq F \leq 7.0$ cm)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D02102	不陸整正(狭幅員)		m2	100	
②		コンクリート	小型構造物	m3	V1	表3-1
③		普通作業員		人	2	
④		目地板		m2	1.25	表3-1
⑤		型枠		m2	$100/(B/100) \times (C+E)/100$	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
④		目地板	1	1							
⑤		型枠	1	2							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2		
		(D-E)条件	-	5~23	0~4.99	-25~-0.01
②	コンクリート	V1	$(C+D)/2/100 \times 100$	$(C+D)/2/100 \times 100$	$(C+D)/2/100 \times 100 + (5 \times 10)/2/100/100 \times 100/(B/100)$	$(C+D)/2/100 \times 100 + ((E-D) \times F)/100/100 \times 100/(B/100) + (((E-D)+10) \times 30)/2/100/100 \times 100/(B/100)$

5. 根拠

Ⅱ-4-①／Ⅱ-2-⑩／Ⅱ-4-②

名古屋市版施工単価内訳表

D02505	セメコン舗設(歩道補強)	100m2当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 小型構造物(コンクリート断面積1m2以下の連続している構造物)を適用する。
- ・ 型枠は、歩道幅員2. 5m、乗入れ幅4. 0mとして設定してある。

2. 条件表

A 舗設厚(cm)		入力(9≤A≤25)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D02102	不陸整正		m2	100	
②		コンクリート	小型構造物	m3	100×(A/100)	表3-1
③		普通作業員		人	2	
④		路盤紙		m2	110	
⑤		型枠		m2	50.0×A/100 +40.0×0.05	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		コンクリート	2	4	20		2		2		
⑤		型枠	1	2							

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅱ-4-①／Ⅱ-4-②

名古屋市版施工単価内訳表

D02510	コンクリート平板舗設	100m2当り	構造図 212	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ コンクリート平板舗設に適用する。
- ・ 不陸整正、砕石路盤は、別途計上する。

2. 条件表

A 平板ブロックの種類	A1	歩道用平板ブロック 300×300×60
	A2	歩道用カラー平板ブロック 300×300×60
	A3	擬石平板 300×300×60
	A4	擬石平板 300×300×80
	A5	洗出平板 300×300×60
	A6	洗出平板 300×300×80
	A7	透水性平板 300×300×60

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		平板ブロック	(各種)	枚	1129	表3-2
②	D00807	特殊ブロック設置		m2	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	D00807	特殊ブロック設置	1	1	1						

3-2. 平板ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		歩道用平板ブロック(非透水)	300×300×60mm
	A2		歩道用カラー平板ブロック(非透水)	300×300×60mm
	A3		擬石平板(非透水)	300×300×60mm
	A4		擬石平板(非透水)	300×300×80mm
	A5		洗出平板(非透水)	300×300×60mm
	A6		洗出平板(非透水)	300×300×80mm
	A7		歩道用カラー平板ブロック(透水性)	300×300×60mm

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅳ-2-⑥

名古屋市版施工単価内訳表

D02515	コンクリート平板据直	100m2当り	構造図 212	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ コンクリート平板舗装(据直し)に適用する。
- ・ 不良部分のブロックの運搬処理は、別途計上する。
- ・ 不陸整正は、別途計上する。
- ・ 補足材(新材)は30%とする。
- ・ 敷設材は敷砂・敷モルタルを問わない。

2. 条件表

A 平板ブロックの種類	A1	コンクリート平板(300×300×60mm)
	A2	カラーコンクリート平板(300×300×60mm)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		歩道用平板ブロック(発生品)	300×300×60	枚	790	
②		歩道用平板ブロック	300×300×60	枚	339	表3-2
③	D00807	特殊ブロック設置	(撤去)	m2	100	表3-1
④	D00807	特殊ブロック設置	(設置)	m2	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D00807	特殊ブロック設置	2	1	1						
④	D00807	特殊ブロック設置	1	1	1						

3-2. 平板ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		歩道用平板ブロック(非透水)	300×300×60mm
	A2		歩道用カラー平板ブロック(非透水)	300×300×60mm

4. 歩掛表

5. 根拠

IV-2-⑥

名古屋市版施工単価内訳表

D02701	中央帯先端壁	10基当り	363・364・365 構造図 366・367・368 369・370	H18.10改定

1. 適用条件

・ プレキャストブロックを使用する場合に適用する。塗装については製品ブロック単価に含まれる。

2. 条件表

A 先端壁の種類	A1	1号(W600×H750×L600)
	A2	2号(W1000×H850×L800)
	A3	3号A(W1500×H850×L1100)
	A4	3号B(W1500×H1100×L1100)
	A5	4号A(W600×H900×L2000)
	A6	4号B(W550×H900×L2000)
	A7	5号(W500×H700×L300)
	A8	6号(W1100×H700×L550)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート先端壁ブロック	(各種)	基	10	表3-2
②	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	80超え2200kg以下	基	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	A条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F
②	A1	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	2				
	A2	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	4				
	A3	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	5				
	A4	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	5				
	A5	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	4				
	A6	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	4				
	A7	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	1				
	A8	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	2				

3-2. コンクリート先端壁ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		コンクリート先端壁ブロック1号	W40／60 H75 L50／60
	A2		コンクリート先端壁ブロック2号	W80／100 H85 L70／80
	A3		コンクリート先端壁ブロック3号A	W110／150 H85 L90／110
	A4		コンクリート先端壁ブロック3号B	W110／150 H110 L90／110
	A5		コンクリート先端壁ブロック4号A	W45／60 H90 L200
	A6		コンクリート先端壁ブロック4号B	W40／55 H90 L200
	A7		コンクリート先端壁ブロック5号	W30／50 H70 L20／30
	A8		コンクリート先端壁ブロック6号	W50／110 H70 L45／55

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02703	中央帯先端壁塗装	100m2当り	構造図 361・362	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 既設中央帯先端壁部の塗替に適用する。
- ・ 諸雑費は素地調整に必要な工具の運転費、補修材及び希釈材、ローラー等の損耗費である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		非水分散型アクリル樹脂塗料	白	kg	15	
②		非水分散型アクリル樹脂塗料	蛍光黄	kg	9	
③		非水分散型アクリル樹脂塗料	透明	kg	7.2	
④		非水分散型アクリル樹脂塗料	黒	kg	5.6	
⑤		諸雑費		%	10	
⑥		コンクリート面清掃工		人	1.8	(塗装工)
⑦		コンクリート面下塗り工		人	1.9	(塗装工)
⑧		コンクリート面上塗り工		人	1.2	(塗装工)
⑨		コンクリート面上塗り工		人	1.2	(塗装工)
⑩		コンクリート面上塗り工		人	0.8	(塗装工)

3-1. 子単価条件

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工 (防護柵材料別途)	100m当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・「防護柵設置工(横断・転落防止柵)」(VI-2-⑤-3)に基づく横断・転落防止柵設置に適用する。
- ・「防護柵(横断・転落防止柵)設置工」の防護柵材料を含まないもの(防護柵材料は別途計上)。

2. 条件表

A 施工区分	A1	土中建込
	A2	プレキャストコンクリートブロック建込
	A3	コンクリート建込
	A4	アンカーボルト固定
B 防護柵種類	B1	ビーム式・パネル式
	B2	門型
C 支柱間隔	C1	1m
	C2	1.5m
	C3	2m
	C4	3m
D 根巻コンクリートの有無	D1	無
	D2	有
E 施工規模による加算	E1	100m以上(標準)
	E2	100m未満
F 時間的制約を受ける場合の補正	F1	無
	F2	有
G 夜間作業の補正	G1	無
	G2	有

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		横断・転落防止柵設置工	(各種)	m	100	市場単価
②		横断・転落防止柵設置工	根巻コンクリート設置	箇所	V1	市場単価 D2選択時のみ計上

※ 市場単価「横断・転落防止柵設置工」(①)の種類については基本単価一覧表を参照。

※ 市場単価の各種加算・補正については積算基準書を参照。

4. 歩掛表

$$V1 = 100 \div (\text{支柱間隔}) + 1$$

5. 根拠

VI-2-⑤-3

名古屋市版施工単価内訳表

D02710	ガードフェンス設置 (新設・更新)	100m当り	構造図 307・310 307-2	H26.5改定

1. 適用条件

.

2. 条件表

A ガードフェンスの種類	A1	中央帯用(塗装 白)	(子単価条件)
	A2	中央帯用(塗装 ブラウン・グリーン)	
	A3	中央帯用(塗装 グレー)	
	A4	14型(転落防止用 塗装)	
	A5	中央帯用1. 1m	
B 設置方法	B1	土中建込(人力)	V1=1
	B2	プレキャストブロック建込	V1=2
	B3	コンクリート建込	V1=3
C 施工規模	C1	100m以上	V2=1
	C2	100m未満	V2=2
D 時間的制約	D1	土中建込 制約 有	V3=2
	D2	土中建込 制約 無	V3=1
	D3	ブロック建込 制約 有	V3=2
	D4	ブロック建込 制約 無	V3=1
	D5	コンクリート建込制約 有	V3=2
	D6	コンクリート建込制約 無	V3=1
E 夜間作業	E1	土中建込 夜間 有	V4=2
	E2	土中建込 夜間 無	V4=1
	E3	ブロック建込 夜間 有	V4=2
	E4	ブロック建込 夜間 無	V4=1
	E5	コンクリート建込 夜間 有	V4=2
	E6	コンクリート建込 夜間 無	V4=1

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ガードフェンス	(各種)	m	100	表3-2
②	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	(防護柵材料別途)	m	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G
②	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	V1	1	4	1	V2	V3	V4

3-2. ガードフェンスの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		ガードフェンス 中央帯用	白
	A2		ガードフェンス 中央帯用	ブラウン・グリーン
	A3		ガードフェンス 中央帯用	グレー
	A4		ガードフェンス 転落防止用	14型 塗装
	A5		転落防止柵 縦格子	H=1100 根入長=450(Goブロック建込)

4. 歩掛表

5. 根拠

VI-2-⑤-3

名古屋市版施工単価内訳表

D02711	ガードパイプ設置 (21～22 型)	100m当り	構造図 311・313・314	H24.5.1改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

			(子単価条件)
A ガードパイプの種類	A1	21型 塗装	V2=1
	A2	22型 塗装	V2=1
B 設置方法	B1	プレキャストブロック建込	V1=2
	B2	コンクリート建込	V1=3
C 時間的制約	C1	ブロック建込制約 有	V3=2
	C2	ブロック建込制約 無	V3=1
	C3	コンクリート建込制約 有	V3=2
	C4	コンクリート建込制約 無	V3=1
D 夜間作業	D1	ブロック建込 夜間 有	V4=2
	D2	ブロック建込 夜間 無	V4=1
	D3	コンクリート建込 夜間 有	V4=2
	D4	コンクリート建込 夜間 無	V4=1

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ガードパイプ	(各種)	m	100	表3-2
②	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	(防護柵材料別途)	m	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G
②	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	V1	V2	4			V3	V4

3-2. ガードパイプの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		ガードパイプ 歩道用	21型 塗装
	A2		ガードパイプ 歩道用	22型 塗装

4. 歩掛表

5. 根拠

VI-2-⑤-3

名古屋市版施工単価内訳表

D02712	ガードパイプ設置 (24型歩道新設・更新)	10基当り	構造図 315	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 新設・更新工事の歩道用乗り上げ防止柵に適用する。

2. 条件表

			(補正係数)
A ガードパイプの種類	A1	24－1型	
	A2	24－2型	K5＝1.45
	A3	24－3型	K4＝2.00
	A4	24－4型	K3＝2.90
B 設置方法	B1	プレキャストブロック建込	
	B2	コンクリート建込	
C 時間的制約	C1	ブロック建込制約 有	K1＝1.25
	C2	ブロック建込制約 無	K1＝1.00
	C3	コンクリート建込制約 有	K1＝1.35
	C4	コンクリート建込制約 無	K1＝1.00
D 夜間作業	D1	ブロック建込 夜間 有	K2＝1.35
	D2	ブロック建込 夜間 無	K2＝1.00
	D3	コンクリート建込 夜間 有	K2＝1.50
	D4	コンクリート建込 夜間 無	K2＝1.00

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ガードパイプ	(各種)	基	10	表3－1
②		横断・転落防止柵設置手間ブロック建込	門型3m、ブロック材料なし	m	V1	
③		横断・転落防止柵設置工 Co建込用	門型	m	V2	
④		防護柵基礎用コンクリートブロック	30×30×40	個	V3	

※ 市場単価の補正については積算基準書を参照

3－1. ガードパイプの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		ガードパイプ 歩道用	24－1型 L＝3. 0m 塗装
	A2		ガードパイプ 歩道用	24－2型 L＝2. 0m 塗装
	A3		ガードパイプ 歩道用	24－3型 L＝1. 5m 塗装
	A4		ガードパイプ 歩道用	24－4型 L＝1. 0m 塗装

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2	
		B条件	B1	B2	B1	B2
②	横断・転落防止柵設置手間ブロック建込	V1	30	—	20	—
③	横断・転落防止柵設置工 Co建込用	V2	—	30	—	20
④	防護柵基礎用コンクリートブロック	V3	20	—	20	—

	名称	A条件	A3		A4	
		B条件	B1	B2	B1	B2
②	横断・転落防止柵設置手間ブロック建込	V1	15	—	10	—
③	横断・転落防止柵設置工 Co建込用	V2	—	15	—	10
④	防護柵基礎用コンクリートブロック	V3	20	—	20	—

5. 根拠

VI-2-⑤-3

名古屋市版施工単価内訳表

D02714	ガードパイプ設置 (転落防止柵)	100m当り	構造図 312	H23.10.1改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

			(子単価条件)
A 施工規模	A1	100m以上	V1=1
	A2	100m未満	V1=2
B 時間的制約	B1	制約 有	V2=2
	B2	制約 無	V2=1
C 夜間作業	C1	夜間 有	V3=2
	C2	夜間 無	V3=1

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		転落防止柵 縦格子	H=1100 根入長=1200(土中建込)	m	100	
②	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	(防護柵材料別途)	m	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G
②	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	1	1	4	1	V1	V2	V3

4. 歩掛表

5. 根拠

VI-2-⑤-3

名古屋市版施工単価内訳表

D02718	車両乗り上げ防止柵	10基当り	構造図 319	H22.10改定

1. 適用条件

- ・ 歩道への駐車や走行・片足掛け駐車を防止する目的で、単柱を設置する場合に適用する。
- ・ 諸雑費は、充填材(モルタル)の費用である。

2. 条件表

A 単柱の種類	A1	φ 89.1×3.2×1350mm 反射シート(黄)共
	A2	φ 89.1×3.2×1050mm 反射シート(黄)共
B 形式	B1	固定式
	B2	可動式

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		車両乗り上げ防止柱		基	10	表3-2
②		コンクリートブロック		個	10	表3-3
③	D00805	集水桝据付	80kg 以下、基礎碎石無	基	10	表3-1
④		普通作業員		人	2	
⑤		諸雑費		%	2	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D00805	集水桝据付	1	1	2						

3-2. 車両乗り上げ防止柱の種類

	A条件	B条件	コード	名称	規格
①	A1	B1		車両乗り上げ防止柱	固定式 φ 89.1×3.2×1350
		B2		車両乗り上げ防止柱	可動式 φ 89.1×3.2×1350
	A2	B1		車両乗り上げ防止柱	固定式 φ 89.1×3.2×1050
		B2		車両乗り上げ防止柱	可動式 φ 89.1×3.2×1050

3-3. コンクリートブロックの種類

	B条件	コード	名称	規格
②	B1		コンクリートブロック	300×300×400mm
	B2		コンクリートブロック	300×300×450mm

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅳ-2-①-4

Ⅱ-2-⑬-1

名古屋市版施工単価内訳表

D02721	ガードフェンス移設・撤去	100m当り	構造図 304・306 308・309	H22.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A ガードフェンスの種類	A1	ガードフェンス1型(A)(中央帯用亜鉛メッキ)	(子単価条件)	
	A2	ガードフェンス1型(B)(中央帯用亜鉛メッキ)		
	A3	ガードフェンス2型(中央帯用アルミ)		
	A4	ガードフェンス3型(中央帯用塗装)		
	A5	ガードフェンス31型(転落防止用亜鉛メッキ)		
B 施工用途	B1	移設	(子単価条件)	
	B2	撤去		
C 設置方法	C1	プレキャストブロック建込	V1=2	V11=2
	C2	コンクリート建込	V1=3	V11=3
D 平均支柱間隔	D1	2.0m間隔	V2=3	V12=3
	D2	1.5m間隔	V2=2	V12=2
E 時間的制約	E1	ブロック建込制約 有	V3=2	V13=2
	E2	ブロック建込制約 無	V3=1	V13=1
	E3	コンクリート建込制約 有	V3=2	V13=2
	E4	コンクリート建込制約 無	V3=1	V13=1
F 夜間作業	F1	ブロック建込 夜間 有	V4=2	V14=2
	F2	ブロック建込 夜間 無	V4=1	V14=1
	F3	コンクリート建込 夜間 有	V4=2	V14=2
	F4	コンクリート建込 夜間 無	V4=1	V14=1
G ブロック基礎再利用	G1	再利用		
	G2	新品		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		防護柵(横断・転落防止柵)撤去工		m	100	
②		ガードフェンス	発生品	m	100	B1選択時のみ計上
③	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	(防護柵材料別途)	m	100	B1選択時のみ計上
④		防護柵基礎用コンクリートブロック	30×30×23	個	14	A1・A2,B1,C1,G1
⑤		防護柵基礎用コンクリートブロック	50×25×23	個	38	の場合のみ単価控除
⑥		防護柵基礎用コンクリートブロック	35/50×20/30×23	個	75	A3～A5,B1,C1,G1 の場合のみ単価控除

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G
①		防護柵(横断・転落防止柵)撤去工	V1	1	V2	V3	V4		
③	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	V11	1	V12			V13	V14

4. 歩掛表

5. 根拠

VI-2-⑤-3

名古屋市版施工単価内訳表

D02722	ガードパイプ移設・撤去	100m当り	構造図 311・313・314	H22.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

			(子単価条件)	
A ガードパイプの種類	A1	ガードパイプ 21型	V2=1	V12=1
	A2	ガードパイプ 22型	V2=1	V12=1
	A3	ガードパイプ 23型	V2=2	V12=2
B 施工用途	B1	移設		
	B2	撤去		
C 設置方法	C1	ブロック建込	V1=2	V11=2
	C2	コンクリート建込	V1=3	V11=3
D 時間的制約	D1	ブロック建込制約 有	V3=2	V13=2
	D2	ブロック建込制約 無	V3=1	V13=1
	D3	コンクリート建込制約 有	V3=2	V13=2
	D4	コンクリート建込制約 無	V3=1	V13=1
E 夜間作業	E1	ブロック建込 夜間 有	V4=2	V14=2
	E2	ブロック建込 夜間 無	V4=1	V14=1
	E3	コンクリート建込 夜間 有	V4=2	V14=2
	E4	コンクリート建込 夜間 無	V4=1	V14=1
F ブロック基礎再利用	F1	再利用		
	F2	新品		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		防護柵(横断・転落防止柵)撤去工		m	100	
②		ガードパイプ	発生品	m	100	B1選択時のみ計上
③	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	(防護柵材料別途)	m	100	B1選択時のみ計上
④		防護柵基礎用コンクリートブロック	30×30×40	個	33.3	B1,C1,G1の場合のみ単価控除

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G
①		防護柵(横断・転落防止柵)撤去工	V1	V2	4	V3	V4		
③	D02707	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	V11	V12	4			V13	V14

4. 歩掛表

5. 根拠

VI-2-⑤-3

名古屋市版施工単価内訳表

D02735	道路反射鏡設置	10本当り	構造図 341・342	H18.10改定

1. 適用条件

・ 支柱・基礎及び反射鏡の設置に適用する。

2. 条件表

A 反射鏡の種類	A1	反射鏡φ600片面	(加算率・補正係数)
	A2	反射鏡φ800片面	
	A3	反射鏡φ1000片面	
	A4	反射鏡600×800角2面	
B 施工規模	B1	5基以上	S0=0%
	B2	3～4基	S1=10%
	B3	2基以下	S2=15%
C 時間的制約	C1	制約無	K1=1.00
	C2	制約有	K1=1.10
D 夜間作業補正	D1	夜間無	K2=1.00
	D2	夜間有	K2=1.30

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		反射鏡	(各種)	基	10	表3-1
②		道路反射鏡支柱・基礎設置	(各種)	本	10	表3-2
③		道路反射鏡設置	設置手間	本	10	

3-1. 反射鏡の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		反射鏡(ステンレス鏡面)	φ600片面(支柱φ76.3×4000・注意板含む)
	A2		反射鏡(ステンレス鏡面)	φ800片面(支柱φ76.3×4000・注意板含む)
	A3		反射鏡(ステンレス鏡面)	φ1000片面(支柱φ89.1×4400・注意板含む)
	A4		反射鏡(ステンレス鏡面)	600×800角2面(支柱φ89.1×4400・注意板含む)

3-2. 道路反射鏡支柱・基礎設置の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1・A2		道路反射鏡支柱・基礎設置	φ76.3(支柱材料除く)
	A3・A4		道路反射鏡支柱・基礎設置	φ89.1(支柱材料除く)

4. 歩掛表

※加算率・補正係数の適用は積算基準書VI-2-⑫に準拠

5. 根拠

VI-2-⑫に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02752	道路標識移設(各種)	10本当り	構造図 343	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 基礎コンクリート付き支柱の移設である。

2. 条件表

A 標識柱材料の新設	A1	新規柱	(加算率・補正係数)
	A2	既設柱	
B コンクリート基礎の新設	B1	新規	
	B2	既設	
C 施工規模	C1	5基以上	S0=0%
	C2	3～4基	S1=15%
	C3	2基以下	S2=25%

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		標識柱・基礎設置(路側式)	単柱式 メッキ φ76.3	基	10	市場単価
②		標識柱・基礎撤去(路側式)	単柱式 φ60.5～101.6	基	10	市場単価
③	D02760	安全施設基礎	安全施設基礎(A)型枠4面	か所	V1	単価控除
④		構造物とりこわし	無筋構造物、人力	m3	V2	単価控除
⑤		標識柱(溶融亜鉛めっき)	(径)(厚)(長)76.3×2.8×3.5m	本	V3	単価控除

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D02760	安全施設基礎	2								
④		構造物とりこわし	1	2	1	1	2				

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2	
		B条件	B1	B2	B1	B2
③	安全施設基礎	V1	—	10	—	10
④	構造物とりこわし	V2	—	1.5	—	1.5
⑤	標識柱(溶融亜鉛めっき)	V3	—	—	10	10

5. 根拠

VI-2-⑫

名古屋市版施工単価内訳表

D02754	道路照明設置	10基当り	構造図 401・402・403	R2. 10改定

1. 適用条件

・ スパイラル基礎に適用する。

2. 条件表

			(子単価条件)
A 道路照明の種類	A1	直線ポール 地上高12m CMT360W	V11=1 V12=1
	A2	直線ポール 地上高10m CMT220W	V11=2 V12=1
	A3	直線ポール 地上高 8m CMT220W	V11=3 V12=2
	A4	段付鋼管柱 地上高 8m CMT150W	V11=4 V12=2
	A5	段付鋼管柱(アーム付) 地上高8m CMT150W	V11=4 V12=2
	A6	段付鋼管柱 地上高 8m LED100W以下	V11=4 V12=2
	A7	段付鋼管柱 地上高 8m LED60W以下	V11=4 V12=2
	A8	直線ポール 地上高10m 幹線3車局部 LED200W以下	V11=2 V12=1
	A9	直線ポール 地上高10m 幹線3車連続 LED200W以下	V11=2 V12=1
	A10	直線ポール 地上高10m 幹線2車局部 LED150W以下	V11=3 V12=1
	A11	直線ポール 地上高10m 幹線2車連続 LED150W以下	V11=3 V12=1
B 賃料補正	B1	;標準(長期割引適用)	
	B2	;標準以外	
C 供用日		入力(B2の場合)	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		灯柱	(各種)	本	10	表3-2
②		照明器具	(各種)	個	10	表3-3
③		ランプ	(各種)	個	10	表3-4
④		安定器	(各種)	個	10	表3-5
⑤		自動点滅器	(各種)	個	10	表3-6
⑥		安全器	磁器製 2P 15A	個	10	
⑦		架線引込フック	バンド付 SUS製	個	10	
⑧		受電口		個	V1	
⑨		管理番号標(街路灯用)	スコッチシート 90×85、185×85、70×105	組	10	
⑩		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケープル	600V CE/F(EM-CE) 2 心 3.5mm2	m	V2	
⑪		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケープル	600V CE/F(EM-CE) 3 心 3.5mm2	m	V3	
⑫		接地設置	D種接地、3m以内による施工補正あり	極	10	表3-1

⑬	D02792	道路照明基礎	18・8・40	基	10	表3-1
⑭	D02791	照明灯設置	H8～12m、質量350kg以下	基	10	表3-1
⑮		自動点滅器取付(ポール取付)	新設	個	10	表3-1
⑯	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設		台	10	表3-1
⑰		丸形アース棒	E-B3 φ10×1000mm	本	10	
⑱		耐燃性ポリエチレン絶縁電線	600V IE/F(EM-IE) より線 3.5mm ²	m	20	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C
⑫		接地設置	4	2	
⑬	D02792	道路照明基礎	V11	1	
⑭	D02791	照明灯設置	2	B1条件の値	Cの値 (B2の場合)
⑮		自動点滅器取付	1	1	
⑯	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	V12	1	

3-2. 灯柱の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		丸テーパー直線型ポール	12m 亜鉛メッキ埋込式
	A2		丸テーパー直線型ポール	10m 亜鉛メッキ埋込式
	A3		丸テーパー直線型ポール	8m 亜鉛メッキ埋込式
	A4		段付鋼管柱	地上高8m 1灯型 メッキ 埋込式
	A5		段付鋼管柱(アーム付)	地上高8m 1灯型 メッキ 埋込式
	A6		段付鋼管柱	地上高8m 1灯型 メッキ 埋込式
	A7		段付鋼管柱	地上高8m 1灯型 メッキ 埋込式
	A8		丸テーパー直線型ポール	10m 亜鉛メッキ埋込式
	A9		丸テーパー直線型ポール	10m 亜鉛メッキ埋込式
	A10		丸テーパー直線型ポール	8m 亜鉛メッキ埋込式
	A11		丸テーパー直線型ポール	8m 亜鉛メッキ埋込式

3-3. 照明器具の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		建電協型照明器具(道路灯)	KSH-3
	A2		建電協型照明器具(道路灯)	KSH-2
	A3		建電協型照明器具(道路灯)	KSH-2
	A4		建電協型照明器具(道路灯)	KSH-2
	A5		建電協型照明器具(道路灯)	KSH-2
	A6		照明器具(LED)補助幹線道路局部照明	LED100W 以下
	A7		照明器具(LED)補助幹線道路連続照明	LED60W 以下
	A8		照明器具(LED)(幹線道路局部照明白側3車)	LED200W 以下
	A9		照明器具(LED)(幹線道路連続照明白側3車)	LED200W 以下
	A10		照明器具(LED)(幹線道路局部照明白側2車)	LED150W 以下
	A11		照明器具(LED)(幹線道路連続照明白側2車)	LED150W 以下

3-4. ランプの種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1		セラミックメタルハライドランプ	CMT360W
	A2		セラミックメタルハライドランプ	CMT220W
	A3		セラミックメタルハライドランプ	CMT220W
	A4		セラミックメタルハライドランプ	CMT150W
	A5		セラミックメタルハライドランプ	CMT150W
	A6	-	-	-
	A7	-	-	-
	A8	-	-	-
	A9	-	-	-
	A10	-	-	-
	A11	-	-	-

3-5. 安定器の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		安定器(水銀灯用 一般形)	200V 400W 高力率1灯
	A2		安定器(水銀灯用 一般形)	200V 250W 高力率1灯
	A3		安定器(水銀灯用 一般形)	200V 250W 高力率1灯
	A4		安定器(メタルハライド用)	200V 150W 高力率1灯
	A5		安定器(メタルハライド用)	200V 150W 高力率1灯
	A6	-	-	-
	A7	-	-	-
	A8	-	-	-
	A9	-	-	-
	A10	-	-	-
	A11	-	-	-

3-6. 自動点滅器の種類

	A条件	コード	名称	規格
⑤	A1		光電式自動点滅器(分離型)	ポール直付式 200V 6A
	A2		光電式自動点滅器(分離型)	ポール直付式 200V 6A
	A3		光電式自動点滅器(分離型)	ポール直付式 200V 6A
	A4		光電式自動点滅器(分離型)	本体のみ 200V 6A
	A5		光電式自動点滅器(分離型)	本体のみ 200V 6A
	A6		光電式自動点滅器(分離型)	本体のみ 100V 3A
	A7		光電式自動点滅器(分離型)	本体のみ 100V 3A
	A8		光電式自動点滅器(分離型)	本体のみ 200V 3A
	A9		光電式自動点滅器(分離型)	本体のみ 200V 3A
	A10		光電式自動点滅器(分離型)	本体のみ 200V 3A
	A11		光電式自動点滅器(分離型)	本体のみ 200V 3A

4. 步掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
⑧	受電口	V1	10	10	10	20	20	20	20
⑩	CE/F(EM-CE)2心3.5mm2	V2	210	180	160	160	170	150	150
⑪	CE/F(EM-CE)3心3.5mm2	V3	80	80	80	80	70	80	80

	名称	A条件	A8	A9	A10	A11
⑧	受電口	V1	10	10	10	10
⑩	CE/F(EM-CE)2心3.5mm2	V2	180	180	180	180
⑪	CE/F(EM-CE)3心3.5mm2	V3	80	80	80	80

5. 根拠

Ⅷ-3-6-①

名古屋市版施工単価内訳表

D02756	道路照明設置(LED20W 以下) (カラーポール H=4.5m)	10基当り	構造図	R2.10 改定

1. 適用条件

- ・ 基礎埋め込み式に適用する。

2. 条件表

A 照明器具の種類	A1	生活道路局部照明
	A2	生活道路中間柱
B 継柱の有無	B1	継柱なし
	B2	継柱あり

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		カラーポール	地 上 高 H=4.5m ϕ 76.3×3.2t	本	10	
②		継柱	ϕ 82有効高 1.5m ヲキ架線引込フック 取付	本	V3	
③		架線引込フック		個	V4	
④		受電口		個	10	
⑤		管理番号標(街路灯 用)	ス コ ッ チ シ ー ト 90×85、 185×8570×105	組	10	
⑥		接地設置	D 種接地、3m 以内による施工補 正あり	極	10	表3-1
⑦	D02791	照明灯設置	カラーポール	基	10	表3-1
⑧	D02796	道路照明器具取付・ 撤去・移設	蛍光灯、設置	台	10	表3-1
⑨		照明器具(LED)	(各種)	個	10	表3-2
⑩	D02792	道路照明基礎	300×300×1000、18・8・25	基	10	表3-1
⑪		丸型アース棒	E-B3 ϕ 10×1000mm	本	10	
⑫		耐燃性ポリエチレン絶縁 電線	600V IE/F(EM-IE)より線 3.5mm ²	m	10	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑥		接地設置	4	2							
⑦	D02791	照明灯設置	1								
⑧	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	3	1							
⑪	D02792	道路照明基礎	6	2							

3-2. 照明器具の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		照明器具(LED)生活道路局部照明	LED20W 以下(ポールアダプタ加工込)
	A2		照明器具(LED)生活道路中間柱	LED20W 以下(ポールアダプタ加工込)

4. 歩掛表

	名称	A 条件	A1		A2	
		B 条件	B1	B2	B1	B2
②	LED 照明器具(生活道路局部)	V1	10	10	—	—
③	LED 照明器具(生活道路中間柱)	V2	—	—	10	10
⑨	継柱	V3	—	10	—	10
⑩	架線引込フック	V4	10	—	10	—

5. 根拠

Ⅷ-3-6-①

名古屋市版施工単価内訳表

D02757	道路照明設置(灯具取替) (LED20W 以下)	10基当り	構造図 408-2	R2.10改定

1. 適用条件

- ・ 既設カーポール柱の灯具(FL20W×2からLED20W以下)等の取替に適用する。

2. 条件表

A 照明器具の種類	A1	生活道路局部照明
	A2	生活道路中間柱
B 管理番号標	B1	管理番号標取替有り
	B2	管理番号標取替なし

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		照明器具	(各種)	個	10	表3-2
②		管理番号標(街路灯用)	スリットシート 90×85、185×85、70×105	組	V1	
③	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	撤去	台	10	表3-1
④	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	設置	台	10	表3-1
⑤		自動点滅器取付(ポール取付)	撤去(不使用)	個	10	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	3	2							
④	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	3	1							
⑤		自動点滅器取付	1	2							

3-2. 照明器具の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1	仮2	照明器具(LED)生活道路局部照明	LED20W 以下(ポールアダプタ加工込)
	A2	仮4	照明器具(LED)生活道路中間柱	LED20W 以下(ポールアダプタ加工込)

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1	B2
②	管理番号標(街路灯用)	V1	10	—

5. 根拠

Ⅷ-3-6-①

名古屋市版施工単価内訳表

D02758	道路照明移設・撤去	10基当り	構造図	R3.7 改定

1. 適用条件

・ 基礎有りの場合は基礎付にて移設または撤去する。 ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価 ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35% ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 道路照明の種類	A1	水銀灯,デザイン灯(8-12m,350kg 以下)
	A2	水銀灯,デザイン灯(8-12m,1000kg 以下)
	A3	蛍光灯,LED(カラーボール)
B 基礎の有無	B1	基礎有
	B2	基礎無
C 作業区分	C1	移設
	C2	撤去
D 賃料補正 (A1、A2の場合)	D1	; 標準(長期割引適用)
	D2	; 標準以外
E 供用日		入力(D2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工		人	V1	
②		普通作業員		人	V2	
③		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型] 4. 9t吊	日	V3	
④		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型] 16t吊	日	V4	
⑤		トラック[クレーン装置付]	4t 級 2.9t 吊	日	V5	
⑥		接地設置	D種接地、3m以内による施工補正あり	極	V6	
⑦		接地設置	D種接地、3m以内による施工補正なし	極	V7	
⑧		丸形アース棒	E-B3 φ10×1000mm	本	V8	
⑨		耐燃性ポリエチレン絶縁電線	600V IE/F(EM-IE)より単線 3.5mm2	m	V9	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤		トラック[クレーン装置付]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
⑥		接地設置	4	2							
⑦		接地設置	4	2							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A1	A1	A1
		B条件	B1	B1	B2	B2
		C条件	C1	C2	C1	C2
①	電工	V1	5×1.5	5×0.5	5×1.5	5×0.5
②	普通作業員	V2	4×1.5	4×0.5	4×1.5	4×0.5
③	トラッククレーン賃料	V3	—	—	1.7×1.5	1.7×0.5
④	トラッククレーン賃料	V4	1.7×1.5	1.7×0.5	—	—
⑤	トラック[クレーン装置付]	V5	—	—	—	—
⑥	接地設置	V6	10	—	10	—
⑦	接地設置	V7	—	—	—	—
⑧	丸形アース棒	V8	10	—	10	—
⑨	耐燃性ポリエチレン絶縁電線	V9	20	—	20	—

	名称	A条件	A2	A2	A2	A2
		B条件	B1	B1	B2	B2
		C条件	C1	C2	C1	C2
①	電工	V1	6×1.5	6×0.5	6×1.5	6×0.5
②	普通作業員	V2	4.8×1.5	4.8×0.5	4.8×1.5	4.8×0.5
③	トラッククレーン賃料	V3	—	—	1.9×1.5	1.9×0.5
④	トラッククレーン賃料	V4	1.9×1.5	1.9×0.5	—	—
⑤	トラック[クレーン装置付]	V5	—	—	—	—
⑥	接地設置	V6	10	—	10	—
⑦	接地設置	V7	—	—	—	—
⑧	丸形アース棒	V8	10	—	10	—
⑨	耐燃性ポリエチレン絶縁電線	V9	20	—	20	—

	名称	A条件	A3	A3	A3	A3
		B条件	B1	B1	B2	B2
		C条件	C1	C2	C1	C2
①	電工	V1	4.5×1.5	4.5×0.5	4.5×1.5	4.5×0.5
②	普通作業員	V2	3.6×1.5	3.6×0.5	3.6×1.5	3.6×0.5
③	トラッククレーン賃料	V3	—	—	—	—
④	トラッククレーン賃料	V4	—	—	—	—
⑤	トラック[クレーン装置付]	V5	9.4×1.5	9.4×0.5	—	—
⑥	接地設置	V6	10	—	10	—
⑦	接地設置	V7	—	—	—	—
⑧	丸形アース棒	V8	10	—	10	—
⑨	耐燃性ポリエチレン絶縁電線	V9	10	—	10	—

5. 根拠

Ⅷ－3－6－①

名古屋市版施工単価内訳表

D02760	安全施設基礎	10か所当り	構造図 344	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 矩形基礎に適用する。
- ・ 型枠は3面及び4面とする。

2. 条件表

A 安全施設基礎の種類	A1	安全施設基礎(A) 型枠3面	18・8・40
	A2	安全施設基礎(A) 型枠4面	18・8・40
	A3	安全施設基礎(B) 型枠3面	18・8・40
	A4	安全施設基礎(B) 型枠4面	18・8・40
	A5	安全施設基礎(C) 型枠3面	18・8・40
	A6	安全施設基礎(C) 型枠4面	18・8・40
	A7	安全施設基礎(D) 型枠3面	18・8・25
	A8	安全施設基礎(D) 型枠4面	18・8・25
	A9	安全施設基礎(E) 型枠3面	18・8・25
	A10	安全施設基礎(E) 型枠4面	18・8・25
	A11	標準以外	
B 基礎の縦幅(道路に直角)		入力 ($30 \leq B \leq 300$)	A11の時入力又は選択
C 基礎の横幅		入力 ($30 \leq C \leq 300$)	
D 基礎の深さ		入力 ($40 \leq D \leq 300$)	
E コンクリートの種類	E1	18・8・40	
	E2	18・8・25	
F 型枠の面数	F1	型枠3面	
	F2	型枠4面	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート		m3	V1	表3-1
②		型枠	小型構造物	m2	V2	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A条件	E条件	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		コンクリート	A1～A6	—	2	4	29		2		2			
			A7～A10	—	2	4	41		2		2			
			A11	E1	2	4	29		2		2			
			A11	E2	2	4	41		2		2			
②		型枠			1	2								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	コンクリート	V1	$0.5 \times 0.5 \times 0.6 \times 10$	$0.5 \times 0.5 \times 0.6 \times 10$	$0.5 \times 0.5 \times 0.9 \times 10$
②	型枠	V2	$0.5 \times 3 \times 0.6 \times 10$	$0.5 \times 4 \times 0.6 \times 10$	$0.5 \times 3 \times 0.9 \times 10$

	名称	A条件	A4	A5	A6
①	コンクリート	V1	$0.5 \times 0.5 \times 0.9 \times 10$	$0.5 \times 0.5 \times 1.2 \times 10$	$0.5 \times 0.5 \times 1.2 \times 10$
②	型枠	V2	$0.5 \times 4 \times 0.9 \times 10$	$0.5 \times 3 \times 1.2 \times 10$	$0.5 \times 4 \times 1.2 \times 10$

	名称	A条件	A7	A8	A9
①	コンクリート	V1	$0.3 \times 0.3 \times 0.4 \times 10$	$0.3 \times 0.3 \times 0.4 \times 10$	$0.4 \times 0.4 \times 0.5 \times 10$
②	型枠	V2	$0.3 \times 3 \times 0.4 \times 10$	$0.3 \times 4 \times 0.4 \times 10$	$0.4 \times 3 \times 0.5 \times 10$

	名称	A条件	A10
①	コンクリート	V1	$0.4 \times 0.4 \times 0.5 \times 10$
②	型枠	V2	$0.4 \times 4 \times 0.5 \times 10$

	名称	A条件	A11	
		F条件	F1	F2
①	コンクリート	V1	$B \times C \times D \times 10 \times 1/1000000$	$B \times C \times D \times 10 \times 1/1000000$
②	型枠	V2	$(B+C+B) \times D \times 10 \times 1/10000$	$(B+C+B+C) \times D \times 10 \times 1/10000$

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02761	安全施設基礎(2)	10か所当り	構造図	H18.5改定

1. 適用条件

・プレキャストコンクリートブロックを使用する基礎工に適用する。

2. 条件表

A 基礎の種類	A1	安全施設基礎工(A)
	A2	安全施設基礎工(B)
	A3	安全施設基礎工(C)
	A4	安全施設基礎工(D)
	A5	安全施設基礎工(E)
B 砂基礎の有無	B1	砂基礎有り
	B2	砂基礎無し

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリートブロック(標識用)	(各種)	個	10	表3-2
②		プレキャストコンクリート製品布設	(各種)	基	10	表3-1
③		諸雑費		%	V1	

3-1. 布設単価の種類及び子単価条件

	条件	コード	名称	A	B	C	D	E
②	A1	D00804	プレキャストコンクリート製品布設(80超え2200kg以下)	1	1			
	A2	D00804	プレキャストコンクリート製品布設(80超え2200kg以下)	1	2			
	A3	D00804	プレキャストコンクリート製品布設(80超え2200kg以下)	1	2			
	A4	D00802	プレキャストコンクリート製品布設(80kg以下)	1				
	A5	D00804	プレキャストコンクリート製品布設(80超え2200kg以下)	1	1			

3-2. コンクリートブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		コンクリートブロック(標識用)	(A) 500×500×600mm
	A2		コンクリートブロック(標識用)	(B) 500×500×900mm
	A3		コンクリートブロック(標識用)	(C) 500×500×1200mm
	A4		コンクリートブロック(標識用)	(D) 300×300×400mm
	A5		コンクリートブロック(標識用)	(E) 400×400×500mm

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1	B2
③	諸雑費	V1	18	—

5. 根拠

Ⅱ-2-⑬-1

名古屋市版施工単価内訳表

D02770	視覚障害者誘導用平板舗装(一般部)	100m2当り	構造図 219	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 基礎コンクリート	A1	基礎コンクリート有
	A2	基礎コンクリート無(敷モルタル)
	A3	基礎コンクリート無(敷砂)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		視覚障害者誘導用ブロック	300×300×60(線状・点状)	枚	1129	
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V1	表3-1
③	D00807	特殊ブロック設置		m2	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③	D00807	特殊ブロック設置	1	1	1						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
②	コンクリート	V1	6	—	—

5. 根拠

Ⅳ-2-⑥

Ⅱ-4-①

名古屋市版施工単価内訳表

D02771	視覚障害者誘導用平板舗装(誘導部)	100m当り	構造図 218	R01. 5改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 基礎コンクリート	A1	基礎コンクリート有
	A2	基礎コンクリート無(敷モルタル)
	A3	基礎コンクリート無(敷砂)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		視覚障害者誘導用ブロック	300×300×60(線状・点状)	枚	361	
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V1	表3-1
③		樹脂発泡体目地板	厚10mm 15倍	m2	0.26	
④	D00807	特殊ブロック設置		m2	32	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
④	D00807	特殊ブロック設置	1	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	
②	コンクリート	V1	1.92	—	—	

5. 根拠

Ⅳ-2-④

Ⅱ-4-①

名古屋市版施工単価内訳表

D02772	自転車マーク設置	個	構造図	H26.6改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

			係数
A 排水性舗装に施工する場合	A1	無	1
	A2	有	1.05
B 未供用区間に施工する場合	B1	無	1
	B2	有	0.91

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		区画線設置(溶融式)	自転車シンボルマーク (愛知県警仕様)	個	1	

4. 歩掛表

各条件に応じて単価に係数を乗ずる
 単価 × (A × B)

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D02791	照明灯設置	10基当り	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 建柱の設置手間に適用。
- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 種別	A1	カラーポール(LED)
	A2	高8～12m、質量350kg以下
	A3	高8～12m、質量1000kg以下
B 賃料補正 (A2、A3の場合)	B1	;標準(長期割引適用)
	B2	;標準以外
C 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工		人	V1	
②		普通作業員		人	V2	
③		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型]4.9t 吊	日	V3	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	電工	V1	4.5	5.0	6.0
②	普通作業員	V2	3.6	4.0	4.8
③	トラッククレーン賃料	V3	—	1.7	1.9

5. 根拠

Ⅷ－3－6－①

名古屋市版施工単価内訳表

D02792	道路照明基礎	10基当り	構造図 401・402 ・403・404	R2. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 基礎工の種類	A1	直線柱 H=12m, ϕ 500 L=2100
	A2	直線柱 H=10m, ϕ 500 L=2100
	A3	直線柱 H=8m, ϕ 500 L=1600
	A4	段付柱 H=7.65m H=8m, ϕ 500 L=1500
	A5	カラー H=4.5m, ϕ 500 L=1000
	A6	カラー H=4.5m, 300×300×1000
B コンクリートの種別	B1	18・8・40
	B2	18・8・25

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート		m3	V1	表3-1
②		型枠		m2	V2	表3-1
③		スパイラル管	口径500mm 厚0.6mm	m	V3	
④		根枷ブロック	ϕ 500用	個	V4	
⑤		トラック式アースオーガ[建柱車]	450mm 2t 吊	時間	V5	表3-1
⑥		普通作業員		人	V6	

3-1. 子単価条件

	B条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①	B1		コンクリート	2	4	29		2	2	2			
	B2		コンクリート	2	4	41		2	2	2			
②	-		型枠	1	2								
⑤	-		トラック式アースオーガ[建柱車]	0	1	2	0	1	0	1	1	0	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	コンクリート	V1	2.98	3.08	2.26	2.1	2.0	0.85
②	型枠	V2	—	—	—	—	—	9.0
③	スパイラル管	V3	21	21	16	15	10	—
④	根枷ブロック	V4	10	10	10	10	—	—
⑤	トラック式アースオーガ[建柱車]	V5	9	9	7	7	7	—
⑥	普通作業員	V6	1.1	1.1	0.9	0.9	0.9	—

5. 根拠

Ⅷ-3-6-④

名古屋市版施工単価内訳表

D02794	道路照明設置(LED) (コンクリート柱共架)	10基当り	構造図 407-2	R2.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A LEDの種類	A1	生活道路局部照明(電柱共架)
	A2	生活道路中間柱(電柱共架)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		装柱金具	灯具取付用 40mm	個	10	
②		管理番号標(道路照明用)	スッチシート 90×85、185×85、70×105	組	10	
③	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	設置	台	10	
④		照明器具(LED)	(各種)	個	10	表3-2

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	3	1							

3-2. 照明器具の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		照明器具(LED)生活道路局部照明	LED20W 以下(電柱共架)
	A2		照明器具(LED)生活道路中間柱	LED20W 以下(電柱共架)

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅷ-3-6-①

名古屋市版施工単価内訳表

D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	10台当り	構造図 401 ～408-2	H26.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 照明器具の種類	A1	水銀灯、デザイン灯、LED(H8～12m 以下)
	A2	水銀灯、デザイン灯、LED(H8m 以下)
	A3	蛍光灯・LED
B 作業区分	B1	設置
	B2	撤去
	B3	移設

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工		人	V1	
②		普通作業員		人	V2	
③		高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	バスケット型 12m×200kg×2名	時間	V3	
④		高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	プラットフォーム型 9.9m×1000kg	時間	V4	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A1	A1	A2	A2	A2
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	電工	V1	4.1	4.1×0.5	4.1×1.5	4.1	4.1×0.5	4.1×1.5
②	普通作業員	V2	2.1	2.1×0.5	2.1×1.5	2.1	2.1×0.5	2.1×1.5
③	高所作業車	V3	9.0	9.0×0.5	9.0×1.5	—	—	—
④	高所作業車	V4	—	—	—	9.0	9.0×0.5	9.0×1.5

	名称	A条件	A3	A3	A3
		B条件	B1	B2	B3
①	電工	V1	4.1×0.7	4.1×0.7×0.5	4.1×0.7×1.5
②	普通作業員	V2	2.1×0.7	2.1×0.7×0.5	2.1×0.7×1.5
③	高所作業車	V3	—	—	—
④	高所作業車	V4	9.0	9.0×0.5	9.0×1.5

5. 根拠

Ⅷ-3-6-①

名古屋市版施工単価内訳表

D02914	接着剤塗布	10m2当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 接着剤の種類	A1	コンクリート接着材 打継用
	A2	シーリング材 エポキシ

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		接着材	(各種)	kg	6.0	表3-1
②		普通作業員		人	1.0	

3-1. 接着材の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		コンクリート接着材	打継用
	A2		シーリング材	エポキシ

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D04302	まくら土台基礎	10m当り	構造図 601	H23.10.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事の管きよのまくら土台基礎工に適用する。

2. 条件表

A 管内径mm	A1	250～350
	A2	400
	A3	450～600
	A4	700～1000
	A5	1100～1200
	A6	1350
	A7	1500
	A8	1650～1800

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		松丸太太鼓落し(管渠基礎用)	(材積)	m3	V1	
②		松正割(角)		m3	V2	
③		鉄丸くぎ	N75 #10×75	kg	V3	
④		型枠工		人	0.1	
⑤		普通作業員		人	V4	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8
①	松丸太太鼓落し	V1	0.05	0.054	0.071	0.169	0.247	0.28	0.399	0.477
②	松正割(角)	V2	0.01	0.008	0.011	0.026	0.037	0.037	0.053	0.053
③	鉄丸くぎ	V3	0.22	0.18	0.18	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
⑤	普通作業員	V4	0.31	0.31	0.31	0.36	0.36	0.36	0.41	0.41

5. 根拠

Ⅹ－参考資料(まくら土台基礎工)

名古屋市版施工単価内訳表

D04303	はしご胴木基礎	10m当り	構造図 602	H29.2改定

1. 適用条件

・ 下水道工事の管きよのはしご胴木基礎工に適用する。

2. 条件表

A 管内径mm	A1	150～350
	A2	400
	A3	450～600
	A4	700～1000
	A5	1100～1200
	A6	1350
	A7	1500
	A8	1650～1800
B 賃料補正	B1	;標準(長期割引適用)
	B2	;標準以外
C 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		松丸太太鼓落し(管渠基礎用)	(材積)	m3	V1	横木材
②		松丸太太鼓落し(管渠基礎用)	(材積)	m3	V2	縦木材
③		松正割(角)		m3	V3	
④		再生クラッシャーラン	RC-40	m3	V4	
⑤	D08510	バックホウ運転	[クローラ型・クレーン付き 1.7t 吊・排ガス型 2 次] 山積 0.28m3(平積 0.2m3)	日	V5	
⑥		土木一般世話役		人	V6	
⑦		型枠工		人	V7	
⑧		普通作業員		人	V8	
⑨		諸雑費		%	5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C
⑤	D08510	バックホウ運転	1(B1) 2(B2)	C	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8
①	松丸太太鼓落し	V1	0.075	0.080	0.107	0.253	0.370	0.420	0.599	0.716
②	松丸太太鼓落し	V2	0.304	0.304	0.304	0.479	0.479	0.479	0.703	0.703
③	松正割(角)	V3	0.014	0.012	0.016	0.040	0.056	0.056	0.080	0.080
④	再生クラッシャーラン	V4	0.43	0.52	0.80	1.72	2.44	3.24	3.84	4.78
⑤	バックホウ運転	V5	0.32	0.32	0.34	0.35	0.35	0.37	0.35	0.33
⑥	一般土木世話役	V6	0.32	0.32	0.34	0.35	0.35	0.37	0.35	0.33
⑦	型枠工	V7	0.42	0.42	0.43	0.45	0.46	0.47	0.48	0.62
⑧	普通作業員	V8	0.32	0.32	0.34	0.45	0.48	0.50	0.57	0.58

5. 根拠

Ⅸ－Ⅰ－B－3(管基礎工) C－21(はしご胴木基礎)

名古屋市版施工単価内訳表

D04305	砂基礎工	1m3当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事管布設工の砂基礎に適用する(市場単価方式による砂基礎工に適用する)。
- ・ 基礎材にクッション用砂(不洗)を使用する場合に適用する。

2. 条件表

			加算率・補正係数	
			人力施工(A1)	機械施工(A2)
A 施工区分	A1	人力施工		
	A2	機械施工		
B 施工規模	B1	10m3以上		加算率:S0=0%
	B2	10m3未満		加算率:S1=10%
C 時間的制約を受ける場合の補正	C1	無		
	C2	有	補正係数:K1=1.15	補正係数:K1=1.20
D 夜間作業の補正	D1	無		
	D2	有	補正係数:K2=1.50	補正係数:K2=1.35

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	クッション用	m3	1.33	
②		砂基礎設置		m3	1	市場単価、表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		砂基礎設置	人力施工
	A2		砂基礎設置	機械施工

設計単価＝標準の市場単価×(1+(S0 or S1)／100)×(K1×K2)

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-1-B-3(管基礎工) C-19(砂基礎)
下水道工事市場単価

名古屋市版施工単価内訳表

D04310	コンクリート巻立基礎 (90° 巻)	10m当り	構造図 603	H30. 10改定

1. 適用条件

.

2. 条件表

A 管内径mm	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700
	A11	800
	A12	900
	A13	1000
	A14	1100
	A15	1200
	A16	1350
	A17	1500
	A18	1650
	A19	1800
	A20	2000
	A21	2200
	A22	2400

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		型枠	小型構造物	m2	V1	
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	V3	表3-1
④		基礎碎石	碎石厚0.15m、RC-40	m2	V4	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		型枠	1	2							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		基礎碎石	2	8							
④		基礎碎石	3	8							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	型枠	V1	2.60	2.74	2.90	3.06	3.22	3.38
②	コンクリート	V2	0.43	0.50	0.51	0.59	0.68	0.77
③	基礎碎石	V3	0.45×10	0.5×10	0.5×10	0.55×10	0.6×10	0.65×10
④	基礎碎石	V4	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
①	型枠	V1	3.54	4.70	5.04	6.40	6.72	7.08
③	コンクリート	V2	0.78	1.17	1.42	2.25	2.57	3.11
③	基礎碎石	V3	0.65×10	0.7×10	0.8×10	0.95×10	1.05×10	1.20×10
④	基礎碎石	V4	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A13	A14	A15	A16	A17	A18
①	型枠	V1	7.40	8.74	9.06	9.56	11.04	11.54
②	コンクリート	V2	3.66	4.74	5.19	6.16	7.54	8.42
③	基礎碎石	V3	1.35×10	—	—	—	—	—
④	基礎碎石	V4	—	1.45×10	1.55×10	1.75×10	1.85×10	2.0×10

	名称	A条件	A19	A20	A21	A22
①	型枠	V1	12.02	13.70	15.38	16.06
②	コンクリート	V2	9.69	12.02	15.09	16.69
③	基礎碎石	V3	—	—	—	—
④	基礎碎石	V4	2.20×10	2.40×10	2.65×10	2.85×10

5. 根拠

Ⅱ-2-②
Ⅱ-4-①
Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D04311	コンクリート巻立基礎 (120° 巻)	10m当り	構造図 604	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 管内径mm	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700
	A11	800
	A12	900
	A13	1000
	A14	1100
	A15	1200
	A16	1350
	A17	1500
	A18	1650
	A19	1800
	A20	2000
	A21	2200
	A22	2400

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		型枠	小型構造物	m2	V1	
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	V3	表3-1
④		基礎碎石	碎石厚0.15m、RC-40	m2	V4	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		型枠	1	2							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		基礎碎石	2	8							
④		基礎碎石	3	8							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	型枠	V1	3.02	3.28	3.54	3.80	4.08	4.36
②	コンクリート	V2	0.47	0.56	0.65	0.75	0.86	0.97
③	基礎碎石	V3	0.45×10	0.5×10	0.55×10	0.60×10	0.65×10	0.7×10
④	基礎碎石	V4	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
①	型枠	V1	4.64	5.92	6.50	7.08	7.66	9.26
②	コンクリート	V2	1.08	1.55	1.85	2.17	2.69	4.10
③	基礎碎石	V3	0.75×10	0.8×10	0.90×10	1.0×10	1.15×10	1.35×10
④	基礎碎石	V4	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A13	A14	A15	A16	A17	A18
①	型枠	V1	9.82	11.38	11.96	12.78	14.62	15.46
②	コンクリート	V2	4.55	5.75	6.61	7.79	9.70	11.14
③	基礎碎石	V3	1.45×10	—	—	—	—	—
④	基礎碎石	V4	—	1.55×10	1.70×10	1.90×10	2.05×10	2.25×10

	名称	A条件	A19	A20	A21	A22
①	型枠	V1	16.28	18.46	20.60	21.76
②	コンクリート	V2	12.25	15.03	18.07	19.95
③	基礎碎石	V3	—	—	—	—
④	基礎碎石	V4	2.40×10	2.60×10	2.80×10	3.0×10

5. 根拠

II-2-②
 II-4-①
 II-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D04312	コンクリート巻立基礎 (180° 巻)	10m当り	構造図 605	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 管内径mm	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700
	A11	800
	A12	900
	A13	1000
	A14	1100
	A15	1200
	A16	1350
	A17	1500
	A18	1650
	A19	1800
	A20	2000
	A21	2200
	A22	2400

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		型枠	小型構造物	m2	V1	
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	V3	表3-1
④		基礎碎石	碎石厚0.15m、RC-40	m2	V4	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		型枠	1	2							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		基礎碎石	2	8							
④		基礎碎石	3	8							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	型枠	V1	4.02	4.54	5.06	5.60	6.14	6.70
②	コンクリート	V2	0.64	0.77	0.90	1.03	1.17	1.31
③	基礎碎石	V3	0.5 × 10	0.55 × 10	0.60 × 10	0.65 × 10	0.7 × 10	0.75 × 10
④	基礎碎石	V4	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
①	型枠	V1	7.26	8.84	10.0	12.16	13.32	14.5
②	コンクリート	V2	1.64	2.20	2.58	3.47	4.58	5.46
③	基礎碎石	V3	0.85 × 10	0.90 × 10	1.0 × 10	1.10 × 10	1.30 × 10	1.45 × 10
④	基礎碎石	V4	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A13	A14	A15	A16	A17	A18
①	型枠	V1	15.64	17.76	18.90	20.56	23.24	24.90
②	コンクリート	V2	6.41	8.26	9.43	11.06	12.74	15.24
③	基礎碎石	V3	1.60 × 10	—	—	—	—	—
④	基礎碎石	V4	—	1.75 × 10	1.90 × 10	2.10 × 10	2.20 × 10	2.45 × 10

	名称	A条件	A19	A20	A21	A22
①	型枠	V1	26.54	29.90	33.20	35.50
②	コンクリート	V2	16.62	20.52	24.05	28.01
③	基礎碎石	V3	—	—	—	—
④	基礎碎石	V4	2.60 × 10	2.85 × 10	3.05 × 10	3.35 × 10

5. 根拠

Ⅱ-2-②
Ⅱ-4-①
Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D04321	鉄筋コンクリート管布設	10m当り	構造図	H24.5.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事管布設工の呼び径200mm以上2400mm以下の鉄筋コンクリート管(B形管、C形管、NC形管)布設作業に適用し、機械施工を標準とする。 ・ 鉄筋コンクリート管材料費は含まない。 ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価 ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35% ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 管内径(mm)	A1	400
	A2	450
	A3	500
	A4	600
	A5	700
	A6	800
	A7	900
	A8	1000
	A9	1100
	A10	1200
	A11	1350
	A12	1500
	A13	1650
	A14	1800
	A15	2000
	A16	2200
	A17	200
	A18	250
	A19	300
	A20	350
	A21	2400
B 賃料補正	B1	;標準(長期割引適用)
	B2	;標準以外
C 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型]4.9t吊	日	V4	
⑤		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型]16t吊	日	V5	
⑥		諸雑費		%	1	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
①	土木一般世話役	V1	0.35	0.36	0.37	0.39	0.41	0.43	0.45
②	特殊作業員	V2	0.70	0.72	0.74	0.78	0.82	0.86	0.90
③	普通作業員	V3	0.70	0.72	0.74	1.17	1.23	1.29	1.35
④	トラッククレーン賃料	V4	0.35	0.36	0.37	0.39	0.41	0.43	—
⑤	トラッククレーン賃料	V5	—	—	—	—	—	—	0.45

	名称	A条件	A8	A9	A10	A11	A12	A13	A14
①	土木一般世話役	V1	0.48	0.50	0.53	0.57	0.62	0.67	0.72
②	特殊作業員	V2	0.96	1.00	1.06	1.14	1.24	1.34	1.44
③	普通作業員	V3	1.44	1.50	1.59	1.71	1.86	2.01	2.16
④	トラッククレーン賃料	V4	—	—	—	—	—	—	—
⑤	トラッククレーン賃料	V5	0.48	0.50	0.53	0.57	0.62	0.67	0.72

	名称	A条件	A15	A16	A17	A18	A19	A20	A21
①	土木一般世話役	V1	0.80	0.89	0.31	0.32	0.33	0.34	0.99
②	特殊作業員	V2	1.60	1.78	0.62	0.64	0.66	0.68	1.98
③	普通作業員	V3	2.40	2.67	0.62	0.64	0.66	0.68	2.97
④	トラッククレーン賃料	V4	—	—	0.31	0.32	0.33	0.34	—
⑤	トラッククレーン賃料	V5	0.80	0.89	—	—	—	—	0.99

5. 根拠

Ⅸ－Ⅰ－B－2(管布設工) C－4(鉄筋コンクリート管)

名古屋市版施工単価内訳表

D04327	取付管布設および支管取付工	1箇所当り	構造図	H22.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による、取付管布設・支管取付工に適用する。
- ・ 取付管布設のうち下水道用硬質塩化ビニル管(JSWAS K-1)を設置する場合に適用する。

2. 条件表

			加算率・補正係数
A 管径	A1	150mm	
	A2	200mm	
	A3	100mm	
	A4	125mm	
B 施工規模	B1	5箇所以上	加算率:S0=0%
	B2	5箇所未満	加算率:S1=10%
C 時間的制約を受ける場合の補正	C1	無	
	C2	有	補正係数:K1=1.10
D 夜間作業の補正	D1	無	
	D2	有	補正係数:K2=1.20
E 取付管長	E1	3m未満	補正係数:K3=0.85
	E2	3m以上5m未満	
	E3	5m以上12m未満	補正係数:K4=1.15
F 本管の材質	F1	コンクリート製・陶製以外	
	F2	コンクリート製・陶製	補正係数:K5=1.10

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		取付管布設工および支管取付工		箇所	1	市場単価、表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		取付管布設および支管取付工	管径150mm
	A2		取付管布設および支管取付工	管径200mm
	A3		取付管布設および支管取付工	管径100mm
	A4		取付管布設および支管取付工	管径125mm

設計単価＝標準の市場単価×(1+(S0 or S1)／100)×(K1×K2×K3×K4×K5)

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ－Ⅰ－B－18(取付管布設工) C－89(取付管)
下水道工事市場単価

名古屋市版施工単価内訳表

D04501	人孔鉄蓋据付	10か所当り	構造図 733・734・735	H24.5.1改定

1. 適用条件

- ・ 人孔蓋はワク共である。
- ・ 人力据え付け。
- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 材料種別	A1	T-25
	A2	T-14
B 賃料補正	B1	;標準(長期割引適用)
	B2	;標準以外
C 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		マンホール蓋	(各種)	組	10	表3-1
②		土木一般世話役		人	0.8	
③		特殊作業員		人	0.8	
④		普通作業員		人	1.6	
⑤		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊	日	0.8	
⑥		諸雑費		%	5	

3-1. マンホール蓋の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		鋳鉄製マンホール蓋(下水道用)	枠付 車道用 T-25 600mm
	A2		鋳鉄製マンホール蓋(下水道用)	枠付 歩道用 T-14 600mm

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-1-B-11(標準(現場打ち)マンホール工) C-44～50

名古屋市版施工単価内訳表

D04505	現場打高調整(角人孔用)	1m当り	構造図 707	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 高さは $150 \leq H \leq 300\text{mm}$ /1か所である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	18・8・25BB	m3	0.69	表3-1
②		型枠	鉄筋・無筋構造物	m2	6.91	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		コンクリート	2	4	41		2		2		
②		型枠	1	3							

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅱ-4-①
Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D04510	頂版据付	10か所当り	構造図 707	H19.10改定

1. 適用条件

・ 人孔用頂版

2. 条件表

A 頂版質量t	A1	1.0t $\leq$ W<2.0t(3,4 号角人孔頂版)
	A2	2.0t $\leq$ W<4.0t(5,6,7 号角人孔頂版)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	(80 超え 2200kg 以下)	基	10	表3-1
②		諸雑費		%	3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A条件	A	B	C	D	E	F	G
④	D00804	プレキャストコンクリート製品布設 (80超え2200kg以下)	A1	1	4					
			A2	1	5					

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D04511	角人孔躯体	1か所当り	構造図 707～732	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 接続管は1人孔2か所(端部人孔で1か所だけの場合を含む)。
- ・ 接続管種はC型管1000mm以上。

2. 条件表

A 接続管径mm	A1	1000(3号角人孔)
	A2	1100(3号角人孔)
	A3	1200(4号角人孔)
	A4	1350(4号角人孔)
	A5	1500(5号角人孔)
	A6	1650(5号角人孔)
	A7	1800(6号角人孔)
	A8	2000(6号角人孔)
	A9	2200(7号角人孔)
	A10	2400(7号角人孔)
B 接続管径mm	B1	なし
	B2	1000
	B3	1100
	B4	1200
	B5	1350
	B6	1500
	B7	1650
	B8	1800
	B9	2000
	B10	2200
	B11	2400

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎砕石	砕石厚0.1m、RC-40	m2	V1	
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	
③		コンクリート	21-8-25BB	m3	V3	
④		鉄筋工[市場単価]	SD295A D13	t	V4	
⑤		鉄筋工[市場単価]	SD295A D16	t	V5	
⑥		型枠	鉄筋・無筋構造物	m2	V6	
⑦		型枠	均しコンクリート	m2	V7	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎砕石	2	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		コンクリート	2	4	20		2		2		
④		鉄筋工[市場単価]	2	1	2	2	2	2	2	1	1
⑤		鉄筋工[市場単価]	3	1	2	2	2	2	2	1	1
⑥		型枠	1	3							
⑦		型枠	1	5							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
①	基礎砕石	V1	3.8	3.8	4.37	4.37	5.13
②	コンクリート	V2	0.38	0.38	0.44	0.44	0.51
⑤	鉄筋工[市場単価]	V5	0.016	0.016	0.019	0.019	0.020
⑦	型枠	V7	0.78	0.78	0.84	0.84	0.92

	名称	A条件	A6	A7	A8	A9	A10
①	基礎砕石	V1	5.13	5.89	5.89	6.65	6.65
②	コンクリート	V2	0.51	0.59	0.59	0.67	0.67
⑤	鉄筋工[市場単価]	V5	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020
⑦	型枠	V7	0.92	1.00	1.00	1.08	1.08

	名称	A条件	A1	A1	A2	A2	A2	A3	A3	A3
		B条件	B1	B2	B1	B2	B3	B1	B2	B3
③	基礎砕石	V3	3.81	3.54	3.75	3.49	3.43	4.72	4.45	4.40
④	コンクリート	V4	0.339	0.312	0.334	0.306	0.301	0.416	0.389	0.384
⑥	型枠	V6	23.87	22.81	23.66	22.60	22.38	31.61	30.54	30.33

	名称	A条件	A3	A4	A4	A4	A4	A4	A5	A5
		B条件	B4	B1	B2	B3	B4	B5	B1	B2
③	基礎砕石	V3	4.34	4.62	4.36	4.30	4.24	4.15	5.84	5.57
④	コンクリート	V4	0.378	0.406	0.380	0.375	0.369	0.359	0.558	0.531
⑥	型枠	V6	30.09	31.22	30.16	29.94	29.70	29.32	39.31	38.24

	名称	A条件	A5	A5	A5	A5	A6	A6	A6
		B条件	B3	B4	B5	B6	B1	B2	B3
③	基礎砕石	V3	5.52	5.46	5.36	5.25	5.72	5.45	5.40
④	コンクリート	V4	0.526	0.520	0.510	0.499	0.546	0.519	0.514
⑥	型枠	V6	38.03	37.79	37.40	36.97	38.83	37.77	37.56

	名称	A条件	A6	A6	A6	A6	A7	A7	A7
		B条件	B4	B5	B6	B7	B1	B2	B3
③	基礎碎石	V3	5.34	5.24	5.14	5.02	7.24	6.97	6.92
④	コンクリート	V4	0.508	0.498	0.488	0.476	0.667	0.642	0.637
⑥	鉄筋工[市場単価]	V6	37.32	36.93	36.50	36.03	49.44	48.38	48.16

	名称	A条件	A7	A7	A7	A7	A7	A8	A8
		B条件	B4	B5	B6	B7	B8	B1	B2
③	基礎碎石	V3	6.86	6.77	6.66	6.54	6.41	7.04	6.77
④	コンクリート	V4	0.631	0.622	0.612	0.601	0.589	0.648	0.623
⑥	鉄筋工[市場単価]	V6	47.93	47.54	47.11	46.64	46.13	48.64	47.57

	名称	A条件	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8
		B条件	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9
③	基礎碎石	V3	6.72	6.66	6.56	6.46	6.34	6.21	6.01
④	コンクリート	V4	0.618	0.612	0.603	0.593	0.582	0.570	0.551
⑥	鉄筋工[市場単価]	V6	47.36	47.12	46.74	46.30	45.83	45.33	44.52

	名称	A条件	A9	A9	A9	A9	A9	A9	A9
		B条件	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7
③	基礎碎石	V3	8.74	8.48	8.42	8.36	8.27	8.16	8.04
④	コンクリート	V4	0.800	0.775	0.770	0.764	0.755	0.745	0.734
⑥	鉄筋工[市場単価]	V6	61.07	60.01	59.79	59.55	59.17	58.74	58.27

	名称	A条件	A9	A9	A9	A10	A10	A10	A10
		B条件	B8	B9	B10	B1	B2	B3	B4
③	基礎碎石	V3	7.91	7.71	7.50	8.37	8.24	8.18	8.13
④	コンクリート	V4	0.722	0.704	0.683	0.777	0.753	0.748	0.742
⑥	鉄筋工[市場単価]	V6	57.76	56.95	56.08	60.12	59.05	58.84	58.60

	名称	A条件	A10	A10	A10	A10	A10	A10	A10
		B条件	B5	B6	B7	B8	B9	B10	B11
③	基礎碎石	V3	8.03	7.92	7.80	7.68	7.48	7.26	7.02
④	コンクリート	V4	0.733	0.723	0.712	0.700	0.681	0.661	0.639
⑥	鉄筋工[市場単価]	V6	58.22	57.78	57.31	56.81	56.00	55.13	54.18

5. 根拠

Ⅱ－2－②

Ⅱ－4－①

Ⅱ－4－②－1

名古屋市版施工単価内訳表

D04515	丸人孔底部	10か所当り	構造図 706	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 丸人孔底部工に適用する。

2. 条件表

A 人孔の種類	A1	1号丸人孔
	A2	2号丸人孔

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18-8-25BB	m3	V2	表3-1
③		型枠	鉄筋・無筋構造物	m2	V3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		型枠	1	3							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	基礎碎石	V1	$1.55 \times 1.55 \times 3.14 / 4 \times 10$	$1.85 \times 1.85 \times 3.14 / 4 \times 10$
②	コンクリート	V2	$1.55 \times 1.55 \times 3.14 / 4 \times 0.25 \times 10$	$1.85 \times 1.85 \times 3.14 / 4 \times 0.25 \times 10$
③	型枠	V3	$1.55 \times 3.14 \times 0.25 \times 10$	$1.85 \times 3.14 \times 0.25 \times 10$

5. 根拠

Ⅱ-2-②

Ⅱ-4-①

Ⅱ-4-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D04523	組立マンホール設置工(0号)	1箇所当り	構造図 703	H22.10改定

1. 適用条件

・ 市場単価方式による、組立マンホール設置工に適用する。

2. 条件表

			加算率・補正係数
A マンホール深さ	A1	2m以下	
	A2	2m超～3m以下	
	A3	3m超～5m以下	
B 施工規模	B1	4箇所以上	加算率:S0=0%
	B2	4箇所未満	加算率:S1=15%
C 時間的制約を受ける場合の補正	C1	無	
	C2	有	補正係数:K1=1.15
D 夜間作業の補正	D1	無	
	D2	有	補正係数:K2=1.35

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		組立マンホール設置工 0号		箇所	1	市場単価、表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		組立マンホール設置工 0号	深さ2m以下
	A2		組立マンホール設置工 0号	深さ2m超～3m以下
	A3		組立マンホール設置工 0号	深さ3m超～5m以下

設計単価＝標準の市場単価×(1+(S0 or S1)／100)×(K1×K2)

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ－Ⅰ－B－12(組立マンホール工)
下水道工事市場単価

名古屋市版施工単価内訳表

D04524	組立マンホール設置工(1号)	1箇所当り	構造図 704	H22.10改定

1. 適用条件

・ 市場単価方式による、組立マンホール設置工に適用する。

2. 条件表

			加算率・補正係数
A マンホール深さ	A1	3m以下	
	A2	3m超～4m以下	
	A3	4m超～5m以下	
B 施工規模	B1	4箇所以上	加算率:S0=0%
	B2	4箇所未満	加算率:S1=15%
C 時間的制約を受ける場合の補正	C1	無	
	C2	有	補正係数:K1=1.15
D 夜間作業の補正	D1	無	
	D2	有	補正係数:K2=1.35

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		組立マンホール設置工 1号		箇所	1	市場単価、表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		組立マンホール設置工 1号	深さ3m以下
	A2		組立マンホール設置工 1号	深さ3m超～4m以下
	A3		組立マンホール設置工 1号	深さ4m超～5m以下

設計単価＝標準の市場単価×(1+(S0 or S1)／100)×(K1×K2)

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ－Ⅰ－B－12(組立マンホール工)
下水道工事市場単価

名古屋市版施工単価内訳表

D04525	組立マンホール設置工(2号)	1箇所当り	構造図 705	H22.10改定

1. 適用条件

・ 市場単価方式による、組立マンホール設置工に適用する。

2. 条件表

			加算率・補正係数
A マンホール深さ	A1	4m以下	
	A2	4m超～5m以下	
	A3	5m超～6m以下	
B 施工規模	B1	4箇所以上	加算率:S0=0%
	B2	4箇所未満	加算率:S1=15%
C 時間的制約を受ける場合の補正	C1	無	
	C2	有	補正係数:K1=1.15
D 夜間作業の補正	D1	無	
	D2	有	補正係数:K2=1.35

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		組立マンホール設置工 2号		箇所	1	市場単価、表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		組立マンホール設置工 2号	深さ4m以下
	A2		組立マンホール設置工 2号	深さ4m超～5m以下
	A3		組立マンホール設置工 2号	深さ5m超～6m以下

設計単価＝標準の市場単価×(1+(S0 or S1)／100)×(K1×K2)

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ－Ⅰ－B－12(組立マンホール工)
下水道工事市場単価

名古屋市版施工単価内訳表

D04526	組立マンホール設置工(3号)	1箇所当り	構造図	H22.10改定

1. 適用条件

・ 市場単価方式による、組立マンホール設置工に適用する。

2. 条件表

			加算率・補正係数
A マンホール深さ	A1	4m以下	
	A2	4m超～5m以下	
	A3	5m超～6m以下	
B 施工規模	B1	4箇所以上	加算率:S0=0%
	B2	4箇所未満	加算率:S1=15%
C 時間的制約を受ける場合の補正	C1	無	
	C2	有	補正係数:K1=1.15
D 夜間作業の補正	D1	無	
	D2	有	補正係数:K2=1.35

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		組立マンホール設置工 3号		箇所	1	市場単価、表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		組立マンホール設置工 3号	深さ4m以下
	A2		組立マンホール設置工 3号	深さ4m超～5m以下
	A3		組立マンホール設置工 3号	深さ5m超～6m以下

設計単価＝標準の市場単価×(1+(S0 or S1)／100)×(K1×K2)

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ－Ⅰ－B－12(組立マンホール工)
下水道工事市場単価

名古屋市版施工単価内訳表

D04601	反転・引込工	V1m当り $V1 = ((60 \times 8) / V11) \times C$	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事における管更生用
- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 既設管径	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700
B 更生延長	B1	10m 以下
	B2	10m-20m 以下
	B3	20m-30m 以下
	B4	30m-40m 以下
	B5	40m-50m 以下
	B6	50m-60m 以下
	B7	60m-70m 以下
C 実更生延長	入力	
D 作業区分	D1	昼間
	D2	夜間
E 賃料補正	E1	;標準(長期割引適用)
	E2	;標準以外
F 供用日	入力(E2の場合)	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	1	#01
②		特殊作業員		人	2	#01
③		普通作業員		人	2 3	#01 $A \leq 4$ $A \geq 5$
④	D08702	トラック運転(クレーン装置付き)(管更生用)	4t積み 2.9t吊	日	1	
⑤	D08706	反転・引込車運転(管更生用)	4t 154kW	日	1	

⑥	D08701	発動発電機運転(管更生用)	45kVA	日	1	
⑦	#01	諸雑費		%	14 9	D=1 D=2

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C
⑥	D08701	発動発電機運転(管更生用)	1	1(E1) 2(E2)	F

4. 歩掛表

A条件	B条件	V11	A条件	B条件	V11
A1	B1	35	A6	B1	45
A1	B2	45	A6	B2	55
A1	B3	50	A6	B3	60
A1	B4	60	A6	B4	70
A1	B5	70	A6	B5	80
A1	B6	75	A6	B6	85
A1	B7	85	A6	B7	95
A2	B1	40	A7	B1	45
A2	B2	45	A7	B2	55
A2	B3	55	A7	B3	65
A2	B4	65	A7	B4	70
A2	B5	70	A7	B5	80
A2	B6	80	A7	B6	90
A2	B7	85	A7	B7	95
A3	B1	40	A8	B1	50
A3	B2	50	A8	B2	55
A3	B3	55	A8	B3	65
A3	B4	65	A8	B4	75
A3	B5	75	A8	B5	80
A3	B6	80	A8	B6	90
A3	B7	90	A8	B7	95
A4	B1	45	A9	B1	50
A4	B2	50	A9	B2	60
A4	B3	60	A9	B3	65
A4	B4	65	A9	B4	75
A4	B5	75	A9	B5	85
A4	B6	85	A9	B6	90
A4	B7	90	A9	B7	100
A5	B1	45	A10	B1	55
A5	B2	55	A10	B2	60
A5	B3	60	A10	B3	70
A5	B4	70	A10	B4	80
A5	B5	75	A10	B5	85
A5	B6	85	A10	B6	95
A5	B7	95	A10	B7	100

5. 根拠

Ⅸ-4-B-210管きよ内面被覆工(反転・形成工法)C-2101 反転・形成D-2101-1 反転・引込工

名古屋市版施工単価内訳表

D04602	硬化・形成工	V1m当り $V1=((60*8)/V11)*C$	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事における管更生用
- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 既設管径	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700
B 更生延長	B1	10m 以下
	B2	10m-20m 以下
	B3	20m-30m 以下
	B4	30m-40m 以下
	B5	40m-50m 以下
	B6	50m-60m 以下
	B7	60m-70m 以下
C 実更生延長	実更生延長	
D 作業区分	D1	昼間
	D2	夜間
E 賃料補正 (発電機)	E1	;標準(長期割引適用)
	E2	;標準以外
F 賃料補正 (空気圧縮機)	F1	;標準(長期割引適用)
	F2	;標準以外
G 供用日	入力(E2の場合)	
H 供用日	入力(F2の場合)	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	1	#01
②		特殊作業員		人	2	#01
③		普通作業員		人	2	#01 $A \leq 4$
					3	$A \geq 5$

④	D08702	トラック運転(クレーン装置付き)(管更生用)	4t積み 2.9t吊	日	1	
⑤	D08707	硬化・形成車運転(管更生用)	4t 154kW	日	1	
⑥	D08705	空気圧縮機運転(管更生用)	5.0m3/min	日	1	
⑦	D08701	発動発電機運転(管更生用)	45kVA	日	1	
⑧	#01	諸雑費			5 3	D=1 D=2

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C
⑥	D08705	空気圧縮機運転(管更生用)	1(F1) 2(F2)	H	
⑦	D08701	発動発電機運転(管更生用)	1	1(E1) 2(E2)	G

4. 歩掛表

A条件	B条件	V11	A条件	B条件	V11
A1	B1	120	A6	B1	170
A1	B2	130	A6	B2	180
A1	B3	145	A6	B3	195
A1	B4	155	A6	B4	205
A1	B5	170	A6	B5	220
A1	B6	180	A6	B6	230
A1	B7	195	A6	B7	245
A2	B1	130	A7	B1	175
A2	B2	145	A7	B2	190
A2	B3	155	A7	B3	200
A2	B4	170	A7	B4	215
A2	B5	180	A7	B5	225
A2	B6	195	A7	B6	240
A2	B7	210	A7	B7	250
A3	B1	145	A8	B1	180
A3	B2	155	A8	B2	195
A3	B3	170	A8	B3	205
A3	B4	180	A8	B4	220
A3	B5	195	A8	B5	230
A3	B6	205	A8	B6	245
A3	B7	220	A8	B7	260
A4	B1	150	A9	B1	195
A4	B2	165	A9	B2	205
A4	B3	180	A9	B3	220
A4	B4	190	A9	B4	230
A4	B5	205	A9	B5	245
A4	B6	215	A9	B6	255
A4	B7	230	A9	B7	270

A5	B1	160	A10	B1	205
A5	B2	175	A10	B2	215
A5	B3	185	A10	B3	230
A5	B4	200	A10	B4	240
A5	B5	210	A10	B5	255
A5	B6	225	A10	B6	265
A5	B7	235	A10	B7	280

5. 根拠

IX-4-B-210 管きよ内面被覆工(反転・形成工法)C-2101 反転・形成D-2101-2 硬化・形成工

名古屋市版施工単価内訳表

D04603	本管口切断工	V1箇所当り $A \leq 5$ の場合 $V1 = 24$ $A \geq 6$ の場合 $V1 = 16$	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

A 既設管径	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700
B 作業区分	B1	昼間
	B2	夜間

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	1	#01
②		特殊作業員		人	1	#01
③		普通作業員		人	2	#01
④	D08703	トラック運転(クレーン装置付き)(管更生用)	4t積み 2.0t吊	日	1	
⑤	#01	諸雑費		%	6 4	B=1の場合 B=2の場合

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-4-B-210管きょ内面被覆工(反転・形成工法)C-2102 仕上D-2102-1 本管口切断工

名古屋市版施工単価内訳表

D04604	本管口仕上工	V1箇所当り $A \leq 5$ の場合 $V1 = 14$ $A \geq 6$ の場合 $V1 = 10$	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

A 既設管径	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	1	#01
②		特殊作業員		人	1	#01
③		普通作業員		人	2	#01
④	D08704	トラック運転(管更生用)	2t積	日	1	
⑤		管口仕上材		Kg	V2	

4. 歩掛表

$$V2 = V1 \times (5.9 \times A / 1000)^{*1}$$

(A1=150、A2=200、A3=250、A4=300、A5=350、A6=400、A7=450、A8=500、A9=600、A10=700)

*1: 少数第2位四捨五入後V1を乗じる

5. 根拠

Ⅸ-4-B-210管きょ内面被覆工(反転・形成工法)C-2102 仕上D-2102-2 本管口仕上工

名古屋市版施工単価内訳表

D04605	取付管口せん孔仕上工	V11箇所当り (A=1の場合9) (A=2の場合24) (A=3の場合13)	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

A 工種	A1	1 日施工
	A2	分割施工・仮
	A2	分割施工・本
A 作業区分	B1	昼間
	B2	夜間

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	1	#01
②		特殊作業員		人	2	#01
③		普通作業員		人	1	#01
④	D08708	本管用TVカメラ車運転(管更生用)	2t 63kW	日	1	
⑤	D08709	高圧洗浄車運転(管更生用)	4t 147kW	日	1	
⑥	D08711	せん孔機車運転(管更生用)	2t 84kW	日	1	
⑦	D08704	トラック運転(管更生用)	2t積	日	1	
⑧	#01	諸雑費		%	4 3	A=1の場合 A=2の場合

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-4-B-210管きょ内面被覆工(反転・形成工法)C-2102 仕上
D-2102-3 取付管口せん孔仕上工(1日施工)
D-2102-4 取付管口せん孔仕上工(分割施工)

名古屋市版施工単価内訳表

D04606	仮設備設置・撤去工	V1回当り (B=1の場合 9) (B=2の場合 12)	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事における管更生用
- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 既設管径	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700
B 作業区分	B1	設置
	B2	撤去
C 賃料補正	C1	;標準(長期割引適用)
	C2	;標準以外
D 供用日		入力(C2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	1	
②		特殊作業員		人	2 3	A≤7の場合 A≥8の場合
③		普通作業員		人	2	
④	D08702	トラック運転(クレーン装置付き)(管更生用)	4t積み 2.9t吊り	日	1	
⑤	D08701	発動発電機運転(管更生用)	45kVA	日	1	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑥	D08701	発動発電機運転(管更生用)	1	1(C1) 2(C2)	D						

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4-B-210 管きよ内面被覆工(反転・形成工法) C-2103 仮設備

名古屋市版施工単価内訳表

D04607	換気設備工(管更生用)	1日当り	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用 ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価 ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレンクレーンは20%、その他の機種は35% ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 賃料補正	A1	;標準(長期割引適用)
	A2	;標準以外
B 供用日		入力(A2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		軸流ファン[軸流式・定風量型]	50／60m3／min	1	日	#01
②	D08701	発動発電機運転(管更生用)	25kVA	1	日	#01
③	#01	諸雑費		12	%	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑥	D08701	発動発電機運転(管更生用)	2	1(A1) 2(A2)	B						

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4-B-220換気工C-2200 換気設備D-2200-1 換気設備工

名古屋市版施工単価内訳表

D04608	反転・形成用水替(管更生用)	1日当たり	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事における管更生用
- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 既設管径	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700
B 潜水ポンプによる水替えの有無	B1	有
	B2	無
C 賃料補正	C1	;標準(長期割引適用)
	C2	;標準以外
D 供用日		入力(C2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08712	潜水ポンプ運転工(管更生用)		日	1	B=2 の場合は計上しない
②	各種	止水プラグ損料	(各種)	供用日	1	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D08712	潜水ポンプ運転工(管更生用)	V1	1(C1) 2(C2)	D						

3-2. 子単価条件表

A 条件	B 条件	V1	A 条件	B条件	V1
A1	B1	1	A6	B1	6
A2	B1	2	A7	B1	7
A3	B1	3	A8	B1	8
A4	B1	4	A9	B1	9
A5	B1	5	A10	B1	10

5. 根拠

Ⅸ-4-B-230 管きょ更生水替工C-2300 反転・形成用水替D-2300-1 潜水ポンプ運転工

名古屋市版施工単価内訳表

D05510	透水性インターロッキング ブロック設置	100m2当り	構造図 215・215-2	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式によるインターロッキングブロック工に適用する。

2. 条件表

A 作業区分	A1	直線配置 ブロック厚 6cm	(加算率・補正係数)
	A2	直線配置 ブロック厚 8cm	
	A3	曲線配置 ブロック厚 6cm	
	A4	曲線配置 ブロック厚 8cm	
	A5	直線配置3色以上色合ブロック厚 6cm	
	A6	直線配置3色以上色合ブロック厚 8cm	
	A7	曲線配置3色以上色合ブロック厚 6cm	
	A8	曲線配置3色以上色合ブロック厚 8cm	
B 敷砂の厚さ		実数入力	
C 施工規模による加算	C1	100m2以上	S0=0%
	C2	100m2未満	S1=10%
D 時間的制約を受ける場合の補正	D1	無	
	D2	有	K1=1.10
E 夜間作業補正	E1	無	
	E2	有	K2=1.15

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		インターロッキングブロック設置工	(各種)	m2	100	市場単価
②		インターロッキングブロック(標準品)	(各種)	m2	102	単価控除
③		透水性インターロッキングブロック	(各種)	m2	102	
④		砂	洗い 荒目	m3	V1	

3-1. インターロッキングブロック設置工(市場単価)の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		インターロッキングブロック設置工 一般部	T=6cm 標準品 直線配置
	A2		インターロッキングブロック設置工 一般部	T=8cm 標準品 直線配置
	A3		インターロッキングブロック設置工 一般部	T=6cm 標準品 曲線配置
	A4		インターロッキングブロック設置工 一般部	T=8cm 標準品 曲線配置
	A5		インターロッキングブロック設置工 一般部	T=6cm 標準品 直線色合せ
	A6		インターロッキングブロック設置工 一般部	T=8cm 標準品 直線色合せ
	A7		インターロッキングブロック設置工 一般部	T=6cm 標準品 曲線色合せ
	A8		インターロッキングブロック設置工 一般部	T=8cm 標準品 曲線色合せ

3-2. インターロッキングブロック(標準品)の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1・A3 ・A5・A7		インターロッキングブロック	ブロック厚6cm 標準品
	A2・A4 ・A6・A8		インターロッキングブロック	ブロック厚8cm 標準品

3-3. 透水性インターロッキングブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1・A3 ・A5・A7		透水性インターロッキングブロック	ブロック厚6cm カラー
	A2・A4 ・A6・A8		透水性インターロッキングブロック	ブロック厚8cm カラー

4. 歩掛表

$$V1=100 \times (B/1000) \times (1+0.29)$$

5. 根拠

VI-2-④

名古屋市版施工単価内訳表

D05551	フィルター層 仕上り厚5cm	100m2当り	構造図 213・213-2	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 歩道におけるフィルター材の敷均し及び締固め作業に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	100/290	
②		特殊作業員		人	100/290 × 2	
③		普通作業員		人	100/290 × 4	
④		砂	クッション用	m3	0.05 × 100 × 1.14	
⑤	D36015	振動ローラ運転		日	100/290	
⑥		諸雑費		%	10	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅳ－１－③－３

名古屋市版施工単価内訳表

D05561	透水性アスファルト舗装 (歩道)	100m2当り	構造図 213	H27.10改定

1. 適用条件

- 歩道における透水性アスファルト舗装工事に適用する。

2. 条件表

A アスファルト混合物の種類	A1	透水性AS混合物(13)
	A2	透水性ベンガラAS混合物(13)
	A3	透水性脱色AS混合物(13)
B 舗設厚	B1	30mm
	B2	40mm
	B3	50mm
C 施工幅員	C1	1.4m以上(機械施工)
	C2	1.4m未満・機械施工困難な場所(人力施工)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		アスファルト混合物	(各種)	t	V4	表3-1
⑤	D36013	アスファルトフィニッシャ運転	クローラ型、1.4～3.0m	日	V5	
⑥	D36015	振動ローラ運転	排出ガス対策型 搭乗式コンバインド型3～4t	日	V6	表3-1
⑦	D36014	振動ローラ運転	ハンドガイド式、0.5～0.6t	日	V7	
⑧	D36016	振動コンパクタ運転	40～60kg	日	V8	
⑨		諸雑費		%	V9	

3-1. アスファルト混合物の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		アスファルト混合物	透水性AS混合物(13)
	A2		アスファルト混合物ベンガラ入	透水性AS混合物(13)
	A3		脱色アスファルト混合物	透水性AS混合物(13)

4. 歩掛表

	名称	C条件	C1	C2
①	土木一般世話役	V1	100/600	100/200
②	特殊作業員	V2	100/600×3	100/200×2
③	普通作業員	V3	100/600×5	100/200×4
⑤	アスファルトフィニッシャ運転	V5	100/600	—
⑥	振動ローラ運転	V6	100/600	—
⑦	振動ローラ運転	V7	—	100/200
⑧	振動コンパクタ運転	V8	—	100/200
⑨	諸雑費	V9	7	9

	名称	B条件	B1	B2
④	アスファルト混合物	V4	$100 \times 30 / 1000 \times 2.05 \times (1 + 0.10)$	$100 \times 40 / 1000 \times 2.05 \times (1 + 0.10)$

	名称	B条件	B3
④	アスファルト混合物	V4	$100 \times 50 / 1000 \times 2.05 \times (1 + 0.10)$

5. 根拠

Ⅳ－１－③－３

名古屋市版施工単価内訳表

D06101	公園U形側溝	10m当り	構造図 125-2	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 公園内の排水施設に適用する。

2. 条件表

A U形側溝の形状寸法	A1	180	
	A2	240	
	A3	300	
B 土工	B1	人力土工	別紙「公園作業土工」参照
	B2	小規模土工	
C コンクリート基礎の有無	C1	CON基礎有	
	C2	CON基礎無	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		U形側溝		m	10	表3-1
②		コンクリート	小型構造物	m3	V1	単価控除
③		型枠	均しコンクリート	m2	V2	単価控除
④		掘削		m3	V3	
⑤		埋戻		m3	V4	

3-1. 子単価の種類及び条件

	A条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①	A1	D00923	U形側溝(180)	1									
	A2	D00922	U形側溝 A	1	1								
	A3	D00922	U形側溝 A	2	1								
②			コンクリート	2	4	41		2		2			
③			型枠	1	5								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2		A3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
②	コンクリート	V1	—	0.25	—	0.33	—	0.40
③	型枠	V2	—	2.0	—	2.0	—	2.0
④	掘削	V3	3.2	1.9	4.2	2.7	5.3	3.6
⑤	埋戻	V4	2.0	1.0	2.5	1.3	2.9	1.6

5. 根拠

V-3-② / VI-2-⑪ / II-4-① / II-4-②

名古屋市版施工単価内訳表

D06102	公園L形側溝	10m当り	構造図 118	H30. 10改定

1. 適用条件

- 公園内の排水施設に適用。 - コンクリート基礎有りは、車両の乗り入れる可能性のある箇所とする。 - コンクリート基礎なしは、車両の乗り入れる可能性のない箇所とする。

2. 条件表

A コンクリート基礎の有無	A1	コンクリート基礎有
	A2	コンクリート基礎無
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	18・8・25 BB	m3	V1	表3-1
②		コンクリートL形	180 33×14×60	本	16.5	
③	D00806	L形側溝据付	据付、基礎砕石有	m	10	表3-1
④		型枠	均しコンクリート	m2	V2	表3-1
⑤		掘削		m3	V3	
⑥		埋戻		m3	V4	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		コンクリート	2	4	41		2		2			
③	D00806	L形側溝据付	1	1	1		1					
④		型枠	1	5								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	コンクリート	V1	0.33	—
④	型枠	V2	2.0	—
⑤	掘削	V3	2.5	1.4
⑥	埋戻	V4	1.4	0.6

5. 根拠

V-3-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06110	公園グレーチング設置	10m当り	構造図 123	H30.6改定

1. 適用条件

- ・スベリ止めのみ
- ・かさ上げ材無し

2. 条件表

A 耐荷重	A1	1種(T-2)
	A2	2種(T-14)
B U形側溝	B1	U180
	B2	U240
	B3	U300
C 網目	C1	並目
	C2	細目

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		グレーチング	(各種)	枚	V1	表3-1
②		排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	40kg以下	枚	V2	標準単価

3-1. グレーチングの種類

	A条件	B条件	C条件	コード	名称	規格
①	A1	B1	C1		グレーチング U形側溝180用	T-2並目995×240×25ノンスリップ°
	A1	B1	C2		グレーチング U形側溝180用	T-2細目498×225×25ノンスリップ°
	A1	B2	C1		グレーチング U形側溝240用	T-2並目995×300×25ノンスリップ°
	A1	B2	C2		グレーチング U形側溝240用	T-2細目498×285×25ノンスリップ°
	A1	B3	C1		グレーチング U形側溝300用	T-2並目995×360×25ノンスリップ°
	A1	B3	C2		グレーチング U形側溝300用	T-2細目498×360×25ノンスリップ°
	A2	B1	C1		グレーチング U形側溝180用	T-14並目995×240×25ノンスリップ°
	A2	B1	C2		グレーチング U形側溝180用	T-14細目498×240×25ノンスリップ°
	A2	B2	C1		グレーチング U形側溝240用	T-14並目995×300×32ノンスリップ°
	A2	B2	C2		グレーチング U形側溝240用	T-14細目498×300×25ノンスリップ°
	A2	B3	C1		グレーチング U形側溝300用	T-14並目995×375×44ノンスリップ°
	A2	B3	C2		グレーチング U形側溝300用	T-14細目498×360×32ノンスリップ°

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	グレーチング	V1	10	20	10	20	10	20
②	排水構造物工 蓋版コンクリート・鋼製	V2	10	20	10	20	10	20

5. 根拠

V-3-②

名古屋市版施工単価内訳表

D06120	公園管渠	10m当り	構造図 608	H22.4改定

1. 適用条件

・ 公園内の排水施設に適用。

2. 条件表

A 管径	A1	φ 150mm
	A2	φ 200mm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		硬質塩化ビニル管	(各種)	m	10.1	表3-1
②		特殊作業員		人	V1	
③		普通作業員		人	V2	
④		諸雑費		%	1	

3-1. 硬質塩化ビニル管の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		硬質塩化ビニル管	VU-150 ゴム輪受口片受直管
	A2		硬質塩化ビニル管	VU-200 ゴム輪受口片受直管

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
②	特殊作業員	V1	0.28	0.31
③	普通作業員	V2	0.51	0.63

5. 根拠

V-3-②

名古屋市版施工単価内訳表

D06130	集水樹(並目)	10か所当り	構造図 164・166	R05.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 集水樹種別	A1	300A-1
	A2	300B-1
	A3	300A-2
	A4	300B-2
	A5	450A-1(T-2)
	A6	450A-1(T-14)
	A7	450B-1(T-2)
	A8	450B-1(T-14)
	A9	450A-2(T-2)
	A10	450A-2(T-14)
	A11	450B-2(T-2)
	A12	450B-2(T-14)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
1		基礎砕石	砕石厚0. 1m、RC-40	m2	V1	表3-1
2		モルタル練		m3	V2	表3-1
3		コンクリート	18・8・25BB	m3	V3	表3-1
4		樹用ブロック	A 4. 5×30×60	個	V4	
5		樹用ブロック	D 4. 5×30×20	個	V5	
6		コンクリート角樹	450×300×90mm	個	V6	
7		コンクリート角樹	450×150×90mm	個	V7	
8		グレーチング集水樹300用(チェーン付)	T-2並目370×365×32/ノスリップ°	枚	V8	
9		グレーチング集水樹450用(チェーン付)	T-2並目545×550×32/ノスリップ°	枚	V9	
10		グレーチング集水樹450用(チェーン付)	T-14並目537×550×50/ノスリップ°	枚	V10	
11		受枠	390×390 L-38×45×6	組	V8	
12		受枠	570×570 L-38×60×6	組	V9	
13		受枠	570×570 L-56×60×6	組	V10	
14		型枠	小型構造物	m2	V11	表3-1
15	D00805	集水樹据付	据付、80-400kg、砕石有	基	10	表3-1
16	D00805	集水樹据付	据付、80-400kg、砕石無	基	V12	表3-1

17	D00802	プレキャストコンクリート製品 布設	据付、80kg以下	基	V5	表3ー1
18	D00805	集水桝据付	据付、50-80kg、碎石無	基	V7	表3ー1
19		掘削		m3	V13	
20		埋戻		m3	V14	

3ー1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		基礎碎石	2	8								
2		モルタル練	1	1								
3		コンクリート	2	4	41		2		2			
14		型枠	1	2								
15	D00805	集水桝据付	1	2	1	1		1				
16	D00805	集水桝据付	1	2	2	1		1				
17	D00802	プレキャストコンクリート製品 布設	1									
18	D00805	集水桝据付	1	1	2	1		1				

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
1	基礎碎石	V1	3.2	—	3.2	—	—	—
2	モルタル練	V2	—	—	—	—	0.04	0.04
3	コンクリート	V3	0.20	—	0.20	—	1.0	1.0
4	桝用ブロック	V4	10	10	10	10	—	—
5	桝用ブロック	V5	10	10	—	—	—	—
6	コンクリート角桝	V6	—	—	—	—	30	30
7	コンクリート角桝	V7	—	—	—	—	10	10
8	グレーチング 集水桝300用	V8	10	10	10	10	—	—
9	グレーチング 集水桝450用	V9	—	—	—	—	10	—
10	グレーチング 集水桝450用	V10	—	—	—	—	—	10
11	受枠	V8	10	10	10	10	—	—
12	受枠	V9	—	—	—	—	10	—
13	受枠	V10	—	—	—	—	—	10
14	型枠	V11	2.4	—	2.4	—	9.4	9.0
16	集水桝据付	V12	—	—	—	—	20	20
17	プレキャストコンクリート製品 布設	V5	10	10	—	—	—	—
18	集水桝据付	V7	—	—	—	—	10	10
19	掘削	V13	7.5	7.5	5.9	5.9	42.1	42.1
20	埋戻	V14	5.3	5.8	4.0	4.5	35.8	35.8

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
1	基礎碎石	V1	—	—	—	—	—	—
2	モルタル練	V2	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
3	コンクリート	V3	0.93	0.86	1.0	1.0	0.93	0.86
4	樹用ブロック	V4	—	—	—	—	—	—
5	樹用ブロック	V5	—	—	—	—	—	—
6	コンクリート角樹	V6	30	30	20	20	20	20
7	コンクリート角樹	V7	10	10	10	10	10	10
8	グレーチング 集水樹300用	V8	—	—	—	—	—	—
9	グレーチング 集水樹450用	V9	10	—	10	—	10	—
10	グレーチング 集水樹450用	V10	—	10	—	10	—	10
11	受枠	V8	—	—	—	—	—	—
12	受枠	V9	10	—	10	—	10	—
13	受枠	V10	—	10	—	10	—	10
14	型枠	V11	8.2	7.2	9.4	9.0	8.2	7.2
16	集水樹据付	V12	20	20	10	10	10	10
17	プレキャストコンクリート製品布設	V5	—	—	—	—	—	—
18	集水樹据付	V7	10	10	10	10	10	10
19	掘削	V13	42.1	42.1	28.7	28.7	28.7	28.7
20	埋戻	V14	35.9	35.9	23.6	23.6	23.7	23.7

5. 根拠

V-3-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06132	汚水枡	10か所当り	構造図 168	R05.10改定

1. 適用条件

・ 公園内の汚水系排水施設に適用。

2. 条件表

A 汚水枡の種類	A1	A-1
	A2	A-2
	A3	A-3
	A4	A'-1
	A5	A'-2
	A6	A'-3
	A7	B-1
	A8	B-2
	A9	B-3
	A10	B'-1
	A11	B'-2
	A12	B'-3
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	18・8・25BB	m3	V1	表3-1
②		モルタル練		m3	0.04	表3-1
③		コンクリート角枡	450×300×90mm	個	V2	
④		コンクリート角枡	450×150×90mm	個	V3	
⑤		鋳鉄製マンホール蓋(建築・設備用)	枠・鎖付 簡易密閉型 T-2 500mm	個	V4	
⑥		鋳鉄製マンホール蓋(ILB 用化粧蓋)	スライド式 簡易密閉型 T-2 450mm	個	V5	
⑦	D00805	集水枡据付	据付、80-400kg、碎石有	基	10	表3-1
⑧	D00805	集水枡据付	据付、80-400kg、碎石無	基	V6	表3-1
⑨	D00805	集水枡据付	据付、50-80kg、碎石無	基	V3	表3-1
⑩		型枠	小型構造物	m2	V7	表3-1
⑪		掘削		m3	V8	
⑫		埋戻		m3	V9	
⑬		鋳鉄製マンホール蓋(建築・設備用)	枠・鎖付 簡易密閉型 T-14 500mm	個	V11	
⑭		鋳鉄製マンホール蓋(ILB 用化粧蓋)	スライド式 簡易密閉型 T-14 450mm	個	V12	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		コンクリート	2	4	41		2		2			
②		モルタル練	1	1								
⑦	D00805	集水桝据付	1	2	1	1		1				
⑧	D00805	集水桝据付	1	2	2	1		1				
⑨	D00805	集水桝据付	1	1	2	1		1				
⑩		型枠	1	2								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	コンクリート	V1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
③	コンクリート角桝	V2	30	30	20	30	30	20
④	コンクリート角桝	V3	10	—	10	10	—	10
⑤	鋳鉄製マンホール蓋	V4	10	10	10	—	—	—
⑥	鋳鉄製マンホール蓋	V5	—	—	—	—	—	—
⑧	集水桝据付	V6	20	20	10	20	20	10
⑨	集水桝据付	V3	10	—	10	10	—	10
⑩	型枠	V7	6.6	6.6	6.6	6.5	6.5	6.5
⑪	掘削	V8	39.7	32.8	17.8	39.7	32.8	17.8
⑫	埋戻	V9	33.7	27.5	13.1	33.7	27.1	13.1
⑬	鋳鉄製マンホール蓋	V11	—	—	—	10	10	10
⑭	鋳鉄製マンホール蓋	V12	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
①	コンクリート	V1	0.78	0.78	0.78	0.78	0.78	0.78
③	コンクリート角桝	V2	30	30	20	30	30	20
④	コンクリート角桝	V3	10	—	10	10	—	10
⑤	鋳鉄製マンホール蓋	V4	—	—	—	—	—	—
⑥	鋳鉄製マンホール蓋	V5	10	10	10	—	—	—
⑧	集水桝据付	V6	20	20	10	20	20	10
⑨	集水桝据付	V3	10	—	10	10	—	10
⑩	型枠	V7	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
⑪	掘削	V8	40.4	33.5	18.0	40.4	33.5	18.0
⑫	埋戻	V9	34.6	28.3	13.4	34.6	28.3	13.4
⑬	鋳鉄製マンホール蓋	V11	—	—	—	—	—	—
⑭	鋳鉄製マンホール蓋	V12	—	—	—	10	10	10

5. 根拠

V-3-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06133	集水樹(細目)	10か所当り	構造図 165・167	R05.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 樹の種類	A1	300A' - 1
	A2	300B' - 1
	A3	300A' - 2
	A4	300B' - 2
	A5	450A' - 1 (T-2)
	A6	450A' - 1 (T-14)
	A7	450B' - 1 (T-2)
	A8	450B' - 1 (T-14)
	A9	450A' - 2 (T-2)
	A10	450A' - 2 (T-14)
	A11	450B' - 2 (T-2)
	A12	450B' - 2 (T-14)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0. 1m RC-40	m2	V1	表3-1
②		モルタル練		m3	V2	表3-1
③		コンクリート	18・8・25BB	m3	V3	表3-1
④		樹用ブロック	A 4.5×30×60	個	V4	
⑤		樹用ブロック	D 4.5×30×20	個	V5	
⑥		コンクリート角樹	450×300×90mm	個	V6	
⑦		コンクリート角樹	450×150×90mm	個	V7	
⑧		グレーチング集水樹300用(受枠・チェーン付)	T-14細目393×400×25ノンスリップ	枚	V8	
⑨		グレーチング集水樹450用(受枠・チェーン付)	T-2細目553×550×25ノンスリップ	枚	V9	
⑩		グレーチング集水樹450用(受枠・チェーン付)	T-14細目550×543×32ノンスリップ	枚	V10	
⑪		型枠	小型構造物	m2	V11	表3-1
⑫	D00805	集水樹据付	据付、80-400kg、碎石有	基	10	表3-1
⑬	D00805	集水樹据付	据付、80-400kg、碎石無	基	V12	表3-1
⑭	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	据付、80kg以下	基	V5	表3-1
⑮	D00805	集水樹据付	据付、50-80kg、碎石無	基	V7	表3-1
⑯		掘削		m3	V13	
⑰		埋戻		m3	V14	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		モルタル練	1	1								
③		コンクリート	2	4	41		2		2			
⑪		型枠	1	2								
⑫	D00805	集水樹据付	1	2	1	1		1				
⑬	D00805	集水樹据付	1	2	2	1		1				
⑭	D00802	プレキャストコンクリート製品 布設	1									
⑮	D00805	集水樹据付	1	1	2	1		1				

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	基礎碎石	V1	3.2	—	3.2	—	—	—
②	モルタル練	V2	—	—	—	—	0.04	0.04
③	コンクリート	V3	0.19	—	0.19	—	1.0	1.0
④	樹用ブロック	V4	10	10	10	10	—	—
⑤	樹用ブロック	V5	10	10	—	—	—	—
⑥	コンクリート角樹	V6	—	—	—	—	30	30
⑦	コンクリート角樹	V7	—	—	—	—	10	10
⑧	グレーチング集水樹300用	V8	10	10	10	10	—	—
⑨	グレーチング集水樹450用	V9	—	—	—	—	10	—
⑩	グレーチング集水樹450用	V10	—	—	—	—	—	10
⑪	型枠	V11	2.4	—	2.4	—	9.6	9.4
⑬	集水樹据付	V12	—	—	—	—	20	20
⑭	プレキャストコンクリート製品布設	V5	10	10	—	—	—	—
⑮	集水樹据付	V7	—	—	—	—	10	10
⑯	掘削	V13	7.5	7.5	5.8	5.8	42.1	42.1
⑰	埋戻	V14	5.3	5.8	3.9	4.4	35.8	35.8

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
①	基礎碎石	V1	—	—	—	—	—	—
②	モルタル練	V2	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
③	コンクリート	V3	0.96	0.93	1.0	1.0	0.96	0.93
④	樹用ブロック	V4	—	—	—	—	—	—
⑤	樹用ブロック	V5	—	—	—	—	—	—
⑥	コンクリート角樹	V6	30	30	20	20	20	20
⑦	コンクリート角樹	V7	10	10	10	10	10	10
⑧	グレーチング集水樹300用	V8	—	—	—	—	—	—
⑨	グレーチング集水樹450用	V9	10	—	10	—	10	—
⑩	グレーチング集水樹450用	V10	—	10	—	10	—	10
⑪	型枠	V11	8.7	8.2	9.6	9.4	8.7	8.2
⑬	集水樹据付	V12	20	20	10	10	10	10
⑭	プレキャストコンクリート製品布設	V5	—	—	—	—	—	—
⑮	集水樹据付	V7	10	10	10	10	10	10
⑯	掘削	V13	42.1	42.1	28.7	28.7	28.7	28.7
⑰	埋戻	V14	35.9	35.9	23.6	23.6	23.7	23.7

5. 根拠 V-3-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06134	防臭柵	10か所当り	構造図 169	R05.10改定

1. 適用条件

・ 公園内の汚水排水施設に適用

2. 条件表

A 防臭柵の種類	A1	A-1
	A2	A-2
	A3	A-3
	A4	A'-1
	A5	A'-2
	A6	A'-3
	A7	B-1
	A8	B-2
	A9	B-3
	A10	B'-1
	A11	B'-2
	A12	B'-3
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	18・8・25BB	m3	V1	表3-1
②		モルタル練		m3	0.04	表3-1
③		コンクリート角柵	450×300×90mm	個	V2	
④		コンクリート角柵	450×150×90mm	個	V3	
⑤		鋳鉄製マンホール蓋(建築・設備)	枠・鎖付 簡易密閉型 T-2 500mm	組	V4	
⑥		鋳鉄製マンホール蓋(建築・設備)	ILB 用 簡易密閉型 T-2 450mm	個	V5	
⑦	D00805	集水柵据付	据付、80-400kg、碎石有	基	10	
⑧	D00805	集水柵据付	据付、80-400kg、碎石無	基	V6	
⑨	D00805	集水柵据付	据付、50-80kg、碎石無	基	V3	
⑩		型枠	小型構造物	m2	V7	表3-1
⑪		掘削		m3	V8	
⑫		埋戻		m3	V9	
⑬		鋳鉄製マンホール蓋(建築・設備)	枠・鎖付 簡易密閉型 T-14 500mm	個	V11	
⑭		鋳鉄製マンホール蓋(建築・設備)	ILB 用 簡易密閉型 T-14 450mm	個	V12	
⑮		塩ビ継手	90° エルボ φ150	個	10	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		コンクリート	2	4	41		2		2			
②		モルタル練	1	1								
⑦	D00805	集水桝据付	1	2	1	1		1				
⑧	D00805	集水桝据付	1	2	2	1		1				
⑨	D00805	集水桝据付	1	1	2	1		1				
⑩		型枠	1	2								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	コンクリート	V1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
③	コンクリート角桝	V2	30	30	20	30	30	20
④	コンクリート角桝	V3	10	—	10	10	—	10
⑤	鋳鉄製マンホール蓋	V4	10	10	10	—	—	—
⑥	鋳鉄製マンホール蓋	V5	—	—	—	—	—	—
⑧	集水桝据付	V6	20	20	10	20	20	10
⑨	集水桝据付	V3	10	—	10	10	—	10
⑩	型枠	V7	6.6	6.6	6.6	6.5	6.5	6.5
⑪	掘削	V8	39.7	32.8	17.8	39.7	32.8	17.8
⑫	埋戻	V9	34.2	27.5	13.1	34.2	27.5	13.1
⑬	鋳鉄製マンホール蓋	V11	—	—	—	10	10	10
⑭	鋳鉄製マンホール蓋	V12	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
①	コンクリート	V1	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53
③	コンクリート角桝	V2	30	30	20	30	30	20
④	コンクリート角桝	V3	10	—	10	10	—	10
⑤	鋳鉄製マンホール蓋	V4	—	—	—	—	—	—
⑥	鋳鉄製マンホール蓋	V5	10	10	10	—	—	—
⑧	集水桝据付	V6	20	20	10	20	20	10
⑨	集水桝据付	V3	10	—	10	10	—	10
⑩	型枠	V7	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
⑪	掘削	V8	40.4	33.5	18.0	40.4	33.5	18.0
⑫	埋戻	V9	34.6	28.3	13.4	34.6	28.3	13.4
⑬	鋳鉄製マンホール蓋	V11	—	—	—	—	—	—
⑭	鋳鉄製マンホール蓋	V12	—	—	—	10	10	10

5. 根拠

V-3-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06135	集水枡(浸透、並目)	10か所当り	構造図 164-2・166-2	H30. 10改定

1. 適用条件

下記の場合は利用を禁止する。 (1)急傾斜地崩壊危険区域、地滑り防止区域、河川保全区域、土砂災害危険か所、土砂災害警戒か所、土砂災害特別警戒か所 (2)ため池堤防付近等地下へ雨水を浸透させることにより法面の安全性が損なわれるおそれのある地域

2. 条件表

A 集水枡種別	A1	浸透300A-1
	A2	浸透300B-1
	A3	浸透300A-2
	A4	浸透300B-2
	A5	浸透450A-1(T-2)
	A6	浸透450A-1(T-14)
	A7	浸透450B-1(T-2)
	A8	浸透450B-1(T-14)
	A9	浸透450A-2(T-2)
	A10	浸透450A-2(T-14)
	A11	浸透450B-2(T-2)
	A12	浸透450B-2(T-14)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
1		基礎碎石	碎石厚0. 1m、RC-40	m2	V1	表3-1
2		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
3		枡用ブロック	A' 4. 5×30×60 穴あき	個	V3	
4		枡用ブロック	D 4. 5×30×20	個	V4	
5		コンクリート角枡	450×300×90mm	個	V5	
6		グレーチング集水枡300用(チェーン付)	T-2並目370×365×32/ノスリップ°	枚	V6	
7		グレーチング集水枡450用(チェーン付)	T-2並目545×550×32/ノスリップ°	枚	V7	
8		グレーチング集水枡450用(チェーン付)	T-14並目537×550×50/ノスリップ°	枚	V8	
9		受枠	390×390 L-38×45×6	組	V6	
10		受枠	570×570 L-38×60×6	組	V7	
11		受枠	570×570 L-56×60×6	組	V8	
12		浸透枡ラベル	70×100	枚	10	
13		透水性底ふた	φ190 t=50mm	枚	10	

14		型枠	小型構造物	m2	V9	表3-1
15	D00805	集水桝据付	据付、80-400kg、碎石有	基	10	表3-1
16	D00805	集水桝据付	据付、80-400kg、碎石無	基	V10	表3-1
17	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg以下) 据付	基	V4	表3-1
18		掘削		m3	V11	
19		埋戻		m3	V12	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		基礎碎石	2	8								
2		コンクリート	2	4	41		2		2			
14		型枠	1	2								
15	D00805	集水桝据付	1	2	1	1		1				
16	D00805	集水桝据付	1	2	2	1		1				
17	D00802	プレキャストコンクリート製品 布設	1									

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
1	基礎碎石	V1	3.2	—	3.2	—	—	—
2	コンクリート	V2	0.20	—	0.20	—	0.61	0.58
3	桝用ブロック	V3	10	10	10	10	—	—
4	桝用ブロック	V4	10	10	—	—	—	—
5	コンクリート角桝	V5	—	—	—	—	40	40
6	グレーチング 集水桝300用	V6	10	10	10	10	—	—
7	グレーチング 集水桝450用	V7	—	—	—	—	10	—
8	グレーチング 集水桝450用	V8	—	—	—	—	—	10
9	受枠	V6	10	10	10	10	—	—
10	受枠	V7	—	—	—	—	10	—
11	受枠	V8	—	—	—	—	—	10
12	型枠	V9	2.4	—	2.4	—	6.9	6.6
13	集水桝据付	V10	—	—	—	—	30	30
14	プレキャストコンクリート製品 布設	V4	10	10	—	—	—	—
15	掘削	V11	5.8	5.8	4.5	4.5	31.6	31.6
16	埋戻	V12	3.7	4.2	2.7	3.2	24.9	24.9

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
1	基礎砕石	V1	—	—	—	—	—	—
2	コンクリート	V2	0.51	0.44	0.61	0.58	0.51	0.44
3	樹用ブロック	V3	—	—	—	—	—	—
4	樹用ブロック	V4	—	—	—	—	—	—
5	コンクリート角樹	V5	40	40	30	30	30	30
6	グレーチング 集水樹300用	V6	—	—	—	—	—	—
7	グレーチング 集水樹450用	V7	10	—	10	—	10	—
8	グレーチング 集水樹450用	V8	—	10	—	10	—	10
9	受枠	V6	—	—	—	—	—	—
10	受枠	V7	10	—	10	—	10	—
11	受枠	V8	—	10	—	10	—	10
12	型枠	V9	5.7	4.8	6.9	6.6	5.7	4.8
13	集水樹据付	V10	30	30	20	20	20	20
14	プレキャストコンクリート製品 布設	V4	—	—	—	—	—	—
15	掘削	V11	31.6	31.6	21.4	21.4	21.4	21.4
16	埋戻	V12	25.0	25.0	15.9	15.9	16.0	16.0

5. 根拠

V-3-②

名古屋市版施工単価内訳表

D06136	集水樹(浸透、細目)	10か所当り	構造図 165-2・167-2	H30. 10改定

1. 適用条件

下記の場合は利用を禁止する。 (1)急傾斜地崩壊危険区域、地滑り防止区域、河川保全区域、土砂災害危険か所、土砂災害警戒か所、土砂災害特別警戒か所 (2)ため池堤防付近等地下へ雨水を浸透させることにより法面の安全性が損なわれるおそれのある地域

2. 条件表

A 樹の種類	A1	浸透300A' - 1
	A2	浸透300B' - 1
	A3	浸透300A' - 2
	A4	浸透300B' - 2
	A5	浸透450A' - 1 (T-2)
	A6	浸透450A' - 1 (T-14)
	A7	浸透450B' - 1 (T-2)
	A8	浸透450B' - 1 (T-14)
	A9	浸透450A' - 2 (T-2)
	A10	浸透450A' - 2 (T-14)
	A11	浸透450B' - 2 (T-2)
	A12	浸透450B' - 2 (T-14)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0. 1m RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③		樹用ブロック	A' 4.5×30×60 穴あき	個	V3	
④		樹用ブロック	D 4.5×30×20	個	V4	
⑤		コンクリート角樹	450×300×90mm	個	V5	
⑥		グレーチング集水樹300用(受枠・チェーン付)	T-14細目393×400×25ノンスリップ	枚	V6	
⑦		グレーチング集水樹450用(受枠・チェーン付)	T-2細目553×550×25ノンスリップ	枚	V7	
⑧		グレーチング集水樹450用(受枠・チェーン付)	T-14細目550×543×32ノンスリップ	枚	V8	
⑨		浸透樹ラベル	70×100	枚	10	
⑩		透水性底ふた	φ190 t=50mm	枚	10	
⑪		型枠	小型構造物	m2	V9	表3-1
⑫	D00805	集水樹据付	据付、80-400kg、碎石有	基	10	表3-1
⑬	D00805	集水樹据付	据付、80-400kg、碎石無	基	V10	表3-1
⑭	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg以下) 据付	基	V4	表3-1
⑮		掘削		m3	V11	
⑯		埋戻		m3	V12	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
⑪		型枠	1	2								
⑫	D00805	集水樹据付	1	2	1	1		1				
⑬	D00805	集水樹据付	1	2	2	1		1				
⑭	D00802	プレキャストコンクリート製品 布設	1									

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	基礎碎石	V1	3.2	—	3.2	—	—	—
②	コンクリート	V2	0.19	—	0.19	—	0.62	0.61
③	樹用ブロック	V3	10	10	10	10	—	—
④	樹用ブロック	V4	10	10	—	—	—	—
⑤	コンクリート角樹	V5	—	—	—	—	40	40
⑥	グレーチング集水樹300用	V6	10	10	10	10	—	—
⑦	グレーチング集水樹450用	V7	—	—	—	—	10	—
⑧	グレーチング集水樹450用	V8	—	—	—	—	—	10
⑨	型枠	V9	2.4	—	2.4	—	7.1	6.9
⑩	集水樹据付	V10	—	—	—	—	30	30
⑪	プレキャストコンクリート製品 布設	V4	10	10	—	—	—	—
⑫	掘削	V11	5.7	5.7	4.5	4.5	31.6	31.6
⑬	埋戻	V12	3.6	4.1	2.7	3.2	24.9	24.9

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
①	基礎碎石	V1	—	—	—	—	—	—
②	コンクリート	V2	0.55	0.51	0.62	0.61	0.55	0.51
③	樹用ブロック	V3	—	—	—	—	—	—
④	樹用ブロック	V4	—	—	—	—	—	—
⑤	コンクリート角樹	V5	40	40	30	30	30	30
⑥	グレーチング集水樹300用	V6	—	—	—	—	—	—
⑦	グレーチング集水樹450用	V7	10	—	10	—	10	—
⑧	グレーチング集水樹450用	V8	—	10	—	10	—	10
⑨	型枠	V9	6.2	5.7	7.1	6.9	6.2	5.7
⑩	集水樹据付	V10	30	30	20	20	20	20
⑪	プレキャストコンクリート製品 布設	V4	—	—	—	—	—	—
⑫	掘削	V11	31.6	31.6	21.4	21.4	21.4	21.4
⑬	埋戻	V12	24.9	24.9	15.9	15.9	15.9	15.9

5. 根拠 V-3-②

名古屋市版施工単価内訳表

D06139	視覚障害者誘導用平板舗装(公園用)	100m2当り	構造図 219-2	H26.5.1改定

1. 適用条件

- ・ 公園の視覚障害者誘導用平板舗装に適用する。
- ・ 不陸整正、路盤工は別途計上する。

2. 条件表

A ブロックの種類	A1	視覚障害者誘導用ブロック 300×300×60
	A2	視覚障害者誘導用ブロック 300×300×80

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		視覚障害者誘導用ブロック	300×300×60(線状・点状)	枚	1129	A=1の場合
②		視覚障害者誘導用ブロック	300×300×80(線状・点状)	枚	1129	A=2の場合
③	D00807	特殊ブロック設置		m2	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D00807	特殊ブロック設置	1	1	1						

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅳ-2-⑥

Ⅱ-4-①

名古屋市版施工単価内訳表

D06140	公園平板舗装	100m2当り	構造図 212-2	H23.10.1改定

1. 適用条件

- 公園の平板舗装に適用する。 - 不陸整正、路盤工は別途計上する。

2. 条件表

A 舗装の種類	A1	Aコンクリート(300×300)
	A2	Bカラー(300×300)
	A3	C洗出(300×300)
	A4	D擬石(300×300)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		平板ブロック	(各種)	枚	1129	表3-2
②	D00807	特殊ブロック設置		m2	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	D00807	特殊ブロック設置	1	1	1						

3-2. 平板ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		歩道用平板ブロック(非透水)	300×300×60mm
	A2		歩道用カラー平板ブロック(非透水)	300×300×60mm
	A3		洗出平板(非透水)	300×300×60mm
	A4		擬石平板(非透水)	300×300×60mm

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-④-2

IV-2-⑥

名古屋市版施工単価内訳表

D06143	アスファルト舗装(公園)	100m2当り	構造図 213-2	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 公園内の園路舗装に適用。
- ・ 施工歩掛は歩道区分を用いている。
- ・ 車道として施工する場合は別途積算すること。
- ・ 不陸整正、路盤工は別途計上すること。

2. 条件表

A アスファルト混合物の種類	A1	脱色密粒度AS混合物(13)
	A2	再生細粒度AS混合物(13)
B 舗装厚	B1	厚3cm
	B2	厚4cm
C 施工幅	C1	b<1.4(人力)
	C2	1.4≤b≤3.0(機械)
	C3	3.0<b(機械)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		アスファルト混合物	(各種)	t	V4	表3-1
⑤	D36007	アスファルトフィニッシャー運転	クローラ型 1.4～3.0m	日	V5	
⑥	D36008	アスファルトフィニッシャー運転	クローラ型 2.4～4.5m	日	V6	
⑦	D36011	振動ローラ運転	搭乗式コンバインド型3～4t	日	V7	
⑧	D36017	振動ローラ運転	ハンドガイド式0.5～0.6t	日	V8	
⑨	D36018	振動コンパクタ運転	40～60kg	日	V9	
⑩		諸雑費		%	V10	

3-1. アスファルト混合物の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		脱色アスファルト混合物	密粒度AS混合物(13)
	A2		再生アスファルト混合物	再生細粒度AS混合物(13)

4. 歩掛表

	名称	C条件	C1	C2	C3
①	土木一般世話役	V1	100/250	100/940	100/1000
②	特殊作業員	V2	100/250×2	100/940×3	100/1000×3
③	普通作業員	V3	100/250×4	100/940×5	100/1000×5
⑤	アスファルトフィニッシャ運転	V5	—	100/940	—
⑥	アスファルトフィニッシャ運転	V6	—	—	100/1000
⑦	振動ローラ運転	V7	—	100/940	100/1000
⑧	振動ローラ運転	V8	100/250	—	—
⑨	振動コンパクタ運転	V9	100/250	—	—
⑩	諸雑費	V10	7	5	5

	名称	A条件	A1	A1
		B条件	B1	B2
④	アスファルト混合物	V4	$100 \times 30 / 1000 \times 2.20 \times (1 + 0.10)$	$100 \times 40 / 1000 \times 2.20 \times (1 + 0.10)$

	名称	A条件	A2	A2
		B条件	B1	B2
④	アスファルト混合物	V4	$100 \times 30 / 1000 \times 2.15 \times (1 + 0.10)$	$100 \times 40 / 1000 \times 2.15 \times (1 + 0.10)$

5. 根拠

IV-1-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06146	コンクリート舗装	100m2当り	構造図 213-2	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 公園内の舗装に適用。
- ・ 路床整正、路盤工は別途計上すること。
- ・ 型枠は必要に応じて別途計上すること。

2. 条件表

A 舗装厚	A1	7cm
	A2	10cm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		路盤紙		m2	110	
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V1	表3-1
③		コンクリートはけ引き仕上げ		m2	100	
④		目地板		m2	1.0	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
④		目地板	1	1								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
②	コンクリート	V1	7	10

5. 根拠

V-3-④-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06148	園路路盤;路盤材含む	100m2当り	構造図	212-2・213-2 ・215-2・216	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 園路路盤工のブル仕上げ及び振動ローラ転圧施工に適用する。
- ・ 公園の幅員 $2.4 \leq W < 4.0$ mの路盤に適用する。

2. 条件表

A 路盤厚	A1	10cm
	A2	15cm
B 路盤材	B1	粒調碎石(M-40)
	B2	クラッシャーラン(C-30)
	B3	クラッシャーラン(C-40)
	B4	再生クラッシャーラン(RC-40)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		路盤材	(各種)	m3	V1	表3-2
②	D01806	園路路盤(路盤材無し)		m2	100	表3-1

3-1. 子単価条件

	A条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	A1	D01806	園路路盤(路盤材無し)	1								
	A2	D01806	園路路盤(路盤材無し)	2								

3-2. 路盤材の種類

	B条件	コード	名称	規格
①	B1		粒度調整碎石	M-40
	B2		クラッシャーラン	C-30
	B3		クラッシャーラン	C-40
	B4		再生クラッシャーラン	RC-40

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	路盤材	V1	12.7	19.05

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D06149	園路路盤(狭幅員)	100m2当り	構造図 212-2・213-2 ・215-2・216	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 公園の園路路盤に適用する。
- ・ 敷均しは人力＋小型バックホウ併用とする。

2. 条件表

A 路盤厚	A1	5cm
	A2	10cm
	A3	15cm
B 路盤材	B1	粒調碎石(M-40)
	B2	クラッシャーラン(C-30)
	B3	クラッシャーラン(C-40)
	B4	再生クラッシャーラン(RC-40)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊作業員		0.41	人	
②		普通作業員		1.00	人	
③		路盤材	(各種)	V1	m3	表3-1
④	D36004	振動ローラ運転		0.37	日	
⑤	D36019	小型バックホウ運転		0.37	日	
⑥		諸雑費		3	%	

3-1. 路盤材の種類

	B条件	コード	名称	規格
③	B1		粒度調整碎石	M-40
	B2		クラッシャーラン	C-30
	B3		クラッシャーラン	C-40
	B4		再生クラッシャーラン	RC-40

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
③	路盤材	V1	6.35	12.7	19.05

5. 根拠

IV-1-①

名古屋市版施工単価内訳表

D06150	敷砂	100m2当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 公園の園路・広場に適用する。
- ・ 但し砂は、100m2当たり3m3を使用する。転圧は含まない。
- ・ 仕上げ厚は指定なし。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	クッション用	m3	1.0×3	
②		普通作業員		人	$(0.14+0.23) \times 3/1.33$	

4. 歩掛表

5. 根拠

V-1-①-4

名古屋市版施工単価内訳表

D06151	ダスト表層(厚4cm)	100m2当り	構造図 217	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 公園の園路・広場に適用する。但し、仕上げ厚4cmとする。
- ・ 路床整正工(広場)または転圧工を必要に応じて別途計上すること。
- ・ 人力施工は小規模かつ幅員3.0m未満の狭隘な箇所とする。
- ・ 施工規模は、1施工か所ごとの全体面積で判断する。

2. 条件表

A 施工区分	A1	小規模
	A2	3,000m2未満の一般的広場等及びグラントコート
	A3	3,000m2以上の広場及びグラントコート

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		スクリーニングス	2. 5mm	m3	V1	
②	D35006	タンパ運転		日	V2	
③		ブルドーザ[普通・排ガス型(第1次)]	3t級	日	V3	表3-1
④	D36011	振動ローラ運転	搭乗式コンパクト型3～4t	日	V4	
⑤	D36009	ロードローラ運転	質量10～12t	日	V5	
⑥	D36010	タイヤローラ運転	質量8～20t	日	V6	
⑦		土木一般世話役		人	V7	
⑧		特殊作業員		人	V8	
⑨		普通作業員		人	V9	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		ブルドーザ	20	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	スクリーニングス	V1	5.0	5.0	5.0
②	タンパ運転	V2	0.83	—	—
③	ブルドーザ	V3	—	0.04	0.04
④	振動ローラ運転	V4	—	0.37	—
⑤	ロードローラ運転	V5	—	—	0.06
⑥	タイヤローラ運転	V6	—	—	0.06
⑦	土木一般世話役	V7	0.38	—	—
⑧	特殊作業員	V8	0.16	0.16	0.16
⑨	普通作業員	V9	0.86	0.02	0.02

5. 根拠

V-3-④-3

名古屋市版施工単価内訳表

D06152	砂表層	100m2当り	構造図 217	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ 公園の園路・広場に適用する。
- ・ 路床整正工(広場)または路床工を必要に応じて別途計上すること。
- ・ 人力施工は小規模かつ幅員3.0m未満の狭隘な箇所とする。
- ・ 施工規模は、1施工か所ごとの全体面積で判断する。

2. 条件表

A 種類	A1	厚7cm
	A2	厚4cm
B 施工規模	B1	小規模
	B2	3,000m2未満の一般的広場等及びグラントコート
	B3	3,000m2以上の広場及びグラントコート

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	クッション用	m3	V1	
②		表層安定剤	塩化マグネシウム	kg	V2	
③		砂	細目、洗い	m3	V3	
④	D35006	タンバ運転		日	V4	
⑤		ブルドーザ〔普通・排ガス型(第1次)〕	3t級	日	V5	表3-1
⑥	D36011	振動ローラ運転	搭乗式コンパインド型3～4t	日	V6	
⑦	D36009	ロードローラ運転	質量10～12t	日	V7	
⑧	D36010	タイヤローラ運転	質量8～20t	日	V8	
⑨		土木一般世話役		人	V9	
⑩		特殊作業員		人	V10	
⑪		普通作業員		人	V11	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤		ブルドーザ	20	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A1	A1	A2	A2	A2
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	砂	V1	7.0×1.33	7.0×1.33	7.0×1.33	4.0×1.33	4.0×1.33	4.0×1.33
②	表層安定剤	V2	120	120	120	120	120	120
③	砂	V3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
④	タンパ運転	V4	0.83	—	—	0.83	—	—
⑤	フルターザ	V5	—	0.07	0.07	—	0.04	0.04
⑥	振動ローラ運転	V6	—	0.37	—	—	0.37	—
⑦	ロードローラ運転	V7	—	—	0.06	—	—	0.06
⑧	タイヤローラ運転	V8	—	—	0.06	—	—	0.06
⑨	土木一般世話役	V9	0.38	—	—	0.38	—	—
⑩	特殊作業員	V10	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
⑪	普通作業員	V11	0.92	0.09	0.09	0.92	0.08	0.08

5. 根拠

V-3-④-3

名古屋市版施工単価内訳表

D06153	路床整正(広場)	100m2当り	構造図	H27.10改定

1. 適用条件

- ・ 路床の不陸整正(転圧は含まない)に適用する。
- ・ 砂表層、ダスト表層、敷砂との組み合わせを標準とする。
- ・ 小規模かつ幅員3.0m未満の狭隘な箇所は人力、3000m2未満の一般的な広場・グラントコートはモータグレーダを標準とし、全体として判断する。

2. 条件表

A 施工区分	A1	人力
	A2	モータグレーダ

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	V1	
②	D35005	モータグレーダ運転	ブレード幅 3.1m	日	V2	
③		諸雑費		%	10	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	普通作業員	V1	1.0	0.28
②	モータグレーダ運転	V2	—	0.05

5. 根拠

V-3-④-3

名古屋市版施工単価内訳表

D06154	転圧(広場)	100m2当り	構造図	H27.10改定

1. 適用条件

- ・ 公園の園路・広場に適用する。
- ・ 敷地造成後、転圧が必要だと判断される場合に、路床整正と組み合わせて計上する。

2. 条件表

A 施工規模	A1	小規模
	A2	3,000m2 未満の一般的広場等及びグラントコート
	A3	3,000m2 以上の広場及びグラントコート

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D35006	タンバ運転		日	V1	
②	D36011	振動ローラ運転	搭乗式コンバインド型 3～4t	日	V2	
②	D36009	ロードローラ運転	質量10～12t	日	V3	
④	D36010	タイヤローラ運転	質量8～20t	日	V4	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	タンバ運転	V1	0.83	—	—
②	振動ローラ運転	V2	—	0.37	—
③	ロードローラ運転	V3	—	—	0.06
④	タイヤローラ運転	V4	—	—	0.06

5. 根拠

V-3-④-3

名古屋市版施工単価内訳表

D06160	ブロック縁石	10m当り	構造図 901・902	R3.4改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 縁石工の種類	A1	A-1(歩車境界 A、Co 基礎有、前面基礎有)
	A2	A-2(歩車境界 A、Co 基礎有、前面基礎無)
	A3	B-1(歩車境界 B、Co 基礎有、前面基礎有)
	A4	B-2(歩車境界 B、Co 基礎有、前面基礎無)
	A5	C-1(地先境界 A、Co 基礎有、前面基礎有)
	A6	C-1(擬石ブロック(2 面)、Co 基礎有、前面基礎有)
	A7	C-1(洗出ブロック(2 面)、Co 基礎有、前面基礎有)
	A8	C-2(地先境界 A、Co 基礎有、前面基礎無)
	A9	C-2(擬石ブロック(2 面)、Co 基礎有、前面基礎無)
	A10	C-2(洗出ブロック(2 面)、Co 基礎有、前面基礎無)
	A11	A-1(歩車境界 A、Co 基礎無、前面基礎有)
	A12	A-2(歩車境界 A、Co 基礎無、前面基礎無)
	A13	B-1(歩車境界 B、Co 基礎無、前面基礎有)
	A14	B-2(歩車境界 B、Co 基礎無、前面基礎無)
	A15	C-1(地先境界 A、Co 基礎無、前面基礎有)
	A16	C-1(擬石ブロック(2 面)、Co 基礎無、前面基礎有)
	A17	C-1(洗出ブロック(2 面)、Co 基礎無、前面基礎有)
	A18	C-2(地先境界 A、Co 基礎無、前面基礎無)
	A19	C-2(擬石ブロック(2 面)、Co 基礎無、前面基礎無)
	A20	C-2(洗出ブロック(2 面)、Co 基礎無、前面基礎無)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0. 1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③		縁石ブロック	(各種)	個	16.5	表3-2
④		歩車道境界ブロック	材料無、各種	m	V3	表3-1
⑤		地先境界ブロック	材料無、50kg未満	m	V4	表3-1
⑥		型枠	均しコンクリート	m2	V5	表3-1
⑦		掘削		m3	V6	
⑧		埋戻		m3	V7	

3-1. 子単価条件

	A条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G
①			基礎砕石	2	8	1				
②	—		コンクリート	1	4	41		2		2
④	A1,A2,A11,A12		歩車道境界ブロック	2	4		4	6	1	
	A3,A4,A13,A14		歩車道境界ブロック	2	5		4	6	1	
⑤	—		地先境界ブロック	2	4		4	6	1	
⑥			型枠	1	5					

3-2. 縁石ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1,A2,A11,A12		歩車道境界ブロック	片面 150/170×200×600(A)
	A3,A4,A13,A14		歩車道境界ブロック	片面 180/205×250×600(B)
	A5,A8,A15,A18		地先境界ブロック	120×120×600(A)
	A6,A9,A16,A19		擬石ブロック	120×120×600(二面仕上)
	A7,A10,A17,A20		洗出ブロック	120×120×600(二面仕上)

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10
①	基礎砕石	V1	3.70	2.70	4.10	3.10	3.20	3.20	3.20	2.20	2.20	2.20
②	コンクリート	V2	0.27	0.22	0.31	0.26	0.22	0.22	0.20	0.17	0.17	0.17
④	歩車道境界ブロック	V3	10	10	10	10	—	—	—	—	—	—
⑤	地先境界ブロック	V4	—	—	—	—	10	10	10	10	10	10
⑥	型枠	V5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
⑦	掘削	V6	2.0	1.3	2.3	1.5	1.8	1.8	1.8	1.1	1.1	1.1
⑧	埋戻	V7	1.2	0.6	1.3	0.7	1.1	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6

	名称	A条件	A11	A12	A13	A14	A15	A16	A17	A18	A19	A20
①	基礎砕石	V1	3.70	2.70	4.10	3.10	3.20	3.20	3.20	2.20	2.20	2.20
②	コンクリート	V2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	歩車道境界ブロック	V3	10	10	10	10	—	—	—	—	—	—
⑤	地先境界ブロック	V4	—	—	—	—	10	10	10	10	10	10
⑥	型枠	V5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦	掘削	V6	1.0	0.7	1.2	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5
⑧	埋戻	V7	0.4	0.2	0.5	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1

5. 根拠

V-3-④-6

名古屋市版施工単価内訳表

D06161	レンガ縁石	100m当り	構造図 903	R05.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 縁石の種類	A1	A-1(普通、Co基礎有、前面基礎有)
	A2	A-1(焼過、Co基礎有、前面基礎有)
	A3	A-2(普通、Co基礎有、前面基礎無)
	A4	A-2(焼過、Co基礎有、前面基礎無)
	A5	B-1(普通、Co基礎有、前面基礎有)
	A6	B-1(焼過、Co基礎有、前面基礎有)
	A7	B-2(普通、Co基礎有、前面基礎無)
	A8	B-2(焼過、Co基礎有、前面基礎無)
	A9	C(普通、Co基礎有、前面基礎有)
	A10	C(焼過、Co基礎有、前面基礎有)
	A11	A-1(普通、Co基礎無、前面基礎有)
	A12	A-1(焼過、Co基礎無、前面基礎有)
	A13	A-2(普通、Co基礎無、前面基礎無)
	A14	A-2(焼過、Co基礎無、前面基礎無)
	A15	B-1(普通、Co基礎無、前面基礎有)
	A16	B-1(焼過、Co基礎無、前面基礎有)
	A17	B-2(普通、Co基礎無、前面基礎無)
	A18	B-2(焼過、Co基礎無、前面基礎無)
	A19	C(普通、Co基礎無、前面基礎有)
	A20	C(焼過、Co基礎無、前面基礎有)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎砕石	砕石厚0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③		モルタル練		m3	V3	表3-1
④		モルタル練		m3	V4	表3-1
⑤		普通レンガ(並型)	4種(JIS R 1250)	個	V5	
⑥		焼過ぎレンガ	210×100×60mm	個	V6	
⑦		ブロック工		人	V7	
⑧		普通作業員		人	V8	
⑨		型枠	均しコンクリート	m2	V9	表3-1
⑩		掘削		m3	V10	
⑪		埋戻		m3	V11	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎砕石	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
③		モルタル練	1	1								
④		モルタル練	1	1								
⑨		型枠	1	5								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
①	基礎砕石	V1	28.0	28.0	19.0	19.0	39.0	39.0	30.0
②	コンクリート	V2	1.8	1.8	1.4	1.4	2.9	2.9	2.5
③	モルタル練	V3	0.26	0.26	0.18	0.18	0.37	0.37	0.29
④	モルタル練	V4	0.02	0.02	0.02	0.02	0.3	0.3	0.3
⑤	普通レンガ(並型)	V5	454.6 × 1.05	—	454.6 × 1.05	—	1428.6 × 1.05	—	1428.6 × 1.05
⑥	焼過ぎレンガ	V6	—	454.6 × 1.05	—	454.6 × 1.05	—	1428.6 × 1.05	—
⑦	ブロック工	V7	1.8	1.8	1.8	1.8	6.0	6.0	6.0
⑧	普通作業員	V8	0.3	0.3	0.3	0.3	1.1	1.1	1.1
⑨	型枠	V9	20	20	20	20	20	20	20
⑩	掘削	V10	13.7	13.7	8.1	8.1	18.1	18.1	11.8
⑪	埋戻	V11	8.5	8.5	4.3	4.3	9.9	9.9	5.0

	名称	A条件	A8	A9	A10	A11	A12	A13	A14
①	基礎砕石	V1	30.0	28.0	28.0	28.0	28.0	19.0	19.0
②	コンクリート	V2	2.5	1.8	1.8	—	—	—	—
③	モルタル練	V3	0.29	0.26	0.26	—	—	—	—
④	モルタル練	V4	0.3	0.3	0.3	0.48	0.48	0.4	0.4
⑤	普通レンガ(並型)	V5	—	1428.6 × 1.05	—	454.6 × 1.05	—	454.6 × 1.05	—
⑥	焼過ぎレンガ	V6	1428.6 × 1.05	—	1428.6 × 1.05	—	454.6 × 1.05	—	454.6 × 1.05
⑦	ブロック工	V7	6.0	6.0	6.0	1.8	1.8	1.8	1.8
⑧	普通作業員	V8	1.1	1.1	1.1	0.3	0.3	0.3	0.3
⑨	型枠	V9	20	20	20	—	—	—	—
⑩	掘削	V10	11.8	18.4	18.4	5.8	5.8	3.7	3.7
⑪	埋戻	V11	5.0	12.6	12.6	2.2	2.2	1.1	1.1

	名称	A条件	A15	A16	A17	A18	A19	A20
①	基礎砕石	V1	39.0	39.0	30.0	30.0	28.0	28.0
②	コンクリート	V2	—	—	—	—	—	—
③	モルタル練	V3	—	—	—	—	—	—
④	モルタル練	V4	1.09	1.09	1.01	1.01	0.76	0.76
⑤	普通レンガ(並型)	V5	1428.6 × 1.05	—	1428.6 × 1.05	—	1428.6 × 1.05	—
⑥	焼過ぎレンガ	V6	—	1428.6 × 1.05	—	1428.6 × 1.05	—	1428.6 × 1.05
⑦	ブロック工	V7	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
⑧	普通作業員	V8	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
⑨	型枠	V9	—	—	—	—	—	—
⑩	掘削	V10	8.8	8.8	6.3	6.3	8.8	8.8
⑪	埋戻	V11	3.1	3.1	1.5	1.5	4.6	4.6

5. 根拠 V-3-④-6

名古屋市版施工単価内訳表

D06162	玉石縁石	10m当り	構造図 904	R3.4改定

1. 適用条件

- ・ 公園の植樹帯に適用。
- ・ コンクリート基礎有りは、車両の乗り入れる可能性のあるか所とする。
- ・ コンクリート基礎無しは、車両の乗り入れる可能性のないか所とする。

2. 条件表

A コンクリート基礎の有無	A1	Co 基礎有
	A2	Co 基礎無
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎砕石	砕石厚 0.1m、RC-40	m2	3.5	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V1	表3-1
③		玉石	φ150～180	個	55	
④		土木一般世話役		人	0.05	諸雑費
⑤		石工		人	0.18	諸雑費
⑥		普通作業員		人	0.30	諸雑費
⑦		型枠	均しコンクリート	m2	V2	表3-1
⑧		掘削		m3	V3	
⑨		埋戻		m3	V4	
⑩		諸雑費		%	5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎砕石	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
⑦		型枠	1	5								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
②	コンクリート	V1	0.25	—
⑦	型枠	V2	2.0	—
⑧	掘削	V3	1.9	0.8
⑨	埋戻	V4	1.1	0.3

5. 根拠

V-3-④-8

名古屋市版施工単価内訳表

D06163	雑割石縁石	10m当り	構造図 904	R05.10改定

1. 適用条件

・ 公園の植樹帯に適用。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	4.5	表3-1
②		雑割石(四方落し)	控35cm	個	30	
③		土木一般世話役		人	0.23	
④		石工		人	0.87	
⑤		普通作業員		人	1.16	
⑥		掘削		m3	3.0	
⑦		埋戻		m3	1.6	
⑧		諸雑費		%	20	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-④-8(雑割石縁石)

名古屋市版施工単価内訳表

D06164	ブロック縁石D	10m当り	構造図 902	R3.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 形状	A1	地先境界A, Co基礎有
	A2	擬石(1面), Co基礎有
	A3	洗出(1面), Co基礎有
	A4	地先境界A, Co基礎無
	A5	擬石(1面), Co基礎無
	A6	洗出(1面), Co基礎無
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎砕石	砕石厚0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③		ブロック	(各種)	個	16.5	表3-2
④		地先境界ブロック	材料無、50kg未満	m	10	表3-1
⑤		型枠	均しコンクリート	m2	V3	表3-1
⑥		掘削		m3	V4	
⑦		埋戻		m3	V5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎砕石	2	8	1							
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
④		地先境界ブロック	2	4		4	6	1				
⑤		型枠	1	5								

3-2. ブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1, A4		地先境界ブロック	120×120×600(A)
	A2, A5		擬石ブロック	120×120×600(一面仕上)
	A3, A6		洗出ブロック	120×120×600(一面仕上)

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	基礎碎石	V1	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20
②	コンクリート	V2	0.17	0.17	0.17	—	—	—
⑤	型枠	V3	2.0	2.0	2.0	—	—	—
⑥	掘削	V4	1.3	1.3	1.3	0.7	0.7	0.7
⑦	埋戻	V5	0.7	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3

5. 根拠

V-3-④-6

名古屋市版施工単価内訳表

D06170	階段	10m当り	構造図 1408	R05.10改定

1. 適用条件

・ 公園の園路に適用。

2. 条件表

A 蹴上げ寸法	A1	11cm
	A2	12cm
	A3	13cm
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③		型枠	均しコンクリート	m2	V3	表3-1
④		モルタル練		m3	V4	表3-1
⑤		階段ブロック	450×500×100/60mm	個	19.7	
⑥		土木一般世話役		人	0.14	
⑦		ブロック工		人	0.29	
⑧		普通作業員		人	0.29	
⑨		掘削		m3	1.1	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
③		型枠	1	5								
④		モルタル練	1	1								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	基礎碎石	V1	4.1	3.9	3.7
②	コンクリート	V2	0.50	0.50	0.49
③	型枠	V3	1.8	1.9	2.1
④	モルタル練	V4	0.1	0.11	0.13

5. 根拠

V-3-④-8

名古屋市版施工単価内訳表

D06171	擬木階段	10段当り	構造図 1409	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 公園の園路に適用。

2. 条件表

A 幅員	A1	W=1. 2m
	A2	W=1. 5m
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③		コンクリート擬木	クヌギ 径100 長1200mm	本	V3	
④		コンクリート擬木	クヌギ 径100 長1500mm	本	V4	
⑤		コンクリート擬木	クヌギ 径60 長250mm	本	20	
⑥		型枠	小型構造物	m2	V5	表3-1
⑦		土木一般世話役		人	0.34	
⑧		ブロック工		人	0.69	
⑨		普通作業員		人	0.69	
⑩		掘削		m3	V6	
⑪		埋戻		m3	V7	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
⑥		型枠	1	2								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	基礎碎石	V1	5.2	6.4
②	コンクリート	V2	0.46	0.58
③	コンクリート擬木	V3	20	—
④	コンクリート擬木	V4	—	20
⑥	型枠	V5	4.5	5.4
⑩	掘削	V6	3.0	3.5
⑪	埋戻	V7	2.0	2.3

5. 根拠

V-3-④-8

名古屋市版施工単価内訳表

D06301	高木植栽	100本当たり	構造図 1001	R3.10改定

1. 適用条件

・ 公園の高木植栽に適用する。樹木・客土材・肥料は含まない。 ・ 発生残土の積込又は付近地敷均しを含む。 ・ 公園客土又は植樹客土と組合わせて使用することを標準とする。 ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価 ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35% ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 幹周りの大きさ (A5の場合)	A1	幹周 15cm 未満
	A2	幹周 15cm 以上 25cm 未満
	A3	幹周 25cm 以上 40cm 未満
	A4	幹周 40cm 以上 60cm 未満
	A5	幹周 60cm 以上 90cm 未満
B 賃料補正 (A5の場合)	B1	;標準(長期割引適用)
	B2	;標準以外
C 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		造園工		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		小型バックホウ運転	山積 0.13m ³	日	V4	
⑤		トラック[クレーン装置付]	4t 級 2.9t 吊	時間	V5	
⑥		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型]4. 9t吊	日	V6	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤		トラック[クレーン装置付]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
①	土木一般世話役	V1	3.2	5.4	5.0	10.0	16.0
②	造園工	V2	16.1	27.4	23.0	44.0	74.0
③	普通作業員	V3	9.6	9.7	14.0	26.0	45.0
④	小型バックホウ運転	V4	—	1.9	2.1	4.8	10.5
⑤	トラック[クレーン装置付]	V5	—	—	47.0	57.0	—
⑥	トラッククレーン賃料	V6	—	—	—	—	9.0

5. 根拠

V-2-①-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06304	公園客土	10m3当り	構造図 1002	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 客土材の小運搬有りは高木植栽工と組み合わせて用いる。
- ・ 客土材の小運搬無しは中低木植栽(市場単価方式)と組み合わせて用いる。
- ・ 客土工のみの工事には適用しない。
- ・ 客土の構成(体積比)は掘削土:砂:パーク堆肥=4:5:1である。

2. 条件表

A 客土材の小運搬	A1	客土材の小運搬有り
	A2	客土材の小運搬無し

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	クッション用	m3	6.0	
②		パーク堆肥		kg	500	
③		発酵けいふん		kg	100	
④		掘さく土	客土用発生土	m3	4.0	
⑤		普通作業員		人	V1	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
⑤	普通作業員	V1	0.75	—

5. 根拠

V-2-①-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06305	施肥(緩効性化成肥料)	1000kg当り	構造図 1002	H14.10改定

1. 適用条件

- ・ 肥料の小運搬有りは高木植栽工と組み合わせて用いる。
- ・ 肥料の小運搬無しは中低木植栽工・生垣植栽工(市場単価方式)と組み合わせて用いる。

2. 条件表

A 肥料の小運搬	A1	肥料の小運搬有り
	A2	肥料の小運搬無し

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		緩効性化成肥料	(大)N:P:K=23:2:0	kg	1000	
②		普通作業員		人	V1	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
②	普通作業員	V1	0.09	—

5. 根拠

V-2-①-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06312	公園地被客土	100m2当り	構造図 1010	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 客土材の混入手間有りは客土材料及び小運搬作業を含む。
- ・ 客土材の混入手間無しは客土材料のみであり、公園地被植付工(市場単価方式)と組合わせて用いる。

2. 条件表

A 客土材の混入手間	A1	客土材の混入手間有り
	A2	客土材の混入手間無し

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	クッション用	m3	14.4	
②		バーク堆肥		kg	1500	
③		芝用化成肥料	N:P:K=6:5:3	kg	10	
④		油 粕		kg	10	
⑤		普通作業員		人	V1	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
⑤	普通作業員	V1	3.18	—

5. 根拠

V-2-②-3

名古屋市版施工単価内訳表

D06320	張芝	100m2当り	構造図 1012	R3.10改定

1. 適用条件

- 公園の張芝に適用する。 - 街路には適用しない。

2. 条件表

A 目串の有無	A1	目串無し
	A2	目串有り
B しとね土の有無	B1	しとね土有り
	B2	しとね土無し
C 張芝	C1	目地張
	C2	全張

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		高麗芝		m2	V1	
②		砂	クッション用	m3	V2	
③		油粕		kg	10	
④		芝用化成肥料	N:P:K=6:5:3	kg	10	
⑤		土木一般世話役		人	V3	
⑥		造園工		人	V4	
⑦		普通作業員		人	V5	
⑧		諸雑費		%	V6	

4. 歩掛表

	名称	C条件	C1	C2
①	高麗芝	V1	78.8	100

	名称	B条件	B1	B2
②	砂	V2	4.7	2.7
⑤	土木一般世話役	V3	0.2	0.2
⑥	造園工	V4	1.1	1.1
⑦	普通作業員	V5	3.04	2.30

	名称	A条件	A1	A2
⑧	諸雑費	V6	—	4

5. 根拠

V-2-①-2

名古屋市版施工単価内訳表

D06341	高木支柱	10組当り	構造図 1020・1021 ・1022・1025 ・1027	H19.10改定

1. 適用条件

- ・ 公園樹木のうち、高木の支柱に適用する。

2. 条件表

A 支柱の種類	A1	二脚支柱B 1.8m(添竹無)
	A2	三脚支柱A
	A3	四脚支柱A
	A4	三本陣立支柱A 4m
	A5	三本陣立支柱B 6m
	A6	四本陣立支柱 6m
	A7	フジ支柱
	A8	二脚支柱B' 1.8m(添竹有)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		杉丸太杭	(各種)	本	V1	表3-1
②		杉丸太	(各種)	本	V2	表3-2
③		真竹	周り12cm 14本/束	本	V3	
④		土木一般世話役		人	V4	
⑤		造園工		人	V5	
⑥		普通作業員		人	V6	
⑦		諸雑費		%	V7	

3-1. 杉丸太杭の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		杉丸太杭(防腐剤加圧注入処理品)	長1.8m 末口6cm
	A2		杉丸太杭(防腐剤加圧注入処理品)	長1.8m 末口7.5cm
	A3		杉丸太杭(防腐剤加圧注入処理品)	長2.1m 末口7.5cm
	A4		杉丸太杭(防腐剤加圧注入処理品)	長0.6m 末口6cm
	A5		杉丸太杭(防腐剤加圧注入処理品)	長0.6m 末口6cm
	A6		杉丸太杭(防腐剤加圧注入処理品)	長0.6m 末口6cm
	A7		—	—
	A8		杉丸太杭(防腐剤加圧注入処理品)	長1.8m 末口6cm

3-2. 杉丸太の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		杉丸太(防腐剤加圧注入処理品)	長0.6m 末口6cm
	A2		杉丸太(防腐剤加圧注入処理品)	長0.6m 末口7.5cm
	A3		杉丸太(防腐剤加圧注入処理品)	長0.75m 末口7.5cm
	A4		杉丸太(防腐剤加圧注入処理品)	長4.0m 末口6cm
	A5		杉丸太(防腐剤加圧注入処理品)	長6.3m 中径6cm
	A6		杉丸太(防腐剤加圧注入処理品)	長6.3m 中径6cm
	A7		杉丸太(防腐剤加圧注入処理品)	長4.0m 末口6cm
	A8		杉丸太(防腐剤加圧注入処理品)	長0.6m 末口6cm

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8
①	杉丸太杭	V1	20	30	40	30	30	40	—	20
②	杉丸太	V2	10	10	40	30	30	40	10	10
③	真竹	V3	—	—	—	—	—	—	—	10
④	土木一般世話役	V4	0.13	0.18	0.36	0.20	0.31	0.41	0.07	0.18
⑤	造園工	V5	0.77	1.02	2.04	1.11	1.76	2.35	0.37	1.02
⑥	普通作業員	V6	0.44	0.59	1.18	0.64	1.02	1.36	0.21	0.59
⑦	諸雑費	V7	3	3	2	3	3	3	3	3

5. 根拠

V-2-①-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06345	支柱プレート	10枚当り	構造図 支柱工各種	H19.10改定

1. 適用条件

・ 樹木支柱の支柱プレート貼り作業に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		支柱プレート	60×40×0.4mm アルミ板(文字書込共)	枚	10	
②		軽作業員		人	0.02	

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D06351	マルチング(公園用)	100m2当り	構造図 1028	H18.10改定

1. 適用条件

・ 公園樹木のマルチングに適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		バーク堆肥		kg	1500	
②		土木一般世話役		人	0.03	
③		造園工		人	0.07	
④		普通作業員		人	0.14	

4. 歩掛表

5. 根拠

V-2-③-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06371	植樹客土(8:2)	10m3当り	構造図 1002-2	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 植樹客土工は各植栽工の客土材無しの場合に組み合わせて使用する。
- ・ 植樹客土工は客土材料及び材料小運搬・客土材料の混入手間を含むものとする。
- ・ 配合割合は砂:バーク=8:2とする。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	クッション用	m3	9.6	
②		バーク堆肥		kg	1000	
③		緩効性化成肥料	(大)N:P:K=23:2:0	kg	7	
④		発酵けいふん		kg	50	
⑤		普通作業員		人	2.13	

4. 歩掛表

5. 根拠

V-2-①-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06380	パーゴラ	1基当り	1110・1111 構造図 1112・1113 1114	H22.4改定

1. 適用条件

- ・ 公園の休養コーナーに設置する。

2. 条件表

A 形式	A1	A2(屋根長 9.9m)
	A2	A3(屋根長 13.8m)
	A3	B1(屋根長 4.5m)
	A4	B2(屋根長 7.5m)
	A5	CC' 2.5(屋根長 6.3m)
	A6	CC' 5.0(屋根長 10.2m)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照
C 残土処理方法		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D06381	パーゴラ屋根	A(幅 4.0m)	m	V1	表3-1
②	D06381	パーゴラ屋根	B(幅 3.0m,片勾配)	m	V2	表3-1
③	D06381	パーゴラ屋根	C(幅 3.0m,扇形)	m	V3	表3-1
④	D06382	パーゴラ柱	A(幅 4.0m,水平屋根用)	本	V4	表3-1
⑤	D06382	パーゴラ柱	B(幅 3.0m,片勾配屋根用)	本	V5	表3-1
⑥	D06382	パーゴラ柱	C(幅 3.0m,扇形屋根用)	本	V6	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D06381	パーゴラ屋根	1								
②	D06381	パーゴラ屋根	2								
③	D06381	パーゴラ屋根	3								
④	D06382	パーゴラ柱	1	B	C						
⑤	D06382	パーゴラ柱	2	B	C						
⑥	D06382	パーゴラ柱	3	B	C						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	パーゴラ屋根	V1	9.9	13.8	—	—	—	—
②	パーゴラ屋根	V2	—	—	4.5	7.5	—	—
③	パーゴラ屋根	V3	—	—	—	—	6.3	10.2
④	パーゴラ柱	V4	6	8	—	—	—	—
⑤	パーゴラ柱	V5	—	—	2	3	—	—
⑥	パーゴラ柱	V6	—	—	—	—	4	8

5. 根拠

V-3-⑨-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06381	パーゴラ屋根	1m当り	構造図 1112・1113	H15.4改定

1. 適用条件

・ 公園の日陰だなの屋根部に使用する。

2. 条件表

A 形式	A1	A(幅 4.0m)
	A2	B(幅 3.0m,片勾配)
	A3	C(幅 3.0m,扇形)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		パーゴラ屋根		m	1	表3-2
②	D07909	公園塗装		m2	V1	表3-1
③		特殊作業員		人	V2	
④		普通作業員		人	V3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	D07909	公園塗装	1								

3-2. パーゴラ屋根の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		パーゴラ屋根	A
	A2		パーゴラ屋根	B
	A3		パーゴラ屋根	C

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
②	公園塗装	V1	1.5	0.90	0.47
③	特殊作業員	V2	0.14	0.09	0.10
④	普通作業員	V3	0.42	0.26	0.29

5. 根拠

V-3-⑨-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06382	パーゴラ柱	1本当り	構造図 1110・1111 ・1113	R05. 10改定

1. 適用条件

- ・ 公園の日陰だなの柱部に使用する。

2. 条件表

A 形式	A1	A(幅 4.0m,水平屋根用)
	A2	B(幅 3.0m,片勾配屋根用)
	A3	C(幅 3.0m,扇形屋根用)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	V3	表3-1
④		パーゴラ柱		本	1	表3-2
⑤	D07909	公園塗装		m2	V4	表3-1
⑥		型枠	均しコンクリート	m2	V5	表3-1
⑦		型枠	小型構造物	m2	V6	表3-1
⑧		特殊作業員		人	V7	
⑨		普通作業員		人	V8	
⑩		掘削		m3	V9	
⑪		埋戻		m3	V10	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石工	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
③		コンクリート	2	4	29		2		2			
⑤	D07909	公園塗装	1									
⑥		型枠	1	5								
⑦		型枠	1	2								

3-2. パーゴラ柱の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		パーゴラ柱	A
	A2		パーゴラ柱	B
	A3		パーゴラ柱	C

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	基礎砕石	V1	0.64	0.48	0.48
②	均しコンクリート	V2	0.03	0.02	0.02
③	コンクリート	V3	0.32	0.35	0.35
⑤	公園塗装	V4	1.79	1.34	1.71
⑥	均し型枠	V5	0.16	0.14	0.14
⑦	型枠	V6	1.82	2.40	2.40
⑧	特殊作業員	V7	0.10	0.07	0.09
⑨	普通作業員	V8	0.30	0.22	0.26
⑩	掘削	V9	1.40	2.80	2.80
⑪	埋戻	V10	1.00	2.40	2.40

5. 根拠

V-3-⑨-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06501	ベンチ	10基当り	1101 ・ 1102 ・ 構造図 1103-1 ・ 1104 ・ 1105	R05.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A ベンチの種類	A1	A(木製L1.8m)
	A2	B-1(木製L1.2m)
	A3	B'-1(再生木製L1.2m)
	A4	B-2(木製L1.8m)
	A5	B'-2(再生木製L1.8m)
	A6	C'(再生木製L1.5m)
	A7	D(野外卓用L1.2m)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリートブロック	(各種)	個	V1	表3-2
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③		モルタル練		m3	V3	表3-1
④		ベンチ	(各種)	基	10	表3-2
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg以下)	基	V4	表3-1
⑥		特殊作業員		人	V5	
⑦		普通作業員		人	V6	
⑧		型枠	小型構造物	m2	V7	表3-1
⑨	D07909	公園塗装	(亜鉛メッキ部)	m2	V8	表3-1
⑩	D07909	公園塗装	(鋳鉄部)	m2	V9	表3-1
⑪	D07909	公園塗装	(木部)	m2	V10	表3-1
⑫		掘削		m3	V11	
⑬		埋戻		m3	V12	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
③		モルタル練	1	1								
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品 布設	1									
⑧		型枠	1	2								
⑨	D07909	公園塗装	1									
⑩	D07909	公園塗装	2									
⑪	D07909	公園塗装	3									

3-2. コンクリートブロック・ベンチの種類

A条件	① コンクリートブロック		④ベンチ	
	コード	規格	コード	名称
A1		350/250×500×150/100mm(ベンチA用)		ベンチ A
A2		400×140×150mm(ベンチB用)		ベンチ B-1
A3		400×140×150mm(ベンチB用)		ベンチ B'-1
A4		400×140×150mm(ベンチB用)		ベンチ B-2
A5		400×140×150mm(ベンチB用)		ベンチ B'-2
A6		670×200×180mm(ベンチC'用)		ベンチ C'
A7		200×200×400mm		ベンチ D

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
①	コンクリートブロック	V1	20	20	20	30	30	20	20
②	コンクリート	V2	0.13	—	—	—	—	—	—
③	モルタル練	V3	0.04	—	—	—	—	—	0.03
⑤	プレキャストコンクリート製品布設	V4	20	20	20	30	30	20	20
⑥	特殊作業員	V5	0.32	0.24	0.24	0.28	0.32	0.46	0.24
⑦	普通作業員	V6	1.3	0.96	0.96	1.1	1.28	1.84	0.96
⑧	型枠	V7	2.6	—	—	—	—	—	—
⑨	公園塗装	V8	—	—	—	—	—	—	3.2
⑩	公園塗装	V9	—	4.8	—	7.2	—	—	—
⑪	公園塗装	V10	21.3	12.0	—	17.9	—	—	8.3
⑫	掘削	V11	3.4	1.1	1.1	1.7	1.7	2.2	2.7
⑬	埋戻	V12	3.2	1.0	1.0	1.5	1.5	1.8	2.4

5. 根拠

V-3-⑦-1

V-3-⑥-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06502	テーブル	10基当り	構造図 1106・1107	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 公園の休養コーナーに設置する。
- ・ テーブルDは野外卓用。

2. 条件表

A テーブルの種類	A1	D(木製)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		モルタル練		m3	0.06	表3-1
②		コンクリートブロック	200×200×400mm	個	40	
③		テーブル	D 木部防腐剤加圧注入処理品	基	10	
④	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ部	m2	15.1	表3-1
⑤	D07909	公園塗装	木部	m2	28.9	表3-1
⑥	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	基	40	表3-1
⑦	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	(80 超え 2200kg 以下)	基	10	表3-1
⑧		掘削		m3	5.5	
⑨		埋戻		m3	4.9	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		モルタル練	1	1							
④	D07909	公園塗装	1								
⑤	D07909	公園塗装	3								
⑥	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								
⑦	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	1							

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑦-1

名古屋市版施工単価内訳表

D06701	砂場	1基当り	構造図 1201・1202	R4.4改定

1. 適用条件

・ 公園の遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 砂場の形式	A1	AI(円形,ステップなし)
	A2	AL(円形,ステップあり)
	A3	BI(扇形,ステップなし)
	A4	BL(扇形,ステップあり)
	A5	CI(矩形,ステップなし)
	A6	CL(矩形,ステップあり)
	A7	DI(半円形,ステップなし)
	A8	EI(円形,ステップなし)
	A9	FI(矩形,ステップなし)
	A10	GI(矩形,ステップなし)
	A11	HI(方形,ステップなし)
B 土工区分		別紙「公園作業土工」参照
C 残土処理方法		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D06705	砂場排水管(φ100)	土工選択、残土選択	m	V1	
②	D06704	砂場排水層	土工選択、残土選択	m2	V2	
③	D06703	砂場砂	土工選択、残土選択	m3	V3	
④	D06702	砂場壁	I型 ステップなし	m	V4	
⑤	D06702	砂場壁	L型 ステップあり	m	V5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D06705	砂場排水管(φ100)	B	C							
②	D06704	砂場排水層	B	C							
③	D06703	砂場砂	B	C							
④	D06702	砂場壁	1	B	C						
⑤	D06702	砂場壁	2	B	C						

4. 步掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	砂場排水管 (φ100)	V1	14.0	14.0	11.0	11.0	6.0	6.0
②	砂場排水層	V2	28.3	28.3	19.1	19.1	17.3	17.3
③	砂場砂	V3	11.3	11.3	7.7	7.7	6.9	6.9
④	砂場壁	V4	19.3	—	17.8	—	19.4	—
⑤	砂場壁	V5	—	20.7	—	19.4	—	18.0

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11
①	砂場排水管 (φ100)	V1	9.5	8.0	4.0	3.0	2.5
②	砂場排水層	V2	14.5	12.6	11.8	5.8	3.8
③	砂場砂	V3	5.7	5.0	4.7	2.3	1.5
④	砂場壁	V4	14.5	13.0	13.6	9.6	7.6
⑤	砂場壁	V5	—	—	—	—	—

5. 根拠

V-3-⑥-3

名古屋市版施工単価内訳表

D06702	砂場壁	10m当り	構造図 1201・1202	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 公園砂場の外周壁に使用する。

2. 条件表

A 砂場の形式	A1	I型 ステップなし
	A2	L型 ステップあり
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③	D07901	モルタル塗	壁、配合 1:3	m2	V3	表3-1
④	D07909	公園塗装	コンクリート部	m2	V4	表3-1
⑤		型枠	小型構造物	m2	11.0	表3-1
⑥		掘削		m3	V5	
⑦		埋戻		m3	V6	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
③	D07901	モルタル塗	2	2								
④	D07909	公園塗装	4									
⑤		型枠	1	2								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	基礎碎石	V1	2	7
②	コンクリート	V2	0.83	1.5
③	モルタル塗	V3	9.5	14.0
④	公園塗装	V4	9.5	14.0
⑥	掘削	V5	2.0	3.0
⑦	埋戻	V6	1.2	1.0

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D06703	砂場砂	10m3当り	構造図 1201・1202	H26.5.1改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に施工する。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	洗い 荒目	m3	10	
②		普通作業員		人	0.76	
③		掘削		m3	10	

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑥-3

名古屋市版施工単価内訳表

D06704	砂場排水層	10m2当り	構造図 1201・1202	H26.5.1改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。 ・ 厚10cmとする。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00704	単粒度碎石(30～20mm)	碎石厚 0.1m	m3	10	表3-1
②		土木シート(吸出防止・目詰防止)	合繊不織布 厚 10mm	m2	1.0×1.11×10	
③		普通作業員		人	0.001×10	
④		掘削		m3	1.0	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D00704	単粒度碎石(30～20mm)	0.1								

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑥-3

名古屋市版施工単価内訳表

D06705	砂場排水管(φ100)	10m当り	構造図 1201・1202	H26.5.1改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		透水管(合成樹脂波状管)	有孔 φ100	m	10×(1+0.01)	諸雑費
②	D00704	単粒度砕石(30～20mm)	砕石厚 0.15m	m ³	3.0	表3-1
③		土木一般世話役		人	0.2/10	
④		普通作業員		人	0.5/10	
⑤		掘削		m ³	0.5	
⑥		諸雑費		%	2	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	D00704	単粒度砕石(30～20mm)	0.15								

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑥-3

II-2-⑬-7

名古屋市版施工単価内訳表

D06708	ステップ	10基当り	構造図	1204	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 公園の遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 種類	A1	A(径1600)
	A2	B(径1100)
	A3	C(径584)
	A4	D(径470)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
③	D07901	モルタル塗	壁、配合1:3	m2	V3	表3-1
④		砂	クッション用	m3	V4	
⑤		ヒューム管(外圧管 1 種)	500×42×750 短切管	本	V5	
⑥		ヒューム管(外圧管 1 種)	400×35×750 短切管	本	V6	
⑦		メタルラス	平ラス 0号	m2	V7	
⑧	D07909	公園塗装	コンクリート部	m2	V8	表3-1
⑨		型枠	小型構造物	m2	V9	表3-1
⑩	D00804	プレキャストコンクリート製品布設 (80kg 超え 2200kg 以下)	設置、80 超え 400kg 以下	基	V10	表3-1
⑪		特殊作業員		人	V11	
⑫		普通作業員		人	V12	
⑬		タンバ締固め		m3	V13	
⑭		掘削		m3	V14	
⑮		埋戻		m3	V15	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
③	D07901	モルタル塗	2	2								
⑧	D07909	公園塗装	4									
⑨		型枠	1	2								
⑩	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	1								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	基礎砕石	V1	13.2	11.3	6.4	4.9
②	コンクリート	V2	6.0	4.7	1.0	0.75
③	モルタル塗	V3	43.7	24.0	2.7	1.7
④	砂	V4	3×1.2	—	0.92×1.2	0.58×1.2
⑤	ヒューム管(外圧管 1 種)	V5	—	—	10	—
⑥	ヒューム管(外圧管 1 種)	V6	—	—	—	10
⑦	メタルラス	V7	11.3×1.1	—	—	—
⑧	公園塗装	V8	43.7	24.0	12.4	9.6
⑨	型枠	V9	48.4	17.3	5.6	4.8
⑩	プレキャストコンクリート製品布設	V10	—	—	10	10
⑪	特殊作業員	V11	0.34	—	—	—
⑫	普通作業員	V12	0.64	—	0.20	0.13
⑬	タンパ締固め	V13	2.8	—	0.88	0.57
⑭	掘削	V14	8.4	5.7	6.6	5.5
⑮	埋戻	V15	5.3	2.7	4.6	4.0

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D06712	グローブジャングル	1基当り	構造図 1208	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	1.2	表3-1
②		コンクリート	18・8・25、無筋	m3	0.06	表3-1
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	0.54	表3-1
④		グローブジャングル(SUS仕様)	JPFA-SP-S:2014	基	1	
⑤	D07909	公園塗装		m2	7.7	表3-1
⑥		型枠	均しコンクリート	m2	0.22	表3-1
⑦		型枠	小型構造物	m2	2.0	表3-1
⑧		特殊作業員		人	0.14	
⑨		普通作業員		人	0.43	
⑩		掘削		m3	2.0	
⑪		埋戻		m3	1.3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
③		コンクリート	2	4	29		2		2			
⑤	D07909	公園塗装	1									
⑥		型枠	1	5								
⑦		型枠	1	2								

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D06713	円形ジャングルジム	1基当り	構造図 1209	H27.10.19改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	9.1	表3-1
②		砂	クッション用	m3	0.91×1.2	
③		円形ジャングルジム	JPFA-SP-S:2014	基	1	
④	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ部	m2	10.4	表3-1
⑤		特殊作業員		人	0.25	
⑥		普通作業員		人	0.95	
⑦		掘削		m3	1.8	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
④	D07909	公園塗装	1								

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D06714	ブランコ	1基当り	構造図 1210・1211 ・1212	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 種類	A1	四連
	A2	二連
	A3	二連(幼児用)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	V1	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB、無筋	m3	V2	表3-1
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	V3	表3-1
④		ブランコ	(各種)	基	1	表3-2
⑤	D07909	公園塗装	ステンレス・亜鉛メッキ部	m2	V4	表3-1
⑥		型枠	均しコンクリート	m2	V5	表3-1
⑦		型枠	小型構造物	m2	V6	表3-1
⑧		特殊作業員		人	V7	
⑨		普通作業員		人	V8	
⑩		掘削		m3	V9	
⑪		埋戻		m3	V10	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石工	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
③		コンクリート	2	4	29		2		2			
⑤	D07909	公園塗装	1									
⑥		型枠	1	5								
⑦		型枠	1	2								

3-2. ブランコの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		4連ブランコ(SUS仕様)	乗板含む JPFA-SP-S:2014
	A2		2連ブランコ(SUS仕様)	乗板含む JPFA-SP-S:2014
	A3		幼児用2連ブランコ(SUS仕様)	かご含む JPFA-SP-S:2014

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	基礎砕石	V1	3.4	2.3	2.3
②	コンクリート	V2	0.17	0.11	0.11
③	コンクリート	V3	0.89	0.59	0.59
⑤	公園塗装	V4	4.2	2.7	2.4
⑥	型枠	V5	0.9	0.6	0.6
⑦	型枠	V6	5.5	3.6	3.6
⑧	特殊作業員	V7	0.21	0.13	0.12
⑨	普通作業員	V8	0.64	0.38	0.35
⑩	掘削	V9	5.5	3.9	3.9
⑪	埋戻	V10	4.1	3.0	3.0

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D06715	ブランコ境界柵	1か所当り	構造図 1213・1213-2	R05.10改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 種類	A1	四連用(角型)
	A2	四連用(R型)
	A3	二連用(角型)
	A4	二連用(R型)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		モルタル練		m3	V1	表3-1
②		防護柵基礎用コンクリートブロック	30×30×23	個	V2	
③		ブランコ用境界柵	(各種)	組	1	表3-2
④	D07909	公園塗装		m2	V3	表3-1
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設 (80kg 以下)		基	V4	表3-1
⑥		特殊作業員		人	V5	
⑦		普通作業員		人	V6	
⑧		掘削		m3	V7	
⑨		埋戻		m3	V8	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		モルタル練	1	1							
④	D07909	公園塗装	1								
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. 境界柵の種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1		4連ブランク用境界柵	角型片面 地際補強 JPFA-SP-S:2014
	A2		4連ブランク用境界柵	R型片面 地際補強 JPFA-SP-S:2014
	A3		2連ブランク用境界柵	角型片面 地際補強 JPFA-SP-S:2014
	A4		2連ブランク用境界柵	R型片面 地際補強 JPFA-SP-S:2014

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	モルタル練	V1	0.02	0.02	0.01	0.01
②	防護柵基礎用コンクリートブロック	V2	12	12	10	10
④	公園塗装	V3	2.8	2.9	2.4	2.6
⑤	プレキャストコンクリート製品布設	V4	12	12	10	10
⑥	特殊作業員	V5	0.14	0.13	0.12	0.11
⑦	普通作業員	V6	0.42	0.39	0.36	0.34
⑧	掘削	V7	1.9	1.9	1.6	1.6
⑨	埋戻	V8	1.6	1.6	1.4	1.4

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D06716	すべり台	1基当り	構造図 1214・1215	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	1.4	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB、無筋	m3	0.02	表3-1
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	0.37	表3-1
④		すべり台(SUS仕様)	JPFA-SP-S:2014	基	1	
⑤	D07909	公園塗装		m2	9.3	表3-1
⑥		型枠	均しコンクリート	m2	0.14	表3-1
⑦		型枠	小型構造物	m2	2.6	表3-1
⑧		特殊作業員		人	0.4	
⑨		普通作業員		人	1.2	
⑩		掘削		m3	2.6	
⑪		埋戻		m3	2.1	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
③		コンクリート	2	4	29		2		2			
⑤	D07909	公園塗装	1									
⑥		型枠	1	5								
⑦		型枠	1	2								

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D06718	シーソー	10基当り	構造図 1218・1218-2	R03.04改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	16.8	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB、無筋	m3	0.84	表3-1
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	3.3	表3-1
④		シーソー(SUS仕様)	古タイヤ含む JPFA-SP-S.2014	基	10	
⑤	D07909	公園塗装		m2	19.8	表3-1
⑥	D07909	公園塗装		m2	15.2	表3-1
⑦		型枠	均しコンクリート	m2	4.0	表3-1
⑧		型枠	小型構造物	m2	18.0	表3-1
⑨		特殊作業員		人	1.5	
⑩		普通作業員		人	4.5	
⑪		掘削		m3	20.9	
⑫		埋戻		m3	15.1	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
③		コンクリート	2	4	29		2		2			
⑤	D07909	公園塗装	3									
⑥	D07909	公園塗装	1									
⑦		型枠	1	5								
⑧		型枠	1	2								

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D06719	低鉄棒	1基当り	構造図 1220	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	1.2	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB、無筋	m3	0.06	表3-1
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	0.32	表3-1
④		低鉄棒(SUS仕様)	JPFA-SP-S:2014	基	1	
⑤	D07909	公園塗装		m2	0.95	表3-1
⑥		型枠	均しコンクリート	m2	0.4	表3-1
⑦		型枠	小型構造物	m2	2.9	表3-1
⑧		特殊作業員		人	0.09	
⑨		普通作業員		人	0.27	
⑩		掘削		m3	3.0	
⑪		埋戻		m3	2.5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
③		コンクリート	2	4	29		2		2			
⑤	D07909	公園塗装	1									
⑥		型枠	1	5								
⑦		型枠	1	2								

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D06721	円木	10基当り	構造図 1224	H26.5.1改定

1. 適用条件

- ・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 種類	A1	長2m
	A2	長4m
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリートブロック(円木用)	100／300×500×200mm	個	V1	
②		松丸太太鼓落し(円木用)	(各種)	本	10	表3-2
③	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	基	V2	表3-1
④		特殊作業員		人	V3	
⑤		普通作業員		人	V4	
⑥		掘削		m3	V5	
⑦		埋戻		m3	V6	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. 松丸太太鼓落し(円木用)の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		松丸太太鼓落し(円木用)	長 2m 厚 18cm 防腐剤加圧注入処理
	A2		松丸太太鼓落し(円木用)	長 4m 厚 18cm 防腐剤加圧注入処理

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	コンクリートブロック(円木用)	V1	20	30
③	プレキャストコンクリート製品布設	V2	20	30
④	特殊作業員	V3	0.36	0.56
⑤	普通作業員	V4	1.4	2.2
⑥	掘削	V5	2.8	4.2
⑦	埋戻	V6	2.5	3.7

5. 根拠

V-3-⑥-4

名古屋市版施工単価内訳表

D06901	高鉄棒	1基当り	構造図 1222	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	2.4	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB、無筋	m3	0.07	表3-1
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	0.79	表3-1
④		高鉄棒(SUS仕様)	JPFA-SP-S:2014	基	1	
⑤	D07909	公園塗装		m2	2.7	表3-1
⑥		型枠	均しコンクリート	m2	0.48	表3-1
⑦		型枠	小型構造物	m2	6.7	表3-1
⑧		特殊作業員		人	0.18	
⑨		普通作業員		人	0.53	
⑩		掘削		m3	6.1	
⑪		埋戻		m3	5.0	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
③		コンクリート	2	4	29		2		2			
⑤	D07909	公園塗装	1									
⑥		型枠	1	5								
⑦		型枠	1	2								

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D07101	公園石積	10m当り	構造図 802	R05.10改定

1. 適用条件

・ 公園の土留壁として適用する。

2. 条件表

A 石積の段数	A1	1段
	A2	2段
	A3	3段
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	4	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V1	表3-1
③		胴込・裏込コンクリート	18・8・25BB	m3	V2	表3-1
④		単粒度碎石	4号30-20mm	m3	V3	
⑤		雑割石(四方落し)	控 35 cm	個	V4	
⑥		硬質塩化ビニル管(一般管)	VP-30	m	V5	
⑦		目地板	瀝青質目地板	m2	V6	表3-1
⑧		土木一般世話役		人	V7	
⑨		石工		人	V8	
⑩		普通作業員		人	V9	
⑪		普通作業員		人	V10	
⑫		型枠	均しコンクリート	m2	V11	表3-1
⑬		諸雑費		%	V12	
⑭		掘削		m3	V13	
⑮		埋戻		m3	V14	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
③		胴込・裏込コンクリート	1	5								
⑦		目地板	1	1								
⑫		型枠	1	5								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
②	コンクリート	V1	0.33	0.47	0.47
③	胴込・裏込コンクリート	V2	0.58	1.29	2.00
④	単粒度碎石	V3	—	0.48	0.48
⑤	雑割石	V4	33	66	99
⑥	硬質塩化ビニル管	V5	—	0.80	0.80
⑦	目地板	V6	0.12	0.24	0.35
⑧	土木一般世話役	V7	0.12	0.24	0.36
⑨	石工	V8	0.45	0.9	1.35
⑩	普通作業員	V9	1.1	2.2	3.2
⑪	普通作業員	V10	—	0.08	0.08
⑫	型枠	V11	1.9	2.7	2.7
⑬	諸雑費	V12	—	3	3
⑭	掘削	V13	1.8	2.4	2.3
⑮	埋戻	V14	0.6	0.9	0.9

5. 根拠

V-1-②-2

名古屋市版施工単価内訳表

D07102	公園ブロック積	10m当り	構造図 803	R2. 10改定

1. 適用条件

・ 公園の土留壁に適用する。

2. 条件表

A ブロック積の段数	A1	1段	(子単価条件)
	A2	2段	
	A3	3段	
	A4	4段	
B 土工		別紙「公園作業土工」参照	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		現場打基礎コンクリート	18-8-25BB	m3	V1	表3-1
②		単粒度砕石	4号30-20mm	m3	V2	
③		コンクリートブロック積工		m2	V3	表3-1
④		胴込・裏込材(砕石)	材料無	m3	V4	表3-1
⑤		掘削		m3	V5	
⑥		埋戻		m3	V6	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H
①		現場打基礎コンクリート	3	1						
②		コンクリートブロック積工	1	1	1	1	2	0.22	3	
④		胴込・裏込材(砕石)	1	6						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	現場打基礎コンクリート	V1	0.33	0.47	0.47	0.47
②	単粒度碎石	V2	—	0.40×1.2	0.40×1.2	0.40×1.2
③	コンクリートブロック積工	V3	2.5	5.0	7.5	10.0
④	胴込・裏込材(碎石)	V4	—	0.40	0.40	0.40
⑤	掘削	V5	1.5	2.1	2.4	2.4
⑥	埋戻	V6	0.5	0.8	0.9	0.9

5. 根拠

V-1-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07104	景石据付(捨石工)	1t当り	構造図	H28.6.1改定

1. 適用条件

- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 景石の規格	A1	0.5t/ 個(実重量 0.75t以下)
	A2	1.0t/ 個(実重量 0.75～1.25t以下)
	A3	1.5t/ 個(実重量 1.25～1.75t以下)
	A4	2.0t/ 個(実重量 1.75～2.5t以下)
	A5	3.0t/ 個(実重量 2.5～3.5t以下)
	A6	4.0t/ 個(実重量 3.5～4.5t以下)
B 施工方法	B1	機械
	B2	人力
C 景石費(円)		入力
D 賃料補正 (A5、A6の場合)	D1	;標準(長期割引適用)
	D2	;標準以外
E 供用日		入力(D2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		造園工		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④	—	景石		t	1	
⑤		トラック[クレーン装置付]運転費	4t 積 2.9t 吊	時間	V4	表3-1
⑥		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型]4.9t 吊	日	V5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤		トラック[クレーン装置付]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2		A3	
		B条件	B1	B2	B1	B2	B1	B2
①	土木一般世話役	V1	0.02	0.07	0.02	0.07	0.02	0.07
②	造園工	V2	0.6	1.0	0.6	1.0	0.6	1.0
③	普通作業員	V3	0.17	0.9	0.17	0.9	0.17	0.9
⑤	トラック[クレーン装置付]	V4	0.38	—	0.23	—	0.17	—
⑥	トラッククレーン賃料	V5	—	—	—	—	—	—

	名 称	A条件	A4		A5		A6	
		B 条件	B1	B2	B1	B2	B1	B2
①	土木一般世話役	V1	0.02	0.07	0.02	0.07	0.02	0.07
②	造園工	V2	0.6	1.0	0.6	1.0	0.6	1.0
③	普通作業員	V3	0.17	0.9	0.17	0.9	0.17	0.9
⑤	トラック[クレーン装置付]	V4	0.16	—	—	—	—	—
⑥	トラッククレーン賃料	V5	—	—	0.028	—	0.028	—

5. 根拠
V－3－⑤－1

名古屋市版施工単価内訳表

D07105	石組	1t当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 景石の規格	A1	0.5t/ 個(実重量 0.75t以下)
	A2	1.0t/ 個(実重量 0.75～1.25t以下)
	A3	1.5t/ 個(実重量 1.25～1.75t以下)
	A4	2.0t/ 個(実重量 1.75～2.5t以下)
	A5	3.0t/ 個(実重量 2.5～3.5t以下)
	A6	4.0t/ 個(実重量 3.5～4.5t以下)
B 施工方法	B1	機械土工
	B2	人力土工
C 景石費(円)		入力
D 賃料補正 (A5、A6の場合)	D1	;標準(長期割引適用)
	D2	;標準以外
E 供用日		入力(D2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		造園工		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		景石		t	1	
⑤		トラック[クレーン装置付]	4t 級 2.9t 吊	時間	V4	表3-1
⑥		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型]4.9t 吊	日	V5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤		トラック[クレーン装置付]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
⑤	トラック[クレーン装置付]	V4	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
⑥	トラッククレーン賃料	V5	—	—	—	—	0.028	0.018

	名称	B条件	B1	B2
①	トラック[クレーン装置付]	V1	0.03	0.14
②	トラッククレーン賃料	V2	0.8	1.3
③	普通作業員	V3	0.26	1.1

5. 根拠
V-3-⑤-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07110	パイプさく	12m当り	構造図 321	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 公園のパイプさくに適用する。

2. 条件表

A 高さ	A1	H=0.45m
	A2	H=0.6m
	A3	H=0.7m
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリートブロック	150×150×350mm	個	10	
②		モルタル練		m3	V1	表3-1
③		パイプ柵	(各種)	m	12	表3-2
④	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ部	m2	V2	表3-1
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	基	10	表3-1
⑥		特殊作業員		人	V3	
⑦		普通作業員		人	V4	
⑧		掘削		m3	1.0	
⑨		埋戻		m3	0.9	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		モルタル練	1	1							
④	D07909	公園塗装	1								
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. パイプ柵の種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1		パイプ柵	H=0.45m
	A2		パイプ柵	H=0.6m
	A3		パイプ柵	H=0.7m

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
②	モルタル練	V1	0.03	0.02	0.02
④	公園塗装	V2	1.7	2.2	3.5
⑥	特殊作業員	V3	0.06	0.10	0.13
⑦	普通作業員	V4	0.19	0.30	0.4

5. 根拠

V-3-⑧-1

V-3-⑥-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07111	フェンス	20m当り	構造図 324・325	R03.4.1改定

1. 適用条件

・ 公園の管理用及び運動施設用フェンスに適用する。

2. 条件表

A 高さ	A1	H=0. 8m
	A2	H=1. 5m
	A3	H=2. 0m
	A4	H=3. 0m
	A5	H=4. 0m
B 土工	B2	小規模土工
D 賃料補正(A5の場合)	D1	;標準
E 供用日		入力(D2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリートブロック	(各種)	個	10	表3-2
②		フェンス	(各種)	m	20	表3-3
③		土木一般世話役		人	V1	
④		土木一般世話役		人	V2	
⑤		普通作業員		人	V3	
⑥		普通作業員		人	V4	
⑦		諸雑費		%	6	
⑧	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	80kg 以下	基	V5	表3-1
⑨	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	80 超 400kg 以下	基	V6	表3-1
⑩	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	400 超 800kg 以下	基	V7	表3-1
⑪		掘削		m3	V8	
⑫		埋戻		m3	V9	
⑬		足場工		掛m2	V11	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑧	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								
⑨	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	1							
⑩	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	2							
⑬		足場工（A5 の場合）	1	2	1						

3-2. コンクリートブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		コンクリートブロック	180×180×350mm
	A2		コンクリートブロック	300×300×450mm
	A3		コンクリートブロック	400×400×450mm
	A4		コンクリートブロック	500×500×600mm
	A5		コンクリートブロック	600×600×800mm

3-3. フェンスの種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		フェンス	H=0. 8m
	A2		フェンス	H=1. 5m
	A3		フェンス	H=2. 0m
	A4		フェンス	H=3. 0m
	A5		フェンス	H=4. 0m

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
		B条件	B2	B2	B2	B2	B2
③	土木一般世話役	V1	0.12	0.12	0.12	0.16	0.24
④	土木一般世話役	V2	0.08	0.08	0.08	0.1	0.16
⑤	普通作業員	V3	2.02	2.02	2.02	2.63	4.04
⑥	普通作業員	V4	0.46	0.46	0.46	0.6	0.92
⑧	プレキャストコンクリート製品布設	V5	10	10	—	—	—
⑨	プレキャストコンクリート製品布設	V6	—	—	10	10	—
⑩	プレキャストコンクリート製品布設	V7	—	—	—	—	10
⑪	掘削	V8	1.1	2.1	2.8	4.7	7.8
⑫	埋戻	V9	1.0	1.7	2.1	3.2	5.0
⑬	足場工	V11	—	—	—	—	12

5. 根拠

V-3-⑧-1

V-3-⑥-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07112	車止	10本当り	構造図 326	R05.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 車止の種類	A1	A-1(固定式、ブロック大)
	A2	A'-1(固定式、ブロック小)
	A3	A-2(可動式、ブロック大)
	A4	A'-2(可動式、ブロック小)
	A5	E(可動式、ブロック大)
	A6	E'(可動式、ブロック小)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		車止	(各種)	本	10	表3-2
②		コンクリートブロック	(各種)	個	10	表3-2
③		モルタル練		m3	V1	表3-1
④	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ部	m2	1.8	表3-1
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	基	10	表3-1
⑥		普通作業員		人	2.0	
⑦		掘削		m3	V2	
⑧		埋戻		m3	V3	
⑨		南京錠	真ちゅう製	個	V5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		モルタル練	1	1							
④	D07909	公園塗装	1								
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. 車止めの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		車止	A(固定)
	A2		車止	A(固定)
	A3		車止	A(可動)
	A4		車止	A(可動)
	A5		車止	E(可動)
	A6		車止	E(可動)

3-3. コンクリートブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		コンクリートブロック	300×300×400mm
	A2		コンクリートブロック	200×200×400mm
	A3		コンクリートブロック	300×300×400mm
	A4		コンクリートブロック	200×200×400mm
	A5		コンクリートブロック	300×300×400mm
	A6		コンクリートブロック	200×200×400mm

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
③	モルタル練	V1	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02
⑦	掘削	V2	1.9	1.4	1.9	1.4	1.9	1.4
⑧	埋戻	V3	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2
⑨	南京錠	V5	—	—	—	—	10	10

5. 根拠

V-3-⑧-2

名古屋市版施工単価内訳表

D07113	バリケード(鉄線柵)	12m当り	構造図 328	H27.4改定

1. 適用条件

- ・ 公園利用者の安全確保のため設置する。

2. 条件表

A 施工規模	A1	50m未満
	A2	50m以上 100m未満
	A3	100m以上

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		杉丸太杭(防腐剤加圧注入処理品)	長1.5m 末口6cm	本	10	
②		米椀平割(防腐剤加圧注入処理品)	4m×6cm×3cm	本	3	
③		亜鉛引鉄線	#8 径4 JISG3547	kg	4	
④		消耗品等		%	5	
⑤		普通作業員		人	V1	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
⑤	普通作業員	V1	0.87	0.70	0.64

5. 根拠

V-3-⑧-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07114	格子さく	18m当り	構造図 322・323	R05.10改定

1. 適用条件

・ 公園のさくに適用する。

2. 条件表

A 高さ区分	A1	H=0.75m
	A2	H=1.1m
B 施工規模	B1	100m 以上
	B2	100m 未満

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ部	m ²	V1	表3-1
②		格子柵	(各種)	m	18	表3-2
③		防護柵(横断・転落防止柵)設置工		m	18	表3-3

3-1. 塗装規格

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D07909	公園塗装	1								

3-2. 格子柵の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		格子柵	H=0.75m 角パイプ
	A2		格子柵	H=1.1m

3-3. 施工規模

	B条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	B1		防護柵(横断・転落防止柵)設置工	2	1	2		1		1		
	B2			2	1	2		4		1		

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	公園塗装	V1	12.2	14.2

5. 根拠

V-3-⑧-1(フェンス)、VI-2-③(防護柵設置工)

名古屋市版施工単価内訳表

D07115	フェンス(丸支柱)	20m当り	構造図	R3.10改定

1. 適用条件

・ 公園の管理用及び運動施設用フェンスに適用する。

2. 条件表

A 高さ	A1	H=0. 8m
	A2	H=1. 5m
	A3	H=2. 0m
	A4	H=3. 0m
	A5	H=4. 0m
B 土工	B2	小規模土工
D 賃料補正 (A5の場合)	D1	;標準(長期割引適用)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリートブロック	(各種)	個	10	表3-2
②		フェンス	(各種)	m	20	表3-3
③		土木一般世話役		人	V1	
④		土木一般世話役		人	V2	
⑤		普通作業員		人	V3	
⑥		普通作業員		人	V4	
⑦		諸雑費		%	6	
⑧	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	80kg 以下	基	V5	表3-1
⑨	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	80 超 400kg 以下	基	V6	表3-1
⑩	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	400 超 800kg 以下	基	V7	表3-1
⑪		掘削		m3	V8	
⑫		埋戻		m3	V9	
⑬		足場工		掛m2	V11	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑧	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								
⑨	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	1							
⑩	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	1	2							
⑬		足場工（A5 の場合）	1	2	1						

3-2. コンクリートブロックの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		コンクリートブロック	180×180×450mm
	A2		コンクリートブロック	250×250×450mm
	A3		コンクリートブロック	300×300×500mm
	A4		コンクリートブロック	350×350×600mm
	A5		コンクリートブロック	500×500×900mm

3-3. フェンスの種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		フェンス	H=0. 8m
	A2		フェンス	H=1. 5m
	A3		フェンス	H=2. 0m
	A4		フェンス	H=3. 0m
	A5		フェンス	H=4. 0m

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
		B条件	B2	B2	B2	B2	B2
③	土木一般世話役	V1	0.12	0.12	0.12	0.16	0.24
④	土木一般世話役	V2	0.08	0.08	0.08	0.1	0.16
⑤	普通作業員	V3	2.02	2.02	2.02	2.63	4.04
⑥	普通作業員	V4	0.46	0.46	0.46	0.6	0.92
⑧	プレキャストコンクリート製品布設	V5	10	10	10	—	—
⑨	プレキャストコンクリート製品布設	V6	—	—	—	10	—
⑩	プレキャストコンクリート製品布設	V7	—	—	—	—	10
⑪	掘削	V8	1.5	1.9	2.5	3.4	7.3
⑫	埋戻	V9	1.4	1.6	2.0	2.7	5.0
⑬	足場工	V11	—	—	—	—	12

5. 根拠

V-3-⑧-1

V-3-⑥-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07120	公園灯	1基当り	構造図 409・409-2	H31. 1改定

1. 適用条件

・ 公園の照明施設に適用する。

2. 条件表

A 種類	A1	引込用分電盤付(100V)A-1
	A2	地下ケーブル用(100V)A-2
	A3	引込用ジョイントユニット付(200V)B-1
	A4	地下ケーブル用(200V)B-2
	A5	引込用分電盤付(200V)B-3
	A6	架空線用 C
	A7	引込柱A(分電盤付,200V)
	A8	中間柱
	A9	引込柱B
B 分電盤材質	B1	鋼板
C 土工	C1	人力土工
	C2	機械土工(トラック式アースオーガ)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
1		基礎砕石	砕石厚0.15m、RC-40	m2	0.20	表3-1
2		コンクリート	18-8-40高炉	m3	0.17	表3-1
3		円形空洞型枠	D300	m	0.10	
4		スパイラル管	口径500mm、厚0.6mm	m	0.95	
5		水銀灯器具取付(屋外)	ホールライト400W以下	灯	V1	表3-1
6		電工		人	V2	
7		接地設置		極	V3	表3-1
8		鋼管柱	地上高5.5m	本	1	
9		照明器具	公園灯 灯具	個	V4	
10		セラミックメタルハイトランプ	拡散形 CMF190W	個	V5	
11		安定器	100V 200W 高力率1灯	個	V6	
12		安定器	200V 200W 高力率1灯	個	V7	
13		安全器	磁器製 2P 15A	個	V8	
14		ホール内ジョイントユニット	1灯、2灯用テストスイッチ有	個	V9	
15		光電式自動点滅器(分離型)	金具取付式 100V 6A	個	V10	
16		光電式自動点滅器(分離型)	金具取付式 200V10A	個	V11	
17		架線引込フック	バンド付 SUS製	個	V12	
18		受電口		個	V13	
19		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケープル	600V CE/F(EM-CE) 2心 3.5mm2	m	V14	
20		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケープル	600V CE/F(EM-CE) 3心 3.5mm2	m	V15	
21		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケープル	600V CE/F(EM-CE) 3心 5.5mm2	m	V16	
22		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケープル	600V CE/F(EM-CE) 2心 5.5mm2	m	V17	
23		丸形アース棒	E-B3 10φ×1000mm	本	V18	
24		耐燃性ポリエチレン絶縁電線	600V IE/F(EM-IE) より線 3.5mm2	m	V19	
25		雑材料		%	5	電線・ケーブル材料を対象
26	D07124	分電盤(標準)		面	V20	表3-1
27	D07909	公園塗装		m2	2.0	表3-1
28		床掘り		m3	V21	表3-1
29		基礎掘削及びスパイラルタ 外立込		基	V22	表3-1
30		埋戻		m3	V23	表3-1

3-1. 子単価条件

	条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	—		基礎砕石	3	8								
2	—		コンクリート	2	4	29		2		2			
5	A1,A3 A5,A6		水銀灯器具取付(屋外)	3	1	1		2					
	A2,A4		水銀灯器具取付(屋外)	3	1	1		1					
7	—		接地設置	4	2								
26	B1	D07124	分電盤(標準)	1									
27	—	D07909	公園塗装	1									
28	C1		床掘り	1	6								
29	C2		基礎掘削及びスパイラルダクト外立込	1									
30	C1	D00120	埋戻(人力)	1	2								
	C2	D00121	埋戻	1	1								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9
5	水銀灯器具取付(屋外)	V1	1	1	1	1	1	1	—	—	—
6	電工	V2	—	—	—	—	—	—	1.37	1.02	1.35
7	接地設置	V3	1	1	1	1	1	1	—	—	—
9	照明器具	V4	1	1	1	1	1	1	—	—	—
10	セラミックメタルハイトランプ	V5	1	1	1	1	1	1	—	—	—
11	安定器	V6	1	1	—	—	—	1	—	—	—
12	安定器	V7	—	—	1	1	1	—	—	—	—
13	安全器	V8	1	1	—	1	1	1	—	—	—
14	ポール内ジョイントユニット	V9	—	—	1	—	—	—	—	—	—
15	光電式自動点滅器(分離型)	V10	1	—	—	—	—	1	—	—	—
16	光電式自動点滅器(分離型)	V11	—	—	1	—	1	—	1	—	—
17	架線引込フック	V12	1	—	1	—	1	1	1	1	1
18	受電口	V13	2	—	2	—	2	2	2	—	1
19	架橋ポリ絶縁耐燃性ポリンスケープル	V14	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	9.0	—	—	—
20	架橋ポリ絶縁耐燃性ポリンスケープル	V15	4.5	—	4.5	—	4.5	4.5	4.5	—	—
21	架橋ポリ絶縁耐燃性ポリンスケープル	V16	4.5	—	—	—	—	—	—	—	—
22	架橋ポリ絶縁耐燃性ポリンスケープル	V17	—	—	4.5	—	4.5	—	4.5	—	—
23	丸形アース棒	V18	1	1	1	1	1	1	1	—	1
24	耐燃性ポリエチレン絶縁電線	V19	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	—	2.0
26	分電盤(標準)	V20	1	—	—	—	1	—	1	—	—

	名称	C条件	C1	C2
28	床掘り	V21	1.23	—
29	基礎掘削及びスパイラルタ 外立込	V22	—	1
30	埋戻	V23	1.01	0.01

5. 根拠

V-3-③-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07121	架空配線(φ2.6mm)	30m当り	構造図 409-2	H23.10.1改定

1. 適用条件

・ 公園等の架空線に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		引込用ビニル絶縁電線	DV 2. 6mm 2心平形	m	31.5	
②		電工		人	0.25	
③		普通作業員		人	0.15	
④		消耗品等		%	3	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅷ-2-11
公共建築工事積算基準

名古屋市版施工単価内訳表

D07123	ハンドホール	10か所当り	構造図 413	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 地下ケーブルに合わせて適用する。

2. 条件表

A 種類	A1	一般,T-2
	A2	一般,T-14
	A3	ILB,T-2
	A4	ILB,T-14
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	18・8・25BB	m3	V1	表3-1
②		マンホールカバー	(各種)	個	10	表3-2
③		コンクリート角柵	450×300×90mm	個	20	
④		コンクリート角柵	450×150×90mm	個	10	
⑤	D00805	集水柵据付	80-400kg、基礎砕石有	基	10	表3-1
⑥	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	80 超 400kg 以下	基	10	表3-1
⑦	D00802	プレキャストコンクリート製品布設		基	10	表3-1
⑧		型枠	小型構造物	m2	V2	表3-1
⑨		掘削		m3	V3	
⑩		埋戻		m3	V4	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		コンクリート	2	4	41		2		2			
⑤	D00805	集水柵据付	1	2	1	1		1				
⑥	D00804	プレキャストコンクリート製品 布設	1	1								
⑦	D00802	プレキャストコンクリート製品 布設	1									
⑧		型枠	1	2								

3-2. マンホールカバーの種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		鋳鉄製マンホール蓋(建築・設備用)	枠・鎖付 簡易密閉型 T-2 500mm
	A2		鋳鉄製マンホール蓋(建築・設備用)	枠・鎖付 簡易密閉型 T-14 500mm
	A3		鋳鉄製マンホール蓋(ILB 用化粧蓋)	スライド式 簡易密閉型 T-2 450mm
	A4		鋳鉄製マンホール蓋(ILB 用化粧蓋)	スライド式 簡易密閉型 T-14 450mm

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	コンクリート	V1	0.67	0.66	0.40	0.40
⑧	型枠	V2	6.2	6.1	2.5	2.5
⑨	掘削	V3	15.1	15.1	15.4	15.4
⑩	埋戻	V4	10.6	10.6	11.1	11.1

5. 根拠

Ⅱ-2-⑩

名古屋市版施工単価内訳表

D07124	分電盤(標準)	1面当り	構造図 414	H26.5.1改定

1. 適用条件

・ 公園灯・中間柱に分電盤を取付ける場合に適用する。

2. 条件表

A 材質	A1	鋼板

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		分電盤(扉錠鍵付)	(各種)	面	1	表3-1
②		電工		人	0.52	
③		普通作業員		人	0.35	

3-1. 分電盤の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		分電盤(鋼板) 扉錠鍵付	500×350×180mm 盤内機器共

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-③-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07125	太陽電池式時計塔	10基当り	構造図 416	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 公園の太陽電池式時計塔に適用する。

2. 条件表

A 種類	A1	A(両面式)
	A2	B(片面式)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚0.1m、RC-40	m2	6.4	表3-1
②		コンクリート	18・8・40BB	m3	4.6	表3-1
③		太陽電池式時計塔	(各種)	基	10	表3-2
④		型枠	小型構造物	m2	27.5	表3-1
⑤	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ	m2	16.8	表3-1
⑥		電工		人	21.1	
⑦		掘削		m3	27.1	
⑧		埋戻		m3	21.8	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	2	4	29		2		2			
④		型枠	1	2								
⑤	D07909	公園塗装	1									

3-2. 太陽電池式時計塔の種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1		太陽電池式時計塔	両面式、丸型、径700、DC3.6V、30秒有極
	A2		太陽電池式時計塔	片面式 丸型 径700 DC3.6V 30秒有極式

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑦-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07126	電線管布設	10m当り	構造図 411	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 公園灯の地下ケーブルに合わせて適用する。

2. 条件表

A 作業種別	A1	10m 未満
	A2	10m 以上
B 種類	B1	波付硬質ポリエチレン管 φ30
	B2	波付硬質ポリエチレン管 φ40
	B3	波付硬質ポリエチレン管 φ50
	B4	波付硬質ポリエチレン管 φ65
	B5	波付硬質ポリエチレン管 φ80

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		波付硬質ポリエチレン管	(各種)	m	10.5	表3-1
②		埋設標識シート	150mm×50m ダブル	巻	0.21	
③		電工		人	V1	
④		電工		人	0.04	
⑤		付属品		%	4	
⑥		雑材料		%	1	

3-1. 波付硬質ポリエチレン管の種類

	B条件	コード	名称	規格
①	B1		波付硬質ポリエチレン電線管	FEP 30mm
	B2		波付硬質ポリエチレン電線管	FEP 40mm
	B3		波付硬質ポリエチレン電線管	FEP 50mm
	B4		波付硬質ポリエチレン電線管	FEP 65mm
	B5		波付硬質ポリエチレン電線管	FEP 80mm

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
③	電工	V1	0.1	0.05

5. 根拠

V-3-③-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07127	ケーブル入線	10m当り	構造図 411	R3.4改定

1. 適用条件

・ 電線管へのケーブル入線に適用する。

2. 条件表

A 種類	A1	5.5×2C
	A2	5.5×3C
	A3	8×2C
	A4	8×3C
	A5	14×2C
	A6	14×3C
	A7	22×2C
	A8	22×3C

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابل	(各種)	m	V1	表3-1
②		ケーブル及び電線配線	20mm以下	m	V2	表3-2
③		ケーブル及び電線配線	40mm以下	m	V3	表3-2
④		雑材料		%	5	

3-1. 架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابلの種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابل	600V CE/F(EM-CE) 2心 5.5mm2
	A2		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابل	600V CE/F(EM-CE) 3心 5.5mm2
	A3		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابل	600V CE/F(EM-CE) 2心 8mm2
	A4		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابل	600V CE/F(EM-CE) 3心 8mm2
	A5		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابل	600V CE/F(EM-CE) 2心 14mm2
	A6		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابل	600V CE/F(EM-CE) 3心 14mm2
	A7		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابل	600V CE/F(EM-CE) 2心 22mm2
	A8		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケابل	600V CE/F(EM-CE) 3心 22mm2

3-2. 子単価条件

	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	ケーブル及び電線配線	1	3		1					
③	ケーブル及び電線配線	1	4		1					

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケール	V1	10×1.10	10×1.10	10×1.10	10×1.10
②	ケーブル及び電線配線	V2	10	10	10	10
③	ケーブル及び電線配線	V3	－	－	－	－

	名称	A条件	A5	A6	A7	A8
①	架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケール	V1	10×1.10	10×1.10	10×1.05	10×1.05
②	ケーブル及び電線配線	V2	10	10	10	－
③	ケーブル及び電線配線	V3	－	－	－	10

5. 根拠

V-3-③-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07131	門柱D	1基当り	構造図 1303	H26.10改定

1. 適用条件

- ・ 標準は長期の賃貸に係る割引後の単価
- ・ 割引率は、トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは20%、その他の機種は35%
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 石の材質と重量	A1	さび系花こう岩野面石 1.0t
	A2	さび系花こう岩野面石 1.4t
	A3	さび系花こう岩野面石 2.7t
	A4	自然石 0.8t
	A5	自然石 1.3t
	A6	自然石 1.8t
B 文字の大きさ	B1	90×90
	B2	120×120
	B3	150×150
	B4	180×180
C 1≦文字数(文字)≦10		入力
D 賃料補正 (A3の場合)	D1	;標準(長期割引適用)
	D2	;標準以外
E 供用日		入力(D2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		門柱(野面石)	(各種)	t	V1	表3-2
②		文字彫	(各種)	字	C	表3-3
③		土木一般世話役		人	V2	
④		造園工		人	V3	
⑤		普通作業員		人	V4	
⑥		トラック[クレーン装置付]	4t 級 2.9t 吊	時間	V5	
⑦		トラッククレーン賃料	[油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊	日	V6	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑥		トラック[クレーン装置付]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

3-2. 門柱(野面石)の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		門柱(野面石)	さび系花こう岩(恵那産)
	A2			
	A3			
	A4		門柱(野面石)	自然石(揖斐石等)
	A5			
	A6			

3-3. 門柱(野面石)の種類

	B条件	コード	名称	規格
②	B1		文字彫	90×90mm
	B2		文字彫	120×120mm
	B3		文字彫	150×150mm
	B4		文字彫	180×180mm

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	門柱(野面石)	V1	1.0	1.4	2.7	0.8	1.3	1.8
③	土木一般世話役	V2	0.02	0.03	0.05	0.02	0.03	0.04
④	造園工	V3	0.6	0.84	1.6	0.48	0.78	1.08
⑤	普通作業員	V4	0.17	0.24	0.46	0.14	0.22	0.31
⑥	トラック[クレーン装置付]	V5	0.23	0.24	—	0.18	0.22	0.29
⑦	トラッククレーン賃料	V6	—	—	0.08	—	—	—

5. 根拠

V-3-⑧-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07150	案内板(耐衝撃性プラスチック板)	1枚当り	構造図 1305	H14.4改定

1. 適用条件

・ 公園内の施設案内に適用する。但し、既設フェンスに取り付けるものとする。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		案内板	耐衝撃性プラスチック板 1000×750×5mm	枚	1	
②		消耗品等		%	1	
③		普通作業員		人	0.06	

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑦-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07160	散水栓	10か所当り	構造図 1306	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 公園内の散水栓に適用する。

2. 条件表

A 口径及び形式	A1	φ13mm、ハンドル式
	A2	φ20mm、ハンドル式
	A3	φ13mm、キー式
	A4	φ20mm、キー式
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m ²	1.2	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB	m ³	0.17	表3-1
③		散水栓	(各種)	個	10	表3-2
④		散水栓ボックス	B-3-2	個	10	
⑤		ストップバルブ	(各種)	個	10	表3-3
⑥		バルブボックス	B-1 φ150	個	10	
⑦		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	(各種)	m	5.0×1.05	表3-4
⑧		硬質塩化ビニル管(薄肉管)	VU200	m	2.0	
⑨		型枠	小型構造物	m ²	2.8	表3-1
⑩		消耗品等		%	25+10	
⑪		配管工		人	V1	
⑫		掘削		m ³	2.3	
⑬		埋戻		m ³	1.8	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎碎石	2	8								
②		コンクリート	2	4	41		2		2			
⑨		型枠	1	2								

3-2. 散水栓の種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1		散水栓	自動継手 φ13
	A2		散水栓	自動継手 φ20
	A3		散水栓(キー式)	自動継手 φ13
	A4		散水栓(キー式)	自動継手 φ20

3-3. ストップバルブの種類

	A条件	コード	名称	規格
⑤	A1		ストップバルブ	砲金製 φ13
	A2		ストップバルブ	砲金製 φ20
	A3		ストップバルブ	砲金製 φ13
	A4		ストップバルブ	砲金製 φ20

3-4. 耐衝撃性硬質塩化ビニル管の種類

	A条件	コード	名称	規格
⑦	A1		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP-13
	A2		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP-20
	A3		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP-13
	A4		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP-20

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
⑪	配管工	V1	$(0.35+0.07+0.23) \times 10 + 3.2/100 \times 5$	$(0.35+0.08+0.23) \times 10 + 4.3/100 \times 5$

	名称	A条件	A3	A4
⑪	配管工	V1	$(0.35+0.07+0.23) \times 10 + 3.2/100 \times 5$	$(0.35+0.08+0.23) \times 10 + 4.3/100 \times 5$

5. 根拠

V-3-①-2・3

名古屋市版施工単価内訳表

D07302	給水管	100m当り	構造図 1311	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 公園等における水飲・便所・水景施設等の給水(外構)工事において、耐衝撃性硬質塩化ビニル管および埋設標識テープを布設する場合に適用する。

2. 条件表

A 管径	A1	φ13mm
	A2	φ20mm
	A3	φ25mm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP	m	105	表3-1
②		埋設標識シート	150mm×50m ダブル	巻	2.1	
③		配管工		人	V1	
④		消耗品等		%	25	

3-1. 塩ビ管(HIVP)の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP-13
	A2		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP-20
	A3		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP-25

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
③	配管工	V1	3.6	4.7	5.6

5. 根拠

V-3-①-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07303	量水器取付部	1か所当り	構造図 1311	H28.5.1改定

1. 適用条件

・ 給水管に量水器を取り付ける場合に適用する。但し、設置位置は公道よりの高さが1m未満。

2. 条件表

A 公道よりの取付高さ	A1	取付高 0.5m 未満
	A2	取付高 0.5m 以上 1.0m 未満
B 管径	B1	φ 13mm
	B2	φ 20mm
	B3	φ 25mm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ポリエチレン管	(各種)	m	V1	表3-2
②		止水栓曲管	(各種)	個	1	表3-3
③		逆流防止機能付止水栓	(各種)	個	1	表3-4
④		メーター筐	(各種)	個	1	表3-5
⑤		メーターユニオン	(各種)	個	1	表3-6
⑥		メーター間隔棒	(各種)	本	1	表3-7
⑦		標示ブロック	450×45×45	本	1	
⑧		砂止板		組	1	
⑨		配管工		人	V2	
⑩		消耗品等		%	10+25	
⑪		床掘	土砂	m3	V3	表3-1
⑫	D00120	埋戻	人力、発生土	m3	V4	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑪		床掘	1	6							
⑫	D00120	埋戻	1	1							

3-2. ポリエチレン管の種類

	B条件	コード	名称	規格
①	B1		ポリエチレン管	水道用二層管 1種 φ20
	B2		ポリエチレン管	水道用二層管 1種 φ20
	B3		ポリエチレン管	水道用二層管 1種 φ25

3-3. 止水栓曲管の種類

	B条件	コード	名称	規格
②	B1		止水栓曲管	ポリエチレン管用 砲金製 $\phi 20 \times 13$ 用
	B2		止水栓曲管	ポリエチレン管用 $\phi 20$ 用
	B3		止水栓曲管	$\phi 25$ 、 60° ポリエチレン管用

3-4. 逆流防止機能付止水栓の種類

	B条件	コード	名称	規格
③	B1		逆流防止機能付止水栓	$\phi 13$ 用
	B2		逆流防止機能付止水栓	$\phi 20$ 用
	B3		逆流防止機能付止水栓	$\phi 25$ 用

3-5. メーター筐の種類

	B条件	コード	名称	規格
④	B1		メーター筐	$\phi 13$ 用
	B2		メーター筐	$\phi 20$ 用
	B3		メーター筐	$\phi 25$ 用

3-6. メーターユニオンの種類

	B条件	コード	名称	規格
⑤	B1		メーターユニオン	VP $\phi 13$ 用
	B2		メーターユニオン	VP $\phi 20$ 用
	B3		メーターユニオン	VP $\phi 25$ 用

3-7. メーター間隔棒の種類

	B条件	コード	名称	規格
⑥	B1		メーター間隔棒	$\phi 13$ 用
	B2		メーター間隔棒	$\phi 20$ 用
	B3		メーター間隔棒	$\phi 25$ 用

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A1	A1	A2	A2	A2
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	ポリエチレン管	V1	2×1.05	2×1.05	2×1.05	2.5×1.05	2.5×1.05	2.5×1.05
⑨	配管工	V2	0.51	0.56	0.67	0.53	0.58	0.70
⑪	床掘	V3	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8
⑫	埋戻	V4	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8

5. 根拠

V-3-①-2

名古屋市版施工単価内訳表

D07304	止水栓	1か所当り	構造図 1312	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 止水栓の種類	A1	φ13
	A2	φ20
	A3	φ25

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	18・8・25BB	m3	0.02	表3-1
②		ストップバルブ	(各種)	個	1	表3-2
③		バルブボックス	B-1 φ150	個	1	
④		硬質塩化ビニル管(薄肉管)	VU200	m	0.2	
⑤		型枠	小型構造物	m2	0.28	表3-1
⑥		配管工		人	V1	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		コンクリート	2	4	41		2		2			
⑤		型枠	1	2								

3-2. ストップバルブの種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		ストップバルブ	砲金製 φ13
	A2		ストップバルブ	砲金製 φ20
	A3		ストップバルブ	砲金製 φ25

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
⑥	配管工	V1	0.30	0.31	0.32

5. 根拠

V-3-①-2

名古屋市版施工単価内訳表

D07502	客土	10m3 当り	1003・1004・1005・1006 構造図 ・1007・1009・1011・1015 ・1016・1017	R06.04改定

1. 適用条件

- ・ 本工種は市場単価方式による街路樹の植栽工事及び地被植付工事に適用する。
- ・ 客土材料の混入手間含まない(客土材料のみ)。

2. 条件表

A 客土材料	A1	砂・パーク・肥料
	A2	掘削土・パーク・肥料
	A3	砂・パーク・保水材・肥料
	A4	掘削土・パーク・保水材・肥料
	A5	地被用,砂・パーク・肥料
	A6	地被用,砂・パーク・保水材・肥料

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	クッション用	m3	V1	
②		掘さく土	客土用発生土	m3	V2	
③		パーク堆肥		kg	V3	
④		保水材(土壌改良材)	真珠岩パーライト 粒径 2.5mm 以下	L	V4	
⑤		緩効性化成肥料	(大)N:P:K=23:2:0	kg	V5	
⑥		固形肥料	(大)N:P:K=3:6:4	kg	V6	
⑦		芝用化成肥料	N:P:K=6:5:3	kg	V7	
⑧		油粕		kg	V8	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	砂	V1	9.6	—	7.2	—	9.6	7.2
②	掘さく土	V2	—	9	—	7	—	—
③	パーク堆肥	V3	1000	500	1000	500	1000	1000
④	保水材	V4	—	—	2000	2000	—	2000
⑤	緩効性化成肥料	V5	7.0	7.0	7.0	7.0	—	—
⑥	固形肥料	V6	7.0	7.0	7.0	7.0	—	—
⑦	芝用化成肥料	V7	—	—	—	—	7.0	7.0
⑧	油粕	V8	—	—	—	—	7.0	7.0

5. 根拠

V-5-②-6 / V-5-②-7

名古屋市版施工単価内訳表

D07503	生垣支柱B	45m当り	構造図 1026	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 標準的な中央分離帯(中木植栽間隔5m)の生垣に適用する。
- ・ 公園工事には適用しない。

2. 条件表

A 支柱プレートの有無	A1	支柱プレート有
	A2	支柱プレート無

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		道路植栽工 支柱設置 中木	生垣形 樹高 100cm以上	m	45	市場単価
②		支柱プレート	60×40×0.4mmアルミ板(文字書込)	枚	V1	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
②	支柱プレート	V1	1	—

5. 根拠

V-5-①-2

名古屋市版施工単価内訳表

D07514	張芝C	100m2当り	構造図 1013	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 中央分離帯、歩道、街園等の平面部に施工する張芝(7分張)に適用する。
- ・ 公園工事には適用しない。

2. 条件表

A 施工場所	A1	歩道・街園	(補正係数・加算率)
	A2	中央分離帯	K3=1.15
B 規模	B1	100m2未満	S2=20%
	B2	100m2以上1000m2未満	S1=10%
	B3	1000m2以上	S0=0%

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		高麗芝		m2	78.8	
②		道路植栽工 植樹管理 施肥	芝	m2	100	市場単価
③		砂	クッション用	m3	5.1	
④		油 粕		kg	10	
⑤		芝用化成肥料	N:P:K=6:5:3	kg	10	
⑥		土木一般世話役		人	0.39	
⑦		普通作業員		人	4.4	

※ 市場単価の加算・補正については積算基準書を参照

4. 歩掛表

5. 根拠

V-5-②-2

VI-2-⑦

名古屋市版施工単価内訳表

D07517	草花客土	10m3当り	構造図 1014	R06.04改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 種類	A1	砂,バーク堆肥,ピートモス
	A2	砂,バーク堆肥,ピートモス,保水材
B 客土材の混入	B1	客土材の混入有
	B2	客土材の混入無

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	クッション用	m3	V1	
②		バーク堆肥		kg	1000	
③		ピートモス	石灰調整済 (PH7)	L	V2	
④		保水材(土壌改良剤)	真珠岩パーライト 粒径 2.5 mm以下	L	V3	
⑤		緩効性粒状化成肥料	N:P:K:Mg=10:10:10:1	kg	5	
⑥		普通作業員		人	V4	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A1	A2	A2
		B条件	B1	B2	B1	B2
①	砂	V1	7.2	7.2	6.0	6.0
③	ピートモス	V2	2000	2000	1000	1000
④	保水材(土壌改良材)	V3	—	—	2000	2000
⑥	普通作業員	V4	1.93	—	1.84	—

5. 根拠

V-5-②-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07528	添竹	100本当り	構造図	H14.4改定

1. 適用条件

- ・ 街路樹の支柱に添竹を添付する場合に適用する。

2. 条件表

A 種類	A1	中木用
	A2	高木用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		真竹	周り12cm 14本／束	本	V1	
②		土木一般世話役		人	V2	
③		造園工		人	V3	
④		普通作業員		人	V4	
⑤		諸雑費		%	6	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	真竹	V1	3.6×14	7.1×14
②	土木一般世話役	V2	0.70	0.90
③	造園工	V3	2.00	2.50
④	普通作業員	V4	3.90	4.90

5. 根拠

V-5-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07531	支柱結束直し	100組当り	構造図	H14.4改定

1. 適用条件

・ 樹木の二、三、四脚支柱の結束を直すものである。

2. 条件表

A 幹周り	A1	幹周 30cm 未満
	A2	幹周 30cm 以上 50cm 未満
	A3	幹周 50cm 以上

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		造園工		人	V2	
③		諸雑費		%	12	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	土木一般世話役	V1	0.60	0.78	1.50
②	造園工	V2	1.68	2.22	4.56

5. 根拠

V-5-②-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07532	名板設置	100組当り	構造図 1030・1031	H14.4改定

1. 適用条件

・ 樹木の名板に適用する。

2. 条件表

A 名板の種類	A1	A(吊り下げ式)
	A2	B(脚式)
	A3	C(脚式解説有り)
	A4	D(吊り下げ式解説有り)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		名板	(各種)	枚	100	表3-1
②		普通作業員		人	1.1	

3-1. 名板の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		名板 A ポリエチレン系樹脂板	180×120×3mm
	A2		名板 B ポリエチレン系樹脂板	240×80×3mm柱φ16×500mm
	A3		名板 C 特殊強化塩ビ板	152×98×2mm柱15×15×600
	A4		名板 D 特殊強化塩ビ板	152×98×2mm

4. 歩掛表

5. 根拠

V-5-②-5

名古屋市版施工単価内訳表

D07533	マルチング(街路用)	100m2当り	構造図 1029	H23.10.1改定

1. 適用条件

・ 中央分離帯、歩道、街園等に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		バーク堆肥		kg	1000	
②		普通作業員		人	0.5	
③		砂	クッション用	m3	1.0	

4. 歩掛表

5. 根拠

V-5-②-8

名古屋市版施工単価内訳表

D07534	打起し	100m2当り	構造図 1007	H27.10改定

1. 適用条件

- ・ 街路等でパーライト2cm厚を在来土20cm厚に打起し混合する場合に適用する。
- ・ 施工方法の機械については掘削工と同じものを使用する。

2. 条件表

A 打起し方法	A1	人力
	A2	バックホウ 0.28m3(平積 0.2m3)
	A3	バックホウ 0.13m3(平積 0.1m3)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		パーライト	黒曜石系 4～25mm	L	2000	
②		普通作業員		人	V1	
③	D35007	バックホウ運転	山積み 0.28m3	日	V2	
④	D35008	バックホウ運転	山積み 0.13m3	日	V3	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
②	普通作業員	V1	4.42	0.02	0.02
③	バックホウ運転	V2	—	0.58	—
④	バックホウ運転	V3	—	—	1.38

5. 根拠

V-5-②-4

名古屋市版施工単価内訳表

D07540	緑地帯パイプ	20m当り	構造図 1032・1033	H21.4改定

1. 適用条件

・ 緑地帯の樹木の保護として適用する。

2. 条件表

A パイプの高さと支柱の形状	A1	A、H=0.3m、一体式
	A2	B、H=0.3m、鋳鉄式

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		歩道緑地帯パイプ柵	H=0.3m	m	V1	
②		緑地帯パイプ柵	SGP25A パイプ柵 H=0.3m 用	m	V2	
③		緑地帯パイプ柵支柱	鋳鉄 FCD45 パイプ柵 H=0.3m 用	本	V3	
④		コンクリートブロック	150×150×350mm	個	21	
⑤	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ部(新規)	m ²	V4	表3-1
⑥	D07909	公園塗装	鋳鉄部(新規)	m ²	V5	表3-1
⑦		土木一般世話役		人	0.21	
⑧		特殊作業員		人	V6	
⑨		普通作業員		人	V7	
⑩		諸雑費		%	2	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤	D07909	公園塗装	1								
⑥	D07909	公園塗装	2								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	歩道緑地帯パイプ柵	V1	20	—
②	緑地帯パイプ柵	V2	—	20
③	緑地帯パイプ柵支柱	V3	—	21
⑤	公園塗装	V4	—	2.1
⑥	公園塗装	V5	—	2.1
⑧	特殊作業員	V6	0.32	0.33
⑨	普通作業員	V7	0.76	0.77

5. 根拠

V-5-②-9

V-3-⑥-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07702	抜取除草	10a当り	構造図	R02.1改定

1. 適用条件

- ・ 公園の裸地・植栽地・芝生地等の雑草を根より抜取る作業に適用する。
- ・ 本工種には雑草抜取、整地、集草、運搬まで含む。処分費は無し。

2. 条件表

A 雑草の密生度	A1	疎(雑草 40%未満)	(作業係数・子単価条件)
	A2	中(雑草 40%以上 70%未満)	
	A3	密(雑草 70%以上)	
B 施工場所	B1	芝生地・花壇	V2=1.0
	B2	植栽地・裸地	V2=0.8
C 勾配	C1	平坦～緩(勾配 40%未満)	V3=1.0
	C2	急(勾配 40%以上)	V3=1.2
D 刈草処理(運搬距離)	D1	12.8km 以下	V5=9
	D2	14.4km 以下	V5=10
	D3	16.0km 以下	V5=11
	D4	17.7km 以下	V5=12
	D5	19.4km 以下	V5=13
	D6	21.4km 以下	V5=14
	D7	23.3km 以下	V5=15
	D8	25.3km 以下	V5=16
	D9	27.6km 以下	V5=17
	D10	30.0km 以下	V5=18

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		軽作業員		人	V1×V2×V3	
②	D07760	刈草等運搬	積込卸含む、処理費無	m3	V4	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②	D07760	刈草等運搬	2	1	V5						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	軽作業員	V1	6.0	10.0	14.0
②	刈草等運搬	V4	1.1	2.2	3.3

5. 根拠

V-6-①-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07703	公園除草	10a当り	構造図	R02.1改定

1. 適用条件

- ・ 公園の裸地・草地の雑草の草刈りに適用する。
- ・ 通常の公園除草はロータリー式、河川敷緑地等作業性の良好な場所はハンマーナイフ式を標準とする。
- ・ 小規模(3a未満)、狭い場所(作業幅員1.5m未満)、斜面(勾配40%以上)には、肩掛式を適用する。
- ・ 草丈1mを超える場合はロータリー式を適用しない。
- ・ 本工程には作業前の障害物の除去、機械運転、補助刈、集草、運搬まで。処分費は無し。

2. 条件表

A 草刈機の種類	A1	肩掛 径 255mm
	A2	ロータリー 刈幅 50cm
	A3	ハンマー 刈幅 95cm
B 雑草の密生度	B1	草 40%未満
	B2	草 40-70%
	B3	草 70%以上
C 勾配	C1	勾配 40%未満
	C2	勾配 40%以上
D 草丈	D1	丈 1m 以下
	D2	丈 1m 超
E 処分	E1	処分費無
F 刈草処理(運搬距離)	F1	1.7km 以下
	F2	3.0km 以下
	F3	4.3km 以下
	F4	5.6km 以下
	F5	7.0km 以下
	F6	8.4km 以下
	F7	9.8km 以下
	F8	11.2km 以下
	F9	12.8km 以下
	F10	14.4km 以下
	F11	16.0km 以下
	F12	17.7km 以下
	F13	19.4km 以下
	F14	21.4km 以下
	F15	23.3km 以下
	F16	25.3km 以下
	F17	27.6km 以下
	F18	30.0km 以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08269	草刈機運転費	各種	日	$V1 \times V4 \times V6 \times V7$	表3-1
②		土木一般世話役		人	$0.02 \times V4 \times V6 \times V7$	
③		普通作業員		人	$0.23 \times V4 \times V6 \times V7$	
④		消耗品費		%	5	
⑤		普通作業員		人	$V2 \times V4 \times V6 \times V7$	
⑥		土木一般世話役		人	$V1 \times V4 \times V6 \times V7 \times 0.1$	
⑦		特殊作業員		人	$V1 \times V4 \times V6 \times V7$	
⑧		普通作業員		人	$V1 \times V4 \times V6 \times V7 \times V3$	
⑨	D07760	刈草等運搬	積込卸含む、処理費無	m3	$V5 \times V8 \times V10$	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D08269	草刈機運転費	A								
⑨	D07760	刈草等運搬	2	1	F						

4. 歩掛表

名称	A条件	A1	A2	A3
草刈機運転費	V1	1.23	0.53	0.30
普通作業員(刈草集草)	V2	0.60	0.50	0.60
普通作業員(機械運転)	V3	0.1	0.2	0.4

名称	B条件	B1	B2	B3
作業係数	V4	0.8	1.0	1.2
刈草等発生量	V5	1.0	2.0	3.0

名称	C条件	C1	C2
作業係数	V6	1.0	1.2

名称	D条件	D1	D2
作業係数	V7	1.0	1.1
補正係数	V8	1.0	3.0

名称	E条件	E1	E2
補正係数	V9	1	0
補正係数	V10	0	1

5. 根拠

V-6-①-1

V-6-①-2

名古屋市版施工単価内訳表

D07704	公園清掃 A	10a当り	構造図	R02.1改定

1. 適用条件

・ 公園内の掃き掃除に適用する。

2. 条件表

A 清掃の種類	A1	掃き掃除(落葉等)
	A2	掃き掃除(通常の汚れ)
B 処分	B1	処分費無
C 刈草処理(運搬距離)	C1	1.7km 以下
	C2	3.0km 以下
	C3	4.3km 以下
	C4	5.6km 以下
	C5	7.0km 以下
	C6	8.4km 以下
	C7	9.8km 以下
	C8	11.2km 以下
	C9	12.8km 以下
	C10	14.4km 以下
	C11	16.0km 以下
	C12	17.7km 以下
	C13	19.4km 以下
	C14	21.4km 以下
	C15	23.3km 以下
	C16	25.3km 以下
	C17	27.6km 以下
	C18	30.0km 以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		軽作業員		人	V1	
②	D07760	刈草等運搬	積込卸含む、処理費無	m3	V3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E
②	D07760	刈草等運搬	2	1	C1~18		

4. 步掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	輕作業員	V1	1.2	1.0

	名称	A条件	A1	A2
②	刈草等運搬	V3	5.0	0.5

5. 根拠

V-6-①-4

名古屋市版施工単価内訳表

D07707	公園芝刈	10a当り	構造図	R02.1改定

1. 適用条件

- ・ 公園の芝刈に適用する。
- ・ 通常の公園芝刈はロータリー式、河川敷緑地等作業性の良好な場所は乗用三連ロータリー式を標準とする。
- ・ 小規模(3a未満)、狭い場所(作業幅員1.5m未満)、斜面(勾配40%以上)には、肩掛式を適用する。
- ・ 本工程には、作業前の障害物の除去、機械運転、補助刈、集草、運搬まで。処分費は無し。
- ・ 雑草の密生度が密、または草丈60cm以上の場合は公園除草を適用すること。

2. 条件表

A 草刈機の種類	A1	肩掛 径 255mm
	A2	ロータリー 刈幅 50cm
	A3	乗用三連 刈幅 120cm
B 雑草の密生度	B1	草 40%未満
	B2	草 40 以上 70%未満
C 勾配	C1	勾配 40%未満
	C2	勾配 40%以上
D 草丈	D1	丈 30cm 未満
	D2	丈 30 以上 60cm 未満
E 処分	E1	処分費無
F 刈草処理(運搬距離)	F1	1.7km 以下
	F2	3.0km 以下
	F3	4.3km 以下
	F4	5.6km 以下
	F5	7.0km 以下
	F6	8.4km 以下
	F7	9.8km 以下
	F8	11.2km 以下
	F9	12.8km 以下
	F10	14.4km 以下
	F11	16.0km 以下
	F12	17.7km 以下
	F13	19.4km 以下
	F14	21.4km 以下
	F15	23.3km 以下
	F16	25.3km 以下
	F17	27.6km 以下
	F18	30.0km 以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08269	草刈機運転費	(各種)	日	V1	表3-1
②		土木一般世話役		人	V2	
③		特殊作業員		人	V3	
④		普通作業員		人	V4	
⑤		諸雑費		%	3	
⑥		造園工		人	V5	
⑦		普通作業員		人	V6	
⑧	D07760	刈草等運搬		m3	V7	表3-1

3-1. 子単価条件

	条件	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	A1	D08269	草刈機運転費	1								
	A2	D08269	草刈機運転費	2								
	A3	D08269	草刈機運転費	4								
⑧	—	D07760	刈草等運搬	2	1	F						

4. 歩掛表

	名称	数量
①	草刈機運転費	$V1 = V91 \times V11 \times V13 \times V14$
②	土木一般世話役	$V2 = V91 \times V11 \times V13 \times V14 \times 0.1$
③	特殊作業員	$V3 = V91 \times V11 \times V13 \times V14$
④	普通作業員	$V4 = V91 \times V11 \times V13 \times V14 \times V92$
⑥	造園工	$V5 = 0.25 \times V11 \times V13 \times V14$
⑦	普通作業員	$V6 = V93 \times V11 \times V13 \times V14$
⑧	刈草運搬	$V7 = V12 \times V15$

4-1. 草刈機運転と労務歩掛

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	草刈機運転費	V91	1.76	0.72	0.19
④	普通作業員(機械運転)	V92	0.1	0.2	0.31
⑦	普通作業員(集草)	V93	0.6	0.5	0.21

4-2. 雑草の占有率による係数と刈草発生量

名称	B条件	B1	B2
作業効率	V11	1.0	1.2
刈草発生量	V12	1.0	2.0

4-3. 勾配による補正係数

名称	C条件	C1	C2
作業効率	V13	1.0	1.2

4－4. 草丈による補正係数と刈草発生量

名称	D条件	D1	D2
作業効率	V14	1.0	1.2
刈草発生量	V15	1.0	2.0

5. 根拠

V－6－①－2

名古屋市版施工単価内訳表

D07709	公園樹施肥 A, B	100本当り	構造図	H14.4改定

1. 適用条件

・ 公園の樹木の施肥に適用する。

2. 条件表

A 施肥方法	A1	埋肥
	A2	挿肥

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		発酵けいふん		kg	V1	
②		固形肥料	(大)N:P:K=6:4:3	kg	V2	
③		粒状固形肥料	N:P:K(6:4:3)	kg	V3	
④		造園工		人	V4	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	発酵けいふん	V1	160	—
②	固形肥料	V2	80	—
③	粒状固形肥料	V3	—	50
④	造園工	V4	4.0	1.25

5. 根拠

V-6-①-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07711	公園樹施肥C	10a当り	構造図	H14.4改定

1. 適用条件

・ 公園の樹木の施肥に適用する。

2. 条件表

A 施肥方法	A1	置肥

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		化成肥料	N:P:K(6:4:3)	kg	150	
②		造園工		人	0.63	

4. 歩掛表

5. 根拠

V-6-①-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07713	公園樹木剪定	100本当り	構造図	R02.1改定

1. 適用条件

・ 公園樹高木の剪定に適用する(人力)。

2. 条件表

A 剪定方法	A1	軽剪定
	A2	骨格剪定
B 樹木の種類	B1	トチ・アオ葉有
	B2	トチ・アオ葉無
	B3	トチ・アオ以外葉有
	B4	トチ・アオ以外葉無
	B5	常緑・針葉樹
C 幹周り(cm)	C1	C0－30
	C2	C30－60
	C3	C60－90
	C4	C90－120
	C5	C120－150
	C6	C150－180
D 処分	D1	処分費無
E 刈草処理(運搬距離)	E1	1.7km以下
	E2	3.0km以下
	E3	4.3km以下
	E4	5.6km以下
	E5	7.0km以下
	E6	8.4km以下
	E7	9.8km以下
	E8	11.2km以下
	E9	12.8km以下
	E10	14.4km以下
	E11	16.0km以下
	E12	17.7km以下
	E13	19.4km以下
	E14	21.4km以下
	E15	23.3km以下
	E16	25.3km以下
	E17	27.6km以下
	E18	30.0km以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	R0104	造園工		人	V1	
②	R0102	普通作業員		人	V2	
③	D07760	刈草等運搬		m3	V3	表3－1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D07760	刈草等運搬	2	1	E						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1									
		B条件	B1						B2			
		C条件	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C1	C2	C3	C4
①	造園工	V1	5.76	12.73	23.67	38.36	63.13	101.01	5.18	11.46	21.31	34.52
②	普通作業員	V2	1.92	4.24	7.89	12.79	21.04	33.67	1.73	3.82	7.10	11.51

	名称	A条件	A1									
		B条件	B2		B3						B4	
		C条件	C5	C6	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C1	C2
①	造園工	V1	56.82	90.91	6.34	14.01	26.04	42.19	69.44	111.11	5.70	12.61
②	普通作業員	V2	18.94	30.30	2.11	4.67	8.68	14.06	23.15	37.04	1.90	4.20

	名称	A条件	A1									
		B条件	B4				B5					
		C条件	C3	C4	C5	C6	C1	C2	C3	C4	C5	C6
①	造園工	V1	23.44	37.97	62.5	100.00	7.13	15.76	29.30	47.47	78.12	125.00
②	普通作業員	V2	7.81	12.66	20.83	33.33	2.38	5.25	9.77	15.82	26.04	41.67

	名称	A条件	A2									
		B条件	B1						B2			
		C条件	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C1	C2	C3	C4
①	造園工	V1	9.59	13.12	27.30	46.62	75.76	121.21	8.63	11.81	24.57	41.96
②	普通作業員	V2	3.20	4.37	9.10	15.54	25.25	40.40	2.88	3.94	8.19	13.99

	名称	A条件	A2									
		B条件	B2		B3						B4	
		C条件	C5	C6	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C1	C2
①	造園工	V1	68.18	109.09	10.55	14.43	30.03	51.28	83.33	133.33	9.49	12.99
②	普通作業員	V2	22.73	36.36	3.52	4.81	10.01	17.09	27.78	44.44	3.16	4.33

	名称	A条件	A2									
		B条件	B4				B5					
		C条件	C3	C4	C5	C6	C1	C2	C3	C4	C5	C6
①	造園工	V1	27.03	46.15	75.00	120.00	11.87	16.23	33.78	57.69	93.75	150.00
②	普通作業員	V2	9.01	15.38	25.00	40.00	3.96	5.41	11.26	19.23	31.25	50.00

	名称	A条件	C条件	C1	C2	C3	C4	C5	C6
③	刈草等運搬	A1	V3	4.0	6.7	11.3	15.0	18.0	21.0
		A2		6.5	12.5	20.5	29.0	36.5	44.0

5. 根拠

V-6-①-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07715	中木刈込	100本当たり	構造図	R02.1改定

1. 適用条件

- ・ 公園樹の単独物・玉物の中木刈込に適用する。

2. 条件表

A 樹高(cm)	A1	H100～150
	A2	H150～200
	A3	H200～
B 処分	B1	処分費無
C 刈草処理(運搬距離)	C1	1.7km 以下
	C2	3.0km 以下
	C3	4.3km 以下
	C4	5.6km 以下
	C5	7.0km 以下
	C6	8.4km 以下
	C7	9.8km 以下
	C8	11.2km 以下
	C9	12.8km 以下
	C10	14.4km 以下
	C11	16.0km 以下
	C12	17.7km 以下
	C13	19.4km 以下
	C14	21.4km 以下
	C15	23.3km 以下
	C16	25.3km 以下
	C17	27.6km 以下
	C18	30.0km 以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		造園工		人	V1	
②		普通作業員		人	V2	
③	D07760	刈草等運搬		m3	V3	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D07760	刈草等運搬	2	1	C						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	造園工	V1	1.73	2.05	2.52
②	普通作業員	V2	0.58	0.68	0.84
③	刈草等運搬	V3	1.80	2.30	2.80

5. 根拠

V-6-①-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07717	低木刈込(公園樹)	10a当り	構造図	R02.1改定

1. 適用条件

- 公園樹の寄せ植えの低木刈込に適用する。

2. 条件表

A 樹高	A1	50cm 以上 100cm 未満
	A2	100cm 以上 150cm 未満
B 処分	B1	処分費無
C 刈草処理(運搬距離)	C1	1.7km 以下
	C2	3.0km 以下
	C3	4.3km 以下
	C4	5.6km 以下
	C5	7.0km 以下
	C6	8.4km 以下
	C7	9.8km 以下
	C8	11.2km 以下
	C9	12.8km 以下
	C10	14.4km 以下
	C11	16.0km 以下
	C12	17.7km 以下
	C13	19.4km 以下
	C14	21.4km 以下
	C15	23.3km 以下
	C16	25.3km 以下
	C17	27.6km 以下
	C18	30.0km 以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		造園工		人	V1	
②		普通作業員		人	V2	
③	D07760	刈草等運搬		m3	V3	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D07760	刈草等運搬	2	1	C						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	造園工	V1	2.78	3.09
②	普通作業員	V2	0.93	1.03
③	刈草等運搬	V3	2.00	2.00

5. 根拠

V-6-①-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07719	生垣刈込(公園樹)	100m当り	構造図	R02.1改定

1. 適用条件

・ 公園樹の生垣刈込に適用する。

2. 条件表

A 樹高	A1	100cm 未満
	A2	100cm 以上 150cm 未満
B 処分	B1	処分費無
C 刈草処理(運搬距離)	C1	1.7km 以下
	C2	3.0km 以下
	C3	4.3km 以下
	C4	5.6km 以下
	C5	7.0km 以下
	C6	8.4km 以下
	C7	9.8km 以下
	C8	11.2km 以下
	C9	12.8km 以下
	C10	14.4km 以下
	C11	16.0km 以下
	C12	17.7km 以下
	C13	19.4km 以下
	C14	21.4km 以下
	C15	23.3km 以下
	C16	25.3km 以下
	C17	27.6km 以下
	C18	30.0km 以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		造園工		人	V1	
②		普通作業員		人	V2	
③	D07760	刈草等運搬		m3	V3	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③	D07760	刈草等運搬	2	1	C						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	造園工	V1	0.68	0.84
②	普通作業員	V2	0.23	0.28
③	刈草等運搬	V3	0.60	0.80

5. 根拠

V-6-①-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07760	刈草等運搬	10m3当り	構造図	H29.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 積込卸の有無	A1	積込卸含まない
	A2	積込卸含む
B 処理	B1	処理費無
C 運搬距離	C1	1.7km 以下
	C2	3.0 km 以下
	C3	4.3 km 以下
	C4	5.6 km 以下
	C5	7.0 km 以下
	C6	8.4 km 以下
	C7	9.8 km 以下
	C8	11.2 km 以下
	C9	12.8 km 以下
	C10	14.4 km 以下
	C11	16.0 km 以下
	C12	17.7 km 以下
	C13	19.4 km 以下
	C14	21.4 km 以下
	C15	23.3 km 以下
	C16	25.3 km 以下
	C17	27.6 km 以下
	C18	30.0 km 以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		トラック(普通)	2t積	時間	V1+V2	
②		普通作業員		人	V3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		トラック(普通)	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

4-1. 労務

	名称	A条件	A1	A2
②	普通作業員	V3	—	0.46

4-2. トラックの運転時間(運搬)

	C条件	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9
運転時間	V1	0.23	0.46	0.69	0.92	1.15	1.38	1.61	1.84	2.07

	C条件	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C17	C18
運転時間	V1	2.3	2.53	2.76	2.99	3.22	3.45	3.68	3.91	4.14

4-3. トラックの運転時間(荷積込、荷卸)

	A条件	A1	A2
運転時間	V2	0	1.15

5. 根拠

V-6-①-1

名古屋市版施工単価内訳表

D07901	モルタル塗	100m2当り	構造図	R06.04改定

1. 適用条件

- 公園構造物の表面仕上げに適用する。(厚2cm) - 施工区分 <壁>:ウォール、砂場、階段等 <特殊>:滑台、水飲、石の山等

2. 条件表

A 施工区分	A1	壁
	A2	特殊

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		モルタル練	配合1:3	m3	V1	表3-1
③		左官		人	V2	
④		普通作業員		人	V3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		モルタル練	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	モルタル練	V1	2	2
③	左官	V2	15.0	22.5
④	普通作業員	V3	1.8	2.7

5. 根拠

V-3-⑩-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07902	タイル下地モルタル塗	100m2当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 公園内のタイル舗装(床)及びタイル張り(壁)の下地モルタル塗りに適用する。
- ・ 仕上げ厚は2cmである。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		セメント(普通ポルトランド)	25kg袋入	t	1.1	
②		砂	洗い 細目	m3	2.7	
③		普通作業員		人	2.6	
④		左官		人	4.0	

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑩-4

名古屋市版施工単価内訳表

D07903	色モルタル塗(厚2cm)	100m2当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

・ 公園内構造物の着色用に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		セメント(白色ポルトランド)		t	2.2	
②		石粉	JIS-A-5008	kg	2200	
③		着色材		kg	40	
④		左官		人	4.8	
⑤		普通作業員		人	3.6	

4. 歩掛表

5. 根拠

V-3-⑩-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07905	人造石研出し	100m2当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

・ 公園内の構造物の表面仕上げに適用する。

2. 条件表

A 仕上げ厚	A1	厚2cm
	A2	厚3cm
B 施工区分	B1	床
	B2	壁
	B3	特殊

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		セメント(普通ポルトランド)	25kg袋入	t	V1	
②		セメント(白色ポルトランド)		t	V2	
③		砂	洗い 細目	m3	V3	
④		種石	人造碎石	kg	V4	
⑤		着色材		kg	V5	
⑥		左官		人	V6	
⑦		普通作業員		人	V7	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			A2		
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	セメント(普通ポルトランド)	V1	0.728	0.856	0.856	1.092	1.284	1.284
②	セメント(白色ポルトランド)	V2	0.648	0.648	0.648	0.972	0.972	0.972
③	砂	V3	1.5	1.5	1.5	2.25	2.25	2.25
④	種石	V4	1230	1230	1230	1845	1845	1845
⑤	着色材	V5	20	20	20	30	30	30
⑥	左官	V6	25.0	36.0	54.0	25.0	36.0	54.0
⑦	普通作業員	V7	8.0	9.5	14.0	12.0	14.25	21.0

5. 根拠

V-3-⑩-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07907	那智黒洗出し	100m2当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 公園内の構造物の表面仕上げに適用する。
- ・ 仕上げ厚は2cm、種石8分とする。

2. 条件表

A 施工区分	A1	床
	A2	壁
	A3	特殊

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		セメント(普通ポルトランド)	25kg袋入	t	V1	
②		セメント(白色ポルトランド)		t	0.648	
③		砂	洗い 細目	m3	1.5	
④		那智黒	8分	kg	1230	
⑤		着色材		kg	20	
⑥		左官		人	V2	
⑦		普通作業員		人	V3	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	セメント(普通ポルトランド)	V1	0.728	0.856	0.856
⑥	左官	V2	18.8	27.1	40.5
⑦	普通作業員	V3	6.0	7.1	11.0

5. 根拠

V-3-⑩-3

名古屋市版施工単価内訳表

D07909	公園塗装	100m2当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

・ 公園内構造物の塗装に適用する。

2. 条件表

A 塗装部分	A1	亜鉛メッキ・ステンレス部(新規)、下塗1回+ウレタン2回
	A2	鋳鉄部(新規)、下塗1回+ウレタン2回
	A3	木部・プラスチック部(新規)、下塗1回+ウレタン2回
	A4	コンクリート部(新規・塗替)、アクリル系エマルジョン厚1.5mm
	A5	亜鉛メッキ・ステンレス・鋳鉄部(塗替)、下塗1回+ウレタン2回
	A6	木部・プラスチック部(塗替)、ウレタン2回

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		弱溶剤形変性エポキシ樹脂さび止め塗料	下塗り	kg	V1	
②		木部下塗用ペイント	JASS 18M-304	kg	V2	
③		ポリウレタン樹脂用塗料 K5659	中塗り塗料	kg	V3	
④		ポリウレタン樹脂塗料 K5659	上塗り塗料 3級	kg	V4	
⑤		研磨紙	P120～220(230×280mm)	枚	V5	
⑥		塗装工		人	V6	
⑦		塗装工	アクリル系エマルジョン0.7kg/m2	m2	V7	材工共

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	弱溶剤形変性エポキシ樹脂さび止め塗料	V1	14.0	14.0	—	—	14.0	—
②	木部下塗用ペイント	V2	—	—	10.0	—	—	—
③	ポリウレタン樹脂用塗料(中塗り)	V3	13.0	13.0	13.0	—	13.0	13.0
④	ポリウレタン樹脂塗料(上塗り)	V4	12.0	12.0	12.0	—	12.0	12.0
⑤	研磨紙	V5	14.0	25.0	—	—	—	—
⑥	塗装工	V6	5.3	6.6	5.1	—	5.1	3.4
⑦	塗装工	V7	—	—	—	100	—	—

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D07912	面取り(雑割石)	10m当り	構造図	H14.4改定

1. 適用条件

- ・ 公園石積等で、面取りが必要な場合に適用する。
- ・ 面取りの程度は鋭利な角をつぶす程度である。
- ・ 雑割石縁石等、施工歩掛に含まれる場合には適用しない。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		石工		人	0.05	

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D08269	草刈機運転費	1日当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 芝刈・草刈作業に適用する。
- ・ 乗用三連ロータリー式は芝刈のみに適用し、ハンマーナイフ式は草刈のみに適用する。

2. 条件表

A 草刈機の規格	A1	肩掛式(カッター径255)
	A2	ロータリー式(刈幅50cm)
	A3	ハンマーナイフ式(刈幅95cm)
	A4	乗用三連ロータリー式(刈幅120cm)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ガソリン	レギュラー	L	V1	
②		草刈機		日	1	表3-1

3-1. 草刈機の種類

	A条件	コード	名称	規格
②	A1		草刈機[肩掛式]	カッター径255mm
	A2		草刈機損料(ロータリー式)	刈幅50cm
	A3		草刈機損料(ハンマナイフ式)	刈幅95cm カッター含
	A4		草刈機損料(乗用三連ロータリー式)	刈幅120cm

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	ガソリン	V1	4.08	7.2	15.9	20.0

5. 根拠

V-6-①-1

V-6-①-2

名古屋市版施工単価内訳表

D08270	チェーンソー運転費	1日当り	構造図	H30.1改定

1. 適用条件

- ・ 鋸長600mm、排気量0.080Lのチェーンソーを使用した樹木切断作業に適用する。
- ・ 諸雑費は、チェーンなどの損耗費である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		造園工		人	1.0	
②		ガソリン	レギュラー	L	2.7	
③		チェーンソー[ガソリンエンジン]	鋸長 600mm 排気量 0.080L	日	1.0	
④		諸雑費		%	3	

4. 歩掛表

5. 根拠

公園・緑地の維持管理と積算 改訂 5 版 p.272 表 6-24 チェーンソー運転1日当たり単価表

名古屋市版施工単価内訳表

D08292	特殊強力吸引車運転費	1時間当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 特殊強力吸引車規格	A1	3.1～3.5t
	A2	8.0t

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		汚泥吸排車[トラック架装型]		時間	1	表3-1

3-1. 吸引車の種類と子単価条件

	条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	A1		3.1～3.5t	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	A2		8.0t	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D08293	排水管清掃車運転	1時間当り	構造図	H30.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 排水管清掃車規格	A1	タンク容量 5.3～5.8m3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		排水管清掃車[ジェット式]	タンク容量 5.3～5.8m3	時間	1	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		排水管清掃車[ジェット式]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D08294	側溝清掃車運転	1時間当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 側溝清掃車規格	A1	ホッパ容量 5.0m3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		側溝清掃車[ロータリーフロア]	ホッパ容量 5.0m3	時間	1	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		側溝清掃車[ロータリーフロア]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D08296	散水車運転	1時間当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 散水車規格	A1	1,800L
	A2	3,800L
	A3	5,500～6,500L
	A4	7,500～8,000L

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		散水車[トラック架装型]		時間	1	表3-1

3-1. 散水車の種類と子単価条件

	条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	A1		1,800L	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	A2		3,800L	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	A3		5,500～6,500L	0	1	2	0	1	0	1	1	0
	A4		7,500～8,000L	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D08405	排水管清掃車運転	1日当り	構造図	H30.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 排水管清掃車規格	A1	タンク容量 5.3～5.8m3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		排水管清掃車[ジェット式]	タンク容量 5.3～5.8m3	日	1	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		排水管清掃車[ジェット式]	20	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D08407	散水車運転	1日当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 散水車規格	A1	1,800L
	A2	3,800L
	A3	5,500～6,500L
	A4	7,500～8,000L

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		散水車[トラック架装型]		日	1	表3-1

3-1. 散水車の種類と子単価条件

	条件	コード	規格	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	A1		1,800L	20	1	2	0	1	0	1	1	0
	A2		3,800L	20	1	2	0	1	0	1	1	0
	A3		5,500～6,500L	20	1	2	0	1	0	1	1	0
	A4		7,500～8,000L	20	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D08501	小型バックホウ運転 (管路掘削・埋戻)	1日当り	構造図	H29.2改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事における機械掘削工・機械投入埋戻工に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	18	
③		小型バックホウ[クローラ型・排ガス型1次]	山積0.08m3(平積0.06m3)	供用日	1.8	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-1(管路掘削)

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-2(管路埋戻)

名古屋市版施工単価内訳表

D08502	小型バックホウ運転 (管路掘削・埋戻)	1日当り	構造図	R04.10改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事における機械掘削工・機械投入埋戻工に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	25	
③		小型バックホウ[クローラ型・排ガス型2次]	山積0.13m3(平積0.10m3)	供用日	1.8	

4. 歩掛表

5. 根拠

A-1-6(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) B-1(管路土工) C-1(管路掘削)
A-1-10(下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削工法)編) B-1(管路土工) C-2(管路埋戻)

名古屋市版施工単価内訳表

D08503	バックホウ運転 (管路立坑掘削)	1時間当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事における立坑掘削工に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	0.17	
②		軽油	1. 2号	L	18	
③		バックホウ[クローラ型・排ガス型2次]	山積0.8m3(平積0.6m3)	時間	1	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-1(管路掘削)

名古屋市版施工単価内訳表

D08504	クラムシェル運転 (管路立坑掘削)	1時間当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事における立坑掘削工に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	0.16	
②		軽油	1. 2号	L	18	
③		油圧クラムシェル[テレスコピック式・クローラ型]	平積0. 4m3	時間	1	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-1(管路掘削)

名古屋市版施工単価内訳表

D08505	小型バックホウ運転 (管路立坑掘削)	1日当り	構造図	H29.2改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における立坑掘削工に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	12	
③		小型バックホウ[クローラ型・排ガス型2次]	山積0.08m3(平積0.06m3)	供用日	1.8	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-1-B-1(管路土工) C-1(管路掘削)

名古屋市版施工単価内訳表

D08506	タンバ運転(管路埋戻)	1日当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事の管路開削工事の管路埋戻に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊作業員		人	1	
②		ガソリン	レギュラー	L	4.5	
③		タンバ賃料	60～100kg	日	1.38	

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-1-B-1(管路土工) C-2(管路埋戻)

名古屋市版施工単価内訳表

D08507	ダンプトラック(10t積)運転 (管路土工)	1日当り	構造図	H29.2改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事の管路開削工事の土工より発生した土砂をバックホウにより直接掘削積込し、ダンプトラックで処分地まで運搬する場合に適用する。

2. 条件表

A タイヤ損耗費	A1	普通
	A2	良好
	A3	不良

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	62	
③		ダンプトラック[普通・ディーゼル]	10t積	供用日	1.29	
④		タイヤ損耗費		供用日	1.29	表3-1

3-1. タイヤ損耗費の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		タイヤ損耗費	10t 普通 供用日
	A2		タイヤ損耗費	10t 良好 供用日
	A3		タイヤ損耗費	10t 不良 供用日

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-1-B-1(管路土工) C-3(発生土処理)

名古屋市版施工単価内訳表

D08508	ダンプトラック(4t積)運転 (管路土工)	1日当り	構造図	H29.2改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事の管路開削工事の土工より発生した土砂をバックホウにより直接掘削積込し、ダンプトラックで処分地まで運搬する場合に適用する。

2. 条件表

A タイヤ損耗費	A1	普通
	A2	良好
	A3	不良

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	34	
③		ダンプトラック[普通・ディーゼル]	4t積	供用日	1.29	
④		タイヤ損耗費		供用日	1.29	表3-1

3-1. タイヤ損耗費の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		タイヤ損耗費	4t 普通 供用日
	A2		タイヤ損耗費	4t 良好 供用日
	A3		タイヤ損耗費	4t 不良 供用日

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-1-B-1(管路土工) C-3(発生土処理)

名古屋市版施工単価内訳表

D08509	ダンプトラック(2t積)運転 (管路土工)	1日当り	構造図	H29.2改定

1. 適用条件

- ・ 下水道工事の管路開削工事の土工より発生した土砂をバックホウにより直接掘削積込し、ダンプトラックで処分地まで運搬する場合に適用する。

2. 条件表

A タイヤ損耗費	A1	普通
	A2	良好
	A3	不良

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	22	
③		ダンプトラック[普通・ディーゼル]	2t積	供用日	1.29	
④		タイヤ損耗費		供用日	1.29	表3-1

3-1. タイヤ損耗費の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		タイヤ損耗費	2t 普通 供用日
	A2		タイヤ損耗費	2t 良好 供用日
	A3		タイヤ損耗費	2t 不良 供用日

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-1-B-1(管路土工) C-3(発生土処理)

名古屋市版施工単価内訳表

D08510	バックホウ運転 (はしご胴木基礎工)	1日当り	構造図	H29.2

1. 適用条件

- ・ 下水道工の管きよのはしご胴木基礎工に適用する。

2. 条件表

A 賃料補正	A1	;標準(長期割引適用)
	A2	;標準以外
B 供用日		入力(A2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	40	
③		バックホウ[クローラ型・クレーン付き1.7t 吊・排ガス型2次]	山積0.28m3(平積0.2m3)	日	1.64	

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-1-B-3(管基礎工) C-21(はしご胴木基礎)

名古屋市版施工単価内訳表

D08701	発動発電機運転(管更生用)	1日当り	構造図	R06.01改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

A 規格	A1	45kVA(反転・形成用、仮設備用)
	A2	25kVA(換気設備工用)
	A3	5kVA(潜水ポンプ運転工用)
B 賃料補正	B1	;標準(長期割引適用)
	B2	;標準以外
C 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		軽油	1. 2号	L	V1	
②		発動発電機[ディーゼル駆動]	各種	日	1. 2	
③						

4. 歩掛表

		A 条件	A1	A2	A3
①	軽油	V1	31	17	4.2

5. 根拠

IX-4 (A-20-34,35,37)

名古屋市版施工単価内訳表

D08702	トラック運転(クレーン装置付き)(管更生用)	1日当り	構造図	R06.01改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	31	
③		トラック[クレーン装置付]	4t級2. 9t吊	供用日	1.2	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4 (A-20-28)

名古屋市版施工単価内訳表

D08703	トラック運転(クレーン装置付き)(管更生用)	1日当り	構造図	R06.01改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	31	
③		トラック[クレーン装置付]	4t積2. 0t吊	供用日	1.2	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4 (A-20-32)

名古屋市版施工単価内訳表

D08704	トラック運転(管更生用)	1日当り	構造図	R06.01改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	18	
③		トラック[普通]	2t積	供用日	1.1	

4. 歩掛表

5. 根拠

IX-4 (A-20-32)

名古屋市版施工単価内訳表

D08705	空気圧縮機(管更生用)	1日当り	構造図	R06.01改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

A 賃料補正	A1	;標準(長期割引適用)
	A2	;標準以外
B 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		軽油	1. 2号	L	37	
②		空気圧縮機[可搬式・エンジン掛]	5m ³ /min	日	1.8	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4 (A-20-28)

名古屋市版施工単価内訳表

D08706	反転・引込車運転(管更生用)	1日当り	構造図	R06.01改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	56	
③		反転・引込車損料	4t、154kW	供用日	1.3	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4 (A-20-28)

名古屋市版施工単価内訳表

D08707	硬化・形成車運転(管更生用)	1日当り	構造図	R06.01改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	56	
③		硬化・形成車損料	4t 154kW	供用日	1.3	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4 (A-20-28)

名古屋市版施工単価内訳表

D08708	本管用TVカメラ車運転(管更生用)	1日当り	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	11	
③		本管用TVカメラ車損料	2t 63kW	供用日	1.3	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4 (A-7-27)

名古屋市版施工単価内訳表

D08709	高圧洗浄車運転(管更生用)	1日当り	構造図	R06.01改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	25	
③		高圧洗浄車損料	4t 147kW	供用日	1.3	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4 (A-20-32)

名古屋市版施工単価内訳表

D08711	せん孔機車運転(管更生用)	1日当り	構造図	R06.01改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1	
②		軽油	1. 2号	L	20	
③		せん孔機車損料	2t 84kW	供用日	1.2	

4. 歩掛表

5. 根拠

Ⅸ-4 (A-20-32)

名古屋市版施工単価内訳表

D08712	潜水ポンプ運転工(管更生用)	1日当たり	構造図	H25.10.1改定

1. 適用条件

・ 下水道工事における管更生用

2. 条件表

A 既設管径	A1	150
	A2	200
	A3	250
	A4	300
	A5	350
	A6	400
	A7	450
	A8	500
	A9	600
	A10	700
B 賃料補正	B1	;標準(長期割引適用)
	B2	;標準以外
C 供用日		入力(B2の場合)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊作業員		人	V1	
②		工事用水中モータポンプ(潜水ポンプ)	口径50mm 全揚程10m	日	2	
③	D08701	発動発電機運転(管更生用)	5kVA	日	1	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑥	D08701	発動発電機運転(管更生用)	3	1(B=1) 2(B=2)	C						

4. 歩掛表

A 条件	V1	A 条件	V1
A1	0.26	A6	0.3
A2	0.28	A7	0.31
A3	0.28	A8	0.33
A4	0.29	A9	0.34
A5	0.3	A10	0.36

5. 根拠

IX-4 (A-7-30)

名古屋市版施工単価内訳表

D09101	1級基準点測量	5点当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 適用範囲は、新点50点以下とする。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域差	A1	大市街地・平地	V1=0.1	
	A2	市街地甲・平地	V1=0.1	
	A3	市街地乙・平地	V1=0.0	
	A4	都市近郊・平地	V1=0.0	
	A5	耕地・平地	V1=0.0	
	A6	原野・平地	V1=0.0	
	A7	森林・平地	V1=0.1	
	A8	市街地乙・丘陵地	V1=0.0	
	A9	都市近郊・丘陵地	V1=0.0	
	A10	耕地・丘陵地	V1=-0.1	
	A11	原野・丘陵地	V1=-0.1	
	A12	森林・丘陵地	V1=0.0	
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.10
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	2.0×(1+V1)	
②		測量技師		人	11.5×(1+V1)	
③		測量技師補		人	12.5×(1+V1)	
④		測量助手		人	1.5×(1+V1)	
⑤		機械経費		%	11.0	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑧		精度管理費		%	V2×100	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 基準点測量 2-1-1 1級基準点測量
 機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(2-1-1) 1級基準点測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09102	2級基準点測量	10点当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 適用範囲は、新点35点以下とする。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域差	A1	大市街地・平地	V11=0.1	
	A2	市街地甲・平地	V11=0.1	
	A3	市街地乙・平地	V11=0.0	
	A4	都市近郊・平地	V11=0.0	
	A5	耕地・平地	V11=0.0	
	A6	原野・平地	V11=0.0	
	A7	森林・平地	V11=0.1	
	A8	市街地乙・丘陵地	V11=0.0	
	A9	都市近郊・丘陵地	V11=0.0	
	A10	耕地・丘陵地	V11=-0.1	
	A11	原野・丘陵地	V11=-0.1	
	A12	森林・丘陵地	V11=0.0	
B 伐採の有無	B1	伐採有り		
	B2	伐採なし		
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V12=0.09
	Y2	標準以外		V12=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$V1 \times (1+V11)$	
②		測量技師		人	$V2 \times (1+V11)$	
③		測量技師補		人	$V3 \times (1+V11)$	
④		測量補助員		人	$V4 \times (1+V11)$	
⑤		機械経費		%	V5	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	V6	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	V7	直接人件費に対する割合
⑧		精度管理費		%	$V12 \times 100$	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1 伐採有り	B2 伐採なし
①	測量主任技師	V1	3.5	3.5
②	測量技師	V2	21.5	19.5
③	測量技師補	V3	29.5	27.5
④	測量補助員	V4	12.5	10.5
⑤	機械経費	V5	9.0	9.5
⑥	通信運搬費等	V6	6.5	2.0
⑦	材料費	V7	2.0	2.5

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 基準点測量 2-2-1 2級基準点測量

機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(2-2-1) 2級基準点測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09103	3級基準点測量	20点当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 適用範囲は、新点80点以下とする。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域差	A1	大市街地・平地	V11=0.1	
	A2	市街地甲・平地	V11=0.1	
	A3	市街地乙・平地	V11=0.0	
	A4	都市近郊・平地	V11=0.0	
	A5	耕地・平地	V11=0.0	
	A6	原野・平地	V11=0.0	
	A7	森林・平地	V11=0.1	
	A8	市街地乙・丘陵地	V11=0.0	
	A9	都市近郊・丘陵地	V11=0.0	
	A10	耕地・丘陵地	V11=-0.1	
	A11	原野・丘陵地	V11=-0.1	
	A12	森林・丘陵地	V11=0.0	
B 伐採の有無等	B1	伐採有り・永久標識設置有り		
	B2	伐採有り・永久標識設置なし		
	B3	伐採なし・永久標識設置有り		
	B4	伐採なし・永久標識設置なし		
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V12=0.09
	Y2	標準以外		V12=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V1×(1+V11)	
②		測量技師		人	V2×(1+V11)	
③		測量技師補		人	V3×(1+V11)	
④		測量助手		人	V4×(1+V11)	
⑤		測量補助員		人	V5×(1+V11)	
⑥		機械経費		%	V6	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	V7	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	V8	直接人件費に対する割合
⑨		精度管理費		%	V12×100	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1 伐採有り・永久標 識設置有り	B2 伐採有り・永久標 識設置なし	B3 伐採なし・永久標 識設置有り	B4 伐採なし・永久標 識設置なし
①	測量主任技師	V1	3.0	3.0	3.0	3.0
②	測量技師	V2	18.0	18.0	16.5	16.5
③	測量技師補	V3	19.0	19.0	17.5	17.5
④	測量助手	V4	15.5	15.5	15.5	15.5
⑤	測量補助員	V5	1.5	1.5	—	—
⑥	機械経費	V6	2.5	2.5	3.0	3.0
⑦	通信運搬費等	V7	4.0	4.0	1.5	1.5
⑧	材料費	V8	1.0	1.0	1.0	1.5

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 基準点測量 2-3-1 3級基準点測量

機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(2-3-1) 3級基準点測量に
準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09104	4級基準点測量 (永久標識設置なし)	35点当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 適用範囲は、新点170点以下とする。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域差	A1	大市街地・平地	V11=0.1	
	A2	市街地甲・平地	V11=0.1	
	A3	市街地乙・平地	V11=0.0	
	A4	都市近郊・平地	V11=0.0	
	A5	耕地・平地	V11=0.0	
	A6	原野・平地	V11=0.0	
	A7	森林・平地	V11=0.1	
	A8	市街地乙・丘陵地	V11=0.0	
	A9	都市近郊・丘陵地	V11=0.0	
	A10	耕地・丘陵地	V11=-0.1	
	A11	原野・丘陵地	V11=-0.1	
	A12	森林・丘陵地	V11=0.0	
B 伐採の有無	B1	伐採有り		
	B2	伐採なし		
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V12=0.09
	Y2	標準以外		V12=Z
Z 0≦精度管理費係数≦0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V1×(1+V11)	
②		測量技師		人	V2×(1+V11)	
③		測量技師補		人	V3×(1+V11)	
④		測量助手		人	V4×(1+V11)	
⑤		測量補助員		人	V5×(1+V11)	
⑥		機械経費		%	V6	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	V7	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	V8	直接人件費に対する割合
⑨		精度管理費		%	V12×100	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1 伐採有り	B2 伐採なし
①	測量主任技師	V1	1.0	1.0
②	測量技師	V2	8.5	8.0
③	測量技師補	V3	8.5	8.0
④	測量助手	V4	8.0	8.0
⑤	測量補助員	V5	0.5	—
⑥	機械経費	V6	3.0	3.0
⑦	通信運搬費等	V7	7.5	3.0
⑧	材料費	V8	2.5	2.5

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 基準点測量 2-4-1 4級基準点測量

機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(2-4-1) 4級基準点測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09111	1級水準測量観測 (レベル等による)	100km当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・適用範囲は、1級水準測量観測700km以下とする。

2. 条件表

A	大市街地(道路上・平地)km		入力
B	市街地甲(道路上・平地)km		入力
C	市街地乙(道路上・平地)km		入力
D	都市近郊(道路上・平地)km		入力
E	耕地(道路上・平地)km		入力
F	原野(道路上・平地)km		入力
G	市街地乙(道路上・丘陵地)km		入力
H	都市近郊(道路上・丘陵地)km		入力
I	耕地(道路上・丘陵地)km		入力
J	原野(道路上・丘陵地)km		入力
Y	精度管理費係数	Y1	標準
		Y2	標準以外
Z	0≤精度管理費係数≤0.99		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V1	
②		測量技師		人	V2	
③		測量技師補		人	V3	
④		測量助手		人	V4	
⑤		機械経費		%	9.5	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	0.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	1.0	直接人件費に対する割合
⑧		精度管理費		%	V5	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

	名称		計算式
①	測量主任技師	V1	$2.0 \times (1 + \text{変化率})$
②	測量技師	V2	$29.5 \times (1 + \text{変化率})$
③	測量技師補	V3	$54.0 \times (1 + \text{変化率})$
④	測量助手	V4	$120.5 \times (1 + \text{変化率})$

変化率 = $(0.0 \times A + 0.0 \times B + 0.0 \times C - 0.1 \times D - 0.1 \times E + 0.3 \times F + 0.1 \times G + 0.0 \times H + 0.0 \times I + 0.4 \times J)$
 $\div (A + B + C + D + E + F + G + H + I + J)$

	名称	Y条件	Y1	Y2
⑧	精度管理費	V5	9	$Z \times 100$

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 水準測量3-1-1 1級水準測量観測

機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(3-1-1) 1級水準測量観測に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09112	2級水準測量観測 (レベル等による)	30km 当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・適用範囲は、2級水準測量観測100km以下とする。

2. 条件表

A	大市街地(道路上・平地)km		入力
B	市街地甲(道路上・平地)km		入力
C	市街地乙(道路上・平地)km		入力
D	都市近郊(道路上・平地)km		入力
E	耕地(道路上・平地)km		入力
F	原野(道路上・平地)km		入力
G	市街地乙(道路上・丘陵地)km		入力
H	都市近郊(道路上・丘陵地)km		入力
I	耕地(道路上・丘陵地)km		入力
J	原野(道路上・丘陵地)km		入力
Y	精度管理費係数	Y1	標準
		Y2	標準以外
Z	0≤精度管理費係数≤0.99		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V1	
②		測量技師		人	V2	
③		測量技師補		人	V3	
④		測量助手		人	V4	
⑤		機械経費		%	6.0	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	1.0	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	1.0	直接人件費に対する割合
⑧		精度管理費		%	V5	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

	名称		計算式
①	測量主任技師	V1	1.5×(1+変化率)
②	測量技師	V2	8.5×(1+変化率)
③	測量技師補	V3	15.0×(1+変化率)
④	測量助手	V4	31.5×(1+変化率)

変化率=(0.0×A+0.0×B+0.0×C-0.1×D-0.1×E+0.3×F+0.1×G+0.0×H+0.0×I+0.4×J)
÷(A+B+C+D+E+F+G+H+I+J)

	名称	Y条件	Y1	Y2
⑧	精度管理費	V5	9	Z×100

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 水準測量3-1-2 2級水準測量観測

機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(3-1-2) 2級水準測量観測に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09113	3級水準測量観測 (レベル等による)	5km当り	構造図	R3. 10改定

1. 適用条件

- ・適用範囲は、3級水準測量観測50km以下とする。

2. 条件表

A	大市街地(道路上・平地)km		入力
B	市街地甲(道路上・平地)km		入力
C	市街地乙(道路上・平地)km		入力
D	都市近郊(道路上・平地)km		入力
E	耕地(道路上・平地)km		入力
F	原野(道路上・平地)km		入力
G	市街地乙(道路上・丘陵地)km		入力
H	都市近郊(道路上・丘陵地)km		入力
I	耕地(道路上・丘陵地)km		入力
J	原野(道路上・丘陵地)km		入力
K	都市近郊(道路外・平地)km		入力
L	耕地(道路外・平地)km		入力
M	耕地(道路外・丘陵地)km		入力
N	原野(道路外・丘陵地)km		入力
Y	精度管理費係数	Y1	標準
		Y2	標準以外
Z	$0 \leq \text{精度管理費係数} \leq 0.99$		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V1	
②		測量技師		人	V2	
③		測量技師補		人	V3	
④		測量助手		人	V4	
⑤		機械経費		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	1.0	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑧		精度管理費		%	V5	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

	名称		計算式
①	測量主任技師	V1	$0.2 \times (1 + \text{変化率})$
②	測量技師	V2	$2.1 \times (1 + \text{変化率})$
③	測量技師補	V3	$2.1 \times (1 + \text{変化率})$
④	測量助手	V4	$2.4 \times (1 + \text{変化率})$

変化率 = $(0.0 \times A + 0.0 \times B + 0.0 \times C - 0.1 \times D - 0.1 \times E + 0.3 \times F + 0.1 \times G + 0.0 \times H + 0.0 \times I + 0.4 \times J + 0.2 \times K + 0.1 \times L + 0.2 \times M + 0.6 \times N) \div (A + B + C + D + E + F + G + H + I + J + K + L + M + N)$

	名称	Y条件	Y1	Y2
⑧	精度管理費	V5	9	$Z \times 100$

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 水準測量3-1-3 3級水準測量観測

機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(3-1-3) 3級水準測量観測に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09114	4級水準測量観測 (レベル等による)	2km当り	構造図	R3. 10改定

1. 適用条件

- ・適用範囲は、4級水準測量観測20km以下とする。

2. 条件表

A	大市街地(道路上・平地)km		入力
B	市街地甲(道路上・平地)km		入力
C	市街地乙(道路上・平地)km		入力
D	都市近郊(道路上・平地)km		入力
E	耕地(道路上・平地)km		入力
F	原野(道路上・平地)km		入力
G	市街地乙(道路上・丘陵地)km		入力
H	都市近郊(道路上・丘陵地)km		入力
I	耕地(道路上・丘陵地)km		入力
J	原野(道路上・丘陵地)km		入力
K	都市近郊(道路外・平地)km		入力
L	耕地(道路外・平地)km		入力
M	耕地(道路外・丘陵地)km		入力
N	原野(道路外・丘陵地)km		入力
Y	精度管理費係数	Y1	標準
		Y2	標準以外
Z	$0 \leq \text{精度管理費係数} \leq 0.99$		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V1	
②		測量技師		人	V2	
③		測量技師補		人	V3	
④		測量助手		人	V4	
⑤		機械経費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	1.0	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	3.5	直接人件費に対する割合
⑧		精度管理費		%	V5	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

	名称		計算式
①	測量主任技師	V1	$0.1 \times (1 + \text{変化率})$
②	測量技師	V2	$0.8 \times (1 + \text{変化率})$
③	測量技師補	V3	$0.8 \times (1 + \text{変化率})$
④	測量助手	V4	$0.7 \times (1 + \text{変化率})$

変化率 = $(0.0 \times A + 0.0 \times B + 0.0 \times C - 0.1 \times D - 0.1 \times E + 0.3 \times F + 0.1 \times G + 0.0 \times H + 0.0 \times I + 0.4 \times J + 0.2 \times K + 0.1 \times L + 0.2 \times M + 0.6 \times N) \div (A + B + C + D + E + F + G + H + I + J + K + L + M + N)$

	名称	Y条件	Y1	Y2
⑧	精度管理費	V5	9	$Z \times 100$

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 水準測量3-1-4 4級水準測量観測

機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(3-1-4) 4級水準測量観測に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09117	基準点設置（地下埋設）	10点当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 多角点、多角水準点及び道路台帳基準点の設置に使用する。 ・ 新点80点以下とする。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.0	
②		測量技師補		人	6.0	
③		測量補助員		人	12	
④		機械経費		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	12.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 基準点設置 2-5-3 による。
 機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書 12-1(2-5-3)基準点設置に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09118	水準点設置（永久標識）	8 点当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 水準点の設置に使用する。 ・ 新点 6 5 点以下とする。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.5	
②		測量技師補		人	6.0	
③		測量助手		人	2.5	
④		測量補助員		人	5.0	
⑤		機械経費		%	2.0	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	2.0	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	19.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 水準点設置3-2-1による。
機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(3-2-1)水準点設置に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09122	現地踏査(路線測量)	1km当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

- ・ 路線測量の現地踏査に適用する。
- ・ 地域、地形が混在する場合は適用できない。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域	A1	大市街地	$V1=(\text{変化率})$ 変化率の算出は 積算基準書(4-2) 参照
	A2	市街地甲	
	A3	市街地乙	
	A4	都市近郊	
	A5	耕地	
	A6	原野	
	A7	森林	
B 地形	B1	平地	
	B2	丘陵地	
C 交通量	C1	0～1,000台未満/12時間	
	C2	1,000～3,000台未満/12時間	
	C3	3,000台以上/12時間	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$1.6 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$1.4 \times (1+V1)$	
③		機械経費		%	2.0	直接人件費に対する割合
④		材料費		%	7.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 路線測量 4-1-2 現地踏査
 機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書 12-1(4-1-2)路線測量 現地踏査に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09126	IP設置	1km当り	構造図	R05.11改定

1. 適用条件

- ・ 路線測量のIP設置に適用する。
- ・ IPの位置を現地に設置する必要がある場合に計上する。
- ・ 本単価にはIP設置計算を含む。
- ・ 地域、地形が混在する場合は適用できない。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域	A1	大市街地	V1=(変化率) 変化率の算出は 積算基準書(4-2) 参照	
	A2	市街地甲		
	A3	市街地乙		
	A4	都市近郊		
	A5	耕地		
	A6	原野		
	A7	森林		
B 地形	B1	平地		
	B2	丘陵地		
C 交通量	C1	0～1,000台未満/12時間		
	C2	1,000～3,000台未満/12時間		
	C3	3,000台以上/12時間		
D 単曲線換算曲線数	D1	無		
	D2	1ヶ所		
	D3	2ヶ所		
	D4	3ヶ所		
	D5	4ヶ所		
	D6	5ヶ所		
	D7	6ヶ所		
	D8	7ヶ所		
	D9	8ヶ所		
	D10	9ヶ所		
	D11	10ヶ所以上		
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.10
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≦精度管理費係数≦0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$2.6 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$2.4 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$1.0 \times (1+V1)$	
④		機械経費		%	3.5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	3.5	直接人件費に対する割合
⑥		精度管理費		%	$V2 \times 100$	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 路線測量 4-1-6 IP設置

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書 12-1(4-1-6)IP設置に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09127	中心線測量	1km当り	構造図	R05.11改定

1. 適用条件

- ・ 路線測量の中心線測量に適用する。
- ・ 地域、地形が混在する場合は適用できない。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域	A1	大市街地	V1=(変化率) 変化率の算出は 積算基準書(4-2) 参照	
	A2	市街地甲		
	A3	市街地乙		
	A4	都市近郊		
	A5	耕地		
	A6	原野		
	A7	森林		
B 地形	B1	平地		
	B2	丘陵地		
C 交通量	C1	0～1,000台未満/12時間		
	C2	1,000～3,000台未満/12時間		
	C3	3,000台以上/12時間		
D 単曲線換算曲線数	D1	無		
	D2	1ヶ所		
	D3	2ヶ所		
	D4	3ヶ所		
	D5	4ヶ所		
	D6	5ヶ所		
	D7	6ヶ所		
	D8	7ヶ所		
	D9	8ヶ所		
	D10	9ヶ所		
	D11	10ヶ所以上		
E 測点間隔	E1	10m		
	E2	20m		
	E3	25m		
	E4	50m		
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.10
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$4.3 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$4.6 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$2.2 \times (1+V1)$	
④		機械経費		%	4.0	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	6.0	直接人件費に対する割合
⑥		精度管理費		%	$V2 \times 100$	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 路線測量 4-1-7 中心線測量

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書 12-1(4-1-7)路線測量 中心線測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09128	仮BM設置測量	1km当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

・ 路線測量の仮BM設置測量に適用する。 ・ 地域、地形が混在する場合は適用できない。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域	A1	大市街地	V1=(変化率) 変化率の算出は 積算基準書(4-2) 参照	
	A2	市街地甲		
	A3	市街地乙		
	A4	都市近郊		
	A5	耕地		
	A6	原野		
	A7	森林		
B 地形	B1	平地		
	B2	丘陵地		
C 交通量	C1	0～1,000台未満/12時間		
	C2	1,000～3,000台未満/12時間		
	C3	3,000台以上/12時間		
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.10
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$1.4 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$2.3 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$1.2 \times (1+V1)$	
④		機械経費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑥		精度管理費		%	$V2 \times 100$	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 路線測量 4-1-8 仮BM設置測量

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書 12-1(4-1-8)路線測量 仮BM設置測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09129	縦断測量(路線測量)	1km当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

- ・ 路線測量の縦断測量に適用する。
- ・ 縦断測量は直接水準、間接水準の両方に適用し、機械経費には、間接水準におけるトータルステーションも含む。
- ・ 地域、地形が混在する場合は適用できない。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域	A1	大市街地	V1=(変化率) 変化率の算出は 積算基準書(4-2) 参照	
	A2	市街地甲		
	A3	市街地乙		
	A4	都市近郊		
	A5	耕地		
	A6	原野		
	A7	森林		
B 地形	B1	平地		
	B2	丘陵地		
C 交通量	C1	0～1,000台未満/12時間		
	C2	1,000～3,000台未満/12時間		
	C3	3,000台以上/12時間		
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.10
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$2.9 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$2.9 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$1.9 \times (1+V1)$	
④		機械経費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑥		精度管理費		%	$V2 \times 100$	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 路線測量 4-1-9 縦断測量

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(4-1-9) 縦断測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09130	横断測量(路線測量)	1km当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

- ・ 路線測量の横断測量に適用する。
- ・ 横断測量は直接水準、間接水準の両方に適用し、機械経費には、間接水準におけるトータルステーションも含む。
- ・ 地域、地形が混在する場合は適用できない。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域	A1	大市街地	V1=(変化率) 変化率の算出は 積算基準書(4-2) 参照	
	A2	市街地甲		
	A3	市街地乙		
	A4	都市近郊		
	A5	耕地		
	A6	原野		
	A7	森林		
B 地形	B1	平地		
	B2	丘陵地		
C 交通量	C1	0～1,000台未満/12時間		
	C2	1,000～3,000台未満/12時間		
	C3	3,000台以上/12時間		
D 単曲線換算曲線数	D1	無		
	D2	1ヶ所		
	D3	2ヶ所		
	D4	3ヶ所		
	D5	4ヶ所		
	D6	5ヶ所		
	D7	6ヶ所		
	D8	7ヶ所		
	D9	8ヶ所		
	D10	9ヶ所		
	D11	10ヶ所以上		
E 測量幅	E1	45m未満		
	E2	45m以上75m未満		
	E3	75m以上95m未満		
	E4	95m以上105m未満		
	E5	105m以上115m未満		
	E6	115m以上125m未満		
	E7	125m以上135m未満		

E 測量幅	E8	135m以上145m未満	V1=(変化率) 変化率の算出は 積算基準書(4-2) 参照	
	E9	145m以上155m未満		
	E10	155m以上165m未満		
	E11	165m以上175m未満		
	E12	175m以上185m未満		
	E13	185m以上195m未満		
	E14	195m以上205m未満		
	E15	205m以上250m未満		
	E16	250m以上300m未満		
F 測点間隔	F1	10m		
	F2	20m		
	F3	25m		
	F4	50m		
	F5	100m		
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.10
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$10.3 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$10.6 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$6.8 \times (1+V1)$	
④		機械経費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑥		精度管理費		%	$V2 \times 100$	

※ (精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 路線測量 4-1-10 横断測量

機械経費及び材料費については、設計業務等積算基準書12-1(4-1-10)路線測量 横断測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09133	用地幅杭設置測量	1km当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 路線測量の用地幅杭設置測量に適用する。
- ・ 用地幅杭でコンクリート杭を使用する場合には別途計上する。
- ・ 用地幅杭を片側のみ設置する場合においても同一歩掛とする。
- ・ 地域、地形が混在する場合は適用できない。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域	A1	大市街地	$V1=(\text{変化率})$ 変化率の算出は 積算基準書参照
	A2	市街地甲	
	A3	市街地乙	
	A4	都市近郊	
	A5	耕地	
	A6	原野	
	A7	森林	
B 地形	B1	平地	
	B2	丘陵地	
C 交通量	C1	0～1,000台未満/12時間	
	C2	1,000～3,000台未満/12時間	
	C3	3,000 台以上/12 時間	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$5.1 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$6.5 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$3.4 \times (1+V1)$	
④		機械経費		%	3.5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	6.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 路線測量 4-1-13 用地幅杭設置測量
 機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書 11-1(4-1-13)用地幅杭設置測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09145	河川定期縦断測量 直接水準	1km当り	構造図	R3.10改定

1. 適用条件

- ・ 河川定期縦断測量・直接水準に適用する。
- ・ 定期縦断測点間隔50～200mかつ流心延長30km以下とする。

2. 条件表

			(精度管理費係数)
Y 精度管理費係数	Y1	標準	V1=0.10
	Y2	標準以外	V1=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.1	
②		測量技師補		人	1.4	
③		測量助手		人	1.2	
④		測量補助員		人	0.4	
⑤		機械経費		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	6.0	直接人件費に対する割合
⑦		精度管理費		%	V1 × 100	

※(精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 河川測量 5-1-5 河川定期縦断測量・直接水準
 機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(5-1-5) 河川定期縦断測量 直接水準に
 準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09146	河川定期横断測量 直接水準(平地)	10本当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

- ・ 河川定期横断測量・直接水準(平地)に適用する。
- ・ 平均測量幅2～800mかつ定期横断測点間隔50～200mかつ流心延長30km以下とする。

2. 条件表

			(補正係数)	(精度管理費係数)
A 平均測量幅	A1	450m以下	$V1=B/400$	
	A2	450m超～800m以下	$V1=450/400$	
B 平均測量幅(m)(実数入力)		入力		
Y 精度管理費係数	Y1	標準		$V2=0.10$
	Y2	標準以外		$V2=Z$
Z $0 \leq \text{精度管理費係数} \leq 0.99$		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$0.2 \times V1$	
②		測量技師		人	$7.0 \times V1$	
③		測量技師補		人	$11.2 \times V1$	
④		測量助手		人	$10.0 \times V1$	
⑤		測量補助員		人	$4.8 \times V1$	
⑥		機械経費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	1.0	直接人件費に対する割合
⑧		精度管理費		%	$V2 \times 100$	

※(精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 河川測量 5-1-6 河川定期横断測量・直接水準(平地)
 機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(5-1-6)河川定期横断測量 直接水準に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09161	作業計画(用地測量)	1業務当り	構造図	H28.10.01改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の作業計画に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	0.8	
②		測量技師		人	1.1	
③		測量技師補		人	1.1	

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-1作業計画

名古屋市版施工単価内訳表

D09162	現地踏査(用地測量)	1業務当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の作業計画(現地踏査)に適用する。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0
	A2	市街地甲	V1=0.8
	A3	市街地乙	V1=0.5
	A4	都市近郊	V1=0.3
	A5	耕地	V1=0
	A6	原野	V1=-0.3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$1.0 \times (1+V1)$	
②		測量技師		人	$1.0 \times (1+V1)$	
③		測量技師補		人	$1.0 \times (1+V1)$	
④		機械経費		%	1.0	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	4.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-1作業計画

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(7-1-1-2)用地測量 作業計画 現地踏査に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09163	公図等の転写(地積測量図以外の公図等の転写)	10,000m2当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の資料調査に適用する。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0
	A2	市街地甲	V1=0.8
	A3	市街地乙	V1=0.5
	A4	都市近郊	V1=0.3
	A5	耕地	V1=0
	A6	原野	V1=-0.3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	$0.7 \times (1+V1)$	
②		測量助手		人	$0.7 \times (1+V1)$	
③		機械経費		%	1.0	直接人件費に対する割合
④		材料費		%	2.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-2資料調査

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書11-1(7-1-2-1)用地測量 資料調査 公図等の転写に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09164	地積測量図転写(地積測量図のみの転写)	10,000m2当り	構造図	R3.10改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の資料調査に適用する。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0
	A2	市街地甲	V1=0.8
	A3	市街地乙	V1=0.5
	A4	都市近郊	V1=0.3
	A5	耕地	V1=0
	A6	原野	V1=-0.3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	$0.6 \times (1+V1)$	
②		測量助手		人	$0.7 \times (1+V1)$	
③		機械経費		%	1.5	直接人件費に対する割合
④		材料費		%	0.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-2資料調査

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(7-1-2-2)用地測量 資料調査 地積測量図転写に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09165	土地の登記記録調査	10,000m2当り	構造図	H28.10改定

1. 適用条件

・ 用地測量の資料調査に適用する。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0
	A2	市街地甲	V1=0.8
	A3	市街地乙	V1=0.5
	A4	都市近郊	V1=0.3
	A5	耕地	V1=0
	A6	原野	V1=-0.3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	$0.9 \times (1+V1)$	
②		測量助手		人	$0.9 \times (1+V1)$	
③		機械経費		%	0.5	直接人件費に対する割合
④		材料費		%	0.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-2資料調査

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書11-1(7-1-2-3)用地測量 資料調査 土地登記記録調査に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09167	権利者確認調査(当初)	10,000m2当り	構造図	H28.10改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の資料調査に適用する。
- ・ 権利者確認調査(当初)とは、登記名義人の所在の特定(相続が発生している場合には相続人の有無の確認まで)を行うものである。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0
	A2	市街地甲	V1=0.8
	A3	市街地乙	V1=0.5
	A4	都市近郊	V1=0.3
	A5	耕地	V1=0
	A6	原野	V1=-0.3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	$0.9 \times (1+V1)$	
②		測量助手		人	$0.9 \times (1+V1)$	
③		機械経費		%	0.5	直接人件費に対する割合
④		材料費		%	0.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-2資料調査

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書11-1(7-1-2-5)用地測量 資料調査 権利者確認調査(当初)に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09168	権利者確認調査(追跡)	10人当り	構造図	H28.10改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の資料調査に適用する。
- ・ 権利者確認調査(追跡)とは、相続が発生している場合に当初で確認された相続人以降の確認調査である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	2.8	
②		測量助手		人	2.8	
③		機械経費		%	0.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-2資料調査

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書11-1(7-1-2-6)用地測量 資料調査 権利者確認調査(追跡)に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09169	公図等転写連続図作成	10,000m2当り	構造図	H28.10改定

1. 適用条件

・ 用地測量の資料調査に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	0.5	
②		測量助手		人	0.5	
③		材料費		%	1.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-2資料調査

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書11-1(7-1-2-7)用地測量 資料調査 公図等転写連続図作成に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09170	復元測量	10,000m2当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の境界確認に適用する。
- ・ 復元測量とは、境界確認において境界を確定するうえで法務局において提出済の地積測量図他参考資料による杭の復元を行うものである。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0	
	A2	市街地甲	V1=0.8	
	A3	市街地乙	V1=0.5	
	A4	都市近郊	V1=0.3	
	A5	耕地	V1=0	
	A6	原野	V1=-0.3	
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.07
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$2.2 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$2.2 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$2.2 \times (1+V1)$	
④		測量補助員		人	$1.7 \times (1+V1)$	
⑤		機械経費		%	3.5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑦		精度管理費		%	$V2 \times 100$	

※(精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-3境界確認

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(7-1-3-1)用地測量 境界確認 復元測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09171	境界確認	10,000m2当り	構造図	R元. 10改定

1. 適用条件

・ 用地測量の境界確認に適用する。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0
	A2	市街地甲	V1=0.8
	A3	市街地乙	V1=0.5
	A4	都市近郊	V1=0.3
	A5	耕地	V1=0
	A6	原野	V1=-0.3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$1.0 \times (1+V1)$	
②		測量技師		人	$1.7 \times (1+V1)$	
③		測量技師補		人	$1.7 \times (1+V1)$	
④		測量助手		人	$1.0 \times (1+V1)$	
⑤		機械経費		%	0.5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-3境界確認

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(7-1-3-2)用地測量 境界確認 境界確認に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09172	土地境界確認書作成	10,000m2当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 用地測量の境界確認に適用する。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0
	A2	市街地甲	V1=0.8
	A3	市街地乙	V1=0.5
	A4	都市近郊	V1=0.3
	A5	耕地	V1=0
	A6	原野	V1=-0.3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	$1.2 \times (1+V1)$	
②		測量助手		人	$1.2 \times (1+V1)$	
③		機械経費		%	1.5	直接人件費に対する割合
④		材料費		%	1.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-3境界確認

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書11-1(7-1-3-3)用地測量 境界確認 土地境界確認書作成に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09173	補助基準点の設置	10,000m2当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 用地測量の境界測量に適用する。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0	
	A2	市街地甲	V1=0.8	
	A3	市街地乙	V1=0.5	
	A4	都市近郊	V1=0.3	
	A5	耕地	V1=0	
	A6	原野	V1=-0.3	
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.07
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.2×(1+V1)	
②		測量技師補		人	1.2×(1+V1)	
③		測量助手		人	1.2×(1+V1)	
④		測量補助員		人	0.8×(1+V1)	
⑤		機械経費		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	3.5	直接人件費に対する割合
⑦		精度管理費		%	V2×100	

※(精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-4境界測量

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(7-1-4-1)用地測量 境界測量 補助基準点の設置に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09174	境界測量	10,000m2当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 用地測量の境界測量に適用する。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0
	A2	市街地甲	V1=0.8
	A3	市街地乙	V1=0.5
	A4	都市近郊	V1=0.3
	A5	耕地	V1=0
	A6	原野	V1=-0.3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$2.1 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$2.1 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$2.1 \times (1+V1)$	
④		測量補助員		人	$1.4 \times (1+V1)$	
⑤		機械経費		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	2.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-4境界測量

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書11-1(7-1-4-2)用地測量 境界測量 境界測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09175	用地境界仮杭設置	10,000m2当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の境界測量に適用する。

2. 条件表

			(変化率)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0
	A2	市街地甲	V1=0.8
	A3	市街地乙	V1=0.5
	A4	都市近郊	V1=0.3
	A5	耕地	V1=0
	A6	原野	V1=-0.3

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$1.1 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$1.1 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$1.1 \times (1+V1)$	
④		測量補助員		人	$0.8 \times (1+V1)$	
⑤		機械経費		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	5.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-4境界測量

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書11-1(7-1-4-3)用地測量 境界測量 用地境界仮杭設置に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09177	境界点間測量	10,000m2当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の境界点間測量に適用する。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0	
	A2	市街地甲	V1=0.8	
	A3	市街地乙	V1=0.5	
	A4	都市近郊	V1=0.3	
	A5	耕地	V1=0	
	A6	原野	V1=-0.3	
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.07
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.4 × (1+V1)	
②		測量技師補		人	1.6 × (1+V1)	
③		測量助手		人	1.6 × (1+V1)	
④		機械経費		%	4.0	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合
⑥		精度管理費		%	V2 × 100	

※(精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-5境界点間測量

機械経費及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(7-1-5)用地測量 境界点間測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09178	面積計算	10,000m2当り	構造図	H28.10.01改定

1. 適用条件

- ・ 用地測量の面積計算に適用する。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域差	A1	大市街地	V1=1.0	
	A2	市街地甲	V1=0.8	
	A3	市街地乙	V1=0.5	
	A4	都市近郊	V1=0.3	
	A5	耕地	V1=0	
	A6	原野	V1=-0.3	
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.07
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	$2.2 \times (1+V1)$	
②		測量技師補		人	$2.2 \times (1+V1)$	
③		測量助手		人	$2.2 \times (1+V1)$	
④		精度管理費		%	$V2 \times 100$	

※(精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量7-1-6面積計算

名古屋市版施工単価内訳表

D09191	現地測量	1業務当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

- ・ 現地測量に適用する。
- ・ 本歩掛は、トータルステーションを用いた細部測量を行う場合に適用するものとし、GNSS測量機等を用いた細部測量を行う場合には別途考慮するものとする。
- ・ 適用範囲は0.20km²以下とする。
- ・ 地域・地形が混在する場合は、本単価は適用できない。
- ・ 本歩掛は、現地測量(作業計画)を含む。

2. 条件表

A 縮尺	A2	1/250	V1=(変化率) ※算出方法は積算基準書(9-2)参照
	A3	1/500	
B 地域	B1	大市街地	
	B2	市街地甲	
	B3	市街地乙	
	B4	都市近郊	
	B5	耕地	
	B6	原野	
	B7	森林	
C 地形	C1	平地	
	C2	丘陵地	
D 0<作業量(km ²)≤0.20		入力	V2=(補正係数) ※算出方法は積算基準書参照
Y 精度管理費係数	Y1	標準	V3=0.05
	Y2	標準以外	V3=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$0.3 \times (1+V1) \times V2$	
②		測量技師		人	$9.2 \times (1+V1) \times V2$	
③		測量技師補		人	$17.4 \times (1+V1) \times V2$	
④		測量助手		人	$8.2 \times (1+V1) \times V2$	
⑤		機械経費		%	6.5	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	0.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	2.0	直接人件費に対する割合
⑧		精度管理費		%	$V3 \times 100$	
⑨		測量主任技師		人	0.2	
⑩		測量技師		人	0.3	
⑪		測量技師補		人	0.3	

※(精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 現地測量9-1-1,9-1-2 現地測量

機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(9-1-2) 現地測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09199	打合せ協議	1業務当り	構造図	H28.10改定

1. 適用条件

- ・ 基準点測量、水準測量、路線測量、河川測量、深淺測量、用地測量、現地測量に適用する。
- ・ 空中写真測量には適用できない。
- ・ 打合せ協議を精度管理費係数の対象としない場合に適用する。

2. 条件表

A 中間打合せ回数	A1	1回
	A2	2回
	A3	3回
	A4	4回
	A5	5回

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V1	
②		測量技師		人	1.0	
③		測量技師補		人	V2	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
②	測量主任技師	V1	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5
③	測量技師補	V2	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 共通 1-1 打合せ等

名古屋市版施工単価内訳表

D09210	簡易水準測量	10km当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

・ 観測距離100km以下とする。

2. 条件表

			(変化率)	(精度管理費係数)
A 地域差	A1	大市街地・平地	V1=0.3	
	A2	市街地甲・平地	V1=0.2	
	A3	市街地乙・平地	V1=0.1	
	A4	都市近郊・平地	V1=0.1	
	A5	耕地・平地	V1=0	
	A6	原野・平地	V1=0.1	
	A7	森林・平地	V1=0.1	
	A8	市街地乙・丘陵地	V1=0.2	
	A9	都市近郊・丘陵地	V1=0.2	
	A10	耕地・丘陵地	V1=0.1	
	A11	原野・丘陵地	V1=0.2	
	A12	森林・丘陵地	V1=0.2	
Y 精度管理費係数	Y1	標準		V2=0.05
	Y2	標準以外		V2=Z
Z 0≤精度管理費係数≤0.99		入力		

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	2.0×(1+V1)	
②		測量技師補		人	2.5×(1+V1)	
③		測量助手		人	2.5×(1+V1)	
④		機械経費		%	5.5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑥		精度管理費		%	V2×100	
⑦		通信運搬費等		%	0.5	直接人件費に対する割合

※(精度管理費)=[(人件費等)+(機械経費)]×(精度管理費係数)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 空中写真測量8-3-3 簡易水準測量

機械経費・通信運搬費等及び材料費については、設計業務等標準積算基準書12-1(8-3-3) 簡易水準測量に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09293	ライトバン運転費	1日当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 積算上の基地から現地まで連絡車(ライトバン)により往復する場合で、片道所要時間が1時間程度の場合に適用する。

2. 条件表

A 適用	A1	現地往復・機械器具運搬(片道1H)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ガソリン	レギュラー	L	5.2	
②		ライトバン損料	1500cc	時間	2.0	
③		ライトバン損料	1500cc	供用日	1.0	

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09403	機械ボーリング (土質ボーリング)	1m当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 機械ボーリング(土質ボーリング)は、市場単価方式による地質調査のせん孔作業に適用する。

2. 条件表

A 規格区分	A1	φ 66mm 粘性土・シルト	(加算率・補正係数)
	A2	φ 66mm 砂・砂質土	
	A3	φ 66mm 礫混じり土砂	
	A4	φ 66mm 玉石混じり土砂	
	A5	φ 66mm 団結シルト・団結粘土	
	A6	φ 86mm 粘性土・シルト	
	A7	φ 86mm 砂・砂質土	
	A8	φ 86mm 礫混じり土砂	
	A9	φ 86mm 玉石混じり土砂	
	A10	φ 86mm 団結シルト・団結粘土	
	A11	φ 116mm 粘性土・シルト	
	A12	φ 116mm 砂・砂質土	
	A13	φ 116mm 礫混じり土砂	
	A14	φ 116mm 玉石混じり土砂	
	A15	φ 116mm 団結シルト・団結粘土	
B せん孔深度	B1	50m以下	K1=1. 00
	B2	50m超80m以下	K2=1. 10
	B3	80m超100m以下	K3=1. 15
C せん孔方向	C1	鉛直下方	K8=1. 00
	C2	斜め下方	K9=1. 15
	C3	水平	K10=1. 20
	C4	斜め上方	K11=1. 40

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土質ボーリング	(市場単価、各種)	m	1	表3-1

設計単価＝市場単価×(K1～K3)×(K8～K11)

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		土質ボｰリングφ66mm(深度50m以下)	粘性土・シルト
	A2		土質ボｰリングφ66mm(深度50m以下)	砂・砂質土
	A3		土質ボｰリングφ66mm(深度50m以下)	礫混じり土砂
	A4		土質ボｰリングφ66mm(深度50m以下)	玉石混じり土砂
	A5		土質ボｰリングφ66mm(深度50m以下)	団結シルト・団結粘土
	A6		土質ボｰリングφ86mm(深度50m以下)	粘性土・シルト
	A7		土質ボｰリングφ86mm(深度50m以下)	砂・砂質土
	A8		土質ボｰリングφ86mm(深度50m以下)	礫混じり土砂
	A9		土質ボｰリングφ86mm(深度50m以下)	玉石混じり土砂
	A10		土質ボｰリングφ86mm(深度50m以下)	団結シルト・団結粘土
	A11		土質ボｰリングφ116mm(深度50m以下)	粘性土・シルト
	A12		土質ボｰリングφ116mm(深度50m以下)	砂・砂質土
	A13		土質ボｰリングφ116mm(深度50m以下)	礫混じり土砂
	A14		土質ボｰリングφ116mm(深度50m以下)	玉石混じり土砂
	A15		土質ボｰリングφ116mm(深度50m以下)	団結シルト・団結粘土

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09411	標準貫入試験	1回当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 土質の種類	A1	粘性土・シルト
	A2	砂・砂質土
	A3	礫混じり土砂
	A4	玉石混じり土砂
	A5	固結シルト・固結粘土
	A6	軟岩

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		標準貫入試験	(市場単価、各種)	回	1	表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		標準貫入試験	粘性土・シルト
	A2		標準貫入試験	砂・砂質土
	A3		標準貫入試験	礫混じり土砂
	A4		標準貫入試験	玉石混じり土砂
	A5		標準貫入試験	固結シルト・固結粘土
	A6		標準貫入試験	軟岩

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09415	孔内水平載荷試験	1回当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 載荷の方法	A1	普通載荷
	A2	中圧載荷
	A3	高圧載荷

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		孔内水平載荷試験	(市場単価、各種)	回	1	表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		孔内水平載荷試験	普通載荷(2.5MN/m ² 以下) GL-50m 以内
	A2		孔内水平載荷試験	中圧載荷(2.5～10MN/m ²) GL-50m 以内
	A3		孔内水平載荷試験	高圧載荷(10～20MN/m ²) GL-50m 以内

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09421	スウェーデン式サウンディング	1m当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		スウェーデン式サウンディング	GL-10m 以内 N 値 4 以内	m	1	

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09423	オランダ式二重管コーン貫入試験	1m当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 試験区分	A1	20kN GL-30m 以内
	A2	100kN GL-30m 以内

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		オランダ式二重管コーン貫入試験	(市場単価、各種)	m	1	表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		オランダ式二重管コーン貫入試験	20kN GL-30m 以内
	A2		オランダ式二重管コーン貫入試験	100kN GL-30m 以内

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09425	ポータブルコーン貫入試験	1m当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 試験区分	A1	単管式 GL-5m 以内
	A2	二重管式 GL-5m 以内

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ポータブルコーン貫入試験	(市場単価、各種)	m	1	表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m 以内
	A2		ポータブルコーン貫入試験	二重管式 GL-5m 以内

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09426	現場透水試験	1回当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 試験区分	A1	オーガー法
	A2	ケーシング法
	A3	一重管式
	A4	二重管式
	A5	揚水法
B 深度	B1	GL-10m 以内
	B2	GL-20m 以内
	B3	GL-30m 以内
	B4	GL-40m 以内
	B5	GL-50m 以内

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		現場透水試験	(市場単価、各種)	回	1	表3-1

設計単価＝市場単価×補正係数

(補正係数)

B条件 A条件	B1	B2	B3	B4	B5
A1	1.0	—	—	—	—
A2	1.0	1.1	1.15	1.25	1.3
A3	1.0	1.0	—	—	—
A4	1.0	1.0	1.15	1.15	—
A5	1.0	1.0	1.15	1.15	—

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		現場透水試験	オーガー法 GL-10m 以内
	A2		現場透水試験	ケーシング法 GL-10m 以内
	A3		現場透水試験	一重管式 GL-20m 以内
	A4		現場透水試験	二重管式 GL-20m 以内
	A5		現場透水試験	揚水法 GL-20m 以内

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09431	シンウォールサンプリング	1本当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		シンウォールサンプリング	軟弱な粘性土($0 \leq N$ 値 ≤ 4)	本	1	

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09433	デニソンサンプリング	1本当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		デニソンサンプリング	硬質な粘性土(4<N 値)	本	1	

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09434	トリプルサンプリング	1本当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		トリプルサンプリング	砂質土	本	1	

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09440	人肩運搬(地質調査)	1t当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 換算距離	A1	50m以下
	A2	50m超 100m以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		現場内小運搬(人肩運搬)	(市場単価、各種)	t	1	表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		現場内小運搬(人肩運搬)	50m以下
	A2		現場内小運搬(人肩運搬)	50m超 100m以下

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09441	足場仮設(地質調査)	1か所当り	構造図	R4.4改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 足場区分	A1	平坦地	(加算率・補正係数)
	A2	湿地	
	A3	傾斜地 傾斜 15～30°	
	A4	傾斜地 傾斜 30～45°	
	A5	傾斜地 傾斜 45～60°	
	A6	水上 水深 1m以下	
	A7	水上 水深 3m以下	
	A8	水上 水深 5m以下	
B ボーリング深度	B1	50m以下	K1=1.00
	B2	50m超 80m以下	K2=1.05
	B3	80m超 120m以下	K3=1.10
	B4	120m超	K4=1.20

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		足場仮設	(市場単価、各種)	箇所	1	表3-1

設計単価＝市場単価×(K1～K4)

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		平坦足場	
	A2		湿地足場	
	A3		傾斜地足場	地形傾斜 15° 以上～30° 未満
	A4		傾斜地足場	地形傾斜 30° 以上～45° 未満
	A5		傾斜地足場	地形傾斜 45° 以上～60° 未満
	A6		水上足場	水深 1m 以下
	A7		水上足場	水深 3m 以下
	A8		水上足場	水深 5m 以下

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09442	準備及び跡片付け (地質調査)	1業務当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		準備及び跡片づけ		業務	1	市場単価

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09443	特装車運搬(クロー) (地質調査)	1t当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 換算距離	A1	100m以下
	A2	100m超 300m以下
	A3	300m超 500m以下
	A4	500m超 1000m以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		現場内小運搬(特装車運搬(クロー))	(市場単価、各種)	t	1	表3-1

3-1. 市場単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		現場内小運搬(特装車運搬(クロー))	100m以下
	A2		現場内小運搬(特装車運搬(クロー))	100m超 300m以下
	A3		現場内小運搬(特装車運搬(クロー))	300m超 500m以下
	A4		現場内小運搬(特装車運搬(クロー))	500m超 1000m以下

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09444	搬入路伐採等(地質調査)	1 換算m当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。
- ・ 設計数量は、換算距離とする。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		搬入路伐採等		換算m	1	市場単価

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09445	給水費(ポンプ運転) (地質調査)	1か所当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		給水費(ポンプ運転)	20m以上 150m以下	箇所	1	市場単価

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09446	環境保全(地質調査)	1か所当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		環境保全	仮囲い	箇所	1	市場単価

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09447	調査孔閉塞(地質調査)	1か所当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		調査孔閉塞		箇所	1	市場単価

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09450	既存資料の収集・現地調査 (地質調査)	1業務当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A	1業務当りボーリング本数		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		既存資料の収集・現地調査	直接人件費	業務	1	

設計単価＝標準の単価×補正係数

$$Y=0.035A+0.79$$

Y:補正係数 A:土質ボーリング本数

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09451	資料整理とりまとめ	1業務当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 業務内容	A1	コンサルタツ的調査業務
	A2	一般調査業務
B 1業務当りボーリング本数		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		資料整理とりまとめ		業務	1	表3-1

設計単価＝標準の単価×補正係数

$$Y=0.040B+0.76$$

Y:補正係数 B:土質ボーリング本数

3-1. 資料整理とりまとめ単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		資料整理とりまとめ	直接人件費(解析等調査業務費分)
	A2		資料整理とりまとめ	直接労務費(直接調査費分)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09452	断面図等の作成 (地質調査)	1業務当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 業務内容	A1	コンサルタント的調査業務
	A2	一般調査業務
B 1業務当りボーリング本数		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		断面図等の作成		業務	1	表3-1

設計単価＝標準の単価×補正係数

$$Y=0.040B+0.76$$

Y:補正係数 B:土質ボーリング本数

3-1. 断面図等の作成単価の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		断面図等の作成	直接人件費(解析等調査業務費分)
	A2		断面図等の作成	直接労務費(直接調査費分)

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09453	総合解析とりまとめ (地質調査)	1業務当り	構造図	H20.10改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

			(補正係数)
A 試験種目数	A1	0～3種	Z=1.00
	A2	4～5種	Z=1.20
	A3	6～9種	Z=1.30
B 1業務当りボーリング本数		入力	

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		総合解析とりまとめ	直接人件費	業務	1	

設計単価＝標準の単価×補正係数＝標準の単価×Y×Z

$$Y=0.020B+0.88$$

Y:補正係数 B:土質ボーリング本数

4. 歩掛表

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09492	トラック運転費(地質調査)	1日当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 市場単価方式による地質調査に適用する。

2. 条件表

A 運搬重量	A1	～2000kg以下
	A2	2000kg超～3000kg以下
	A3	3000kg超～4000kg以下
B 片道所要時間	B1	1時間
	B2	2時間

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		軽油	1. 2号	L	V1	
②		特殊運転手		人	V2	
③		トラック損料[クレーン装置付]		時間	V3	表3-1
④		トラック損料[クレーン装置付]		供用日	1	表3-1

3-1. トラック損料の種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1		トラック損料[クレーン装置付]	2t積2.9t吊;機損表(9)欄
	A2		トラック損料[クレーン装置付]	3t積2.9t吊;機損表(9)欄
	A3		トラック損料[クレーン装置付]	4t積2.9t吊;機損表(9)欄
④	A1		トラック損料[クレーン装置付]	2t積2.9t吊;機損表(11)欄
	A2		トラック損料[クレーン装置付]	3t積2.9t吊;機損表(11)欄
	A3		トラック損料[クレーン装置付]	4t積2.9t吊;機損表(11)欄

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2		A3	
		B条件	B1	B2	B1	B2	B1	B2
①	軽油	V1	9.8	19.6	13.2	26.4	13.2	26.4
②	特殊運転手	V2	0.38	0.76	0.38	0.76	0.38	0.76
③	トラック損料[クレーン装置付]	V3	2	4	2	4	2	4

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書

名古屋市版施工単価内訳表

D09630	目地補修	1000m当り	構造図	H23.10.1改定

1. 適用条件

- ・ コンクリート舗装版のクラックの補修に適用する。
- ・ 充填材は加熱注入式目地材(アスファルト系低弾性)とする。
- ・ 充填材の比重は1.05kg/Lとする。

2. 条件表

A 補修の種別	A2	クラック補修
B 補修幅(cm)		実数入力 (0≦B≦5)
C 補修深さ(cm)		実数入力 (0≦C≦10)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		注入目地材(加熱注入式)	ゴム化アスファルト系低弾性	kg	V4	
⑥		諸雑費		%	V6	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A2
①	土木一般世話役	V1	1.3
②	特殊作業員	V2	1.2
③	普通作業員	V3	7.7
④	注入目地材(加熱注入式)	V4	105×B×C×1.1
⑥	諸雑費	V6	12

5. 根拠

Ⅳ-3-⑦

名古屋市版施工単価内訳表

D09670	アスファルト舗装；（人力） （単契用）	100m2当り	構造図	H27.10.19改定

1. 適用条件

- ・ アスファルト舗装の人力施工に適用する。
- ・ アスファルト混合物は別途計上する。
- ・ 砂散布がない場合に適用する。

2. 条件表

A 歩車道の区分	A1	車道・路肩
	A2	歩道
B 1層当り仕上り厚(t)	B1	$t \leq 50\text{mm}$
	B2	$50 < t \leq 70\text{mm}$
C 瀝青材料の種類	C1	タックコート PK-4
	C2	プライムコート PK-3
	C3	無

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V1	
②		特殊作業員		人	V2	
③		普通作業員		人	V3	
④		アスファルト乳剤	（各種）	L	V4	表3-1
⑤	D36017	振動ローラ運転	0.5～0.6t	日	V5	
⑥	D36018	振動コンパクタ運転	40～60kg	日	V6	
⑦		諸雑費		%	V7	

3-1. 瀝青材料の種類

	C条件	コード	名称	規格
④	C1		アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用
	C2		アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用
	C3	—	—	—

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1					
		B条件	B1			B2		
		C条件	C1	C2	C3	C1	C2	C3
①	土木一般世話役	V1	0.4	0.4	0.4	0.43	0.43	0.43
②	特殊作業員	V2	0.8	0.8	0.8	1.30	1.30	1.30
③	普通作業員	V3	1.6	1.6	1.6	1.74	1.74	1.74
④	アスファルト乳剤	V4	43	126	—	43	126	—
⑤	振動ローラ運転	V5	0.4	0.4	0.4	0.43	0.43	0.43
⑥	振動コンパクタ運転	V6	0.8	0.8	0.8	0.87	0.87	0.87
⑦	諸雑費	V7	17	17	6	15	15	6

	名称	A条件	A2					
		B条件	B1			B2		
		C条件	C1	C2	C3	C1	C2	C3
①	土木一般世話役	V1	0.4	0.4	0.4	0.43	0.43	0.43
②	特殊作業員	V2	0.8	0.8	0.8	1.30	1.30	1.30
③	普通作業員	V3	1.6	1.6	1.6	1.74	1.74	1.74
④	アスファルト乳剤	V4	43	126	—	43	126	—
⑤	振動ローラ運転	V5	0.4	0.4	0.4	0.43	0.43	0.43
⑥	振動コンパクタ運転	V6	0.4	0.4	0.4	0.43	0.43	0.43
⑦	諸雑費	V7	19	19	7	16	16	6

5. 根拠

Ⅳ－１－②－１

名古屋市版施工単価内訳表

D09801	高所作業車運転(単価契約用)	1日当り	構造図	H26.10.1改定

1. 適用条件

- ・ 単価契約用のため短期利用に賃料補正
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

A 高所作業車の規格	A1	トラック架装リフト・ブーム型作業床高8m
	A2	トラック架装リフト・ブーム型作業床高12m
	A3	トラック架装リフト・ブーム型作業床高22m

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	V1	
②		特殊運転手		人	V2	
③		軽油	1,2号	L	V3	
④		高所作業車賃料		日	1	表3-1
⑤		諸雑費		式	1	まるめ

3-1. 高所作業車の種類

	A条件	コード	名称	規格
④	A1		高所作業車(トラック架装リフト車)ブーム型	標準デッキタイプ 作業床高さ8m
	A2		高所作業車(トラック架装リフト車)ブーム型	標準デッキタイプ 作業床高さ12m
	A3		高所作業車(トラック架装リフト車)ブーム型	標準デッキタイプ 作業床高さ22m

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	一般運転手	V1	1	—	—
②	特殊運転手	V2	—	1	1
③	軽油	V3	19	22	23

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09802	トラック(クレーン装置付)4t積2.9t 吊運転(単契用)	1日当り	構造図	H24.5.1改定

1. 適用条件

- ・ 単価契約用のため短期利用に賃料補正
- ・ 賃料補正については「建設機械等賃料積算基準の運用について」参照のこと

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1	
②		軽油	1,2号	L	21	
③		トラック(クレーン装置付)賃料	4t積2.9t吊	日	1.45	表3-1
④		諸雑費		式	1	まるめ

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09803	土木一般世話役(単契用)	1人当り	構造図	H27.10改定

1. 適用条件

・ 単価契約のための土木一般世話役の割り増し対象賃金を考慮した土木一般世話役の労務費

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	1	労 R2-0-0-0-2
②		土木一般世話役		人	-1	

3-1. 子単価条件

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09811	照明器具LED20W以下(単契用)	個	構造図	H26.4.1改定

1. 適用条件

- ・ 単価契約の工種のみに適用する。
- ・ 単価契約用単価に組み込む場合以外は適用できない。
- ・ 工種区分が道路維持工事で施工地域区分が大都市の場合に適用する。
- ・ 単価契約積算システムでは材料費を共通仮設費対象外とする機能がないため、直接工事費を補正して対応している。
- ・ 上記の補正のため、運用上、本コードを使用したものは基準単価としないこと。

2. 条件表

A 照明器具	A1	生活道路局部照明 ホールアダプター加工込
	A2	生活道路中間柱照明 ホールアダプター加工込

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		照明器具	(LED各種)	個	8.00	

3-1. 照明器具の種類

	A条件	コード	名称	規格
①	A1		照明器具(生活道路局部照明)	LED20W 以下 (ホールアダプター加工込)
	A2		照明器具(生活道路中間柱照明)	LED20W以下 (ホールアダプター加工込)

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D09812	街路灯設置(LED20W以下) (カラーポール)単契用	10基当り	構造図	H26.4 改定

1. 適用条件

- ・ D02756の単価契約用”
- ・ 単価契約用単価に組み込む場合以外は適用できない。
- ・ 工種区分が道路維持工事で施工地域区分が大都市の場合に適用する。
- ・ 単価契約積算システムでは材料費を共通仮設費対象外とする機能がないため、直接工事費を補正して対応している。
- ・ 上記の補正のため、運用上、本コードを使用したものは基準単価としないこと

2. 条件表

A 照明器具の種類	A1	生活道路局部照明
	A2	生活道路中間柱
B 継柱の有無	B1	継柱なし
	B2	継柱あり

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		カラーポール	地 上 高 H=4.5m φ 76.3×3.2t	本	10	
②		継柱	φ32 有効高 1.5m ムキ架線引込フック取付	本	V1	
③		架線引込フック		個	V2	
④		受電口		個	10	
⑤		管理番号標(街路灯用)	ス コ ッ チ シ ー ト 90×85、 185×8570×105	組	10	
⑥		接地設置	D 種接地、3m 以内による施工補正あり	極	10	表3-1
⑦	D02791	照明灯設置	カラーポール	基	10	表3-1
⑧	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	蛍光灯、設置	台	10	表3-1
⑨		照明器具(LED)	(各種)	個	8	表3-2
⑩	D02792	街路灯基礎	300×300×700、18・8・25	基	10	表3-1
⑪		丸型アース棒	E-B3 φ10×1000mm	本	10	
⑫		耐燃性ポリエチレン絶縁電線	600V IE/F(EM-IE)より線 3.5mm2	m	8	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑥		接地設置	4	2							
⑦	D02791	照明灯設置	1								

⑧	D02796	道路照明器具取付・撤去・移設	3	1							
⑪	D02792	街路灯基礎	6	2							

3-2. 照明器具の種類

	A条件	コード	名称	規格
⑨	A1		照明器具(生活道路局部照明)	LED20W 以下(ホルアダプタ加工込)
	A2		照明器具(生活道路中間柱照明)	LED20W 以下(ホルアダプタ加工込)

4. 歩掛表

名称		A 条件	A1		A2	
		B 条件	B1	B2	B1	B2
⑨	照明器具(生活道路局部照明)		10	10	—	—
⑨	照明器具(生活道路中間柱照明)		—	—	10	10
②	継柱	V1	—	10	—	10
③	架線引込フック	V2	10	—	10	—

5. 根拠

Ⅷ-2-1-⑫ / Ⅷ-3-6-① / Ⅷ-3-6-④

名古屋市版施工単価内訳表

D10001	産廃税相当額 (最終処分場)	1t当り	構造図	H18.4改定

1. 適用条件

- ・ 産業廃棄物を愛知県内の最終処分場に直接搬入する場合に適用する。
- ・ 産廃税相当額を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		産廃税相当額(愛知県)	最終処分場へ直接搬入	t	1	

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D10002	産廃税相当額 (自ら設置する最終処分場)	1t当り	構造図	H18.4改定

1. 適用条件

- ・ 産業廃棄物を愛知県内の最終処分場(自ら設置する最終処分場)に直接搬入する場合に適用する。
- ・ 産廃税相当額を計上する場合はDコードを使用すること。(Zコードでは間接費処理ができない。)

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		産廃税相当額(愛知県)	自ら設置する最終処分場へ直接搬入	t	1	

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D35001	ダンプトラック2t積級運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	25.00	
③		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	2t積級	供用日	1.17	
④		タイヤ損耗費	2t 良好	供用日	1.17	
⑤		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D35002	ダンプトラック4t積級運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	42.00	
③		ダンプトラック[オンロード・ディセル]	4t積級	供用日	1.16	
④		タイヤ損耗費	4t 良好	供用日	1.16	
⑤		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D35003	ダンプトラック10t積級運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	76.00	
③		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	10t積級	供用日	1.24	
④		タイヤ損耗費	10t 良好	供用日	1.24	
⑤		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D35004	ブルドーザ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	29.00	
③		フルドーザ[普通・排出ガス 対策型(1次基準)]	3t級	供用日	1.56	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D35005	モータグレーダ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	39.00	
③		モータグレーダ[土工用]	ブレード幅3. 1m	供用日	1.85	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D35006	タンパ運転	1日当り	構造図	H27.10新規

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊作業員		人	1.00	
②		ガソリン	レギュラー	L	5.00	
③		タンパ	60～100kg	日	1.61	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D35007	バックホウ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	38.00	
③		バックホウ(クローラ)[標準]	排ガス型(第1次) 山積0.28m3	供用日	1.52	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D35008	バックホウ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	22.00	
③		バックホウ(クローラ)[標準]	排ガス型(第1次) 山積0.13m3	供用日	1.39	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D35009	バックホウ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	0.58	
②		軽油	1. 2号	L	41.00	
③		バックホウ(クローラ)[標準]	排ガス型(第1次) 山積0.8m3	供用日	0.79	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36001	モータグレーダ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	54.00	
③		モータグレーダ[土工用・排ガス対策型(第1次)]	ブレード幅3. 1m	供用日	1.45	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36002	ロードローラ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	30.00	
③		ロードローラ[マカダム・排ガス 対策型(第1次)]	質量10～12t	供用日	1.47	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36003	タイヤローラ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	36.00	
③		タイヤローラ[普通型・排ガス 対策型(第1次)]	質量8～20t	供用日	1.49	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36004	振動ローラ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	11.00	
③		振動ローラ(搭乗式コンパインド型)	3～4t	供用日	1.52	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36005	アスファルトフィニツシャ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	22.00	
③		ASフィニツシャ[ホイール型]	排出ガス対策型(第2次) 舗装幅1.4～3.0m	供用日	1.75	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36006	アスファルトフィニツシャ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	62.00	
③		ASフィニツシャ[ホイール型]	排出ガス対策型(第2次) 舗装幅2.4～6.0m	供用日	1.75	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36007	アスファルトフィニッシャ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	21.00	
③		ASフィニッシャ[クローラ型]	舗装幅1.4～3.0m	供用日	1.75	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36008	アスファルトフィニッシャ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	35.00	
③		ASフィニッシャ[ホイール型]	舗装幅2.0～4.5m	供用日	1.75	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36009	ロードローラ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	35.00	
③		ロードローラ[マカダム・排ガス 対策型(第1次)]	質量10～12t	供用日	1.63	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36010	タイヤローラ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	41.00	
③		タイヤローラ[普通型・排ガス 対策型(第1次)]	質量8～20t	供用日	1.78	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36011	振動ローラ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	15.00	
③		振動ローラ(搭乗式コンパインド型)	3～4t	供用日	1.50	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36012	ダンプトラック2t積級運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	27.00	
③		ダンプトラック[オンロード・ディセル]	2t積級	供用日	1.29	
④		タイヤ損耗費	2t 良好	供用日	1.29	
⑤		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36013	アスファルトフィニッシャ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	21.00	
③		ASフィニッシャ[クローラ型]	舗装幅1.4～3.0m	供用日	1.75	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36014	振動ローラ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊作業員		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	3.00	
③		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイト式]	質量0. 5～0. 6t	供用日	1.44	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36015	振動ローラ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	15.00	
③		振動ローラ(搭乗式コンパイン ト型)	排出ガス対策型(第1次) 質量3～4t	供用日	1.50	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36016	振動コンパクト運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊作業員		人	1.00	
②		ガソリン	レギュラー	L	4.00	
③		振動コンパクト[前進型]	質量40～60kg	供用日	1.40	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36017	振動ローラ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊作業員		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	2.00	
③		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイト式]	質量0. 5～0. 6t	供用日	1.23	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36018	振動コンパクタ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊作業員		人	1.00	
②		ガソリン	レギュラー	L	3.00	
③		振動コンパクタ[前進型]	質量40～60kg	供用日	1.40	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36019	小型バックホウ運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		特殊運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	22.00	
③		小型バックホウ	[クローラ型]山積0.11m3(平積0.08)	供用日	1.80	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36020	トラック2t積運転	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	21.00	
③		トラック[普通型]	2t積	供用日	1.00	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D36021	トラック運転 2t積	1日当り	構造図	R2.10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		一般運転手		人	1.00	
②		軽油	1. 2号	L	26.00	
③		トラック[普通型]	2t積	供用日	1.25	
④		諸雑費(まるめ)				

4. 歩掛表

5. 根拠

名古屋市版施工単価内訳表

D40017	無機性汚泥処理費	1t当り	構造図	H23.4.3改定

1. 適用条件

- ・ 無機性汚泥処理費(産業廃棄物)に適用する。
- ・ 処理費を計上する場合はDコードを使用すること(処分費等の対象として間接費区分を設定してある)。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		無機性汚泥処理費	産業廃棄物	t	1	処分費等の対象

4. 歩掛表

5. 根拠 技術指導課

名古屋市版施工単価内訳表

D42323	濁水運搬 (舗装版切断工)	100m当り	構造図	H26.10改定

1. 適用条件

・ 舗装版切断工においてコンクリートカッタ(バキューム式)により回収した濁水(汚泥)の運搬に適用する。

2. 条件表

A 舗装版種別	A1	アスファルト舗装版
	A2	コンクリート舗装版
	A3	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版
B 舗装版厚	B1	10cm以下
	B2	10cmを超え20cm以下
	B3	20cmを超え30cm以下
	B4	30cmを超え40cm以下
C Co+As舗装版によるCo舗装版厚	C1	20cm以下
	C2	20cmを超え30cm以下
	C3	30cmを超え35cm以下
D Co+As(カバー)舗装版の全体厚	D1	10cm以下
	D2	10cmを超え20cm以下
	D3	20cmを超え30cm以下
	D4	30cmを超え40cm以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ダンプトラック[オンロード・ディーゼ ル]	2t積級	時間	V1	表3-1
②		側溝清掃車[ロータリプロ式]	ホッパ容量 4.5～5.0m3	時間	V2	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		ダンプトラック[オンロード・ディーゼ ル]	0	1	1	0	1	0	1	1	0
②		側溝清掃車[ロータリプロ式]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1				A2			
		B条件	B1	B2	B3	B4	B1	B2	B3	B4
①	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	V1	0.45	0.45	0.71	0.71	0.59	0.59	1.43	2.50
②	側溝清掃車[ロータリフロア式]	V2	0.10	0.16	0.22	0.28	0.10	0.16	0.22	0.28

	名称	A条件	A3							
		C条件	C1				C2		C3	
		D条件	D1	D2	D3	D4	D3	D4	D4	
①	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	V1	0.59	0.59	0.59	0.59	1.43	1.43	2.50	
②	側溝清掃車[ロータリフロア式]	V2	0.10	0.16	0.22	0.28	0.22	0.28	0.28	

5. 根拠
技術指導課

名古屋市版施工単価内訳表

D42324	濁水処理費 (舗装版切断工)	100m当り	構造図	H23.4.3改定

1. 適用条件

- ・ 舗装版切断工においてコンクリートカッタ(バキューム式)により回収した濁水(汚泥)の処理費に適用する。
- ・ 舗装版切断延長当たりの単価である。
- ・ 運搬は別途計上する。

2. 条件表

A 舗装版厚	A1	10cm以下
	A2	10cmを超え20cm以下
	A3	20cmを超え30cm以下
	A4	30cmを超え40cm以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D00017	無機性汚泥処理費	産業廃棄物	t	V1	処分費等の対象

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	無機性汚泥処理費	V1	0.24	0.38	0.52	0.66

5. 根拠 技術指導課

名古屋市版施工単価内訳表

D 5 1 1 0 1	多角点設置（真鍮鋳）	10 本当り		R05.10 改定

1. 適用条件

・多角点設置：真鍮鋳（刻印有）をコンクリート構造物（エプロン等）に設置する作業に適用

2. 単価表

	コード	名称	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
①		金属鋳	基準点用（刻印）10×30×60 mm黄銅製	本	10.0	
②		機械経費		%	4.5	材料費に対する割合

3. 根拠

道路建設課（用地測量係 歩掛）

機械経費については、設計業務等標準積算基準書 1 1 - 1 （7 - 1 - 4 - 4） 用地境界杭設置に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D53101	道路台帳平面図補正	1ha当り	構造図	H27.10改定

1. 適用条件

- ・ 新設道路部分の現地測量を行い、既存の道路台帳平面図に書き加える。
- ・ 道路台帳現況調査により収集した内容等を平面図に記載する。
- ・ 路線対照図、多角中心線網図、区域標座標測量図を修正する。

2. 条件表

A 地域	A1	大市街地
	A2	市街地(甲)
	A3	市街地(乙)
	A4	都市近郊
	A5	耕地
	A6	原野
	A7	森林
B 地形	B1	平地
	B2	丘陵地
	B3	低山地
	B4	高山地

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$0.3 \times (1+V1)$	
②		測量技師		人	$3.0 \times (1+V1)$	
③		測量技師補		人	$3.2 \times (1+V1)$	
④		測量助手		人	$3.1 \times (1+V1)$	
⑤		測量補助員		人	$0.9 \times (1+V1)$	
⑥		機械経費		%	5.3	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	2.8	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

V1=(変化率)

変化率

5. 根拠

道路利活用課

縮尺		1/500			
地域	地形	平 地	丘陵地	低山地	高山地
	大市街地	+0.8	—	—	—
	市街地(甲)	+0.7	—	—	—
	〃 (乙)	+0.5	+0.8	—	—
	都市近郊	+0.2	+0.5	—	—
	耕 地	0.0	+0.2	+0.5	—
	原 野	+0.1	+0.3	+0.7	+1.0
	森 林	—	+0.4	+1.4	+1.7

名古屋市版施工単価内訳表

D53102	道路台帳平面図修正	1ha 当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

・ 既存の道路台帳平面図を使用し、道路工事等により道路形状が変化した箇所の修正を行う。

2. 条件表

A 地域	A1	大市街地
	A2	市街地(甲)
	A3	市街地(乙)
	A4	都市近郊
	A5	耕地
	A6	原野
	A7	森林
B 地形	B1	平地
	B2	丘陵地
	B3	低山地
	B4	高山地

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$0.3 \times (1+V1)$	
②		測量技師		人	$1.5 \times (1+V1)$	
③		測量技師補		人	$2.0 \times (1+V1)$	
④		測量助手		人	$1.5 \times (1+V1)$	
⑤		測量補助員		人	$0.7 \times (1+V1)$	
⑥		機械経費		%	4.7	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

V1=(変化率)

変化率

縮尺		1/500			
地域	地形	平 地	丘陵地	低山地	高山地
	大市街地	+0.8	—	—	—
	市街地(甲)	+0.7	—	—	—
	〃 (乙)	+0.5	+0.8	—	—
	都市近郊	+0.2	+0.5	—	—
	耕 地	0.0	+0.2	+0.5	—
	原 野	+0.1	+0.3	+0.7	+1.0
	森 林	—	+0.4	+1.4	+1.7

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D53201	公園見取図作成	10組当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

- ・ 公園平面図を縮小して公園見取図として作成する。
- ・ B4のサイズでポリエステルフィルムの原稿を作成し、上質紙の複写を4部作成して1組とする。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	0.1	
②		測量技師		人	1.5	
③		測量技師補		人	2.1	
④		測量助手		人	2.0	
⑤		測量補助員		人	0.6	
⑥		機械経費		%	2.8	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	1.0	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D53202	公園台帳平面図作成	10 公園当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

・ 現地測量の成果に公園水準測量、公園内施設調査に関する成果を記載する。

2. 条件表

			(係数)
A 面積	A1	1.5ha 未満	V1=1.0
	A2	1.5ha 以上	V1=1.4

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	0.5×V1	
②		測量技師		人	5.2×V1	
③		測量技師補		人	8.1×V1	
④		測量助手		人	4.0×V1	
⑤		測量補助員		人	0.8×V1	
⑥		機械経費		%	3.1	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	0.7	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	2.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D53203	道路台帳平面図補正 (公園台帳)	0.1km2当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

- 道路台帳平面図をスキャナーで読み取り、経年変化による図面の補正を行う。

2. 条件表

A 地域	A1	大市街地
	A2	市街地(甲)
	A3	市街地(乙)
	A4	都市近郊
	A5	耕地
	A6	原野
	A7	森林
B 地形	B1	平地
	B2	丘陵地
	B3	低山地
	B4	高山地

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$0.6 \times (1+V1)$	
②		測量技師		人	$2.7 \times (1+V1)$	
③		測量技師補		人	$4.1 \times (1+V1)$	
④		測量助手		人	$3.6 \times (1+V1)$	
⑤		測量補助員		人	$1.3 \times (1+V1)$	
⑥		機械経費		%	3.9	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

V1=(変化率)

変化率

5. 根拠

道路利活用課

縮尺 地形 地域	1/500			
	平 地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.8	—	—	—
市街地(甲)	+0.7	—	—	—
〃 (乙)	+0.5	+0.8	—	—
都市近郊	+0.2	+0.5	—	—
耕 地	0.0	+0.2	+0.5	—
原 野	+0.1	+0.3	+0.7	+1.0
森 林	—	+0.4	+1.4	+1.7

名古屋市版施工単価内訳表

D53301	河川座標・多角網図作成	1ha当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

- ・ 準拠点測量等で座標化された境界点成果を使用し、河川の面積、標間距離を算出し図化する。
- ・ 基準点測量の多角網図に成果の角度、距離及び余白部分に多角点の座標一覧表を記載する。

2. 条件表

A 適用	A1	河川台帳座標測量図
	A2	河川台帳多角網図

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		測量補助員		人	V4	
⑤		機械経費		%	V5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	V6	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	測量技師	V1	0.5	0.6
②	測量技師補	V2	0.5	1.0
③	測量助手	V3	0.2	0.8
④	測量補助員	V4	—	0.2
⑤	機械経費	V5	2.0	2.0
⑥	材料費	V6	2.0	2.5

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D53302	河川現況台帳平面図作成	1km当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

- ・ 現地測量成果を使用して、下部に河川縦断図をあわせて記載する。

2. 条件表

A 測量幅	A1	測量幅25m未満
	A2	測量幅25m以上

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V1	
②		測量技師		人	V2	
③		測量技師補		人	V3	
④		測量助手		人	V4	
⑤		測量補助員		人	V5	
⑥		機械経費		%	V6	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	V7	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	V8	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	測量主任技師	V1	0.4	0.4
②	測量技師	V2	1.6	2.2
③	測量技師補	V3	3.0	5.0
④	測量助手	V4	3.0	5.0
⑤	測量補助員	V5	1.2	1.2
⑥	機械経費	V6	3.7	3.7
⑦	通信運搬費等	V7	0.9	0.9
⑧	材料費	V8	2.6	2.6

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D53303	河川施設平面図作成	1ha 当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

- 河川現況台帳平面図を基に管理施設の位置を記入する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.5	
②		測量技師補		人	1.0	
③		測量助手		人	1.0	
④		測量補助員		人	0.3	
⑤		機械経費		%	2.8	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	0.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	2.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D53304	河川管理施設構造図	100枚当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

・ 管理施設の構造図を作成する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	0.8	
②		測量技師		人	5.0	
③		測量技師補		人	8.8	
④		測量助手		人	6.3	
⑤		測量補助員		人	1.3	
⑥		機械経費		%	3.5	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	0.9	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	2.8	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D53305	起終点杭設置工	10本当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

・ 河川の起点、終点の左岸、右岸に設置する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	0.4	
②		測量技師		人	1.5	
③		測量技師補		人	4.7	
④		測量助手		人	4.5	
⑤		測量補助員		人	5.0	
⑥		機械経費		%	4.8	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	3.3	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	50.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54001	引照作業 (1)	10点当り	構造図	R4.10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の引照作業に使用する。 ・ 多角点・方位標（構造物設置）・道路台帳基準点・地籍図根三角点・地籍図根多角点・細部図根点・都市部官民境界基本細部点の引照作業に適用する。 ・ 引照方法は、一直線二方向測定の方法を原則とする。 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.2	
②		測量技師補		人	1.5	
③		測量助手		人	1.4	
④		測量補助員		人	0.8	
⑤		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54002	引照作業 (2)	10点当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の引照作業に使用する。 ・ 街区三角点・街区多角点・街区三角点節点・街区多角点節点・都市部官民境界基本多角点・図根多角点（測量法・国土調査法）・その他の測量標（2級～4級基準点）・用地測量標に適用する。 ・ 引照方法は、一直線二方向測定の方法を原則とし、本点と引照点3点以上と高低差測定を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1. 2	
②		測量技師補		人	2. 1	
③		測量助手		人	1. 3	
④		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	4. 5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54003	引照作業 (3)	10点当り	構造図	H27.10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の引照作業に使用する。 ・ 水準点に適用する。 ・ 工事区域外に3点の引照点を設置し、高低差測定を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.2	
②		測量技師補		人	1.5	
③		測量助手		人	1.4	
④		測量補助員		人	0.8	
⑤		機械経費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	2.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54004	引照作業（４）	１０点当り	構造図	H26.5.1

1. 適用条件

・ 測量標等の引照作業に使用する。 ・ 多角水準点の引照作業に適用する。 ・ 多角の引照方法は、一直線二方向測定の方法を原則とする。 ・ 水準の引照方法は、工事区域外に３点の引照点を設置し、高低差測定を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.9	
②		測量技師補		人	3.0	
③		測量助手		人	2.0	
④		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54005	復元作業 (1)	10点当り	構造図	R4.10改定

1. 適用条件

- ・ 測量標等の復元作業に使用する。
- ・ 地籍図根三角点・地籍図根多角点・細部図根点・都市部官民境界基本細部点の復元作業に適用する。
- ・ 工事完了後、貸与する引照成果に基づき一直線二方向測定の方法により復元作業を行う。
- ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.2	
②		測量技師補		人	1.8	
③		測量助手		人	1.0	
④		測量補助員		人	1.2	
⑤		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54006	復元作業 (2)	10点当り	構造図	R4.10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の復元作業に使用する。 ・ 街区三角点・街区多角点・街区三角点節点・街区多角点節点・都市部官民境界基本多角点・図根多角点（測量法・国土調査法）・その他の測量標（2級～4級基準点）・用地測量標の復元作業に適用する。 ・ 工事完了後、貸与する引照成果に基づき一直線二方向測定の方法により復元作業を行い、復元点と引照点との高低差測定を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.8	
②		測量技師補		人	2.0	
③		測量助手		人	1.2	
④		測量補助員		人	1.2	
⑤		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54007	残存確認作業 (1)	10点当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の残存確認作業に使用する。 ・ 多角点・方位標（構造物設置）・道路台帳基準点・地籍図根三角点・地籍図根多角点・細部図根点・都市部官民境界基本細部点の残存確認作業に適用する。 ・ 工事完了後、貸与する引照成果に基づき、一直線二方向測定の方法により残存確認作業を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.6	
②		測量技師補		人	0.9	
③		測量助手		人	0.7	
④		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54008	残存確認作業（２）	１０点当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の残存確認作業に使用する。 ・ 街区三角点・街区多角点・街区三角点節点・街区多角点節点・都市部官民境界基本多角点・図根多角点（測量法・国土調査法）・その他の測量標（２級～４級基準点）・用地測量標の残存確認作業に適用する。 ・ 工事完了後、貸与する引照成果に基づき一直線二方向測定及び高低差測定方法により残存確認作業を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.6	
②		測量技師補		人	1.0	
③		測量助手		人	0.8	
④		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54009	残存確認作業 (3)	10点当り	構造図	H26.5.1

1. 適用条件

・ 測量標等の残存確認作業に使用する。 ・ 水準点に適用する。 ・ 工事完了後、貸与する引照成果に基づき、水準測定の方法により残存確認作業を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.6	
②		測量技師補		人	1.8	
③		測量助手		人	0.2	
④		機械経費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	2.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54010	残存確認作業（４）	１０点当り	構造図	H26.5.1

1. 適用条件

・ 測量標等の残存確認作業に使用する。 ・ 多角水準点の残存確認作業に適用する。 ・ 工事完了後、貸与する引照成果に基づき、一直線二方向測定及び水準測定の方法により残存確認作業を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.1	
②		測量技師補		人	1.5	
③		測量助手		人	1.1	
④		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54011	引照・復元作業（１）	１０点当り	構造図	R4.10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の引照・復元作業に使用する。 ・ 地籍図根三角点・地籍図根多角点・細部図根点・都市部官民境界基本細部点に適用する。 ・ 引照方法は、一直線二方向測定の方法を原則とする。 ・ 復元方法は、引照成果に基づき復元する。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.4	
②		測量技師補		人	3.3	
③		測量助手		人	2.4	
④		測量補助員		人	0.8	
⑤		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54012	引照・復元作業（２）	１０点当り	構造図	R4.10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の引照・復元作業に使用する。 ・ 街区三角点・街区多角点・街区三角点節点・街区多角点節点・都市部官民境界基本多角点・図根多角点（測量法・国土調査法）・その他の測量標（２級～４級基準点）・用地測量標に適用する。 ・ 引照方法は、一直線二方向測定の方法とし、本点と引照点３点以上と高低差測定を行う。 ・ 復元方法は、引照成果に基づき復元し、復元点と引照点３点以上と高低差測定を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	2.0	
②		測量技師補		人	4.1	
③		測量助手		人	2.5	
④		測量補助員		人	1.2	
⑤		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54013	引照・残存確認作業（１）	１０点当り	構造図	R4.10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の引照・残存確認作業に使用する。 ・ 多角点・方位標（構造物設置）・道路台帳基準点・地籍図根三角点・地籍図根多角点・細部図根点・都市部官民境界基本細部点の引照・残存確認作業に適用する。 ・ 引照方法は、一直線に方向測定の方法を原則とする。 ・ 工事完了後、引照成果に基づき、残存確認作業を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.8	
②		測量技師補		人	2.4	
③		測量助手		人	2.1	
④		測量補助員		人	0.8	
⑤		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54014	引照・残存確認作業（２）	１０点当り	構造図	R4. 10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の引照・残存確認作業に使用する。 ・ 街区三角点・街区多角点・街区三角点節点・街区多角点節点・都市部官民境界基本多角点・図根多角点（測量法・国土調査法）・その他の測量標（２級～４級基準点）・用地測量標の引照・残存確認作業に適用する。 ・ 引照方法は、一直線二方向測定の方法とし、本点と引照点３点以上と高低差測定を行う。 ・ 復元方法は、引照成果に基づき復元し、復元点と引照点３点以上と高低差測定を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	1.8	
②		測量技師補		人	3.1	
③		測量助手		人	2.1	
④		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54015	引照・残存確認作業（３）	１０点当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

・ 測量標等の引照・残存確認作業に使用する。 ・ 水準点に適用する。 ・ 工事区域外に３点の引照点を設置し、高低差測定を行う。 ・ 工事完了後、残存確認作業を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.8	
②		測量技師補		人	3.3	
③		測量助手		人	1.6	
④		測量補助員		人	0.8	
⑤		機械経費		%	2.5	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	1.5	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	2.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54016	引照・残存確認作業（４）	１０点当り	構造図	H26.5.1

1. 適用条件

・ 測量標等の残存確認作業に使用する。 ・ 多角水準点に適用する。 ・ 多角の引照点は、一直線二方向測定の方法を原則とする。 ・ 水準点の引照点は、工事区域外に３点の引照点を設置し、高低差測定を行う。 ・ 工事完了後、残存確認作業を行う。 ・ 観測制限は、名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱による。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	3.0	
②		測量技師補		人	4.5	
③		測量助手		人	3.1	
④		機械経費		%	3	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D54019	打合せ協議（効用の確認）	1 業務当り	構造図	H26.5.1

1. 適用条件

・ 名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱に基づく測量標等の効用の確認に使用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	0.1	
②		測量技師		人	0.1	

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D 54020	打合せ協議（復旧測量）	1 業務当り	構造図	R 4. 1 0 改定

1. 適用条件

・ 名古屋市緑政土木局測量標等保全要綱基づく測量標等の復旧測量等に使用する。

2. 条件表

A 測量標の種類	A 1	多角点、水準点、多角水準点、道路台帳基準点
	A 2	その他（多角点、水準点、多角水準点、道路台帳基準点、 以外）

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V 1	
②		測量技師		人	V 2	
③		測量技師補		人	V 3	

4. 歩掛表

	名称	A 条件	A 1	A 2
①	測量主任技師	V 1	1. 5	1. 0
②	測量技師	V 2	1. 0	1. 0
③	測量技師補	V 3	0. 5	-

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D 5 9 1 7 9	用地実測図作成	10,000 ㎡当り		R05.10 改定

1. 適用条件

・用地実測図作成作業に適用

2. 条件表

A 縮尺	A 1	1 / 2 5 0
	A 2	1 / 5 0 0
Y 精度管理係数	Y 1	標準（7 %）
	Y 2	標準以外
Z 0 ≤ 精度管理係数 ≤ 0.99		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
①		測量技師		人	V 1	表 4 - 1
②		測量技師補		人	V 2	表 4 - 1
③		測量助手		人	V 3	表 4 - 1
④		材料費		%	0.0	直接人件費に対する割合
⑤		精度管理費		%	V 4	表 4 - 2

※（精度管理費）＝〔（人件費等）＋（機械経費）〕×〔精度管理係数〕

4 - 1. 歩掛表

	名称	A 条件	A 1		A 2	
①	測量技師	V 1	1.3	×	1.2	1.3
②	測量技師補	V 2	1.7	×	1.2	1.7
③	測量助手	V 3	1.7	×	1.2	1.7

4 - 2. 精度管理費

	名称	Y 条件	Y 1	Y 2
⑤	精度管理費	V 4	7	Z × 1 0 0

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 7 - 1 - 7 用地実測図原図の作成

材料費については、設計業務等標準積算基準書 1 2 - 1（7 - 1 - 7 - 1）用地実測図原図作成に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D 5 9 1 8 1	現況・用地平面図作成	10,000 ㎡当り		R05.10 改定

1. 適用条件

・現況平面図及び用地平面図作成に適用

2. 条件表

A 縮尺	A 1	1 / 2 5 0
	A 2	1 / 5 0 0
Y 精度管理係数	Y 1	標準（7 %）
	Y 2	標準以外
Z 0 ≤ 精度管理係数 ≤ 0.99		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
①		測量技師		人	V 1	表 4 - 1
②		測量技師補		人	V 2	表 4 - 1
③		測量助手		人	V 3	表 4 - 1
④		材料費		%	0.5	直接人件費に対する割合
⑤		精度管理費		%	V 4	表 4 - 2

※（精度管理費）＝〔（人件費等）＋（機械経費）〕×〔精度管理係数〕

4 - 1. 歩掛表

	名称	A 条件	A 1			A 2		
①	測量技師	V 1	0.5	×	1.2	0.5	×	1.0
②	測量技師補	V 2	0.9	×	1.2	0.9	×	1.0
③	測量助手	V 3	0.9	×	1.2	0.9	×	1.0

4 - 2. 精度管理費

	名称	Y 条件	Y 1	Y 2
⑤	精度管理費	V 4	7	Z × 1 0 0

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 7 - 1 - 7 用地平面図作成

材料費については、設計業務等標準積算基準書 1 2 - 1（7 - 1 - 7 - 3）用地平面図作成に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D 5 9 2 4 2	多角点設置 (Co 杭＋真鍮鋳)	10 本当り		R05.10 改定

1. 適用条件

・多角点設置：C0 杭（C タイプ）＋真鍮鋳（刻印有）を設置する作業に適用

2. 単価表

	コード	名称	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
①		測量技師補		人	1.7	
②		測量助手		人	1.7	
③		測量補助員		人	1.2	
④		機械経費		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	23.0	直接人件費に対する割合

材料費の杭は 9 cm×9 cm 60 cm を、真鍮鋳は刻印有を標準とする。

3. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量 7－1－4 用地境界杭設置
 器械経費については、設計業務等標準積算基準書 1 2－1（7－1－4－4）用地境界杭設置に準拠

名古屋市版施工単価内訳表

D 5 9 2 4 4	コンクリート杭設置	10 本当り		R05. 10 改定

1. 適用条件

・用地幅杭設置測量及び用地境界仮杭設置で設置した位置と同位置にコンクリート杭（C・Dタイプ）に置き換える作業に適用

2. 条件表

A 材料	A 1	Cタイプ（90×90×600）
	A 2	Dタイプ（75×75×600）

3. 単価表

	コード	名称	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
①		測量技師補		人	1.7	
②		測量助手		人	1.7	
③		測量補助員		人	1.2	
④		機械経費		%	4.5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	V 1	直接人件費に対する割合

材料費の杭はCタイプ：9 cm×9 cm 60 cm又はDタイプ：7.5 cm×7.5 cm×60 cmを標準とする。

4. 歩掛表

名称	A 条件	A 1	A 2
材料費	V 1	12.0	10.4

5. 根拠

設計業務等標準積算基準書 用地測量 7-1-4 用地境界杭設置
 器械経費については、設計業務等標準積算基準書 12-1（7-1-4-4）用地境界杭設置に準拠

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D59246	区域標保全(道路台帳)	24点当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

- ・ 道路台帳測量での作業に適用する。
- ・ 引照は区域標引照点設置図、復元は区域標復元比較図作成を含む。

2. 条件表

A 適用	A1	引照
	A2	引照・復元

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師			V01	雑器材損料
②		測量技師補			V02	雑器材損料
③		測量助手			V03	雑器材損料
④		測量補助員			V04	雑器材損料
⑤		セオドライト損料	3級		V05	雑器材損料
⑥	D09293	ライトバン運転費			V06	雑器材損料
⑦		雑器材損料			0.5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤	D09293	ライトバン運転費	1								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	測量技師	V01	1. 25	2. 50
②	測量技師補	V02	1. 25	2. 50
③	測量助手	V03	1. 25	2. 50
④	測量補助員	V04	1. 00	2. 00
⑤	セオドライト損料	V05	1. 00	2. 00
⑥	ライトバン運転費	V06	1. 00	2. 00

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59253	補点測量	50点当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・ 適用範囲は、補点測量に適用する。
- ・ 機械経費は、座標展開機・光波測距儀・雑器材の費用である。
- ・ 通信運搬費等は、ライトバン等の費用である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	2.34	
②		測量技師補		人	2.34	
③		測量助手		人	2.34	
④		機械経費		%	5	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	2	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59257	道路台帳座標測量図	50ha当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

・ 道路台帳測量の成果図作成に適用。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	0.2	
②		測量技師		人	2.0	
③		測量技師補		人	3.2	
④		測量助手		人	2.8	
⑤		測量補助員		人	1.0	
⑥		機械経費		%	1.9	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	0.1	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	2.6	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59261	道路台帳現況調査	1km当り	構造図	H24.5.1改定

1. 適用条件

- ・ 道路構造物、道路の付属物、道路占用等の調査を行うとともに道路横断面の測距を行う。
- ・ 道路横断面の測距は、交差点、曲折点、路線認定の起終点位置、路線種別の変化する箇所、車道幅員が0.5m以上変化する箇所について実測する。

2. 条件表

			(係数)
A 地域	A1	A・B地域	V1=1.0
	A2	C地域	V1=1.2
	A3	D地域	V1=1.5

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$0.3 \times V1$	
②		測量技師		人	$1.2 \times V1$	
③		測量技師補		人	$2.0 \times V1$	
④		測量助手		人	$1.0 \times V1$	
⑤		機械経費		%	3.7	直接人件費に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	1.0	直接人件費に対する割合
⑦		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59276	成果図作成(道路台帳)	50ha 当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

道路台帳平面図を作成する。
道路台帳平面図(既製図面)
道路区域標、道路区域線、街角剪除、区域標間距離、曲線データ、道路中心線、道路横断面図、縦断勾配等仕上げ一式。
道路台帳平面図(新規図面)
メッシュ図郭、メッシュ座標値、経度、緯度、町名界、道路区域標、道路区域線、街角剪除、区域標間距離、曲線データ、道路中心線、道路横断面図、縦断勾配等仕上げ一式。

2. 条件表

A 適用	A1	道路台帳平面図(既製図面)
	A2	既製図面・交差部標高図
	A3	道路台帳平面図(新規図面)
	A4	新規図面・路線対照図
	A5	新規図面・交差部標高図
	A6	新規図面・路線対照図・交差部標高図
	A7	既製図面 修正

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	V1	
②		測量技師		人	V2	
③		測量技師補		人	V3	
④		測量助手		人	V4	
⑤		測量補助員		人	V5	
⑥		機械経費		%	V6	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	V7	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	V8	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
①	測量主任技師	V1	0.3	0.5	0.5	0.7	0.7	0.8	0.3
②	測量技師	V2	3.5	4.5	6.9	7.9	7.9	8.9	3.0
③	測量技師補	V3	10.1	11.8	12.0	14.0	13.7	15.7	6.0
④	測量助手	V4	7.6	8.9	10.8	12.1	12.1	13.4	4.5
⑤	測量補助員	V5	4.9	5.4	6.0	6.6	6.5	7.1	5.0
⑥	機械経費	V6	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
⑦	通信運搬費等	V7	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8	—
⑧	材料費	V8	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59278	座標展開図	1km当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・一般の座標展開図作成に適用する。
- ・機械経費は、座標展開機・雑器材の費用である。
- ・材料費は、雑品の費用である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.37	
②		測量技師補		人	1.37	
③		機械経費		%	6	直接人件費に対する割合
④		材料費		%	2	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59281	座標調整計算	100点当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・一般の座標調整計算に適用する。
- ・機械経費は、座標展開機・雑器材の費用である。
- ・材料費は、雑品の費用である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.18	
②		測量技師補		人	1.49	
③		機械経費		%	5	直接人件費に対する割合
④		材料費		%	5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59283	求積図作成	20筆当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・一般の求積図作成に適用する。
- ・機械経費は、座標展開機・雑器材の費用である。
- ・材料費は、雑品の費用である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	0.5	
②		測量助手		人	0.25	
③		機械経費		%	2.5	直接人件費に対する割合
④		材料費		%	1.5	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59286	公図拡大	1ha当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・一般の公図拡大図作成に適用する。
- ・機械経費は、座標展開機・雑器材の費用である。
- ・材料費は、雑品の費用である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師補		人	1	
②		機械経費		%	2	直接人件費に対する割合
③		材料費		%	2	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59351	公園水準測量	6ha当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

- ・ 公園内の傾斜変化点、主要構造物、周囲道水路及び主要施設の高さを観測する。

2. 条件表

			(係数)
A 作業効率	A1	容易	V1=0.7
	A2	普通	V1=1.0
	A3	困難	V1=1.5

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	$0.3 \times V1$	
②		測量技師		人	$1.5 \times V1$	
③		測量技師補		人	$3.0 \times V1$	
④		測量助手		人	$2.0 \times V1$	
⑤		測量補助員		人	$0.9 \times V1$	
⑥		機械経費		%	3.3	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	1.9	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59371	公園内施設調査	10ha 当り	構造図	H27. 10改定

1. 適用条件

- ・ 公園内の主要施設(樹木は含まず)の構造、材質及び地下埋設物等の調査を行う。
- ・ 建築物及び施設調書を作成する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量主任技師		人	0.6	
②		測量技師		人	2.4	
③		測量技師補		人	3.5	
④		測量助手		人	3.0	
⑤		測量補助員		人	0.6	
⑥		機械経費		%	2.8	直接人件費に対する割合
⑦		通信運搬費等		%	2.0	直接人件費に対する割合
⑧		材料費		%	3.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59800	境界調整図作成	1ha当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- 境界杭及び現況筆界(構造物等)を座標化すると共に各筆、街区当りの求積並びに確定図等により境界の割付を行い比較図を作成する。 - 機械経費は、座標展開機・光波測距儀・雑器材の費用である。 - 通信運搬費等は、ライトバン等の費用である。 - 材料費は、木杭・ポリエステル・ガソリン・雑品の費用である。

2. 条件表

A 地域差	A1	大市街地
	A2	市街地
	A3	都市近郊地
	A4	農耕地
B 作業条件	B1	標準
	B2	特殊

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		機械経費		%	5.0	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	2.0	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A2	A3	A4
		B条件	B1	B1	B1	B1	B2	B2	B2
①	測量技師	V1	2.22	2.02	1.81	1.61	2.62	2.36	2.10
②	測量技師補	V2	2.22	2.02	1.81	1.61	2.62	2.36	2.10
③	測量助手	V3	2.22	2.02	1.81	1.61	2.62	2.36	2.10

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59801	区域線測量	1km 当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・道路区域線、水路区域線測量に適用する。
- ・機械経費は、座標展開機・光波測距儀・雑器材の費用である。
- ・通信運搬費等は、ライトバン等の費用である。
- ・材料費は、木杭・ポリエステル・ガソリン・雑品の費用である。

2. 条件表

A 適用	A1	区域線設定A
	A2	区域線復元A
	A3	区域線設定B
	A4	区域線復元B
	A5	区域線設定A、B(曲線)
	A6	区域線復元A、B(曲線)
	A7	中心線設定C
	A8	中心線復元C
	A9	中心線再現C
	A10	中心線設定C(特定)
	A11	中心線復元C(特定)
	A12	中心線再現C(特定)
	A13	中心線設定C(特定曲線)
	A14	中心線復元C(特定曲線)
	A15	中心線再現C(特定曲線)
B 見通し	B1	良好
	B2	不良

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		機械経費		%	5.0	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	2.0	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
		B条件	B1	B1	B1	B1	B1	B1
①	測量技師	V1	2.60	2.35	2.97	2.35	4.99	2.73
②	測量技師補	V2	3.34	2.73	3.84	2.73	5.49	5.61
③	測量助手	V3	2.47	2.35	2.71	2.35	3.74	2.11

	名称	A条件	A7	A8	A9	A10	A11	A12
		B条件	B1	B1	B1	B1	B1	B1
①	測量技師	V1	2.66	1.61	2.60	3.72	3.50	4.01
②	測量技師補	V2	3.14	1.71	3.09	4.33	3.80	4.62
③	測量助手	V3	2.25	1.24	2.25	3.23	2.69	3.59

	名称	A条件	A13	A14	A15	A1	A2	A3
		B条件	B1	B1	B1	B2	B2	B2
①	測量技師	V1	5.00	3.96	4.94	3.90	3.53	4.46
②	測量技師補	V2	5.48	4.20	5.42	5.01	4.10	5.76
③	測量助手	V3	3.73	3.36	3.73	3.71	3.53	4.07

	名称	A条件	A4	A7	A8	A9
		B条件	B2	B2	B2	B2
①	測量技師	V1	3.53	3.99	2.42	3.90
②	測量技師補	V2	4.10	4.71	2.57	4.64
③	測量助手	V3	3.53	3.38	1.86	3.38

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59802	準拠点測量	50点当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・境界確定作業に必要な調査に適用する。
- ・一部境界杭の探索作業を含む。
- ・機械経費は、座標展開機・光波測距儀・雑器材の費用である。
- ・通信運搬費等は、ライトバン等の費用である。
- ・材料費は、木杭・ポリエステル・ガソリン・雑品の費用である。

2. 条件表

A 図化作業	A1	無し
	A2	有り

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		機械経費		%	5.0	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	2.0	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4.0	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	測量技師	V1	0.84	0.90
②	測量技師補	V2	0.84	1.27
③	測量助手	V3	0.84	0.84

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59803	区域線設定図面作成	1km 当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・一般の区域線設定図面作成に適用する。
- ・電子納品成果作成作業を含む。
- ・機械経費は、パソコン・雑器材の費用である。
- ・材料費は、媒体・雑品の費用である。

2. 条件表

A 適用	A1	区域線設定図面作成A(新規)
	A2	区域線設定図面作成B(新規)
	A3	区域線設定図面作成C(新規)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		機械経費		%	5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	測量技師	V1	0.49	0.49	0.49
②	測量技師補	V2	2.48	2.48	2.99
③	測量助手	V3	0.25	0.25	0.25

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59805	現況調査	1件当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・譲与財産境界・道路区域線測量の単価契約に適用する。
- ・通信運搬費等は、ライトバン等の費用である。
- ・材料費は、ガソリン・雑品の費用である。

2. 条件表

A 地域差	A1	A地域
	A2	B地域
	A3	C・D地域 0.3ha未満
	A4	C・D地域 0.3ha以上、0.6ha未満
	A5	C・D地域 0.6ha以上、0.9ha未満
	A6	C・D地域 0.9ha以上、1.2ha未満
	A7	C・D地域 1.2ha以上、1.5ha以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		通信運搬費等		%	2	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
①	測量技師	V1	0.19	0.20	0.22	0.29	0.33	0.38	0.41
②	測量技師補	V2	0.19	0.20	0.22	0.29	0.33	0.38	0.41
③	測量助手	V3	0.19	0.20	0.22	0.29	0.33	0.38	0.41

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59806	境界調査A・B	1件当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・譲与財産境界・道路区域線測量の単価契約に適用する。
- ・A、B地域に適用。
- ・機械経費は、座標展開機・光波測距儀・雑器材の費用である。
- ・通信運搬費等は、ライトバン等の費用である。
- ・材料費は、木杭・ポリエステル・ガソリン・雑品の費用である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	2.37	
②		測量技師補		人	1.25	
③		測量助手		人	1.00	
④		機械経費		%	5	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	2	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59807	境界調査C	1件当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・譲与財産境界・道路区域線測量の単価契約に適用する。
- ・C地域に適用。
- ・電子納品成果作成作業を含む。
- ・機械経費は、座標展開機・光波測距儀・雑器材の費用である。
- ・通信運搬費等は、ライトバン等の費用である。
- ・材料費は、木杭・ポリエステル・ガソリン・雑品の費用である。

2. 条件表

A 適用	A1	境界調査 0.3ha未満
	A2	境界調査 0.3ha以上、0.6ha未満
	A3	境界調査 0.6ha以上、0.9ha未満
	A4	境界調査 0.9ha以上、1.2ha未満
	A5	境界調査 1.2ha以上、1.5ha以下
B 地域差	B1	家屋密度40%未満
	B2	家屋密度40%以上

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		機械経費		%	5	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	2	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A1
		B条件	B1	B1	B1	B1	B1	B2
①	測量技師	V1	2.36	1.86	1.73	2.06	2.35	1.86
②	測量技師補	V2	1.11	2.11	2.86	3.19	3.73	2.11
③	測量助手	V3	0.86	1.24	1.87	1.70	2.37	1.12

	名称	A条件	A2	A3	A4	A5
		B条件	B2	B2	B2	B2
①	測量技師	V1	1.73	2.12	2.35	2.60
②	測量技師補	V2	2.86	3.56	3.61	3.98
③	測量助手	V3	1.87	1.58	2.37	2.62

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59808	境界調査D	1件当たり	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・譲与財産境界・道路区域線測量の単価契約に適用する。
- ・C、D地域に適用。
- ・座標平板作成作業及び電子納品成果作成作業を含む。
- ・機械経費は、座標展開機・光波測距儀・雑器材の費用である。
- ・通信運搬費等は、ライトバン等の費用である。
- ・材料費は、木杭・ポリエステル・ガソリン・雑品の費用である。

2. 条件表

A 適用	A1	境界調査 0.3ha未満
	A2	境界調査 0.3ha以上、0.6ha未満
	A3	境界調査 0.6ha以上、0.9ha未満
	A4	境界調査 0.9ha以上、1.2ha未満
	A5	境界調査 1.2ha以上、1.5ha以下
B 地域差	B1	家屋密度40%未満
	B2	家屋密度40%以上

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		機械経費		%	7	直接人件費に対する割合
⑤		通信運搬費等		%	2	直接人件費に対する割合
⑥		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
		B条件	B1	B1	B1	B1	B1
①	測量技師	V1	2.11	2.36	2.60	3.09	3.35
②	測量技師補	V2	2.98	3.35	3.86	4.47	4.73
③	測量助手	V3	1.49	1.74	2.87	3.36	3.49

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
		B条件	B2	B2	B2	B2	B2
①	測量技師	V1	2.35	2.41	2.72	3.22	3.60
②	測量技師補	V2	3.10	3.71	4.48	5.23	5.73
③	測量助手	V3	1.61	1.80	2.99	3.49	3.74

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59809	共通作業	1件当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

- ・譲与財産境界・道路区域線測量の単価契約に適用する。
- ・電子納品成果作成作業を含む。
- ・機械経費は、座標展開機・光波測距儀・雑器材の費用である。
- ・通信運搬費等は、ライトバン等の費用である。
- ・材料費は、木杭・ポリエステル・ガソリン・雑品の費用である。

2. 条件表

A 適用	A1	資料調査 0.3ha 未満
	A2	資料調査 0.3ha以上0.6ha未満
	A3	資料調査 0.6ha以上0.9ha未満
	A4	資料調査 0.9ha以上1.2ha未満
	A5	資料調査 1.2ha以上1.5ha以下
	A6	平面図作成
	A7	成果図作成
	A8	座標復元(図面あり)
	A9	座標復元(図面なし)
	A10	視準・中心線補鋸
	A11	境界確認(半日)
	A12	境界確認(1日)
	A13	境界杭設置
	A14	境界杭探索

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	V1	
②		測量技師補		人	V2	
③		測量助手		人	V3	
④		測量補助員		人	V4	
⑤		機械経費		%	V5	人件費等に対する割合
⑥		通信運搬費等		%	V6	人件費等に対する割合
⑦		材料費		%	V7	人件費等に対する割合
⑧		コンクリート		m3	V8	表3-1
⑨		型枠		m2	V9	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑧		コンクリート	2	4	41		1		2		
⑨		型枠	1	2							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
①	測量技師	V1	—	—	—	—	—	0.87	1.11
②	測量技師補	V2	0.33	0.99	1.65	2.31	2.97	0.62	1.36
③	測量助手	V3	0.34	1.03	1.72	2.41	3.10	0.62	0.61
④	測量補助員	V4	—	—	—	—	—	—	—
⑤	機械経費	V5	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	5	5
⑥	通信運搬費等	V6	—	—	—	—	—	2	2
⑦	材料費	V7	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	4	4
⑧	コンクリート	V8	—	—	—	—	—	—	—
⑨	型枠	V9	—	—	—	—	—	—	—

	名称	A条件	A8	A9	A10	A11	A12	A13	A14
①	測量技師	V1	1.86	1.86	0.87	0.87	1.75	0.25	0.06
②	測量技師補	V2	3.36	2.36	0.87	0.87	1.75	0.25	0.06
③	測量助手	V3	1.61	1.61	0.87	0.50	1.00	0.18	—
④	測量補助員	V4	—	—	—	—	—	—	0.25
⑤	機械経費	V5	5	5	5	5	5	5	5
⑥	通信運搬費等	V6	2	2	2	2	2	3	2
⑦	材料費	V7	4	4	4	4	4	4	4
⑧	コンクリート	V8	—	—	—	—	—	0.01	—
⑨	型枠	V9	—	—	—	—	—	0.02	—

5. 根拠

道路活用課

名古屋市版施工単価内訳表

D59810	成果図作成	1件当り	構造図	H23.4.1改定

1. 適用条件

- ・譲与財産境界・道路区域線測量の単価契約に適用する。
- ・A、B 地域に適用。
- ・機械経費は、座標展開機・光波測距儀・雑器材の費用である。
- ・材料費は、木杭・ポリエステル・ガソリン・雑品の費用である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		測量技師		人	0.24	
②		測量技師補		人	1.00	
③		測量助手		人	0.42	
④		機械経費		%	5	直接人件費に対する割合
⑤		材料費		%	4	直接人件費に対する割合

4. 歩掛表

5. 根拠

道路利活用課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D70962	導水管雨水樹取付工	100 力所当り	構造図	20191001

1. 適用条件

・ 導水管を既設街渠樹に接続する場合に適用する

2. 条件表

A 取付孔数	A1	1 孔
	A2	2 孔

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート削孔	(ハンマドリル)	孔	V31	
②		硬質塩化ビニル管(一般管)	VP-40	m	V32	
③		特殊作業員		人	V03	
④		普通作業員		人	V04	
⑤						

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	M
①		コンクリート削孔(ハンマドリル)	1									

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	コンクリート削孔	V31	1 × 100	2 × 100
②	VP-40	V32	1 × 12.6	2 × 12.6
③	特殊作業員	V03	2.3	2 × 2.3
④	普通作業員	V04	4.6	2 × 4.6
⑤				

5. 根拠

道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表

D71001	コンクリート(現場打側溝用)	10m3当り	構造図	R01. 10改定

1. 適用条件

- ・ 現場打側溝のコンクリートに適用する。
- ・ 諸雑費は、パイプレタ損料及び電力に関する経費等の費用である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	2.0	
②		特殊作業員		人	2.0	
③		普通作業員		人	6.0	
④		左官		人	4.0	
⑤		生コンクリート	21-8-25(20)高炉	m3	10.6	
⑥		養生工		m3	10	表3-1
⑦		諸雑費		%	4	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		養生工	3	1							

4. 歩掛表

5. 根拠

見積徴収による

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D72101	不陸整正;人力	100m2 当り	構造図	20151019

1. 適用条件

・ 人力で路床を整正する場合に適用する。

2. 条件表

A 転圧機種	A1	振動ローラ
	A2	タンバ
	A3	転圧なし

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	V03	
②	D36004	振動ローラ運転	搭乗式コンバインド型	日	V40	
③	D35006	タンバ運転	60～100kg	日	V41	
④						
⑤						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	普通作業員	V03	100/70×2		
②	振動ローラ	V40	100/270	-	-
③	タンバ	V41	-	100/120	-

※小数第3位四捨五入

5. 根拠

道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D72102	路床転圧	100m2 当り	構造図	20151019

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D35006	タンバ ^ろ 運転	60～100kg	日	V01	100/120

※小数第3位四捨五入

4. 歩掛表

5. 根拠
道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表（特別単価）

D72103	路盤整正；人力	100m2 当り	構造図	R03.04.01 改定

1. 適用条件

- ・ 既設路盤を人力で整正する場合に適用する。
- ・ 施工幅1.4m以上の場合、転圧機械は振動ローラーを適用する。また、1.4m未満の場合はタンパを適用する。
- ・ 補充材を使用した整正厚は10,20,30,40,50mmとする。

2. 条件表

A 補充材料	A1	粒調碎石（M－30）
	A2	粒調碎石（M－40）
	A3	クラッシャーラン（C－30）
	A4	クラッシャーラン（C－40）
	A5	補充材無
B 整正厚	B1	10mm
	B2	20mm
	B3	30mm
	B4	40mm
	B5	50mm
C 締固め方法	C1	振動ローラ
	C2	タンパ

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		粒度調整碎石	M-30	m3	(各種)	A1の場合
②		粒度調整碎石	M-40	m3	(各種)	A2の場合
③		クラッシャーラン	C-30	m3	(各種)	A3の場合
④		クラッシャーラン	C-40	m3	(各種)	A4の場合
⑤	D36004	振動ローラ運転	搭乗式コンバインド型 3～4t	日	V37	
⑥	D35006	タンパ運転	60～100kg	日	V38	
⑦		普通作業員		人	V06	

4. 歩掛表

	名称	B条件	B1	B2
④	振動ローラ運転	V37	100/270	－
⑤	タンパ運転	V38	－	100/120
⑧	普通作業員	V06	100/70×2	

※小数第3位四捨五入

5. 補充材料の種類及び数量

	A条件	コード	名称	規格	B条件				
					B1	B2	B3	B4	B5
①	A1		粒度調整碎石	M-30	1.27	2.54	3.81	5.08	6.35
	A2		粒度調整碎石	M-40	1.27	2.54	3.81	5.08	6.35
	A3		クラッシャーラン	C-30	1.27	2.54	3.81	5.08	6.35
	A4		クラッシャーラン	C-40	1.27	2.54	3.81	5.08	6.35
	A5		—	—	—	—	—	—	—

6. 根拠
道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D72104	路盤；(人力施工、タンパ転圧)	100m2 当り	構造図	R02.04 改定

1. 適用条件

- ・ 車道・歩道・路肩部において、路盤を人力で敷均し、タンパ転圧する場合に適用する。
- ・ 施工幅1.4m未満又は機械施工が困難な場合の路盤施工に適用する。

2. 条件表

A 路盤仕上厚(cm)		入力
B 材料種別	B1	C-40
	B2	RC-40
	B3	M-40
	B4	KC-40 (千種区)
	B5	KC-40 (東 区)
	B6	KC-40 (北 区)
	B7	KC-40 (西 区)
	B8	KC-40 (中村区)
	B9	KC-40 (中 区)
	B10	KC-40 (昭和区)
	B11	KC-40 (瑞穂区)
	B12	KC-40 (熱田区)
	B13	KC-40 (中川区)
	B14	KC-40 (港 区)
	B15	KC-40 (南 区)
	B16	KC-40 (守山区)
	B17	KC-40 (緑 区)
	B18	KC-40 (名東区)
	B19	KC-40 (天白区)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D35006	タンパ運転	60～100kg	日	V01	100/120 × V99
②		普通作業員		人	V02	2 × 100/70 × V99
③		クラッシャーラン	C-40	m3	V03	B1の場合
④		再生クラッシャーラン	RC-40	m3	V03	B2の場合
⑤		粒度調整碎石	M-40	m3	V03	B3の場合
⑥		改良碎石	KC-40 修正 CBR80% 以上 工場渡し	m3	V03	B4の場合
						B5の場合
						B6の場合
						B7の場合

						B8の場合
						B9の場合
						B10の場合
						B11の場合
						B12の場合
						B13の場合
						B14の場合
						B15の場合
						B16の場合
						B17の場合
						B18の場合
						B19の場合

※小数第3位四捨五入

路盤仕上厚 ≤ 15 V99=1
 $15 < \text{路盤仕上厚} \leq 30$ V99=2
 $30 < \text{路盤仕上厚} \leq 45$ V99=3

4. 歩掛表

	名称	A条件	路盤仕上厚 $5 \leq 15$	路盤仕上厚 $16 \leq 30$	路盤仕上厚 $31 \leq 45$
①	タンパ運転	V01	100/120	$100/120 \times 2$	$100/120 \times 3$
②	普通作業員	V02	$2 \times 100/70$	$2 \times 100/70 \times 2$	$2 \times 100/70 \times 3$

	名称	B条件	B1	B2	B3	B4～19
③	クラッシャーラン	V03	$A \times 1.27$	—	—	—
④	再生クラッシャーラン	V03	—	$A \times 1.27$	—	—
⑤	粒度調整碎石	V03	—	—	$A \times 1.27$	—
⑥	改良碎石	V03	—	—	—	$A \times 1.27$

※小数第3位四捨五入

5. 根拠 道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D72736	自発光式交差点中心鉋設置	10カ所当り	構造図	20061001

1. 適用条件

・ 交差点内に自発光式の中心鉋を設置する場合に適用する。 ・ 舗装の切断、破碎、掘削、殻・残土・濁水の運搬、処分を含む。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		自発光式交差点中心鉋	小型(エコノミータイプ)	個	10	諸雑費対象
②		充てん材	アクリル樹脂系	kg	20	諸雑費対象
③		普通作業員		人	4	
④		諸雑費		%	1	

4. 歩掛表

5. 根拠
道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D75551	フィルター層;(1.4m 未満)	100m2 当り	構造図	20151019

1. 適用条件

- ・ 施工幅が1.4m未満の歩道部での透水性アスファルト舗装に適用する。
- ・ 人力で敷均し、タンパで転圧する場合に適用する。

2. 条件表

A フィルター層厚		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	V03	
②		砂	クッション用	m3	V01	
③	D35006	タンパ運転	60～100kg	日	V32	

4. 歩掛表

	名称	条件	
①	普通作業員	V03	100/70×2
②	砂	V01	A/100×100×1.14
③	タンパ運転	V32	100/120

※小数第3位四捨五入

5. 根拠

道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D75601	フィルター層(車道)	100m2 当り	構造図	H27.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 敷均し方法	A1	人力
	A2	ブルドーザー 3t
B 施工幅員	B1	b<1.0
	B2	1.0≤b<2.4
	B3	2.4≤b
C 仕上がり厚	C1	5cm
	C2	10cm
	C3	15cm
	C4	20cm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		砂	クッション用	m3	V05	割増率1.33
②		埋戻し	人力	m3	V34	表3-1
③		路体(築堤)盛土	振動ローラ 0.8-1.1t	m3	V35	表3-1
④		路体(築堤)盛土	ブルドーザー、振動ローラ 3-4t	m3	V36	表3-1
⑥						
⑦						
⑧						

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		埋戻し	6	1	2						
③		路体(築堤)盛土	1								
④		路体(築堤)盛土	2								

4. 歩掛表

	名称		A1											
			B1				B2				B3			
			C1	C2	C3	C4	C1	C2	C3	C4	C1	C2	C3	C4
①	砂	V05	5*1.33	-	-	-	5*1.33	-	-	-	-	-	-	-
②	埋戻し	V34	5.00	-	-	-	5.00	-	-	-	-	-	-	-
③	路体(築堤)盛土	V35	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	路体(築堤)盛土	V36	-	-	-	-	5.00	-	-	-	-	-	-	-

	名称		A2											
			B1				B2				B3			
			C1	C2	C3	C4	C1	C2	C3	C4	C1	C2	C3	C4
①	砂	V05	-	-	-	-	-	-	-	-	10*1.33	15*1.33	20*1.33	
②	埋戻し	V34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③	路体(築堤)盛土	V35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	路体(築堤)盛土	V36	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	15.0	20.0	

5. 根拠 道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79641	道路通行規制措置費	1回 当り	構造図	20151019

1. 適用条件

・ 単価契約用 国道155号及び三階橋アンダーパスの道路通行規制措置に適用する。

2. 条件表

A 作業区分	A1	準備
	A2	規制

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	V01	
②		土木一般世話役		人	V02	
③	D36012	ダンプトラック2t運転		日	V03	
④						
⑤						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	普通作業員	V01	1.0	7.0
②	土木一般世話役	V02	0.25	1.25
③	ダンプトラック2t運転	V03	-	0.5
④				
⑤				

5. 根拠

道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79642	誘導(通行規制措置)	1時間当り	構造図	20110401

1. 適用条件

・ 単価契約用	国道155号及び三階橋アンダーパスの道路通行規制措置に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	0.13	1/8

小数第3位四捨五入

4. 歩掛表

5. 根拠 道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79650	基礎砕石(単契用)	10m3当り	構造図	20111001

1. 適用条件

- ・ 単価契約用「基礎砕石工」に適用する。
- ・ 諸雑費は突き固め機械等の損料及び燃料・油脂の費用である。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		再生クラッシャーラン	RC-40	m3	12	
②		特殊作業員		人	0.3	※
③		普通作業員		人	1.8	※
④		諸雑費		%	3	※対象

4. 歩掛表

5. 根拠 道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79657	防護柵(支柱等)修繕	1か所当り	構造図	20110401

1. 適用条件

・ 損傷等による、ガードレール及びガードパイプの支柱等の修繕に適用する。”

2. 条件表

A 作業区分	A1	ガードレール支柱修繕
	A2	ガードパイプ支柱修繕
	A3	ラバーガード修繕
	A4	車止めポスト修繕
	A5	道路標識修繕

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	V01	
②		諸雑費		%	V02	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5
①	普通作業員	V01	0.39	0.19	0.10	0.30	0.35
②	諸雑費	V02	2.2	2.2	-	2.2	2.2

5. 根拠

道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79660	小工事(単価契約)	1回当り	構造図	20110401

1. 適用条件

- ・ 単価契約用 小工事で、1編成人員による1～4時間程度の作業に適用。
- ・ 小器具及び小仮設材の損料、少量の資材は諸雑費に含む。
- ・ 現道工事、小河川工事及び公園工事に限る。

2. 条件表

A	A1	一般土木工事
	A2	舗装工事
	A3	電気工事
	A4	造園工事
B	B1	1 時間
	B2	2 時間
	B3	3 時間
	B4	4 時間

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V11	
②		特殊作業員		人	V12	
③		普通作業員		人	V13	
④		電工		人	V14	
⑤		造園工		人	V15	
⑥		諸雑費		%	5	
⑦						

3-1. 編成人員

	名称	A1	A2	A3	A4
①	土木一般世話役	1	1	-	-
②	特殊作業員	-	1	-	-
③	普通作業員	2	2	1	1
④	電工	-	-	1	-
⑤	造園工	-	-	-	1

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
②	特殊作業員	V12	-	-	-	-
③	普通作業員	V13	2×1/8	2×2/8	2×3/8	2×4/8
④	電工	V14	-	-	-	-
⑤	造園工	V15	-	-	-	-

※小数第3位四捨五入

	名称	A条件	A2			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
②	特殊作業員	V12	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
③	普通作業員	V13	2×1/8	2×2/8	2×3/8	2×4/8
④	電工	V14	-	-	-	-
⑤	造園工	V15	-	-	-	-

※小数第3位四捨五入

	名称	A条件	A3			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	-	-	-	-
②	特殊作業員	V12	-	-	-	-
③	普通作業員	V13	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
④	電工	V14	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
⑤	造園工	V15	-	-	-	-

※小数第3位四捨五入

	名称	A条件	A4			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	-	-	-	-
②	特殊作業員	V12	-	-	-	-
③	普通作業員	V13	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
④	電工	V14	-	-	-	-
⑤	造園工	V15	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8

※小数第3位四捨五入

5. 根拠 道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79671	路面拵え	100m2 当り	構造図	20151019

1. 適用条件

- ・ 人力施工は舗装外側整正並びに歩道整正にも適用する。
- ・ 機械施工は舗装外側整正にも適用する。路床盛土と下層路盤工と同一工事で行う場合は原則として計上しない。
- ・ 作業スペースが1車線程度のものに適用する。

2. 条件表

A 路面拵え	A1	人力
	A2	グレーダー(3.1m)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	V01	
②	D36001	モータグレーダ運転	ブレード幅3.1m	日	V02	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	普通作業員	V01	2.0	0.14
②	モータグレーダ運転	V02	-	0.06

5. 根拠 道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79672	路面修繕	100m2 当り	構造図	20111001

1. 適用条件

- ・ 単粒度砕石20mm以下(砕石支給・砕石請負持)の路面修繕の工事に適用する。
- ・ 設計条件として、単粒度砕石は100㎡当り3㎡で設定してある。

2. 条件表

A 使用砕石の種類	A1	砕石支給
	A2	砕石請負持

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	2.0	
②		単粒度砕石	5号20－13mm	m3	V31	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
②	単粒度砕石	V31	-	3

5. 根拠

道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79673	砕石敷	100m2 当り	構造図	20151019

1. 適用条件

- ・ 歩道単粒度砕石20mm以下、車道単粒度砕石20～30mm以下、クラッシャーランC-40の敷均し工事に適用する。
- ・ 施工幅1.6m以上に適用する。
- ・ 設計条件として、100㎡当り単粒度砕石20mm以下は4㎡、20～30mmは6㎡、クラッシャーランは6㎡で設定してある。

2. 条件表

A 砕石散布場所	A1	歩道
	A2	車道
B 砕石の種類	B1	単粒度砕石 20mm 以下
	B2	単粒度砕石 20～30mm
	B3	クラッシャーラン C-40

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		単粒度砕石	5号20-13mm	m3	V01	
②		単粒度砕石	4号30-20mm	m3	V02	
③		クラッシャーラン	C-40	m3	V03	
④	D36004	振動ローラ運転	3～4t	日	V04	
⑤		普通作業員		人	V31	
⑥		普通作業員		人	V32	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			A2		
		B条件	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	単粒度砕石	V01	4	-	-	-	-	-
②	単粒度砕石	V02	-	-	-	-	6	-
③	クラッシャーラン C-40	V03	-	-	-	-	-	6
④	振動ローラ	V04	-	-	-	-	0.37	0.37
⑤	普通作業員	V31	1×2	-	-	-	-	-
⑥	普通作業員	V32	-	-	-	-	1×3	1×3

5. 根拠

道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79681	灯具取替	1基当り	構造図	20141001

1. 適用条件

・ 単価契約用 ・ 街路灯の維持修繕に適用 ・ リフト車の移動は、別途計上すること ・

2. 条件表

A 灯具取替の種別	A1	水銀灯 250W 以下
	A2	水銀灯 250-400W 以下
	A3	水銀灯 400-700W 以下
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8～9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	道路用
	C2	公園用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工		人	V01	
②		普通作業員		人	V02	
③		高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	バスケット型 12m×200kg×2名	時間	V12	
④		高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	フ ° ラ ッ ト フ ォ ー ム 型 9.9m×1000kg	時間	V13	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称		A1					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.2	－	0.2	0.2	0.2	0.2
②	普通作業員	V02	0.1	－	0.1	0.1	0.1	0.1
③	高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	V12	$0.2 \times \sqrt{21} \times 1$	－	－	－	－	－
④	高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	V13	－	－	$0.2 \times \sqrt{21} \times 1$	$0.2 \times \sqrt{21} \times 1$	－	－

	名称		A2					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.23	－	0.23	0.23	0.23	0.23
②	普通作業員	V02	0.11	－	0.11	0.11	0.11	0.11
③	高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	V12	$0.23 \times \sqrt{21} \times 1$	－	－	－	－	－
④	高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	V13	－	－	$0.23 \times \sqrt{21} \times 1$	$0.23 \times \sqrt{21} \times 1$	－	－

	名称		A3					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.25	－	0.25	0.25	0.25	0.25
②	普通作業員	V02	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
③	高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	V12	$0.25 \times \sqrt{21} \times 1$	－	－	－	－	－
④	高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	V13	－	－	$0.25 \times \sqrt{21} \times 1$	$0.25 \times \sqrt{21} \times 1$	－	－

$$V21=630/(120 \times 2)$$

5. 根拠 道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79682	管球取替	1個当り	構造図	20141001

1. 適用条件

・ 単価契約用 ・ 街路灯の維持修繕に適用 ・ リフト車の移動は、別途計上すること

2. 条件表

A 管球取替の種別	A1	水銀ランプ 300W 以下
	A2	水銀ランプ 300～700W 以下
	A3	蛍光ランプ 60W 以下
	A4	蛍光ランプ 60～110W 以下
	A5	高圧ナトリウムランプ
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8～9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	道路
	C2	公園

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工		人	V01	
②		普通作業員		人	V02	
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	バスケット型 12m×200kg×2名	時間	V12	
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	プラットフォーム型 9.9m×1000kg	時間	V13	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称		A1					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.09	-	0.09	0.09	-	0.09
②	普通作業員	V02	0.04	-	0.04	0.04	-	0.04
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.09 \times V21 \times 1$	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	-	-	$0.09 \times V21 \times 1$	$0.09 \times V21 \times 1$	-	-

	名称		A2					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.11	-	0.11	0.11	-	0.11
②	普通作業員	V02	0.06	-	0.06	0.06	-	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.11 \times V21 \times 1$	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	-	-	$0.11 \times V21 \times 1$	$0.11 \times V21 \times 1$	-	-

	名称		A3					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	-	-	0.09	0.09	-	0.09
②	普通作業員	V02	-	-	0.04	0.04	-	0.04
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	-	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	-	-	$0.09 \times V21 \times 1$	$0.09 \times V21 \times 1$	-	-

	名称		A4					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	-	-	0.13	0.13	-	0.13
②	普通作業員	V02	-	-	0.06	0.06	-	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	-	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	-	-	$0.13 \times V21 \times 1$	$0.13 \times V21 \times 1$	-	-

	名称		A5					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.09	－	0.09	0.09	－	0.09
②	普通作業員	V02	0.04	－	0.04	0.04	－	0.04
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.09 \times V21 \times 1$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.09 \times V21 \times 1$	$0.09 \times V21 \times 1$	－	－

$$V21=630/(120 \times 2)$$

5. 根拠
道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79683	灯具付属品取替	1 個当り	構造図	20141001

1. 適用条件

・ 単価契約用 ・ 街路灯の維持修繕に適用 ・ リフト車の移動は、別途計上すること

2. 条件表

A 灯具付属品取替の種別	A1	水銀灯グローブ 300W 以下
	A2	水銀灯グローブ 300～400W 以下
	A3	水銀灯グローブ 400～700W 以下
	A4	水銀灯グローブ枠
	A5	水銀灯パッキン
	A6	水銀灯ソケット
	A7	水銀灯灯具部品
	A8	蛍光灯カバー
	A9	蛍光灯ソケット
	A10	蛍光灯灯具部品
	A11	ナトリウム灯カバー
	A12	ナトリウム灯ソケット
	A13	ナトリウム灯灯具部品
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8～9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	道路
	C2	公園

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工		人	V01	
②		普通作業員		人	V02	
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	バスケット型 12m×200kg×2 名	時間	V12	
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	プラットフォーム型 9.9m×1000kg	時間	V13	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.23	－	0.23	0.23	0.23	0.23
②	普通作業員	V02	0.11	－	0.11	0.11	0.11	0.11
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.23 \times 630 / (120 \times 2)$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.23 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－

	名称	A条件	A2					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.25	－	0.25	0.25	0.25	0.25
②	普通作業員	V02	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.25 \times 630 / (120 \times 2)$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.25 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－

	名称	A条件	A3					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.28	－	0.28	0.28	0.28	0.28
②	普通作業員	V02	0.14	－	0.14	0.14	0.14	0.14
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.28 \times 630 / (120 \times 2)$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.28 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－

	名称	A条件	A4					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.25	－	0.25	0.25	0.25	0.25
②	普通作業員	V02	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.25 \times 630 / (120 \times 2)$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.25 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－

	名称	A条件	A5					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
②	普通作業員	V02	0.06	－	0.06	0.06	0.06	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.13 \times 630 / (120 \times 2)$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.13 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－

	名称	A条件	A6					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.20	－	0.20	0.20	0.20	0.20
②	普通作業員	V02	0.10	－	0.10	0.10	0.10	0.10
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.20 \times 630 / (120 \times 2)$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.20 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－

	名称	A条件	A7					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.18	－	0.18	0.18	0.18	0.18
②	普通作業員	V02	0.09	－	0.09	0.09	0.09	0.09
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.18 \times 630 / (120 \times 2)$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.18 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－

	名称	A条件	A8					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.18	-	0.18	0.18	0.18	0.18
②	普通作業員	V02	0.09	-	0.09	0.09	0.09	0.09
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.18 \times 630 / (120 \times 2)$	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	-	-	$0.18 \times 630 / (120 \times 2)$		-	-

	名称	A条件	A9					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.18	-	0.18	0.18	0.18	0.18
②	普通作業員	V02	0.09	-	0.09	0.09	0.09	0.09
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.18 \times 630 / (120 \times 2)$	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	-	-	$0.18 \times 630 / (120 \times 2)$		-	-

	名称	A条件	A10					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.18	-	0.18	0.18	0.18	0.18
②	普通作業員	V02	0.09	-	0.09	0.09	0.09	0.09
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.18 \times 630 / (120 \times 2)$	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	-	-	$0.18 \times 630 / (120 \times 2)$		-	-

	名称	A条件	A11					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	-	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	-	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.15 \times 630 / (120 \times 2)$	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	-	-	$0.15 \times 630 / (120 \times 2)$		-	-

	名称	A条件	A12					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	－	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	－	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.15 \times 630 / (120 \times 2)$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.15 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－

	名称	A条件	A13					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	－	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	－	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.15 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.15 \times 630 / (120 \times 2)$		－	－

5. 根拠
道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79684	安定器取替	1個当り	構造図	20141001

1. 適用条件

・ 単価契約用 ・ 街路灯の維持修繕に適用 ・ リフト車の移動は、別途計上すること

2. 条件表

A 安定器取替の種別	A1	水銀灯 300W 以下 X1
	A2	水銀灯 300-700W 以下 X1
	A3	水銀灯 300W 以下 X2
	A4	水銀灯 300-700W 以下 X2
	A5	蛍光灯 60W 以下
	A6	蛍光灯 60-110W 以下
	A7	ナトリウム灯 55W以下
	A8	ナトリウム灯 55-135W 以下
	A9	ナトリウム灯 135W以上
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8-9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	道路
	C2	公園

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工		人	V01	
②		普通作業員		人	V02	
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	バスケット型 12m×200kg×2名	時間	V12	
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	プラットフォーム型 9.9m×1000kg	時間	V13	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称		A1					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.23	－	0.23	0.23	0.23	0.23
②	普通作業員	V02	0.11	－	0.11	0.11	0.11	0.11
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.23 \times V21 \times 1$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.23 \times V21 \times 1$	$0.23 \times V21 \times 1$	－	－

	名称		A2					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.25	－	0.25	0.25	0.25	0.25
②	普通作業員	V02	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.25 \times V21 \times 1$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.25 \times V21 \times 1$	$0.25 \times V21 \times 1$	－	－

	名称		A3					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.34	－	0.34	0.34	0.34	0.34
②	普通作業員	V02	0.16	－	0.16	0.16	0.16	0.16
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.34 \times V21 \times 1$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.34 \times V21 \times 1$	$0.34 \times V21 \times 1$	－	－

	名称		A4					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.35	－	0.35	0.35	0.35	0.35
②	普通作業員	V02	0.18	－	0.18	0.18	0.18	0.18
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.35 \times V21 \times 1$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.35 \times V21 \times 1$	$0.35 \times V21 \times 1$	－	－

	名称		A5					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
②	普通作業員	V02	0.06	－	0.06	0.06	0.06	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.13× V21× 1	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.13× V21× 1	0.13× V21× 1	－	－

	名称		A6					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	－	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	－	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.15× V21× 1	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.15× V21× 1	0.15× V21× 1	－	－

	名称		A7					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
②	普通作業員	V02	0.06	－	0.06	0.06	0.06	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.13× V21× 1	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.13× V21× 1	0.13× V21× 1	－	－

	名称		A8					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.14	－	0.14	0.14	0.14	0.14
②	普通作業員	V02	0.07	－	0.07	0.07	0.07	0.07
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.14× V21× 1	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.14× V21× 1	0.14× V21× 1	－	－

	名称		A9					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	－	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	－	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	$0.15 \times V21 \times 1$	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	$0.15 \times V21 \times 1$	$0.15 \times V21 \times 1$	－	－

$V21=630/(120 \times 2)$

5. 根拠
道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D79685	自動点滅器取替	1個当り	構造図	20141001

1. 適用条件

・ 単価契約用 ・ 街路灯の維持修繕に適用 ・ リフト車の移動は、別途計上すること

2. 条件表

A 自動点滅器の種別	A1	一般形・分離形
	A2	分離形(本体のみ);プラグイン式
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8-9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	道路
	C2	公園

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工		人	V11	
②		普通作業員		人	V12	
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	バスケット型 12m×200kg×2名	時間	V14	
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	プラットフォーム型 9.9m×1000kg	時間	V15	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称		A1					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V11	0.1×1.0	0.1×1.0	0.1×1.0	0.1×1.0	0.1×1.0	0.1×1.0
②	普通作業員	V12	0.05×1.0	0.05×1.0	0.05×1.0	0.05×1.0	0.05×1.0	0.05×1.0
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V14	$0.1 \times V21 \times 1 \times 1.0$	$0.1 \times V21 \times 1 \times 1.0$	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V15	-	-	$0.1 \times V21 \times 1 \times 1.0$	$0.1 \times V21 \times 1 \times 1.0$	-	-

	名称		A2					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V11	0.1×0.7	0.1×0.7	0.1×0.7	0.1×0.7	0.1×0.7	0.1×0.7
②	普通作業員	V12	0.05×0.7	0.05×0.7	0.05×0.7	0.05×0.7	0.05×0.7	0.05×0.7
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V14	$0.1 \times V21 \times 1 \times 0.7$	$0.1 \times V21 \times 1 \times 1.0$	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V15	-	-	$0.1 \times V21 \times 1 \times 0.7$	$0.1 \times V21 \times 1 \times 1.0$	-	-

$$V21=630/(120 \times 2)$$

5. 根拠 道路維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D80101	人力掘さく(浚渫)	10m3当り	構造図	20061001

1. 適用条件

・ 機械施工ができない箇所の人力掘さく(浚渫)に適用する。 ・ 水替費用は含まれていないので、必要な場合は別途計上する

2. 条件表

A 作業区分	A1	浚渫(水替有)
	A2	浚渫(水替無)
B 土質区分	B1	普通,粘性,砂,砂質,レキ質土
	B2	岩塊・玉石混じり土

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	V01	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1		A2	
			B1	B2	B1	B2
①	普通作業員	V01	4. 2	6. 0	5. 0	7. 2

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D80165	運搬(揚泥車)	10m3当り	構造図	20061001

1. 適用条件

・ 水を含む浚せつ土砂の運搬に適用する。

2. 条件表

A 運搬距離(km)		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08294	側溝清掃車運転		時間	V41	

$$V41 = 10 / \{ (60 \times 5.0 \times 0.9) / (5.3 \times A + 25) \}$$

※小数第3位四捨五入

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤	D08294	側溝清掃車運転	1								

4. 歩掛表

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D80181	浚せつ(排水路・池)	10m3当り	構造図	20061001

1. 適用条件

・ 開渠の排水路及び池・調節池の浚せつ工に適用する。

2. 条件表

A 現場条件	A1	ホース延長 40m 未満
	A2	ホース延長 40 以上 60m 未満
	A3	ホース延長 60 以上 80m 未満
	A4	ホース延長 80 以上 100m 未満
	A5	ホース延長 100 以上 120m 未満
B 作業条件	B1	開渠
	B2	池・調節池

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08292	特殊強力吸引車運転費		時間	V01	
②	D08294	側溝清掃車運転		時間	V01	
③		土木一般世話役		人	V02	
④		特殊作業員		人	V03	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D08292	特殊強力吸引車運転費	2								
②	D08294	側溝清掃車運転	1								

4. 歩掛表

	名称		A1		A2		A3		A4		A5	
			B1	B2	B1	B2	B1	B2	B1	B2	B1	B2
①	特殊強力吸引車運転費	V01	2.3	1.5	2.6	1.6	2.9	1.8	3.3	2.1	3.8	2.4
②	側溝清掃車運転	V01	2.3	1.5	2.6	1.6	2.9	1.8	3.3	2.1	3.8	2.4
③	土木一般世話役	V02	V01/7.9									
④	特殊作業員	V03	(V01/7.9) × 4									

※小数第3位四捨五入

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D80182	浚せつ(管渠)1	10m3 当り	構造図	20061001

1. 適用条件

・ 内径800mm以上の管渠及び内径800mmの函渠の排水路の浚せつ工に適用する。

2. 条件表

A 管渠・函渠	A1	800・900mm
	A2	1000～1200mm
	A3	1350・1500mm
	A4	1650mm
	A5	1800・2000mm
	A6	2200mm以上

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08292	特殊強力吸引車運転費	; 8.0t	時間	V01	
②	D08294	側溝清掃車運転		時間	V01	
③		土木一般世話役		人	V02	
④		特殊作業員		人	V03	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D08292	特殊強力吸引車運転費	2								
②	D08294	側溝清掃車運転	1								

4. 歩掛表

	名称		A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	特殊強力吸引車運転費	V01	4.9	4.1	3.6	3.1	2.8	2.6
②	側溝清掃車運転	V01	4.9	4.1	3.6	3.1	2.8	2.6
③	土木一般世話役	V02	V01/7.9					
④	特殊作業員	V03	(V01/7.9) × 4					

※小数第3位四捨五入

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D80183	浚せつ(管渠)2	10m3当り	構造図	20061001

1. 適用条件

・ 内径300～700mmまでの小・中口径管排水路の浚せつ工に適用する。

2. 条件表

A 管径	A1	300mm
	A2	350mm
	A3	400mm
	A4	450mm
	A5	500mm
	A6	600mm
	A7	700mm
B 堆積量	B1	10%以下
	B2	10%超 20%以下
	B3	20%超 30%以下

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D08293	排水管清掃車運転		時間	V01	
②	D08294	側溝清掃車運転		時間	V01	
③	D08296	散水車運転		時間	V01	
④		土木一般世話役		人	V02	
⑤		特殊作業員		人	V03	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D08293	排水管清掃車運転	1								
②	D08294	側溝清掃車運転	1								
③	D08296	散水車運転	2								

4. 歩掛表

	名称		A1			A2			A3		
			B1	B2	B3	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	排水管清掃車運転	V01	23.1	17.3	13.8	23.1	13.8	11.5	17.3	13.8	9.9
②	側溝清掃車運転	V01	23.1	17.3	13.8	23.1	13.8	11.5	17.3	13.8	9.9
③	散水車運転	V01	23.1	17.3	13.8	23.1	13.8	11.5	17.3	13.8	9.9
④	土木一般世話役	V02	V01/7.9								
⑤	特殊作業員	V03	(V01/7.9) × 2								

※小数第3位四捨五入

	名称		A4			A5			A6		
			B1	B2	B3	B1	B2	B3	B1	B2	B3
①	排水管清掃車運転	V01	17.3	11.5	9.9	17.3	11.5	9.9	17.3	9.9	8.7
②	側溝清掃車運転	V01	17.3	11.5	9.9	17.3	11.5	9.9	17.3	9.9	8.7
③	散水車運転	V01	17.3	11.5	9.9	17.3	11.5	9.9	17.3	9.9	8.7
④	土木一般世話役	V02	V01/7.9								
⑤	特殊作業員	V03	(V01/7.9) × 2								

※小数第3位四捨五入

	名称		A7		
			B1	B2	B3
①	排水管清掃車運転	V01	17.3	9.9	8.7
②	側溝清掃車運転	V01	17.3	9.9	8.7
③	散水車運転	V01	17.3	9.9	8.7
④	土木一般世話役	V02	V01/7.9		
⑤	特殊作業員	V03	(V01/7.9) × 2		

※小数第3位四捨五入

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D84324	支管取付	10か所当り	構造図	20091001

1. 適用条件

・ 支管取付のみを施工する場合に適用する。

2. 条件表

A 支管の材質	A9	支管塩ビ 150
	A10	支管塩ビ 200
	A11	ビニール支管 甲 150
	A12	ビニール支管 乙 150
B 本管呼び径	B1	150mm-400mm
	B2	450mm-500mm
	B3	600mm-700mm
	B4	800mm-1000mm
	B5	1100mm
	B6	1200mm-1500mm
C 支管蓋	C1	支管蓋無
	C2	支管蓋 塩化ビニル製径 150
	C3	支管蓋 塩化ビニル製径 200
D 支管蓋 塩化ビニル製 径 150 個数		入力
E 支管蓋 塩化ビニル製 径 200 個数		入力

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		支管塩ビ 150		個	10	諸雑費 A1 の場合
		支管塩ビ 200		個	10	諸雑費 A2 の場合
		ビニール支管 甲 150		個	10	諸雑費 A3 の場合
		ビニール支管 乙 150		個	10	諸雑費 A4 の場合
②		特殊作業員		人	V31	諸雑費
③		普通作業員		人	V32	諸雑費
④		諸雑費		%	22	
⑤		支管蓋 塩化ビニル製径 150		個	D	C2の場合
⑥		支管蓋 塩化ビニル製径 200		個	E	C3の場合

4. 歩掛表

	名称		B1	B2	B3	B4	B5	B6
②	特殊作業員	V31	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1
③	普通作業員	V32	0.8	0.8	0.9	0.9	1.0	1.1

5. 根拠
河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D84326	取付管布設工	3.5m当り	構造図	20151019

1. 適用条件

- ・ 支管が必要なく取付管のみを施工する場合に適用する。

2. 条件表

A 取付管	A5	硬質塩化ビニル管 φ100
	A6	硬質塩化ビニル管 φ125
	A7	硬質塩化ビニル管 φ150
	A8	硬質塩化ビニル管 φ200

B 床掘り		入力

C 床掘り種別	C1	入力
	C2	バックホウ 0.28m3(平積 0.2m3)
	C3	バックホウ 0.45m3(平積 0.35m3)
	C4	バックホウ 0.8m3(平積 0.6m3)

D 埋戻用購入土(m3) (変化率を乗じたもの)		入力

E 埋戻(m3)		入力

F 埋戻種別	F1	入力盛土(埋戻)
	F2	入力(埋戻)+振動ロー締固
	F3	入力盛土(埋戻)+タンパ締固
	F4	バックホウ 0.28m3(平積 0.2m3)
	F5	バックホウ 0.45m3(平積 0.35m3)
	F6	バックホウ 0.8m3(平積 0.6m3)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		自在曲管		本	1	
A5		硬質塩化ビニル管 φ100				
A6		硬質塩化ビニル管 φ125				
A7		硬質塩化ビニル管 φ150				
A8		硬質塩化ビニル管 φ200				
②		直管		m	2.2	
A5		硬質塩化ビニル管 φ100				
A6		硬質塩化ビニル管 φ125				
A7		硬質塩化ビニル管 φ150				
A8		硬質塩化ビニル管 φ200				
③		ます用短管		個	1	
A5		硬質塩化ビニル管 φ100				
A6		硬質塩化ビニル管 φ125				
A7		硬質塩化ビニル管 φ150				
A8		硬質塩化ビニル管 φ200				
④		土木一般世話役		人	V21	諸雑費対象
⑤		特殊作業員		人	V22	諸雑費対象
⑥		普通作業員		人	V23	諸雑費対象
⑦		諸雑費		%	V24	
⑧		床掘り		m ³	B	
C1		床掘り	人力			
C2		床掘り	ハックホウ 0.28m ³ (平積 0.2 m ³)			
C3		床掘り	ハックホウ 0.45 m ³ (平積 0.35m ³)			
C4		床掘り	ハックホウ 0.8m ³ (平積 0.6 m ³)			
⑨		埋戻し		m ³	E	
F1		埋戻し	人力盛土(埋戻)			
F2		埋戻し	人力(埋戻)+振動ローラ締固			
F3		埋戻し	人力盛土(埋戻)+タンパ締固			
F4		埋戻し	ハックホウ 0.28m ³ (平積 0.2 m ³)			
F5		埋戻し	ハックホウ 0.45 m ³ (平積 0.35m ³)			
F6		埋戻し	ハックホウ 0.8m ³ (平積 0.6 m ³)			
⑩		購入土		m ³	D	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑧		床掘り	V81	V82	V83	V84					
⑨		埋戻し	V87	V88	V89						

V81～V86

	コード	名称		A	B	C	D
		床掘り	C1 の場合	1	6	-	-
		床掘り	C2 の場合	1	5	-	-
		床掘り	C3 の場合	1	2	1	1
		床掘り	C4 の場合	1	1	1	1

V87～V91

	コード	名称		A	B	C
		埋戻し	F1 の場合	6	1	2
		埋戻し	F2 の場合	3		
		埋戻し	F3 の場合	6	1	1
		埋戻し	F4 の場合	5	1	
		埋戻し	F5 の場合	4		
		埋戻し	F6 の場合	3		

4. 歩掛表

	名称	A条件	A5	A6	A7	A8
④	土木一般世話役	V21	0.06	0.06	0.06	0.06
⑤	特殊作業員	V22	0.06	0.06	0.06	0.06
⑥	普通作業員	V23	0.08	0.08	0.08	0.08
⑦	諸雑費	V24	1	1	1	2

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D89501	本管TV調査	300m当り	構造図	R2. 10改定

1. 適用条件

・ 排水管内径150mm～800mm未満のテレビカメラによる調査に適用する。

2. 条件表

A TV調査	A1	内径 150mm-800mm 未満

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ガソリン		L	36.6	
②		一般運転手		人	1	
③		管路調査技師		人	1	
④		管路調査助手		人	1	
⑤		管路調査作業員		人	1	
⑥		本管用TVカメラ搭載車 損料		時間	6	

4. 歩掛表

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D89502	報告書作成(TV 調査)	600m当り	構造図	20081001

1. 適用条件

・ 排水管内径300mm～700mmのテレビカメラによる調査をした報告書を作成する。

2. 条件表

A TV調査	A1	内径 300mm-700mm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		管路調査主任技師		人	1	諸雑費
②		管路調査技師		人	1	諸雑費
③		管路調査助手		人	1	諸雑費
④		VTRテープ		本	2	諸雑費
⑤		諸雑費		%	25	

4. 歩掛表

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D89631	塵埃除去	10m3当り	構造図	20151019

1. 適用条件

・ 単価契約用 排水路の塵芥除去に適用

2. 条件表

A 運転機種	A1	ダンプトラック2t

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①	D36012	ダンプトラック2t運転		日	3	
②		普通作業員		人	6	

4. 歩掛表

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D89650	基礎砕石(単契用)	10m3当り	構造図	20111001

1. 適用条件

- ・ 単価契約用「砕石工」に適用する。
- ・ 諸雑費は突き固め機械等の損料及び燃料・油脂の費用である

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		RC-40		m3	12	
②		特殊作業員		人	0.3	諸雑費
③		普通作業員		人	1.8	諸雑費
④		諸雑費		%	3	

4. 歩掛表

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D89657	防護柵(支柱等)修繕	1か所当り	構造図	20110401

1. 適用条件

・ 損傷等による、ガードレール及びガードパイプの支柱等の修繕に適用する。”

2. 条件表

A	A1	ガードレール支柱修繕
	A2	ガードパイプ支柱修繕
	A3	ラバーガード修繕
	A4	車止めポスト修繕
	A5	道路標識修繕

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	V01	諸雑費
②		諸雑費		%	V02	

4. 歩掛表

	名称		A1	A2	A3	A4	A5
①	普通作業員	V01	0.39	0.19	0.10	0.30	0.35
②	諸雑費	V02	2.2	2.2	-	2.2	2.2

5. 根拠

河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D89660	小工事(単価契約)	1回当り	構造図	20110401

1. 適用条件

- ・ 単価契約用 小工事で、1編成人員による1～4時間程度の作業に適用
- ・ 小器具及び小仮設材の損料、少量の資材は諸雑費に含む。
- ・ 現道工事、小河川工事及び公園工事に限る。”

2. 条件表

A	A1	一般土木工事
	A2	舗装工事
	A3	電気工事
	A4	造園工事
B	B1	1 時間
	B2	2 時間
	B3	3 時間
	B4	4 時間

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V11	諸雑費
②		特殊作業員		人	V12	諸雑費
③		普通作業員		人	V13	諸雑費
④		電工		人	V14	諸雑費
⑤		造園工		人	V15	諸雑費
⑥		諸雑費		%	5	
⑦						

3-1. 編成人員

	名称	A1	A2	A3	A4
①	土木一般世話役	1	1	-	-
②	特殊作業員	-	1	-	-
③	普通作業員	2	2	1	1
④	電工	-	-	1	-
⑤	造園工	-	-	-	1

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
②	特殊作業員	V12	-	-	-	-
③	普通作業員	V13	2×1/8	2×2/8	2×3/8	2×4/8
④	電工	V14	-	-	-	-
⑤	造園工	V15	-	-	-	-

※小数第3位四捨五入

	名称	A条件	A2			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
②	特殊作業員	V12	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
③	普通作業員	V13	2×1/8	2×2/8	2×3/8	2×4/8
④	電工	V14	-	-	-	-
⑤	造園工	V15	-	-	-	-

※小数第3位四捨五入

	名称	A条件	A3			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	-	-	-	-
②	特殊作業員	V12	-	-	-	-
③	普通作業員	V13	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
④	電工	V14	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
⑤	造園工	V15	-	-	-	-

※小数第3位四捨五入

	名称	A条件	A4			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	-	-	-	-
②	特殊作業員	V12	-	-	-	-
③	普通作業員	V13	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
④	電工	V14	-	-	-	-
⑤	造園工	V15	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8

※小数第3位四捨五入

5. 根拠
河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D89665	油類等積込(単契用)	300kg 当り	構造図	20110401

1. 適用条件

・ 油類の回収により使用した材料の積込・運搬及び処理に適用する。

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		普通作業員		人	0.14	

4. 歩掛表

5. 根拠 河川工務課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91002	安定処理舗装	100m2 当り	構造図	20151019

1. 適用条件

- ・ 公園内の園路舗装に適用。
- ・ 施工歩掛は歩道区分を用いている。
- ・ 車道として施工する場合は別途積算すること。
- ・ 路床整正、路盤工は別途計上すること。

2. 条件表

A 施工幅	A1	$b < 1.4$ (人力)
	A2	$1.4 \leq b \leq 3.0$ (機械)
	A3	$3.0 < b$ (機械)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V01	
②		特殊作業員		人	V02	
③		普通作業員		人	V03	
④		アスファルト系合材	公園用	t	V04	
⑤	D36007	アスファルトフィニッシャ運転	クローラ型 1.4～3.0m	日	V05	
⑥	D36008	アスファルトフィニッシャ運転	クローラ型 2.4～4.5m	日	V06	
⑦	D36011	振動ローラ運転	搭乗式コンバインド型 3～4t	日	V07	
⑧	D36017	振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5～0.6t	日	V08	
⑨	D36018	振動コンパクタ運転	前進型 40～60Kg	日	V09	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
①	土木一般世話役	V01	0.4	0.11	0.1
②	特殊作業員	V02	0.8	0.32	0.3
③	普通作業員	V03	1.6	0.64	0.5
④	As 合材	V04	12.6 × 1.1		
⑤	アスファルトフィニッシャ運転	V05	—	0.11	—
⑥	アスファルトフィニッシャ運転	V06	—	—	0.1
⑦	振動ローラ運転	V07	—	0.11	0.1
⑧	振動ローラ運転	V08	0.4	—	—
⑨	振動コンパクタ運転	V09	0.8	—	—

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91003	舗装止	100m 当り	構造図	20111001

1. 適用条件

.

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		板材(杉)	4m×1.1 cm×15 cm 1 等	m3	0.17	
②		土木一般世話役		人	0.15	
③		型枠工		人	1.5	
④		普通作業員		人	0.6	
⑤						

4. 歩掛表

5. 根拠
緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91004	木曽石縁石	10m 当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 縁石の種類	A1	A-1(Co基礎無)
	A2	A-2(Co基礎有)
	A3	B-1(Co基礎無)
	A4	B-2(Co基礎有)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	V01	
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V02	
③		型枠	均しコンクリート	m2	2.0	A2,A4の場合
④		木曽ごろた石	φ150～200 mm内外、床張・縁石用	t	0.38	A1,A2の場合
⑤		木曽ごろた石	φ300 mm内外、縁石用	t	1.52	A3,A4の場合
⑥		土木一般世話役		人	V03	諸雑費
⑦		石工		人	V04	諸雑費
⑧		普通作業員		人	V05	諸雑費
⑨		諸雑費		%	5	
⑩		床掘り	小規模	m3	V07	
⑪	D00121	埋戻		m3	V08	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		型枠	1	5							
⑩		床掘り	1	5							
⑪	D00121	埋戻	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	基礎碎石	V01	3.5	3.5	4.5	4.5
②	コンクリート	V02	－	0.25	－	0.35
⑥	土木一般世話役	V03	0.05	0.05	0.21	0.21
⑦	石工	V04	0.21	0.21	0.84	0.84
⑧	普通作業員	V05	0.35	0.35	1.4	1.4
⑩	床掘り	V07	0.9	1.9	1.8	3.1
⑪	埋戻	V08	0.4	1.2	0.9	1.9

5. 根拠 緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91005	擬木階段	10段当り	構造図	H27.10.19 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 擬木階段の種類	A1	W=1.0m、基礎無
	A2	W=1.2m、基礎無
	A3	W=1.5m、基礎無
	A4	W=2.0m、基礎無

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート擬木	クヌギ φ100×1000 mm 2穴	本	20	A1の場合
②		コンクリート擬木	クヌギ φ100×1200 mm 2穴	本	20	A2の場合
③		コンクリート擬木	クヌギ φ100×1500 mm 2穴	本	20	A3の場合
④		コンクリート擬木	クヌギ φ100×2000 mm 2穴	本	20	A4の場合
⑤		コンクリート擬木杭	クヌギ φ80×500 mm 2穴インサート加工	本	20	
⑥		六角ボルト	M12×140 mm	40	40	
⑦		土木一般世話役		人	V03	
⑧		ブロック工		人	V04	
⑨		普通作業員		人	V05	
⑩		床掘り	小規模	m3	V07	
⑪	D00121	埋戻		m3	V08	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑩		床掘り	1	5							
⑪	D00121	埋戻	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
⑦	土木一般世話役	V03	0.23	0.28	0.35	0.47
⑧	ブロック工	V04	0.48	0.58	0.73	1.0
⑨	普通作業員	V05	0.48	0.58	0.73	1.0
⑩	床掘り	V07	1.9	2.0	2.3	2.6
⑪	埋戻	V08	1.5	1.6	1.8	1.9

5. 根拠 緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91006	伸縮目地	10m当り	構造図	20111001

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 目地の種類	A1	A-1
	A2	A-2

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V02	
②		普通作業員		人	V03	
③		樹脂発泡体目地板	厚 10 mm 15 倍	m2	V04	
④		シーリング工	ホリサルファイト [®] 10×10 材工共	m	10	
⑤						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	土木一般世話役	V02	0.05/10×0.9	0.05/10×1.2
②	普通作業員	V03	0.29/10×0.9	0.29/10×1.2
③	樹脂発泡体目地板	V04	11.2/10×0.9	11.2/10×1.2

※①小数第4位四捨五入

②小数第3位四捨五入

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91007	土系舗装	100m2 当り	構造図	20081001

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土系舗装材(プレミックス)		m3	4	
②		土系舗装材(プレミックス) 施工費		m2	100	#02
③		普通作業員		人	0.28	#01、#02
④	#01	諸雑費		%	19	
⑤	#02	諸雑費		%	5	

4. 歩掛表

5. 根拠
緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91101	スプリング遊具	10 基当り	構造図	H29.5.1 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

・

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		スプリング遊具	B´にわとり	基	10	
②		特殊作業員		人	0.28	
③		普通作業員		人	1.12	
④		床掘り	小規模	m3	3.6	
⑤	D00121	埋戻		m3	3.6	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
④		床掘り	1	5							
⑤	D00121	埋戻	1	1							

4. 歩掛表

・

5. 根拠
緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表

D91121	シングルブランコ	1基当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 種類	A1	シングル
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎砕石	砕石厚 0.1m、RC-40	m2	2.3	表3-1
②		コンクリート	18・8・25BB、無筋	m3	0.11	表3-1
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	0.59	表3-1
④		シングルブランコ(SUS仕様)	かご含む JPFA-SP-S:2014	基	1	
⑤	D07909	公園塗装	ステンレス・亜鉛メッキ部	m2	2.1	表3-1
⑥		型枠	均しコンクリート	m2	0.6	
⑦		型枠	小型構造物	m2	3.6	
⑧		特殊作業員		人	0.08	
⑨		普通作業員		人	0.23	
⑩		掘削		m3	3.4	
⑪		埋戻		m3	2.5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
①		基礎砕石工	2	8								
②		コンクリート	1	4	41		2		2			
③		コンクリート	2	4	29		2		2			
⑤	D07909	公園塗装	1									
⑥		型枠	1	5								
⑦		型枠	1	2								

4. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表

D91131	シングルブランコ境界柵	1か所当り	構造図	R05.10改定

1. 適用条件

・ 遊戯広場に設置する。

2. 条件表

A 種類	A1	シングル用(角型)
	A2	シングル用(R型)
B 土工		別紙「公園作業土工」参照

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		モルタル練		m3	0.01	表3-1
②		防護柵基礎用コンクリートブロック	30×30×23	個	9	
③		ブランコ用境界柵	(各種)	組	1	表3-2
④	D07909	公園塗装		m2	V1	表3-1
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設 (80kg 以下)		基	9	表3-1
⑥		特殊作業員		人	V2	
⑦		普通作業員		人	V3	
⑧		掘削		m3	1.5	
⑨		埋戻		m3	1.3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		モルタル練	1	1							
④	D07909	公園塗装	1								
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								

3-2. 境界柵の種類

	A条件	コード	名称	規格
③	A1		シングルプランコ用境界柵	角型片面 地際補強 JPFA-S:2014
	A2		シングルプランコ用境界柵	R型片面 地際補強 JPFA-S:2014

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
④	公園塗装	V1	2.1	2.3
⑥	特殊作業員	V2	0.11	0.10
⑦	普通作業員	V3	0.32	0.31

5. 根拠

V-3-⑥-2

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91301	縁台	10 基当り	構造図	R05.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 縁台の種類	A1	A 木製
	A2	A' 再生木製

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		モルタル練		m3	0.09	表3-1
②		コンクリートブロック	200×200×400mm	個	40	
③		縁台	A 1500×1470 木部防腐剤 加圧注入処理品	基	V1	表4
④		縁台	A' 1500×1470 再生木材品	基	V2	表4
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg以下)	基	40	
⑥	D00804	プレキャストコンクリート製品布設	(80超え2200kg以下)	基	10	
⑦		床掘り	小規模	m3	5.5	表3-1
⑧	D00121	埋戻		m3	4.9	表3-1

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		モルタル練	1	1							
⑦		床掘り	1	5							
⑧	D00121	埋戻	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A 条件	A1	A2
③	縁台	V1	10	—
④	縁台	V2	—	10

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91302	ベンチ肘かけ取付	10 力所当り	構造図	20070501

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 用途の種類	A1	ベンチB用
	A2	ベンチC用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		ベンチ肘掛け	ベンチ B 用	個	10	A=1の場合
②		ベンチ肘掛け取付費	ベンチ B 用	箇所	10	A=1の場合
③		ベンチ肘掛けC	ベンチ C 用	個	10	A=2の場合
④		ベンチ肘掛け取付費C	ベンチ C 用	箇所	10	A=2の場合
⑤	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ・ステンレス部	m2	V01	
⑥	D07909	公園塗装	木部・プラスチック部	m2	V02	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤	D07909	公園塗装	1								
⑥	D07909	公園塗装	3								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
⑤	公園塗装	V01	0.93	0.72
⑥	公園塗装	V02	0.94	0.92

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91402	ロープ柵	設置(A1) 15m当り 補強(A2) 10m当り	構造図	20070501

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 作業の種類	A1	設置(再生プラ擬木、H=0.6m)
	A2	補強(再生プラ擬木)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		擬木支柱(再生プラスチック製)	φ100×1200、1 穴	本	10	A=1の場合
②		支柱(補強)	φ100×1200、穴加工、M16×220 ホルトナット共	本	10	A=2の場合
③		ポリエチレンロープ	φ14、ワイヤー入り、黒、3 本より	m	15.6	A=1の場合
④		普通作業員		人	V01	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
④	普通作業員	V01	0.58	0.56

5. 根拠
緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91403	手すり	15m当り	構造図	R05.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 手すりの種類	A1	A(H800、1段)
	A2	B(H850、2段)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		手すり(ステンレス製)	公園階段用、H=800 mm、1 段	m	15	A=1 の 場 合
②		手すり (ステンレス製)	公園階段用、H=850 mm、2 段	m	15	A=2 の 場 合
③		コンクリートブロック	150×150×350 mm	個	10	
④		モルタル練		m3	0.02	
⑤	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	基	10	
⑥		特殊作業員		人	V01	
⑦		普通作業員		人	V02	
⑧		床掘り	小規模	m3	1	
⑨	D00121	埋戻		m3	0.9	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
④		モルタル練	1	1							
⑤	D00802	プレキャスト布設	1								
⑧		床掘り	1	5							
⑨	D00121	埋戻	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
⑥	特殊作業員	V01	0.05	0.08
⑦	普通作業員	V02	0.14	0.24

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91404	流砂止柵	10m当り	構造図	20111001

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 柵の種類	A1	H=0.2m
	A2	H=0.5m

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		松丸太杭		m3	V01	
②		合成樹脂ネット	目合 5 mm×5 mm	m2	V02	
③		板材(内地材)	杉 4m×1.1 cm×15 cm 1 等	m3	V03	
④		鉄丸くぎ	N75 #10×75	kg	V04	
⑤		特殊作業員		人	V05	
⑥		普通作業員		人	V06	

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	松丸太杭	V01	0.09	0.13
②	合成樹脂ネット	V02	3	6
③	板材(内地材)	V03	0.01	0.02
④	鉄丸釘	V04	0.2	0.4
⑤	特殊作業員	V05	0.24	0.42
⑥	普通作業員	V06	0.68	0.91

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表

D91405	器具庫	10基当り	構造図	R05.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 器具庫の種類	A1	木製
	A2	亜鉛鉄板製、縦型
	A3	亜鉛鉄板製、横型

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリートブロック	200×200×400 mm	個	40	A=1の場合
②		モルタル練		M3	V01	A=1の場合
③		器具庫	木製、アンカーボルト共	基	10	A=1の場合
④		器具庫	亜鉛鉄板製、縦型、材工共	基	10	A=2の場合
⑤		器具庫	亜鉛鉄板製、横型、材工共	基	10	A=3の場合
⑥		南京錠	真ちゅう製	個	10	A=1の場合
⑦	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	(80kg 以下)	基	V02	A=1の場合
⑧	D07909	公園塗装	木部・プラスチック部	m2	67	A=1の場合
⑨		床掘り	小規模	m3	V06	
⑩	D00121	埋戻		m3	V07	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
②		モルタル練	1	1							
⑦	D00802	プレキャストコンクリート製品布設	1								
⑧	D07909	塗装	3								
⑨		床掘り	1	5							
⑩	D00121	埋戻	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
②	モルタル練	V01	0.13	－	－
⑦	プレキャストコンクリート製品布設	V02	50	－	－
⑨	床掘り	V06	4.2	2.9	2.9
⑩	埋戻	V07	3.7	2.6	2.6

5. 根拠 緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91406	電波時計取付	10力所当り	構造図	20060401

1. 適用条件

.

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電波時計	φ500 取付金具込	個	10	諸雑費
②		電工		人	5	
③		諸雑費		%	2	
④						
⑤						

4. 歩掛表

5. 根拠
緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91501	パーゴラ D・D'	1 基当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 柱の種類	A1	角柱
	A2	丸柱

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎砕石	RC-40	m2	2.6	
②		コンクリート	18-8-25、無筋	m3	0.13	
③		コンクリート	18-8-40	m3	V01	
④		鉄筋工[市場単価]		t	0.023	
⑤		パーゴラ	3000×3000 角柱	基	1	A=1の場合
⑥		パーゴラ	3000×3000 丸柱	基	1	A=2の場合
⑦		パーゴラ組立据付費		基	1	
⑧	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ・ステンレス部(新規)、下塗1回+ウレタン2回	m2	V02	
⑨		型枠	均しコンクリート	m2	0.64	
⑩		型枠	小型構造物	m2	6.7	
⑪		床掘り	小規模	m3	6.9	
⑫	D00121	埋戻		m3	5.3	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎砕石	2	8							
②		コンクリート	1	4	41		2		2		
③		コンクリート	2	4	29		2		2		
④		鉄筋工[市場単価]	2	1	2	2	2	2	2	1	1
⑧	D07909	公園塗装	1								
⑨		型枠	1	5							
⑩		型枠	1	2							
⑪		床掘り	1	5							
⑫	D00121	埋戻	1	1							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
③	コンクリート	V01	1.2	1.2
⑧	公園塗装	V02	14.4	14.9

5. 根拠 緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91901	公園灯移設	1基当り	構造図	R05.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 移設施設	A1	公園灯
	A2	改造 架空線 100V HF→地下ケーブル 200V CMF
	A3	引込柱 自立型分電盤用
	A4	中間柱

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎掘削及びスパイラルダ 外建込(アースオーガ)		基	1	
②		基礎碎石	RC-40	m2	0.2	
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	0.17	
④		円形空洞型枠	D300	m	0.10	
⑤		スパイラル管	口径500mm 厚 0.6 mm	m	0.95	
⑥		水銀灯器具取付(屋外)		灯	1	A=1 又 は A=2の場合
⑦		電工		人	V01	A=3.4 の 場 合
⑧		接地設置		極	1	A=1.2.3の場 合
⑨		鋼管柱(発生品)	地上高5. 5m	本	1	
⑩		照明器具(発生品)	公園灯 灯具	個	1	A=1 又 は A=2の場合
⑪		高圧水銀ランプ°(HF)(発 生品)	300W	個	1	A=1の場合
⑫		セラミックタルハイト°ランプ°	拡散形 CMF190W	個	1	A=2の場合
⑬		安定器(水銀灯用低電 力形)(発生品)	100V/200V 300W	個	1	A=1の場合
⑭		安定器(水銀灯用 一般 形)	200V 200W 高力率1灯	個	1	A=2の場合
⑮		安全器(発生品)	磁器製 2P 15A	個	1	A=1 又 は A=2の場合
⑯		架線引込フック(発生品)	バンド付 SUS 製	個	1	A=3.4 の 場 合
⑰		受電口(発生品)		個	1	
⑱		制御用ビニル絶縁シースケ ブル(発生品)	CVV3.5mm2 2 心	m	4.5	A=1の場合

⑮		架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシ ースケフル	600V CE/F(EM-CE) 2 心 3.5mm2	m	4.5	A=2の場合 雑材料
⑯		丸形アース棒	E-B3 10φ×1000 mm	本	1	A=1.2.3の場 合
⑰		耐燃性ポリエチレン絶縁電 線	600V IE/F(EM-IE)より 線 3.5 mm 2	m	2	A=1.2.3の場 合 雑材料
⑱		雑材料		%	5	A=1.2.3の場 合
㉓		地際補強(公園灯)		式	1	
㉔		塗膜剥離B-2	亜鉛メッキ部、4 種ケレン	m2	2	
㉕	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ部・鉄部	m2	2	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎掘削及びスパイラルダ 外建込(アースオーガ)	1								
②		基礎碎石	3	8							
③		コンクリート	2	4	29		2		2		
⑥		水銀灯器具取付(電工)	3	4	1		1				
⑧		接地設置	4	2							
㉕	D07909	公園塗装	5								

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4
①	基礎掘削及びスパイラルダ 外建込(アースオーガ)		1	1	1	1
②	基礎碎石		0.2	0.2	0.2	0.2
③	コンクリート		0.17	0.17	0.17	0.17
④	円形空洞型枠		0.10	0.10	0.10	0.10
⑤	スパイラル管		0.95	0.95	0.95	0.95
⑥	水銀灯器具取付(電工)		1	1	-	-
⑦	電工	V01	-	-	1.65	1.53
⑧	接地設置		1	1	1	-
⑨	鋼管柱(発生品)		1	1	1	1
⑩	照明器具(発生品)		1	1	-	-
⑪	高圧水銀ランプ(HF)(発 生品)		1	-	-	-
⑫	セラミックメタルハイトランプ		-	1	-	-
⑬	安定器(水銀灯用低電 力形)(発生品)		1	-	-	-
⑭	安定器(水銀灯用 一般 形)		-	1	-	-
⑮	安全器(発生品)		1	1	-	-
⑯	架線引込フック(発生品)		-	-	1	1

⑰	受電口(発生品)		1	1	1	
⑱	制御用ビニル絶縁シースケ- ブル(発生品)		4.5	-	-	-
⑲	架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシ- ースケ-ブル		-	4.5	-	-
⑳	ア-ス棒		1	1	1	-
㉑	耐燃性ポリエチレン絶縁電 線		2	2	2	-
㉒	雑材料		5	5	5	-
㉓	地際補強(公園灯)		1	1	1	1
㉔	塗膜剥離B-2		2	2	2	2
㉕	公園塗装		2	2	2	2

5. 根拠
緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91902	太陽電池式時計塔移設	1基当り	構造図	R5.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	碎石厚 0.1m、RC-40	m2	0.64	
②		太陽電池式時計塔(発生品)	両面式、丸型、径700,DC3.6V,30秒有極	基	1	
③		コンクリート	18・8・40BB	m3	0.46	
④		型枠	小型構造物	m2	2.8	
⑤		地際補強(時計塔)		式	1	
⑥		塗膜剥離 B-2	亜鉛メッキ部、4種ケレン	m2	1.7	
⑦	D07909	公園塗装	亜鉛メッキ・ステンレス・鋳鉄部	m2	1.7	
⑧		電工		人	3.2	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
③		コンクリート	2	4	29		2		2		
④		型枠	1	2							
⑦	D07909	公園塗装	5								

4. 歩掛表

5. 根拠
緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91903	水飲躯体移設	1 基当り	構造図	R05.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 水飲みの種類	A1	C(擬石)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	RC-40	m2	V01	
②		水飲躯体(発生品)	擬石、柵蓋共、受枠共、水栓付、躯体内配管	基	1	
③		水飲躯体(発生品)	擬石、踏台 300×300×250mm	基	1	
④		ハルボックス(発生品)	B-1 φ150	個	1	
⑤		甲止水栓(発生品)	φ13	個	1	
⑥		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP-13	m	1.1	諸雑費
⑦		硬質塩化ビニル管(発生品)	V・U φ200 TS片受直管	m	0.2	
⑧		世話役		人	V02	
⑨		特作		人	V03	
⑩		配管工		人	V04	
⑪		普作		人	V05	
⑫		モルタル練		m3	0.03	
⑬		バックホウ[クローラ型・クレーン機能付き]	排カス型(1次)山積 0.45m3 2.9t吊	時間	0.54	
⑭		諸雑費		%	35	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
⑫		モルタル練	1	1							
⑬		バックホウ[クローラ型・クレーン機能付き]	0	1	1	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1
①	碎石	V01	0.63
⑧	世話役	V02	0.08
⑨	特作	V03	0.05
⑩	配管工	V04	0.50
⑪	普作	V05	0.14

5. 根拠 緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91904	石積移設	10m当り	構造図	R05.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 石積の種類	A1	1段
	A2	2段
	A3	3段

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		基礎碎石	RC-40	m2	4	
②		コンクリート	18・8・25BB	m3	V01	
③		胴込・裏込コンクリート	18・8・25BB	m3	V02	
④		単粒度碎石	4号 30-20mm		V09	
⑤		雑割石(発生品)	控 35cm	個	V08	
⑥		硬質塩化ビニル管(一般管)	VP-30	m	V10	
⑦		目地板		m2	V03	
⑧		土木一般世話役		人	V04	
⑨		石工		人	V05	
⑩		普通作業員		人	V06	
⑪		普通作業員		人	V11	諸雑費
⑫		諸雑費		%	V12	
⑬		型枠	均しコンクリート	m2	V07	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①		基礎碎石	2	8							
②		コンクリート	2	4	41		2		2		
③		胴込・裏込コンクリート	1	5							
⑦		目地板	1	1							
⑬		型枠	1	5							

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3
②	コンクリート	V01	0.33	0.47	0.47
③	胴込・裏込コンクリート	V02	0.58	1.29	2.00
④	単粒度碎石	V09	－	0.48	0.48
⑤	雑割石(発生品)	V08	33	66	99
⑥	硬質塩化ビニル管(一般管)	V10	－	0.8	0.8
⑦	目地板	V03	0.12	0.24	0.35
⑧	土木一般世話役	V04	0.12	0.24	0.36
⑨	石工	V05	0.45	0.90	1.35
⑩	普通作業員	V06	1.8	3.7	5.5
⑪	普通作業員	V11	－	0.08	0.08
⑫	諸雑費	V12	－	3	3
⑬	型枠	V07	1.9	2.7	2.7

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91905	U形側溝移設	10m当り	構造図	R05.10 改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A	A1	180Co 基礎有 Co 基礎有;小規模土工
	A2	180Co 基礎無 Co 基礎無;小規模土工
	A3	240Co 基礎有 Co 基礎有;小規模土工
	A4	240Co 基礎無 Co 基礎無;小規模土工
	A5	300Co 基礎有 Co 基礎有;小規模土工
	A6	300Co 基礎無 Co 基礎無;小規模土工

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		コンクリート	18・8・25BB	m3	V01	
②		鉄筋コンクリートU形(発生品)	180 18×18×60	個	16.5	
③		鉄筋コンクリートU形(発生品)	240 24×24×60	個	16.5	
④		鉄筋コンクリートU形(発生品)	300B 30×30×60	個	16.5	
⑤		型枠	均しコンクリート	m2	2	
⑥		U(標準)撤去		m	10	
⑦		U(標準)据付		m	10	
⑧		砕石(標準単価用)	RC-40	m3	V09	

%C1	条件	コード
	A1	
	A2	
	A3	
	A4	
	A5	
	A6	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	E	G	M
①		コンクリート	2	4	41	2	2	1
⑤		型枠	1	5				

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2	A3	A4	A5	A6
①	コンクリート	V01	0.25	－	0.33	－	0.4	－
②	鉄筋コンクリートU形(発生品)	－	16.5	16.5	－	－	－	－
③	鉄筋コンクリートU形(発生品)	－	－	－	16.5	16.5	－	－
④	鉄筋コンクリートU形(発生品)	－	－	－	－	－	16.5	16.5
⑤	型枠	－	2	－	2	－	2	－
⑥	U(標準)撤去	－	10	10	10	10	10	10
⑦	U(標準)据付	－	10	10	10	10	10	10
⑧	碎石(標準単価用)	V04	0.36	0.36	0.46	0.46	0.54	0.54

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91906	蓋移設	10m当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 蓋の種類	A1	一種(240 又は 300)
	A2	二種(240 又は 300)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		鉄筋コU形蓋(一種)(発 生品)	240 又は 300		16.5	A=1の場合
②		鉄筋コU形蓋(二種)(発 生品)	240 又は 300		16.5	A=2の場合
③		蓋版(標準単価)			16.5	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	F	G
③		蓋版(標準単価)	3	1	V01	V02	1	1

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	蓋版(標準単価)	V01	1	2
②	蓋版(標準単価)	V02	2	7

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91907	グレーチング移設	10m当り	構造図	H30. 10改定

1. 適用条件

・

2. 条件表

A	A1	並目(一種又は二種)
	A2	細目(一種又は二種)

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		クレーチング(Ｕ形側溝用)(発生品)	並目(一種又は二種)		V01	A=1の場合
②		クレーチング(Ｕ形側溝用)(発生品)	細目(一種又は二種)		V01	A=2の場合
③		蓋版(標準単価)			V01	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	F	G
③		蓋版(標準単価)	3	1	1	5	1	1

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1	A2
①	クレーチング(Ｕ形側溝用)(発生品)	V01	10	-
②	クレーチング(Ｕ形側溝用)(発生品)	V01	-	20
③	蓋版(標準単価)	V01	10	20

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D91908	平板舗装移設	100m2 当り	構造図	20070401

1. 適用条件

・

2. 条件表

A 平板の種類	A1	歩道用平板ブロック 300×300mm

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		歩道用平板ブロック(発生品)	300×300×60	枚	V01	
②	D00807	特殊ブロック設置(撤去)		m2	100	
③	D00807	特殊ブロック設置(設置)		m2	100	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
①	D00807	特殊ブロック設置(撤去)	2		1						
②	D00807	特殊ブロック設置(設置)	1	1	1						

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1
①	歩道用平板ブロック(発生品)	V01	1089

5. 根拠

緑地事業課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D99660	小工事(単価契約)	1回当り	構造図	20110401

1. 適用条件

- ・ 単価契約用 小工事で、1編成人員による1～4時間程度の作業に適用
- ・ 小器具及び小仮設材の損料、少量の資材は諸雑費に含む。
- ・ 現道工事、小河川工事及び公園工事に限る。”

2. 条件表

A	A1	一般土木工事
	A2	舗装工事
	A3	電気工事
	A4	造園工事
B	B1	1 時間
	B2	2 時間
	B3	3 時間
	B4	4 時間

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		土木一般世話役		人	V11	諸雑費
②		特殊作業員		人	V12	諸雑費
③		普通作業員		人	V13	諸雑費
④		電工		人	V14	諸雑費
⑤		造園工		人	V15	諸雑費
⑥		諸雑費		%	5	
⑦						

3-1. 編成人員

	名称	A1	A2	A3	A4
①	土木一般世話役	1	1	-	-
②	特殊作業員	-	1	-	-
③	普通作業員	2	2	1	1
④	電工	-	-	1	-
⑤	造園工	-	-	-	1

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
②	特殊作業員	V12	-	-	-	-
③	普通作業員	V13	2×1/8	2×2/8	2×3/8	2×4/8
④	電工	V14	-	-	-	-
⑤	造園工	V15	-	-	-	-

※小数第3位四捨五入

	名称	A条件	A2			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
②	特殊作業員	V12	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
③	普通作業員	V13	2×1/8	2×2/8	2×3/8	2×4/8
④	電工	V14	-	-	-	-
⑤	造園工	V15	-	-	-	-

※小数第3位四捨五入

	名称	A条件	A3			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	-	-	-	-
②	特殊作業員	V12	-	-	-	-
③	普通作業員	V13	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
④	電工	V14	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
⑤	造園工	V15	-	-	-	-

※小数第3位四捨五入

	名称	A条件	A4			
			B1	B2	B3	B4
①	土木一般世話役	V11	-	-	-	-
②	特殊作業員	V12	-	-	-	-
③	普通作業員	V13	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8
④	電工	V14	-	-	-	-
⑤	造園工	V15	1×1/8	1×2/8	1×3/8	1×4/8

※小数第3位四捨五入

5. 根拠
緑地維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D99681	灯具取替	1基当り	構造図	20141001

1. 適用条件

・ 単価契約用 ・ 街路灯の維持修繕に適用 ・ リフト車の移動は、別途計上すること ・ 現道における作業前、作業中の交通整理を含む。

2. 条件表

A 灯具取替の種別	A1	水銀灯 250W 以下
	A2	水銀灯 250-400W 以下
	A3	水銀灯 400-700W 以下
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8-9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	街園・緑道等
	C2	公園用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工			V01	
②		普通作業員			V02	
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	バスケット型 12m×200kg×2名		V12	
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	プラットフォーム型 9.9m×1000kg		V13	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称		A1					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.2	－	0.2	0.2	0.2	0.2
②	普通作業員	V02	0.1	－	0.1	0.1	0.1	0.1
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.2× V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.2× V21	0.2× V21	－	－

	名称		A2					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.23	－	0.23	0.23	0.23	0.23
②	普通作業員	V02	0.11	－	0.11	0.11	0.11	0.11
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.23× V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.23× V21	0.23× V21	－	－

	名称		A3					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.25	－	0.25	0.25	0.25	0.25
②	普通作業員	V02	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.25× V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.25× V21	0.25× V21	－	－

$$V21=630/(120 \times 2)$$

5. 根拠

緑地維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D99682	管球取替	1個当り	構造図	20141001

1. 適用条件

・ 単価契約用 ・ 街路灯の維持修繕に適用 ・ リフト車の移動は、別途計上すること ・ 現道における作業前、作業中の交通整理を含む。

2. 条件表

A 管球取替の種別	A1	水銀ランプ 300W 以下
	A2	水銀ランプ 300-700W 以下
	A3	蛍光ランプ 60W 以下
	A4	蛍光ランプ 60-110W 以下
	A5	高圧ナトリウムランプ
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8-9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	街園・緑道等
	C2	公園用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工			V01	
②		普通作業員			V02	
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	バスケット型 12m×200kg×2名		V12	
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	フラットフォーム型 9.9m×1000kg		V13	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称		A1					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.09	－	0.09	0.09	－	0.09
②	普通作業員	V02	0.04	－	0.04	0.04	－	0.04
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.09× V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.09× V21	0.09× V21	－	－

	名称		A2					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.11	－	0.11	0.11	－	0.11
②	普通作業員	V02	0.06	－	0.06	0.06	－	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.11× V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.11× V21	0.11× V21	－	－

	名称		A3					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	－	－	0.09	0.09	－	0.09
②	普通作業員	V02	－	－	0.04	0.04	－	0.04
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	－	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.09× V21	0.09× V21	－	－

	名称		A4					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	－	－	0.13	0.13	－	0.13
②	普通作業員	V02	－	－	0.06	0.06	－	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	－	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.13× V21	0.13× V21	－	－

	名称		A5					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.09	－	0.09	0.09	－	0.09
②	普通作業員	V02	0.04	－	0.04	0.04	－	0.04
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.09 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.09 × V21	0.09 × V21	－	－

$$V21=630/(120 \times 2)$$

5. 根拠
緑地維持課

名古屋市版施工単価内訳表

D99683	灯具付属品取替	1 個当り	構造図	20141001

1. 適用条件

- ・ 単価契約用
- ・ 街路灯の維持修繕に適用
- ・ リフト車の移動は、別途計上すること
- ・ 現道における作業前、作業中の交通整理を含む。

2. 条件表

A 灯具付属品取替の種別	A1	水銀灯グローブ 300W 以下
	A2	水銀灯グローブ 300～400W 以下
	A3	水銀灯グローブ 400～700W 以下
	A4	水銀灯グローブ枠
	A5	水銀灯パッキン
	A6	水銀灯ソケット
	A7	水銀灯灯具部品
	A8	蛍光灯カバー
	A9	蛍光灯ソケット
	A10	蛍光灯灯具部品
	A11	ナトリウム灯カバー
	A12	ナトリウム灯ソケット
	A13	ナトリウム灯灯具部品
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8～9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	街園・緑道等
	C2	公園用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工			V01	
②		普通作業員			V02	
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	バスケット型 12m×200kg×2 名		V12	
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	プラットフォーム型 9.9m×1000kg		V12	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称	A条件	A1					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.23	-	0.23	0.23	0.23	0.23
②	普通作業員	V02	0.11	-	0.11	0.11	0.11	0.11
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.23 × V21	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	-	-	0.23 × V21		-	-

	名称	A条件	A2					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.25	-	0.25	0.25	0.25	0.25
②	普通作業員	V02	0.13	-	0.13	0.13	0.13	0.13
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.25 × V21	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	-	-	0.25 × V21		-	-

	名称	A条件	A3					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.28	-	0.28	0.28	0.28	0.28
②	普通作業員	V02	0.14	-	0.14	0.14	0.14	0.14
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.28 × V21	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	-	-	0.28 × V21		-	-

	名称	A条件	A4					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.25	－	0.25	0.25	0.25	0.25
②	普通作業員	V02	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.25 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	－	－	0.25 × V21		－	－

	名称	A条件	A5					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
②	普通作業員	V02	0.06	－	0.06	0.06	0.06	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.13 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	－	－	0.13 × V21		－	－

	名称	A条件	A6					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.20	－	0.20	0.20	0.20	0.20
②	普通作業員	V02	0.10	－	0.10	0.10	0.10	0.10
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.20 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	－	－	0.20 × V21		－	－

	名称	A条件	A7					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.18	－	0.18	0.18	0.18	0.18
②	普通作業員	V02	0.09	－	0.09	0.09	0.09	0.09
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.18 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	－	－	0.18 × V21		－	－

	名称	A条件	A8					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.18	-	0.18	0.18	0.18	0.18
②	普通作業員	V02	0.09	-	0.09	0.09	0.09	0.09
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.18 × V21	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	-	-	0.18 × V21		-	-

	名称	A条件	A9					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.18	-	0.18	0.18	0.18	0.18
②	普通作業員	V02	0.09	-	0.09	0.09	0.09	0.09
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.18 × V21	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	-	-	0.18 × V21		-	-

	名称	A条件	A10					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.18	-	0.18	0.18	0.18	0.18
②	普通作業員	V02	0.09	-	0.09	0.09	0.09	0.09
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.18 × V21	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	-	-	0.18 × V21		-	-

	名称	A条件	A11					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	-	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	-	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.15 × V21	-	-	-	-	-
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	-	-	0.15 × V21		-	-

	名称	A条件	A12					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	－	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	－	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.15 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	－	－	0.15 × V21		－	－

	名称	A条件	A13					
		B条件	B1		B2		B3	
		C条件	C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	－	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	－	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.15 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V12	－	－	0.15 × V21		－	－

$$V21 = 630 / (120 \times 2)$$

5. 根拠
緑地維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D99684	安定器取替	1個当り	構造図	20141001

1. 適用条件

・ 単価契約用 ・ 街路灯の維持修繕に適用 ・ リフト車の移動は、別途計上すること ・ 現道における作業前、作業中の交通整理を含む。

2. 条件表

A 安定器取替の種別	A1	水銀灯300W 以下 X1
	A2	水銀灯 300-700W 以下 X1
	A3	水銀灯300W 以下 X2
	A4	水銀灯 300-700W 以下 X2
	A5	蛍光灯 60W 以下
	A6	蛍光灯 60-110W 以下
	A7	ナトリウム灯 55W以下
	A8	ナトリウム灯 55-135W 以下
	A9	ナトリウム灯 135W以上
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8-9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	街園・緑道等
	C2	公園用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工			V01	
②		普通作業員			V02	
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	バスケット型 12m×200kg×2名		V12	
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	プラットフォーム型 9.9m×1000kg		V13	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称		A1					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.23	－	0.23	0.23	0.23	0.23
②	普通作業員	V02	0.11	－	0.11	0.11	0.11	0.11
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.23 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.23 × V21	0.23 × V21	－	－

	名称		A2					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.25	－	0.25	0.25	0.25	0.25
②	普通作業員	V02	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.25 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.25 × V21	0.25 × V21	－	－

	名称		A3					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.34	－	0.34	0.34	0.34	0.34
②	普通作業員	V02	0.16	－	0.16	0.16	0.16	0.16
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.34 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.34 × V21	0.34 × V21	－	－

	名称		A4					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.35	－	0.35	0.35	0.35	0.35
②	普通作業員	V02	0.18	－	0.18	0.18	0.18	0.18
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.35 × V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.35 × V21	0.35 × V21	－	－

	名称		A5					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
②	普通作業員	V02	0.06	－	0.06	0.06	0.06	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.13× V21× 1	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.13× V21	0.13× V21	－	－

	名称		A6					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	－	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	－	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.15× V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.15× V21	0.15× V21	－	－

	名称		A7					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.13	－	0.13	0.13	0.13	0.13
②	普通作業員	V02	0.06	－	0.06	0.06	0.06	0.06
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.13× V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.13× V21	0.13× V21	－	－

	名称		A8					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.14	－	0.14	0.14	0.14	0.14
②	普通作業員	V02	0.07	－	0.07	0.07	0.07	0.07
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.14× V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.14× V21	0.14× V21	－	－

	名称		A9					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V01	0.15	－	0.15	0.15	0.15	0.15
②	普通作業員	V02	0.08	－	0.08	0.08	0.08	0.08
③	高所作業車「トラック架装・伸縮ブーム」	V12	0.15× V21	－	－	－	－	－
④	高所作業車「トラック架装・垂直昇降」	V13	－	－	0.15× V21	0.15× V21	－	－

V21=630/(120*2)

5. 根拠
緑地維持課

名古屋市版施工単価内訳表(特別単価)

D99685	自動点滅器取替	1個当り	構造図	20141001

1. 適用条件

- ・ 単価契約用
- ・ 街路灯の維持修繕に適用
- ・ リフト車の移動は、別途計上すること
- ・ 現道における作業前、作業中の交通整理を含む。

2. 条件表

A 自動点滅器の種別	A1	一般形・分離形
	A2	分離形(本体のみ);フラグイン式
B リフト車	B1	揚程 12m
	B2	揚程 8-9m
	B3	リフト車なし
C 作業場所	C1	街園・緑道等
	C2	公園用

3. 単価表

	コード	名称	規格	単位	数量	備考
①		電工			V11	
②		普通作業員			V12	
③		高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	バスケット型 12m×200kg×2名		V14	
④		高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	プラットフォーム型 9.9m×1000kg		V15	

3-1. 子単価条件

	コード	名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③		高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	0	1	2	0	1	0	1	1	0
④		高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	0	1	2	0	1	0	1	1	0

4. 歩掛表

	名称		A1					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V11	0.1×1.0	0.1×1.0	0.1×1.0	0.1×1.0	0.1×1.0	0.1×1.0
②	普通作業員	V12	0.05×1.0	0.05×1.0	0.05×1.0	0.05×1.0	0.05×1.0	0.05×1.0
③	高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	V14	$0.1 \times V21 \times 1 \times 1.0$		-	-	-	-
④	高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	V15	-	-	$0.1 \times V21 \times 1 \times 1.0$		-	-

	名称		A2					
			B1		B2		B3	
			C1	C2	C1	C2	C1	C2
①	電工	V11	0.1×0.7	0.1×0.7	0.1×0.7	0.1×0.7	0.1×0.7	0.1×0.7
②	普通作業員	V12	0.05×0.7	0.05×0.7	0.05×0.7	0.05×0.7	0.05×0.7	0.05×0.7
③	高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム]	V14	$0.1 \times V21 \times 1 \times 0.7$		-	-	-	-
④	高所作業車[トラック架装・垂直昇降]	V15	-	-	$0.1 \times V21 \times 1 \times 0.7$		-	-

$$V21=630/(120 \times 2)$$

5. 根拠 緑地維持課

[illegible]